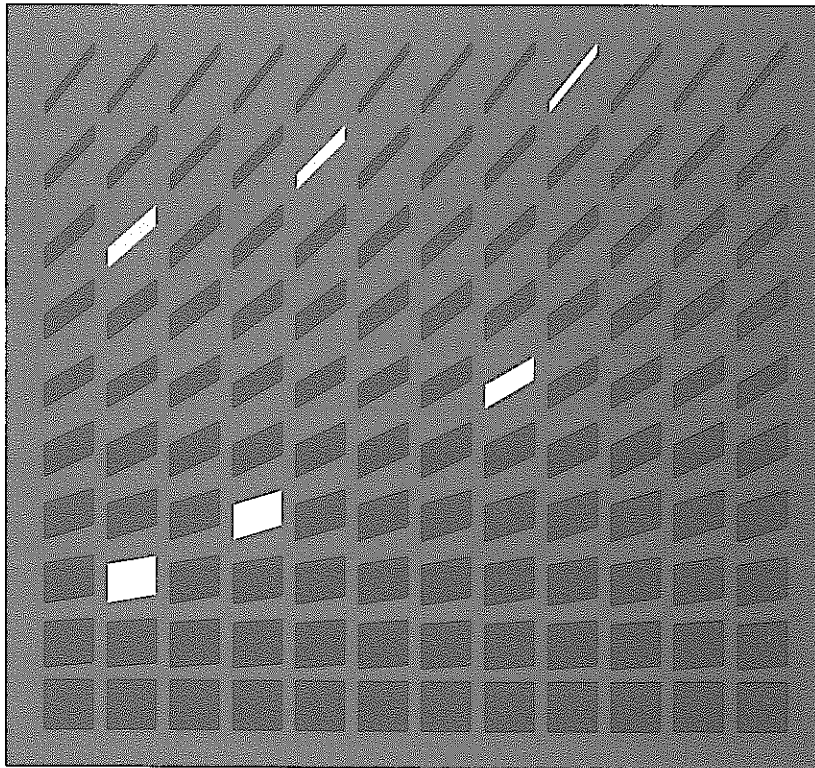
改訂1.3版
1998年5月作成

DOS/Vパソコン用ラダーソフト

形名
JW-52SP

取扱説明書

保証書付(巻末)

このたびは、ＤＯＳ／Ｖパソコン用ラダーソフトＪＷ－５２ＳＰをお買いあげいただき、まことにありがとうございます。

ご使用前に、本書をよくお読みいただき、本ソフトの機能・操作方法等を十分理解したうえ、正しくご使用ください。なお、本書は必ず保存してください。万一、ご使用中にわからないことが生じたとき、きっとお役に立ちます。

また、ＪＷ－５２ＳＰの構造化プログラムについての説明は、「構造化プログラミングマニュアル」を参照願います。

ご　注　意

★本書はＪＷ－５２ＳＰのVer 5.6Aについて記載しています。

★本書内での画面表示は、説明上必要なメッセージのみです。従って実際の画面表示とは異なります。

★本書では、プログラマブルコントローラをＰＣと略しています。

★ＪＷ２０／２０ＨとＪＷ３０Ｈは、コントロールユニットの機種を区別するため、ＪＷ－５２ＳＰ上では以下のように表示しています。

ＰＣ名	コントロールユニット機種名	JW-52SPでの機種名
JW20/20H	JW-21CU	JW21
	JW-22CU	JW22
JW30H	JW-31CUH JW-31CUH1	JW31H/H1
	JW-32CUH JW-32CUH1	JW32H/H1
	JW-33CUH JW-33CUH1	JW33H/H1
	JW-33CUH2 JW-33CUH3	JW33H2/H3
J-board	Z-311J Z-312J	JW22

おねがい

・本書の内容および本ソフトウェアについては十分注意して作成しておりますが、万一ご不審な点、お気付きのことがありましたらお買いあげの販売店、あるいは当社サービス会社までご連絡ください。

・本書および本ソフトウェアの内容の一部または全部を、無断で複製することを禁止しています。

・本書の内容および本ソフトウェアは、改良のため予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

・本ソフトウェアを使用したことによるお客様の損害、および逸失利益、または第三者からのいかなる請求につきましても、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

お客様へのお願い

弊社は別添の登録カードをご返却いただくことにより本契約書に同意いただいた方にのみ、本ソフトウェアを提供致します。

ソフトウェア使用許諾契約書

お客様（以下、甲と言う）に対し、シャープマニファクチャリングシステム株式会社（以下、乙と言う）は本契約にもとづき提供するソフトウェア（以下、本ソフトウェアと言う）使用に関する譲渡不能かつ非独占的な権利を下記条項により承諾するものとし、お客様は下記条項にご同意いただくものとします。

1．使用許諾範囲

甲は、本契約にもとづき使用許諾されたソフトウェアを対応機種(裏面参照)のコンピュータシステム(以下、本システムと言う)のみで使用することができます。

甲は、乙の書面による同意を得なければ、本契約による使用権の譲渡および第三者への許諾はできません。

また本契約で定められている場合を除き、本ソフトウェアの全部または一部を印刷または複製することはできません。

2．本ソフトウェアの複製

1）甲は、乙から本システムに読み込み可能な形式で提供された本ソフトウェアの全部または一部を、下記の場合、本システムに読み込み可能な形で1部まで複製することができます。

(1) 本ソフトウェアを予備のため保存する目的の場合。

(2) 本システムで甲が使用するため本ソフトウェアを改良する場合。

2）甲は、前号にもとづく複製物について保有数並びに管理場所を記録するものとし、乙より問い合わせがあればこれに応ずるものとします。

3）甲が乙から提供された本ソフトウェアそのものはもとより、甲が複製したソフトウェアも乙の所有物となります。但し、本ソフトウェアが記録されている媒体は甲の所有物となります。

4）甲は、甲のみが使用する場合に限って、本ソフトウェアを改良すること並びに他のソフトウェアと組み合せて、新たなソフトウェアを作ることができます。

5）甲は、乙から提供された取扱説明書等の印刷物を複写できません。

3．著作権表示

甲は、本ソフトウェアのすべての複製物並びに改良ソフトウェアに本ソフトウェアの表示と同様の著作権表示をしなければなりません。

4．契約の有効期間

本契約の有効期間は、甲が本ソフトウェアを受け取った日から解除、解約等によって本契約が終るまでとします。

5．契約解除

1）乙は、甲が本契約のいずれかの条項に違反した時は、甲に対し何等の通知、催告を行うことなく直ちに解除することができます。

2）前号の場合、乙は甲によってこうむった損害を甲に請求することができます。

3）甲は解約しようとする日の1ケ月前までに乙に書面で通知することによって本契約を解除することができます。

6．契約終了後の義務

甲は、前項によって本契約が終了した時は、1ケ月以内に乙から提供を受けた本ソフトウェアのオリジナル及びすべての複製物(改良ソフトウェアを含む)を破棄したその旨を証明する文書を乙に送付するか、これらを甲の費用負担により乙に返還するものとします。但し、乙の書面による事前の承諾を得た場合は、甲は保存用の複製物を1部保有することができます。

7．譲渡等の禁止

甲は乙の書面により事前の同意を得ることなく本ソフトウェアの全部または一部をいかなる形態においても第三者に譲渡したり、転貸したり若しくは使用させたりすることはできません。

8．秘密保持

甲は乙から提供された本ソフトウェアに関する情報及びノウハウを公開若しくは第三者に漏洩しないものとします。

9．限定保証

乙は本ソフトウェアに関して、いかなる保証も行いません。従って、甲が本ソフトウェアを使用することによって如何なる損害が生じても乙は一切責任を負いません。但し、本ソフトウェアの提供後1年以内に乙が本ソフトウェアの誤りを修正したソフトウェアを発表した時には、そのソフトウェアまたはそれに関する情報の提供に最大の努力を払うことを唯一の責任とします。

シャープマニファクチャリングシステム株式会社

〒581　大阪府八尾市跡部本町4丁目1番33号

電話（0729）91-0681

対 応 機 種

次の環境を備えているパソコンで使用可能です。

ＩＢＭ　ＰＣ／ＡＴ互換機

・ＯＳ ---------- 日本語ＭＳ－ＤＯＳ５.０以降
・表示ボード ---------- ＶＧＡ以上
・ハードディスク（空き容量）---------- ５Ｍバイト以上
・ＥＭＳメモリ ---------- ２５６Ｋバイト以上
・メインメモリ（空き容量）---------- ４７５Ｋバイト以上
・ＦＤドライブ ---------- １台以上
・ＲＳ－２３２Ｃポート ---------- １ポート以上
・プリンタポート ---------- １ポート以上

ラダーソフト JW-52SP Ver5.9 のご使用について

ご使用のパソコンの設定によって、弊社のラダーソフト(JW-52SP)が正常に起動できない場合がありますので、下記にその対策について記載します。

(詳細内容)

JW-52SP(Ver 5.8 まで)は EMS メモリを使用しており、EMS を正規にサポートしていない「Windows Me」上で動作させますと、「実行に必要なメモリが不足しています」というメッセージが表示され、JW-52SP が正常に起動させることができないパソコンがありました。

この問題を解決するために、新バージョン(Ver5.9)では EMS メモリ領域を使用しないで実行するように対策を実施致しました。

尚、この変更に伴い JW-52SP を使用するために必要な空きメモリ容量が従来より、増加していますのでメモリ空き容量をご確認の上ご使用願います。

バージョン	起動に必要な空き容量
Ver 5.8 まで	約 470KB
Ver 5.9	約 520KB

尚、「Windows95／98」搭載パソコンなどでは EMS ドライバをメモリに組み込んでいるために、JW-52SP を起動する為に必要な空き容量(520KB)が、確保できない場合があります。 その場合は下記のように「config.sys ファイル」を変更することにより、従来通りご使用していただくことが可能です。

■「config.sys ファイル」の変更方法

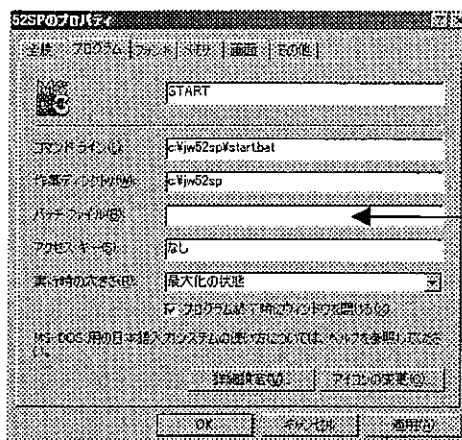
①config.sys ファイルを編集して、EMS ドライバ組み込み部をコメント化する。

(設定例)

```
device=C:¥WINDOWS¥himem.sys
REM device=C:¥WINDOWS¥EMM386.EXE RAM        ←行頭部に REM を記述するとコメントになる。
devicehigh=C:¥WINDOWS¥biling.sys
devicehigh=C:¥WINDOWS¥jfont.sys /p=C:¥WINDOWS
devicehigh=C:¥WINDOWS¥jdisp.sys
devicehigh=C:¥WINDOWS¥jkeyb.sys /106 C:¥WINDOWS¥jkeybrd.sys
devicehigh=C:¥WINDOWS¥kkcfunc.sys
devicehigh=C:¥WINDOWS¥COMMAND¥ansi.sys
```

(注:config.sys の内容は、パソコンによって違いがあります。)

②パソコンを再起動する。

③JW-52SP 起動アイコンのプロパティで、「プログラム」タブの設定を下図のようにする。

マニュアルに記載されているバッチファイルの「DOSIME」を削除して空白にする。
(日本語の入力には、Windows の IME を使用するようになります)

④JW-52SP を起動する。

第１章　特長・機能

本ソフトは、ＩＢＭＰＣ／ＡＴ互換（通称、ＤＯＳ／Ｖ）機のパソコン（以下、パソコン）を使用して、プログラマブルコントローラのプログラム作成・パラメータ設定・モニタ・ＰＣ転送・プリントアウト等を行うことができます。

１－１ 特　長

（１）シンボル・コメントの作成及び登録が可能。

・接点やコイルにシンボル・コメントをワープロ感覚で簡単に登録でき、保全性の向上に役立ちます。

（２）豊富なプログラム編集機能。

・回路の移動や複写、標準回路の登録など豊富な編集機能により、設計効率を大幅にアップできます。また、ライブラリ機能の強化により、類似回路を瞬時に作成できます。

（３）多彩なプリント機能。

・ラダー図、命令語、システムメモリ、シンボル・コメント等に、すべて標題を付けて精度の高い図面をスピーディに作成できます。
また、クロスリファレンス、標題欄の有無、高品位／高速、シンボル付き／コメント付きなど用途に応じたプリント機能を選択できます。

（４）ネットワークモジュール（ZW-20AX）またはME-NETモジュール（JW-90MN）を使用して、プログラムの一元管理、リモートモニタが可能。

・パソコンにZW-20AXまたはJW-90MNを実装すると、ネットワークユニット（ZW-20CM、JW-20CM／22CM）またはME-NETユニット（ZW-20CM2、JW-20MN／21MN）を実装したＰＣとの間で高速通信ができます。また、サテライトネット上またはME-NET上の他局のモニタも可能なため、集中管理が実現できます。

[ME-NETとは、トヨタ自動車（株）が推進母体となり設備制御機器の異メーカー・異機種間を結合する通信ネットワークのことです]

（５）サテライトネット／ＭＥ－ＮＥＴ／ＳＵＭＩＮＥＴ－3200を利用してリモートプログラミング／リモートモニタが可能。

・ネットワークユニット（ZW-20CM／30CM、JW-20CM／22CM）、ＭＥ－ＮＥＴユニット（ZW-20CM2、JW-20MN／21MN）に接続することにより、サテライトネット／ＭＥ－ＮＥＴ／ＳＵＭＩＮＥＴ－３２００上に接続されている他のＰＣ（JW20、JW20H、JW30H、JW50／70／100、JW50H／70H／100H）のプログラミングやモニタができるため、集中保全管理が実現できます。
また、リモートＩ／Ｏ子局ユニット（ZW／JW-20RS）に接続することにより、親局ＰＣ（JW20、JW20H、JW30H、JW50／70／100、JW50H／70H／100H）のプログラミングやモニタができるため、設備の試運転・保全がスムーズに行えます。
[ＳＵＭＩＮＥＴ－３２００は住友電気工業株式会社の登録商標です。]

（６）試運転・異常発生時に威力を発揮するデバッグ機能。

・任意のリレーのＯＮ/ＯＦＦ情報やレジスタ内容を、任意の周期でサンプリング記憶し、タイムチャート表示できるため、タクトタイムの測定や不具合の原因追求等がスムーズに行えます。

（７）ステップフロー命令でのプログラム可能。（JW20／20H）

・機械の動作チャートを作成するだけでシーケンス設計ができる便利な命令です。設計、試運転、保全とあらゆる場面で威力を発揮します。

（８）構造化プログラム（JW30H）

・異常処理部・操作部・データ処理部などをブロックごとに分担作成し、結合によりプログラムできます。詳細は「JW50SP／92SP 構造化プログラミングマニュアル」を参照願います。
（7･9、44ﾍﾟｰｼﾞ参照）

（9） 数値表現の選択が可能。(JW10、JW30H)

・データメモリアドレス、プログラムメモリアドレス、応用命令の定数等はシステムメモリの設定により8/10/16進数を選択でき、使い慣れた数値表現でプログラミングできます。(「7－7システムメモリ設定」参照)

注意 ＪＷ１０，ＪＷ３０Ｈは、以下のバージョンより対応しています。

PC機種	JW-52SPバージョン
JW30H(JW-31CUH1/32CUH1/33CUH1/33CUH2/33CUH3)	Ver 5.5以上
JW10	Ver 5.3以上
JW30H(JW-31CUH/32CUH/33CUH)	Ver 5.0以上

第1章

１－２ 機　能

項　　　目	内　　　容	参照ページ
プログラム編集	機種設定	7・2
	シンボル・コメント設定	7・5
	ラダープログラミング	7・9
	命令語プログラミング	7・44
	メモリクリア	7・64
	データメモリ設定	7・66
	システムメモリ設定	7・68
	プログラムチェック	7・72
	ライブラリ作成	7・75
	本体パラメータ設定	7・77
	ＦＤ転送	11・1
	ＰＣ転送	12・1
モ　ニ　タ	ラダーモニタ	8・2
	命令語モニタ	8・32
	サンプリングトレース	8・35
	ＳＦモニタ	8・38
	ＦＤ転送	11・1
	ＰＣ転送	12・1
プ　リ　ン　ト	ラダー図印字	9・2
	命令語印字	9・6
	接点使用リスト	9・9
	システムメモリ印字	9・12
	データメモリ印字	9・14
	シンボル・コメント印字	9・16
	標題設定	9・18
	表紙設定	9・20
	プリンタ機種設定	9・22
	本体パラメータ印字	9・24
	ＦＤ転送	11・1
	ＰＣ転送	12・1
周　辺　転　送	ＰＲＯＭライタ転送	10・2
	Ｚ－１００ＬＰ２Ｆ　ＦＤ転送	10・5
	サテライトネット、ＭＥ－ＮＥＴパラメータ設定・印字	10・10
	ＳＵＭＩＮＥＴパラメータ設定・印字	10・38
	その他ＯＰパラメータ設定	10・43
	ＦＤ転送	11・1
	ＰＣ転送	12・1
初　期　設　定	規定値設定	6・2
	通信設定	6・4
	ＦＤ転送	11・1
	ＰＣ転送	12・1
Ｆ　Ｄ　転　送	ＦＤ（フロッピーディスク）への書込・読出・照合	11・1
Ｐ　Ｃ　転　送	ＰＣ（プログラマブルコントローラ）への書込・読出・照合	12・1

[機能ブロック図]

（　）内の数字は参照ページを示します。

※1
※2
プログラム編集
(7·1)
ラダー
プログラミング
(7·9)
回路作成
(7·25)
プログラムアドレス００００００からの書き込み
ネットワーク間への書き込み（挿入）
プログラムの書かれていないアドレスからの書き込み
命令語の挿入
命令語の変更
命令語の削除
行挿入
ＯＲ削除
コイルリスト
タイマ／カウンタリスト
ステップリスト
表示切替
シンボルライブラリ読み出し
回路変更
(7·34)
命令の挿入
命令の削除
命令の変更
データメモリ・設定値の変更
行挿入
ＯＲ削除
コイルリスト
タイマ／カウンタリスト
ステップリスト
表示切替
回路削除
(7·42)
ネットワーク単位での削除
画面表示
(7·46)
キー操作による検索表示
命令検索による表示
プログラムアドレス検索による表示
データメモリアドレス検索による表示
データメモリ番号・設定値の変更
命令語単位の移動・複写・削除
ライブラリファイルの登録・読出・削除
データメモリの使用状況表示
リレー・タイマ・カウンタ・レジスタ番号の一括変更
ステップの使用状況表示（JW21／22）
命令語プログラミング
(7·44)
※1
※3
第1章

※1
※3
プログラム作成
(7·55)
プログラムアドレス００００００からの書き込み
指定アドレスからの書き込み
プログラムの書かれていないアドレスからの書き込み
命令語の挿入
命令語の変更
命令語の削除
コイルリスト
タイマ／カウンタリスト
ステップリスト
プログラム編集
(7·1)
メモリクリア
(7·64)
プログラムメモリ
データメモリ
ファイルメモリ
パラメータメモリ
システムメモリ
シンボル・コメントメモリ
データメモリ設定
(7·66)
設定値書き込み
設定値モニタ
システムメモリ設定
(7·68)
設定値の書き込み
I／O設定（JW50/70/100、JW50H/70H/100H）
入力ユニット、出力ユニット、ダミーユニット、空きスロットのI／O設定
特殊I／OユニットのI／O設定
プログラムチェック
(7·73)
ライブラリ作成
(7·75)
本体パラメータ設定
(7·77)
特殊I／Oユニット
オプションユニット
FD転送
(11·1)
PC転送
(12·1)

モニタ
(8・1)
ラダーモニタ
(8・2)
検索
(8・5)
キー操作による検索
命令検索
プログラムアドレス検索
データメモリアドレス検索
設定値・定数変更
(8・8)
セット／リセット
(8・9)
表示保持
(8・10)
表示切替
(8・11)
スキャンタイム表示
(8・12)
Nスキャン運転
(8・13)
ブレークモニタ
(8・14)
トリガモニタ
(8・15)
エラーモニタ
(8・16)
PC運転／停止
(8・17)
強制ON／OFF
(8・18)
ブレーク
(8・19)
プログラムアドレス指定ブレーク
END命令ブレーク
レジスタアドレス指定ブレーク
回路編集
(8・28)
回路作成
回路変更
回路削除
命令語
(8・32)
システムメモリモニタ
(8・27)
※1
※5

第1章

※1
※5
ラダーモニタ
(8·2)
任意ラダーモニタ
(8·25)
検索
設定値・定数変更
セット／リセット
表示保持
表示切替
モ　ニ　タ
(8·1)
多点モニタ
(8·23)
設定値・定数変更
セット／リセット
Nスキャン運転
ブレークモニタ
強制ON／OFF
前／後方連続モニタ
バイト／ワード切替
I／Oサーチ
(8·30)
ラック、スロット番号指定
アドレス指定
ACT検索
(8·31)
検　索
(8·5)
キー操作による検索
命令検索
プログラムアドレス検索
データメモリアドレス検索
命令語モニタ
(8·32)
設定値・定数変更
(8·8)
セット／リセット
(8·9)
表示保持
(8·10)
表示切替
(8·11)
※1
※6

※1
※6
モ　ニ　タ
(8·1)
スキャンタイム表示
(8·12)
Nスキャン運転
(8·13)
ブレークモニタ
(8·14)
トリガモニタ
(8·15)
エラーモニタ
(8·16)
命令語モニタ
(8·32)
PC運転／停止
(8·17)
強制ON／OFF
(8·18)
ブレーク
(8·19)
プログラムアドレス指定ブレーク
END命令ブレーク
レジスタアドレス指定ブレーク
命令編集
(8·28)
作成
変更
削除
ラダー図
(8·2)
システムメモリモニタ
(8·27)
多点モニタ
(8·23)
設定値・定数変更
セット／リセット
Nスキャン運転
ブレークモニタ
強制ON／OFF
前／後方連続モニタ
バイト／ワード切替
サンプリングトレース
(8·35)
(JW21／22)
トリガ条件設定
トリガモード設定
周期設定
トレースデータ設定
トレースメモリ設定
SFモニタ
(8·38)
ステップ表
FD転送
(11·1)
PC転送
(12·1)

第1章

プリント
(9･1)
ラダー印字
(9･2)
標題の有／無設定
高速／高品位の設定
シンボル・コメントの有／無設定
印字範囲設定
命令語印字
(9･7)
標題の有／無設定
高速／高品位の設定
シンボル・コメントの有／無設定
印字範囲設定
接点使用リスト印字
(9･10)
標題の有／無設定
高速／高品位の設定
アドレス順／プログラム順の設定
シンボル・コメントの有／無設定
印字範囲設定
システムメモリ印字
(9･13)
標題の有／無設定
高速／高品位の設定
印字範囲設定
データメモリ印字
(9･15)
標題の有／無設定
高速／高品位の設定
印字範囲設定
シンボル・コメント印字
(9･17)
標題の有／無設定
高速／高品位の設定
印字範囲設定
標題設定
(9･19)
表紙設定
(9･21)
印字
プリンタ設定
(9･23)
プリンタ機種の設定
プリント用紙の設定
(JW21/22、JW30H)
本体パラメータ印字
(9･25)
標題の有／無設定
高速／高品位の設定
印字範囲設定
FD転送
(11･1)
PC転送
(12･1)

PROMライタ転送
(10･2)
ファイル名一覧
(10･6)
プログラムメモリの書き込み
書　込
データメモリの書き込み
(10･7)
ファイルメモリ（パラメータ）の書き込み
Z－100LP2F FD転送
プログラムメモリの読み出し
読　出
データメモリの読み出し
(10･5)
(10･8)
ファイルメモリ（パラメータ）の読み出し
FD転送
削　除
(11･1)
(10･9)
PC転送
リモートI／O子局設定
JWI／O
(12･1)
(10･11)
ZWI／O
周辺転送
(10･1)
リモートI／O親局設定
リモートI／O固定割付け
(10･13)
リモートI／O任意割付け
データリンク子局設定
(10･21)
サテライトネット、ME－NET パラメータ設定・プリント
(10･10)
データリンク親局設定
(10･23)
エラーチェック
パラメータ転送
(10･26)
リモートI／O子局印字
リモートI／O親局印字
パラメータプリント
データリンク子局印字
(10･28)
データリンク親局印字
標題付き表紙印字
標題無し表紙印字
パラメータ設定
(10･38)
SUMINET パラメータ設定・プリント
(10･38)
パラメータプリント
(10･41)
その他OPパラメータ設定
(10･43)
第1章

第1章

ＦＤ転送
(11·1)
初期化
(11·2)
2HDフロッピーの初期化
2DDフロッピーの初期化
ユーザディレクトリ作成、初期化
書込
(11·3)
プログラムメモリの書き込み
システムメモリの書き込み
データメモリの書き込み
コメントメモリの書き込み
クロスリファレンスの書き込み
パラメータメモリの書き込み（JW21/22、JW30H）
ファイルメモリの書き込み（JW50/70/100、JW50H/70H/100H、JW32H/H1、JW33H/H1、JW33H2/H3）
プリント表紙内容の書き込み
プリント標題内容の書き込み
サテライトネットパラメータの書き込み
ME－NETパラメータの書き込み
SUMINETパラメータの書き込み
その他パラメータの書き込み
読出
(11·5)
照合
(11·6)
削除
(11·7)
複写
(11·8)
ファイル複写
ディスク複写
ファイル名変更
(11·10)

PC転送
(12・1)
パリティ
(12・3)
書　込
(12・5)
プログラムメモリの書き込み
システムメモリの書き込み
データメモリの書き込み
ファイルメモリの書き込み（JW50/70/100、JW50H/70H/100H）
パラメータメモリの書き込み（JW21/22、JW30H）
コメントメモリの書き込み
サテライトネットパラメータメモリの書き込み
ME－NETパラメータメモリの書き込み
SUMINETパラメータメモリの書き込み
読　出
(12・7)
プログラムメモリの読み出し
システムメモリの読み出し
データメモリの読み出し
ファイルメモリの読み出し（JW50/70/100、JW50H/70H/100H）
パラメータメモリの読み出し（JW21/22、JW30H）
コメントメモリの読み出し
サテライトネットパラメータメモリの読み出し
ME－NETパラメータメモリの読み出し
SUMINETパラメータメモリの読み出し
照　合
(12・10)
メモリ内容の一括照合
プログラムメモリの照合
システムメモリの照合
データメモリの照合
ファイルメモリの照合（JW50/70/100、JW50H/70H/100H）
パラメータメモリの照合（JW21/22、JW30H）
コメントメモリの照合
サテライトネットパラメータメモリの照合
ME－NETパラメータメモリの照合
SUMINETパラメータメモリの照合
時刻表示
(12・12)
PC運転
(12・14)
PC停止
(12・15)
PC操作
(12・16)
EEPROM(フラッシュROM)の読出/書込
CUメモリクリア
I/Oテーブル作成/読出（JW21/22、JW30Hのみ）
PCよりPROMライタへの転送（JW22のみ）
シークレット（JW10、JW30Hのみ）

第1章

第 2 章　とくに注意していただきたいこと

⚠注意	プログラマブルコントローラまたはパソコンの絶縁耐圧試験をする場合、プログラマブルコントローラとパソコンを接続する“ケーブル”および“変換器”を必ず外してください。

2－1 使用に関すること

・誤操作等によって本ソフトの内容を破壊すると、正常に動作しなくなります。
　本ソフト（マスターディスク）をハードディスクにインストールするときは、バックアップを作成し、これをご使用ください。
・フロッピーディスクドライブが動作中（アクセスランプ点灯中）は、フロッピーディスクを抜き差ししないでください。
・本ソフトの操作を終了するときは、データ保存後「メインメニュー」で［0］（終了）キーを押し、［⏎］（リターンキー）を押してください。

2－2 コピーに関すること

・次の事項は禁止しています。
　① 本ソフトをコピーして、他人に配布または転売すること。
　② 本ソフトの一部を変更して、他人に配布または転売すること。

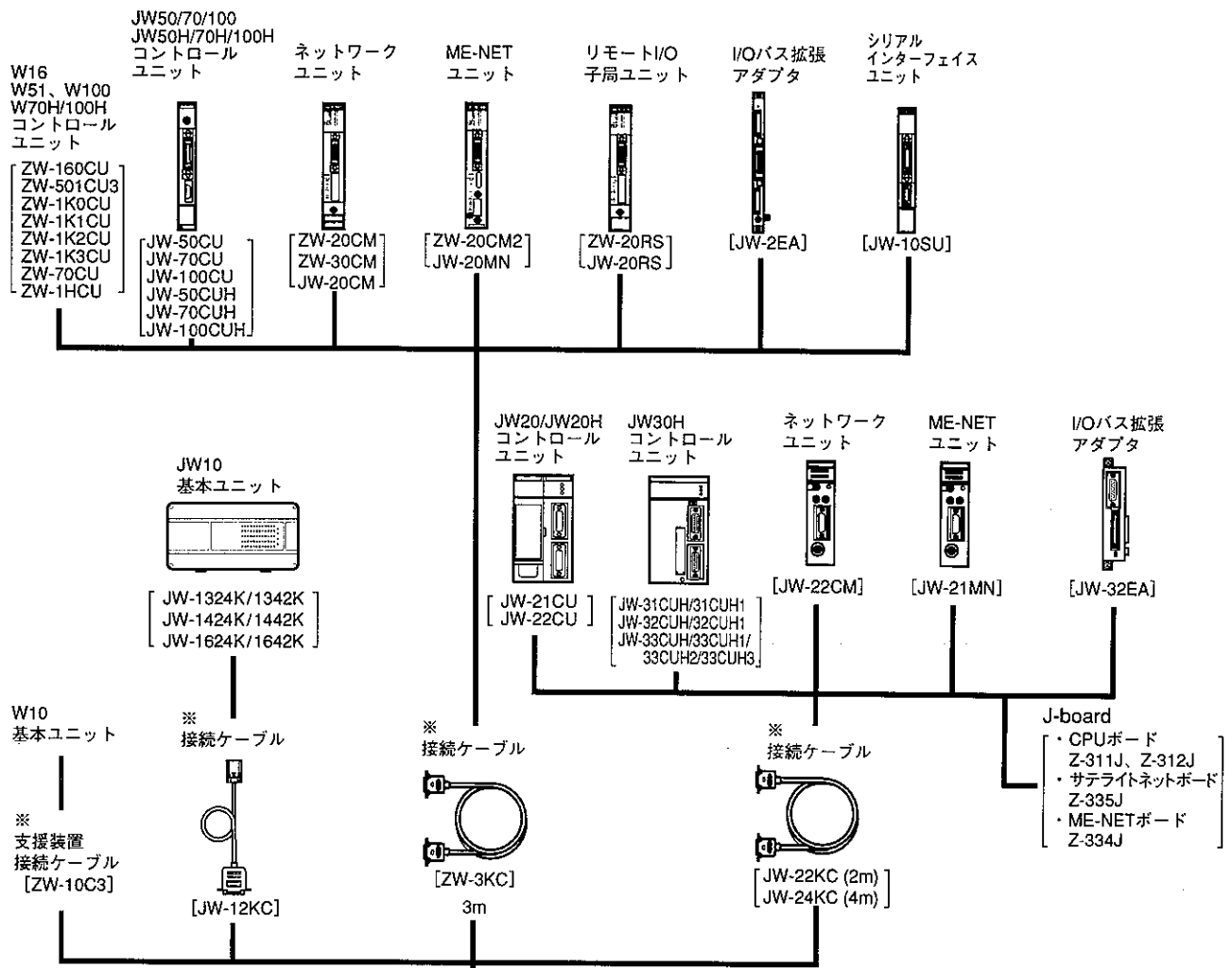
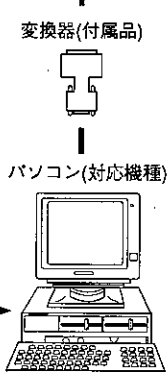
2－3 保存に関すること

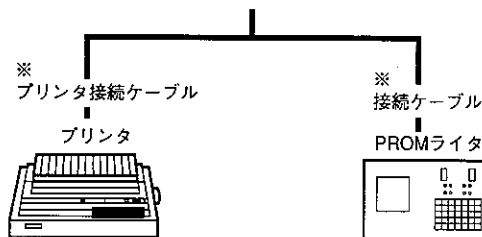
・磁性面を指で触れたり、傷つけないように注意してください。
・ラベルにファイル名、日付等を記入する場合は、フロッピーディスクに貼り付ける前に行ってください。
・暖房器具の近くには置かないでください。
・チリやホコリの多い所に保存しないでください。
・クリップなどでフロッピーディスクを挟まないでください。
・急激な温度、湿度の変化のあるところは避けてください。
・水などでぬれたり、変形、損傷したフロッピーディスクは使用しないでください。
・磁石を近づけないでください。

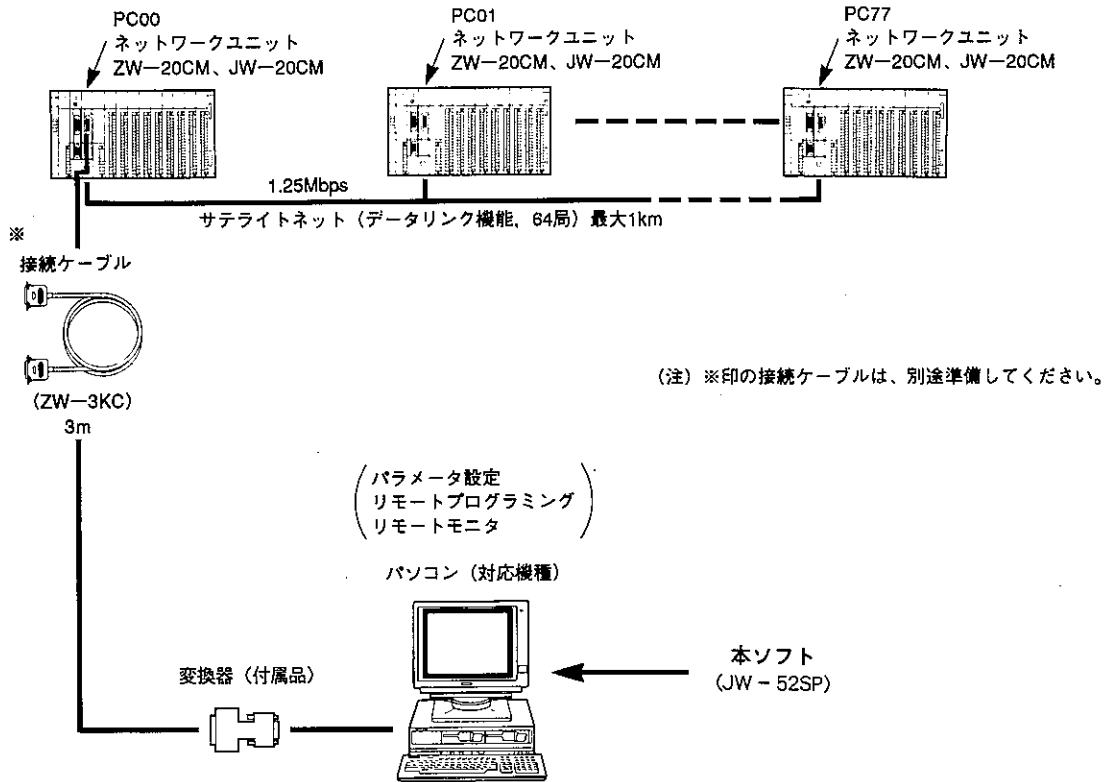
2－4 キー操作に関すること

・システム立ち上げ後、無意味なキー操作（［CTRL］と［C］キーを同時に押す等）は絶対に行わないでください。作成したデータ内容や本ソフトの内容が破壊されます。
・本ソフトには、日本語入力（漢字、全角文字等）のプログラム（以下、ＦＥＰ）は含まれておりません。
　日本語入力のキー操作は、お客様が別途準備されたＦＥＰ用の取扱説明書に従ってください。

第 3 章　システム構成

3－1基本システム構成

JW－52SP構成品	数量
DOS／Vパソコン用 ラダーソフト（3.5インチ）	2枚
キーラベル	1枚
変換器	1個
取扱説明書（本書） 〈保証書、ソフトウェア 使用許諾契約書(ハガキ付)〉	1冊

(注 1) ※印の接続ケーブルは、別途準備してください。

(注 2) パソコン(対応機種)とは、本書のソフトウェア使用許諾契約書に記載の機種です。

3－2サテライトネット／ＳＵＭＩＮＥＴ－3200を利用したシステム構成

（1）サテライトネット接続（データリンク機能）

（2）サテライトネット接続（リモートＩ／Ｏ機能）

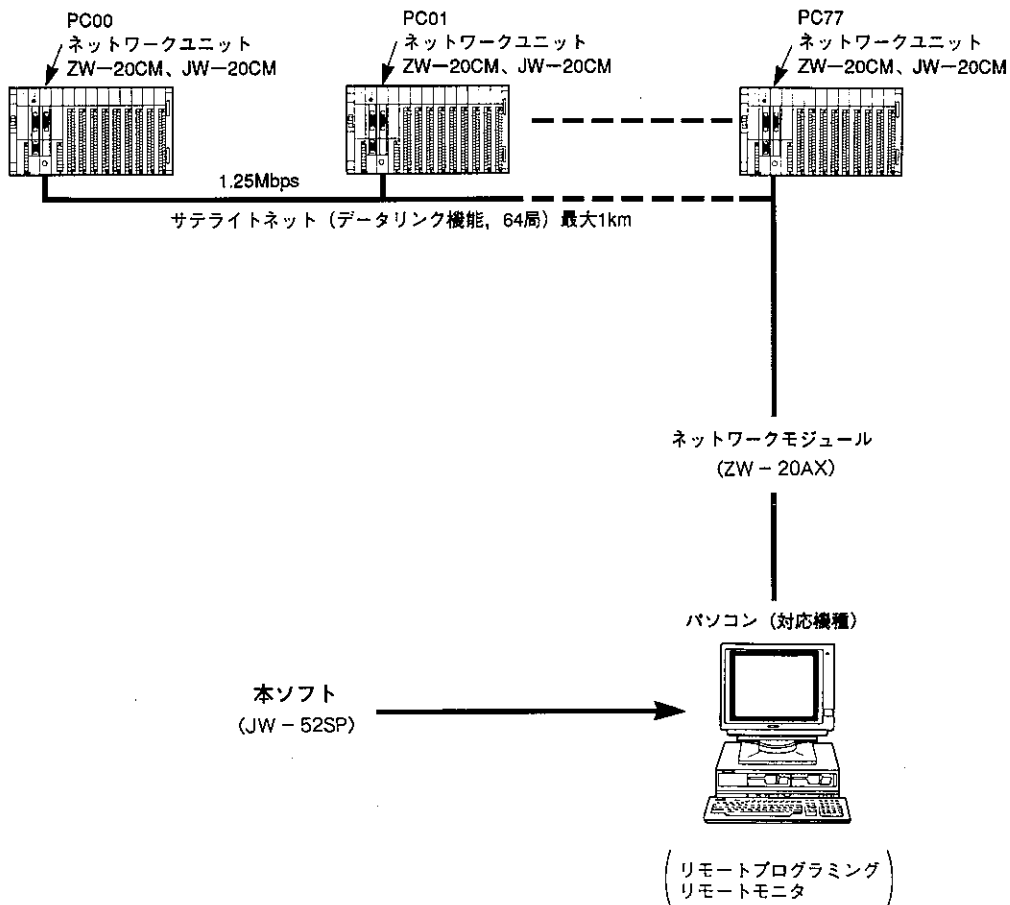
（3） SUMINET－3200 接続

参 考　SUMINET－3200は住友電気工業株式会社の登録商標です。

（4） サテライトネット／SUMINET－3200を利用したシステム構成（拡張機能）

パーソナルコンピュータ
NSU
NSU：ネットワークサービスユニット
光ファイバーケーブル
SUMINET－3200
ラインサーバー
ネットワークユニット
ZW－30CM
ネットワークユニット
ZW－30CM
（注）※印の接続ケーブルは、別途準備してください。
※
接続ケーブル
(ZW－3KC)
3m
変換器（付属品）
パソコン（対応機種）
本ソフト
(JW－52SP)
パラメータ設定
リモートプログラミング
リモートモニタ
ネットワークユニット
ZW－20CM、JW－20CM
ネットワークユニット
ZW－20CM、JW－20CM
ネットワークユニット
ZW－20CM、JW－20CM
サテライトネット（データリンク機能）
ネットワークユニット
ZW－20CM、JW－20CM
ネットワークユニット
ZW－20CM、JW－20CM
ネットワークユニット
ZW－20CM、JW－20CM
サテライトネット（データリンク機能）
PC01
（リモートI／O子局）
リモートI／O子局
ユニット
ZW－20RS、
JW－20RS
PC02
（リモートI／O子局）
リモートI／O子局
ユニット
ZW－20RS、
JW－20RS
PC03
（リモートI／O子局）
リモートI／O子局
ユニット
ZW－20RS、
JW－20RS
PC77
（リモートI／O子局）
リモートI／O子局
ユニット
ZW－20RS、
JW－20RS
サテライトネット（リモートI／O機能）

3－3ＭＥ－ＮＥＴを利用したシステム構成

3－4ネットワークモジュール（ZW−20AX）を利用したシステム構成

第 4 章　システム立ち上げ

本ソフトをご使用になる前に、下記ページを参照してハードディスクにインストール（組込み作業）を行ってください。

4－1 プログラムのインストール

（1）インストールの前準備

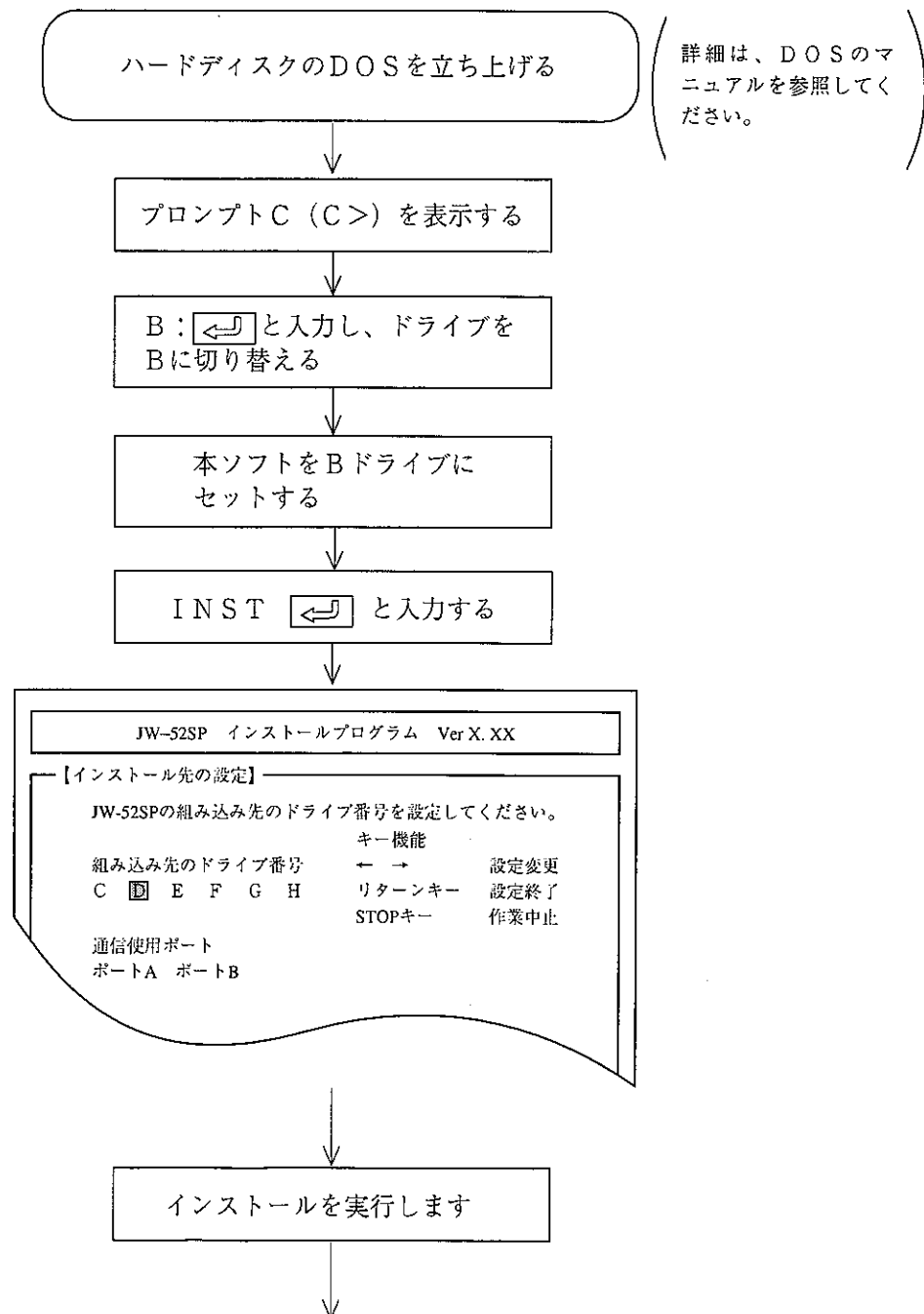
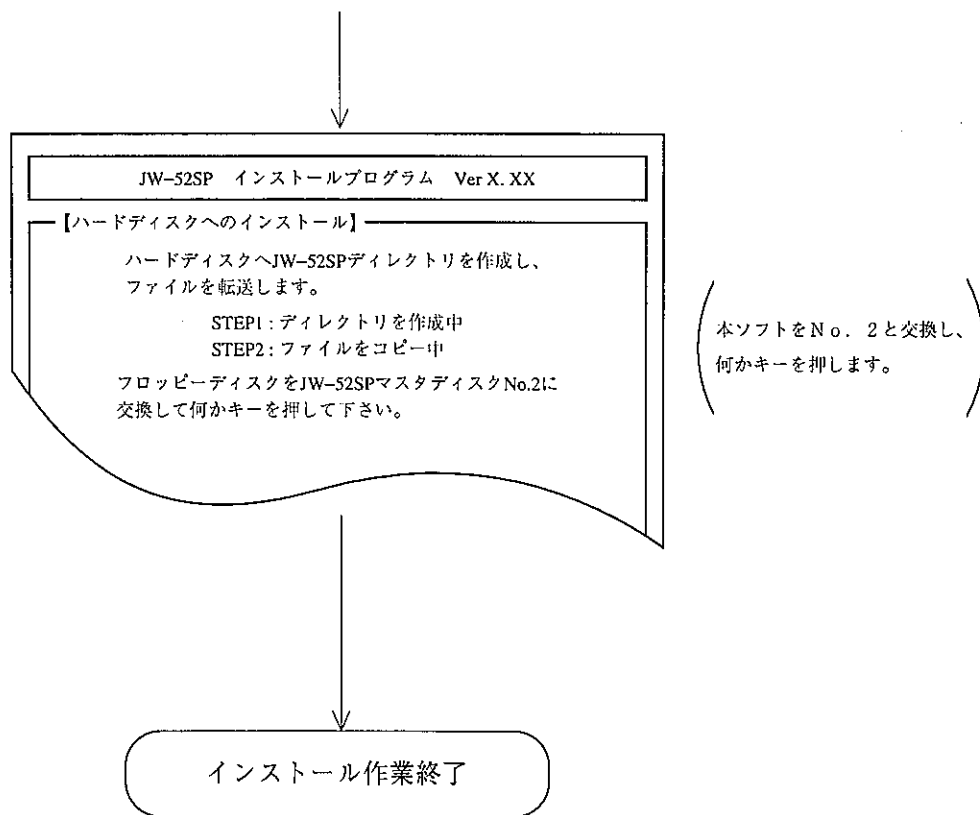
本ソフト（ＪＷ－５２ＳＰ）を用意してください。

本ソフトを使用する場合、ハードディスクに約5Mバイトの空容量とEMSメモリ256Kバイト、メインメモリの空容量475Kバイトが必要です。

本ソフトの立上げには、filesが15以上必要ですので、config.sys内のfiles数を20以上に設定してください。(他のアプリケーションソフト等の関係でfiles=30程度以上を推奨します。)

（2）操 作 手 順

フロッピーディスクドライブBからドライブDのハードディスクに、インストールする場合について説明します。他のドライブより、インストールする場合は読み替えてください。

第4章

（3）通信ポートの設定変更

JW52SPのディレクトリにあるSTART. BATを、お手持ちのエディタ（MIFES、VZ、EDITなど）により変更すると、通信ポートの設定を変更できます。

[変更内容]

D：¥JW52SP¥G52SP. EXE -D0C ←表示例（※1 = 0C）

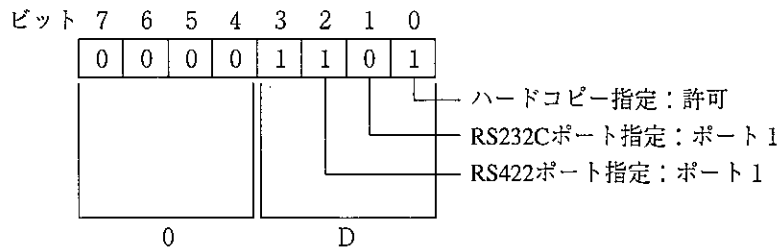
※1（2桁）の数値(08～0F：16進数)は、ビット0～7を下記内容でON／OFF設定してください。

ビット	機　能	0 (OFF)	1 (ON)
0	ハードコピー指定　※2	禁　止	許　可
1	RS232Cポート指定　※3	ポート1	ポート2
2	RS422ポート指定　※4	ポート2	ポート1
3	必ずONにして使用	――	必ずON
4～7	必ずOFFにして使用	必ずOFF	――

※2 ハードコピー指定を許可にする場合、必ずプリンタと接続してください。

※3 RS232Cポート指定とは、PROMライタ転送／コンピュータリンク接続などに使用するポートを指定します。

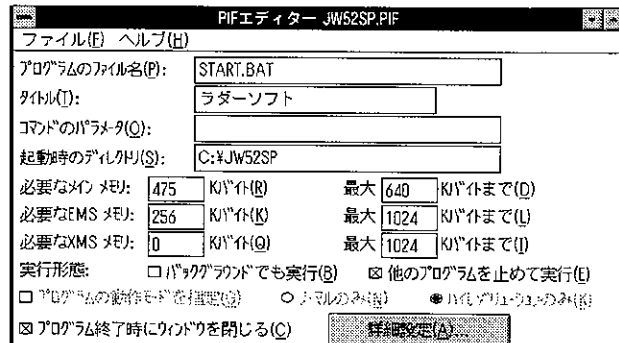
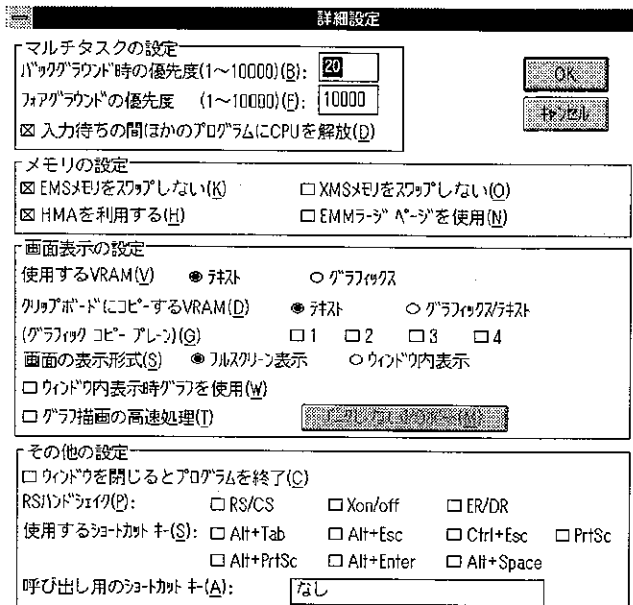
※4 RS422ポート指定とは、PC本体接続のときに使用するポートを指定します。

・変更例（※1＝0Dのとき）

Windows の DOS モードで使用する場合の注意事項

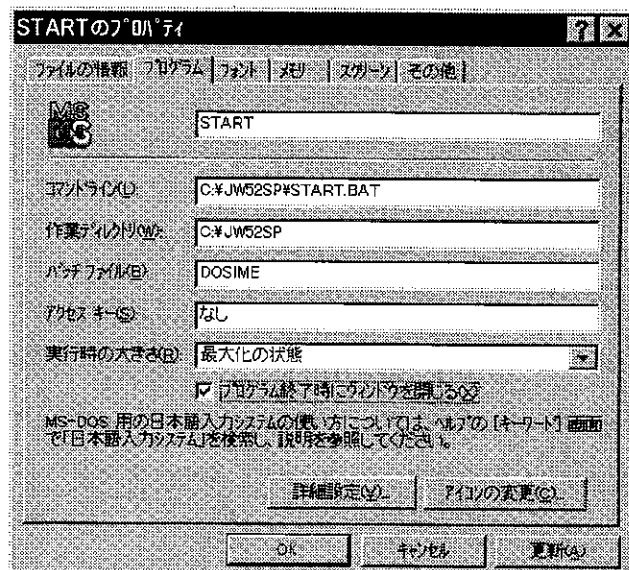
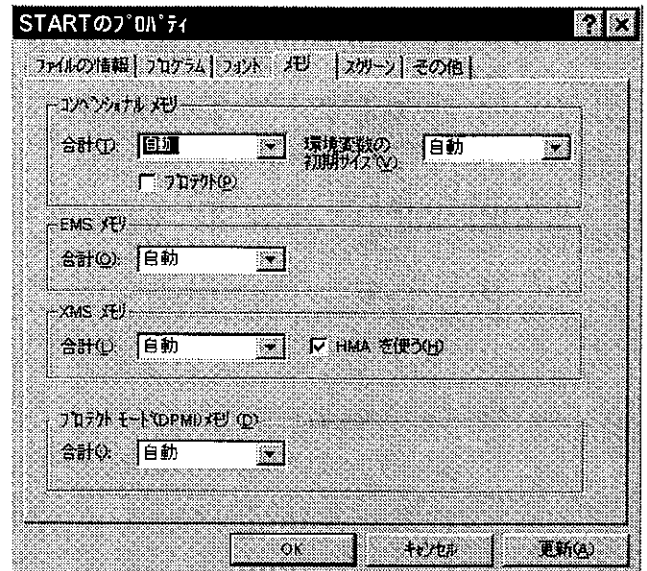
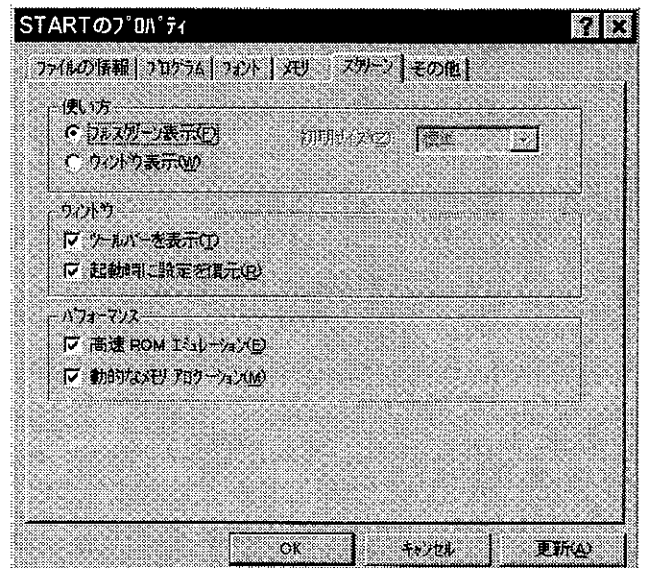
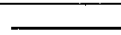
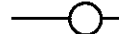
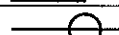
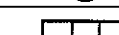
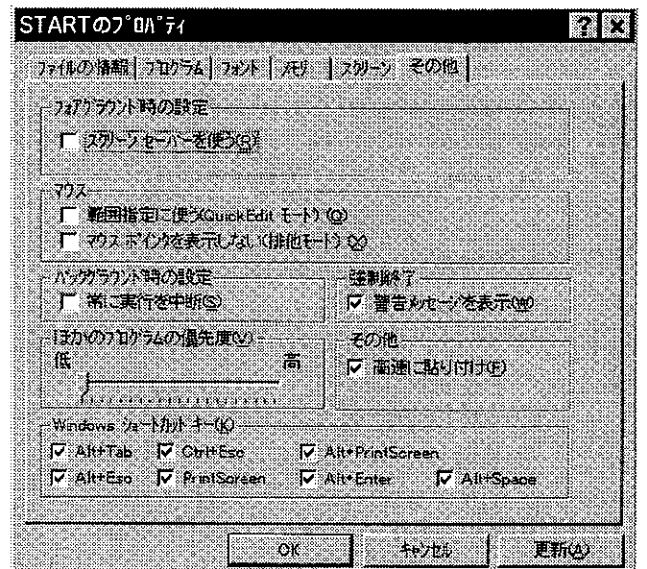
Windows 上の DOS モードから本ラダーソフトをご使用になる場合、下記設定を行う必要があります。
尚、本ラダーソフトのバージョンが Ver 5.6 以上のときに Windows の DOS モードで使用できます。
設定方法については、Windows のマニュアルをご参照ください。

〔1〕Windows3.1 で使用する場合

PIF エディタで、下記の様に設定してください。

「ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑのﾌｧｲﾙ名」　：　START.BAT
「起動時のﾃﾞｨﾚｸﾄﾘ」　：　C:¥JW52SP
　　（ｲﾝｽﾄｰﾙ先に合わせてください。）
「必要なﾒｲﾝﾒﾓﾘ」　：　475Kﾊﾞｲﾄ
「必要な EMSﾒﾓﾘ」　：　256Kﾊﾞｲﾄ
「実行形態」の項目の「他のﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを止めて実行」と「ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ終了時にｳｨﾝﾄﾞｳを閉じる」の2項目をﾁｪｯｸしてください。

「詳細設定」にて
「マルチタスクの設定」の項目の「ﾌｫｱｸﾞﾗｳﾝﾄﾞの優先度」を 10000 に設定してください。
「画面表示の設定」の項目の「ﾌﾙｽｸﾘｰﾝ表示」をﾁｪｯｸしてください。

〔2〕Windows95 で使用する場合

START.BAT のﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨを下記の様に設定してください。（ｴｸｽﾌﾟﾛｰﾗで START.BAT を選択した状態でマウスの右クリックを行うと、「ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ」の選択ができます。詳細は Windows のマニュアルを参照してください。）

「ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ」の項目の
「ｺﾏﾝﾄﾞﾗｲﾝ」と「作業ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘ」はｲﾝｽﾄｰﾙ先のﾄﾞﾗｲﾌﾞ/ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘに合わせてください。
「ﾊﾞｯﾁﾌｧｲﾙ」は必ず DOSIME としてください。
「実行時の大きさ」は最大化の状態としてください。
「ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ終了時にｳｨﾝﾄﾞｳを閉じる」をﾁｪｯｸしてください。

「ﾒﾓﾘ」の項目を
すべて自動に設定してください。

「ｽｸﾘｰﾝ」の項目の
「使い方」は「ﾌﾙｽｸﾘｰﾝ表示」にﾁｪｯｸしてください。
「ｳｨﾝﾄﾞｳ」「ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ」については必要に応じて
自由に設定してください。(右記は例)

「その他」の項目の
「ﾌｫｱｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ時の設定」で「ｽｸﾘｰﾝｾｰﾊﾞｰを使う」は
ﾁｪｯｸしないでください。(ｽｸﾘｰﾝｾｰﾊﾞｰを使わない)
「ほかのﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑの優先度」でほかのﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑの優
先度を低くする様に設定してください。
「ﾏｳｽ」「ﾊﾞｯｸｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ時の設定」「強制終了」「その
他」「Windowsｼｮｰﾄｶｯﾄｷｰ」については必要に応じ
て自由に設定してください。(右記は例)

4－2 キーラベルの貼り付け

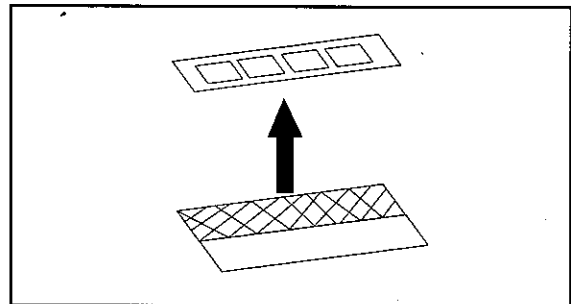
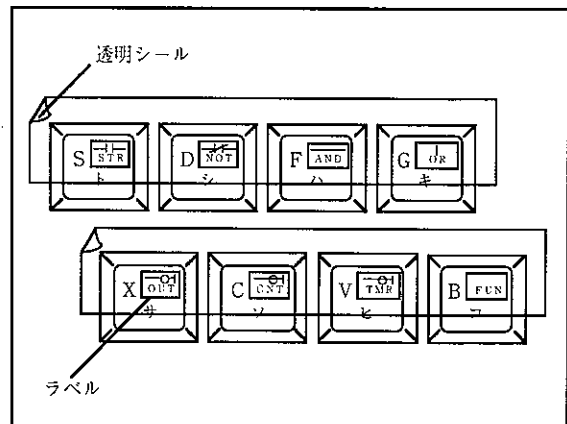
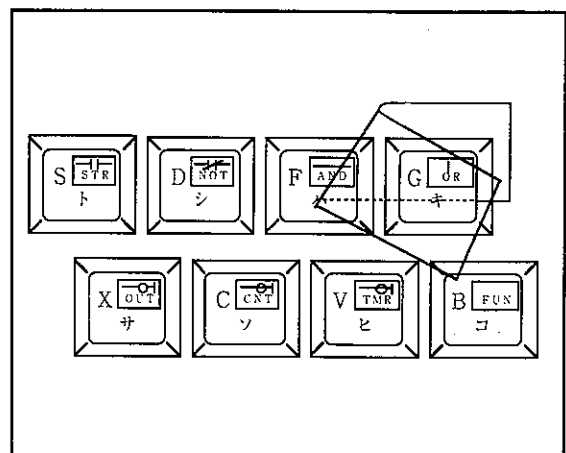
（1）付属のキーラベルを貼り付け、「本ソフト」での命令語入力をわかりやすくします。

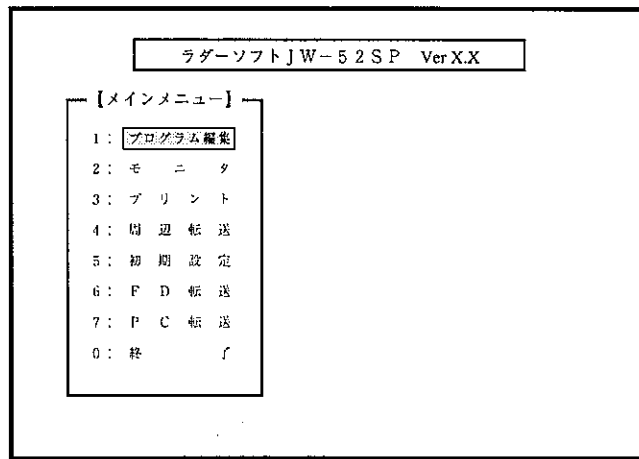
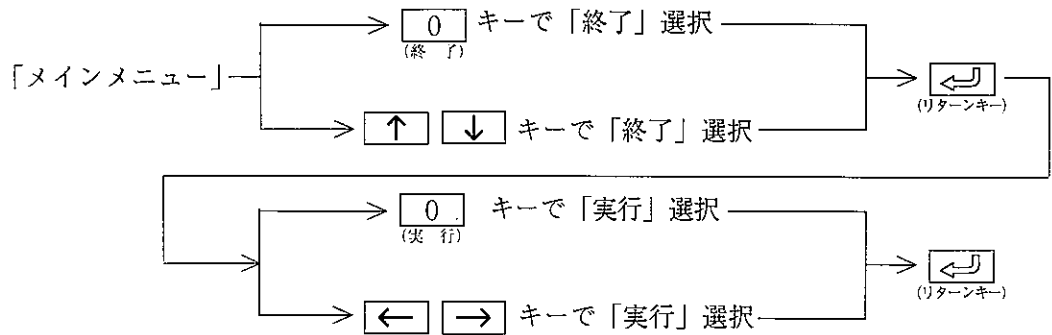
一般キー	本ソフトの機能
S ト	STR
D シ	NOT
F ハ	AND
G キ	OR

一般キー	本ソフトの機能
X サ	OUT
C ソ	CNT
V ヒ	TMR
B コ	FUN

（2）キーラベルの貼り付けかた

① 必要な列の透明シールをはがします。
ラベルも一緒にはがれます。

●シールを貼る前にキー表面の汚れを乾いた布などで拭きとってください。

② 透明シールの両端を持ち、キーの表面に位置を合わせ、貼り付けます。
親指の腹でラベルを押し付け、しっかりと固定します。

③ ゆっくりと透明シールをはがします。
ラベルだけがキーに残ります。

４－３ システムの立ち上げ

インストール後、「ＳＴＡＲＴ．ＢＡＴ」の実行コマンドを入力すると下図メインメニューを表示します。

・本ソフトを終了する場合の操作

・画面構成および各モードの操作方法は、第５章以降を参照してください。

第4章

4－4 各モードでの共通事項

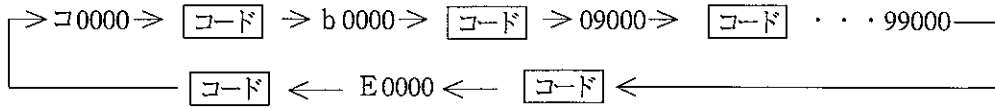
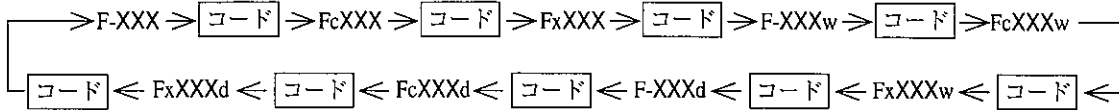
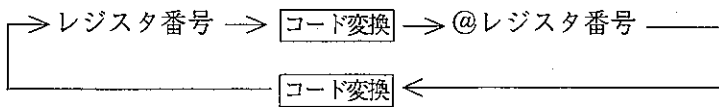
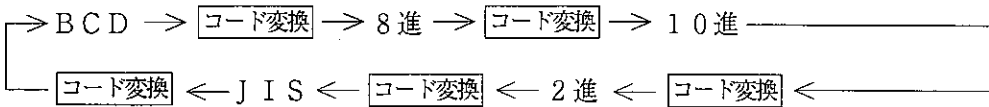
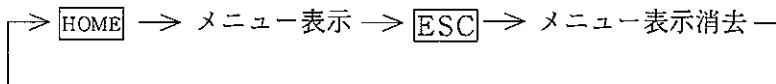
（1） ＪＷ－５２ＳＰ取扱説明書の操作画面で定義するファンクションキー［コード］、［コード変換］キーについて

・データメモリアドレス

応用命令

・レジスタ間接指定

・設定値

→ＢＣＤ →［コード変換］→ ８進 →［コード変換］→ １０進 →［コード変換］→ ２進 →［コード変換］→ ＪＩＳ →［コード変換］→（ＢＣＤへ戻る）

（2） サブメニュー画面表示方法

（3） メニューの選択方法

・数値キーを押す
　または、
・カーソル移動キーを押す
→ ［⏎］（リターンキー）

（4） 一つ前のメニュー画面表示に戻る方法

［ESC］ キーを押す

第４章

4－5 特 殊 機 能

キー操作	動作
SHIFT キーと ↓ キーを同時に押す	アドレス増加方向(1行単位)へ、カーソル自動スクロール (何か、キーを押すとストップ)
SHIFT キーと ↑ キーを同時に押す	アドレス減少方向(1行単位)へ、カーソル自動スクロール (何か、キーを押すとストップ)
SHIFT キーと → キーを同時に押す	アドレス増加方向(ステップ単位)へ、カーソル自動スクロール (何か、キーを押すとストップ)
SHIFT キーと ← キーを同時に押す	アドレス減少方向(ステップ単位)へ、カーソル自動スクロール (何か、キーを押すとストップ)
f・2 (クリア) キーを入力後 ↑ キーを押す	プログラムの書き込まれていない先頭アドレスへカーソル移動
ROLL UP キーを押す	アドレス増加方向(1行単位)へ、カーソル移動
ROLL DOWN キーを押す	アドレス減少方向(1行単位)へ、カーソル移動
R ス キーを押す	データメモリアドレスを「09000」に設定
] ム 」 キーを押す	データメモリアドレスを「コ0000」に設定
U ナ キーを押す	タイマ・カウンタのUP／DOWN切替
I ニ キーを押す	タイマ・カウンタのBCD／BIN切替
SHIFT キーと ⏎ キーを同時に押す	f・10 (書込)と同機能
SHIFT キーと END キーを同時に押す	メッセージ表示部にネットワーク情報を表示 (同じキー操作を行うと、機種表示に戻る)

第4章

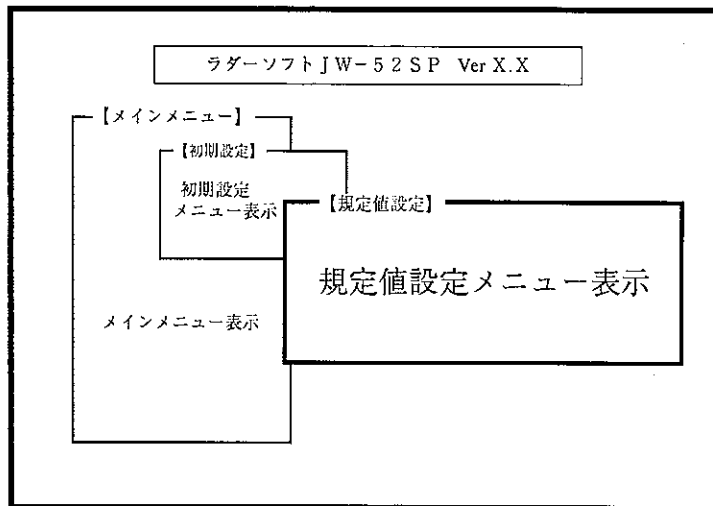
第 5 章　画　面　構　成

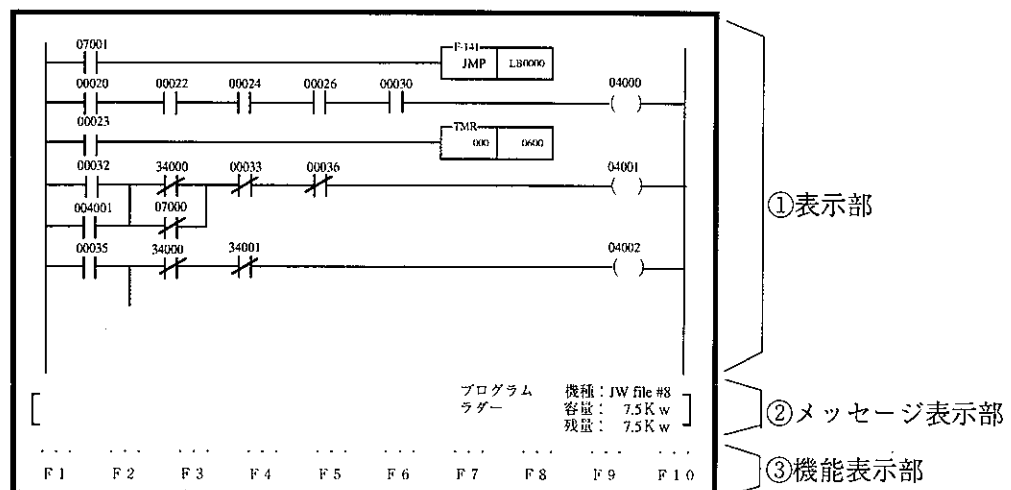
5－1 メニュー画面

・メニュー画面は、マルチウィンドウ表示です。

・各項目は、「数値キー」（各項目の左に表示している番号）または、カーソル移動キー（[↑][↓]）でカーソル移動後、[⏎] キーを押すと選択できます。

・[ESC] キーを押すと、ひとつ前のウィンドウに戻ります。

・太枠内のメニューが選択できる画面です。

・内容選択の場合は、「数値キー」（各項目の左に表示している番号）またはカーソル移動キー（[←][→]）でカーソル移動後、[⏎] キーを押すと選択できます。（選択内容を反転で表示します。）

5－2 操作画面

・表示部および機能表示部の内容は、選択項目により異なります。（上図は、「ラダープログラミング」を選択したときの表示例）

・[HOME] キーを押すと、機能表示部に表示していない「機能」をウィンドウ表示します。

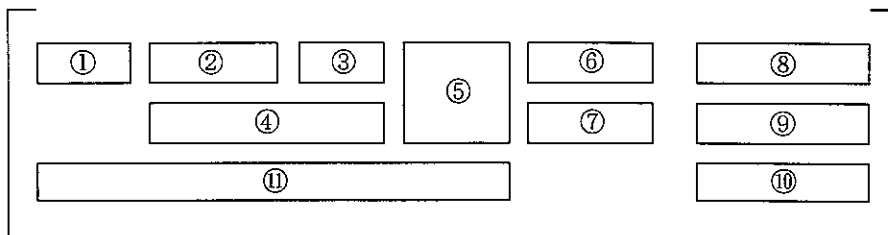
・機能表示部は、奇数番号が「反転表示」となります。（インストールした日本語変換プログラムによっては、反転表示がブリンクする場合があります。）

・[ESC] キーを押すと、ひとつ前の表示に戻ります。

第5章

①表　示　部

項　　目	内　　　　容
表　示　行　数	１９行
ラ ダ ー 図 表 示	・１１リレー接点＋１コイル×６リレーライン ・横方向に１１リレー接点を越えて入力すると左にシフト表示 （最大２５２接点まで入力（表示）可能） ・各リレー接点、コイル等に半角文字でアドレス（６桁）表示 または全角文字３文字（半角文字６文字）でシンボル表示
命令語、データメモリ等の表示	・「アドレス」「設定値」「シンボル・コメント」等のタイトル表示（１行） ・上記内容を１６行で表示

② メッセージ表示部（表示行数：3行）

番号	表　示　内　容	内　　　　容
①	プログラムアドレス	・ラダープログラミングのとき、「プログラムアドレス」「命令語」「シンボル」「コメント」を表示
②	命　　令　　語	
③	シ　ン　ボ　ル	
④	コ　メ　ン　ト	
⑤	表　示　単　位	・ＢＣＤ、バイナリ、バイト、ワード等表示単位を表示
⑥	選　択　モ　ー　ド	・「プログラム」「モニタ」等、選択されたモードを表示
⑦	選　択　機　能	・「機種設定」「メモリクリア」等、選択された機能を表示
⑧	Ｐ　Ｃ　機　種　名	・設定されたＰＣ機種名を表示
⑨	メ　モ　リ　容　量	・設定されたＰＣ機種のメモリ容量を表示
⑩	メ　モ　リ　残　量	・設定されているＰＣ機種のメモリ残量を表示 ・メモリ残量が２.５ｋｗ以上のときはシ０.１ｋｗ単位、 ２.５ｋｗ未満のときはワード単位で表示
⑪	メ　ッ　セ　ー　ジ	・エラーメッセージ、操作内容等を表示

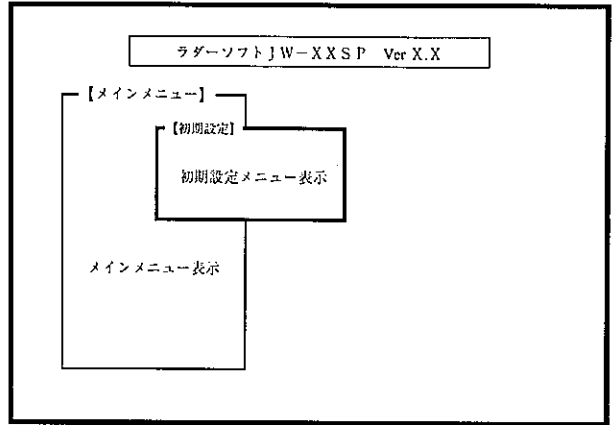
③ 機能表示部（表示行数：2行）

・ファンクションキー番号（ [f・1] ～ [f・10] ）と機能名を表示します。

・ファンクションキー番号は、奇数番号が反転表示となりますが、インストールした日本語変換プログラムによっては、ブリンクする場合があります。

第6章　初期設定

通信設定およびユーザーディスクへの自動書き込み等を設定するモードです。

キー操作　　画面表示

機　能

名　称	機　能	参照ページ
規定値設定	FD自動書込等の設定	6・2
通信設定	通信モードの設定	6・4
FD転送	FDへの書込・読出・照合等の操作	11・1
PC転送	PCへの書込・読出・照合等の操作	12・1

第6章

留意点

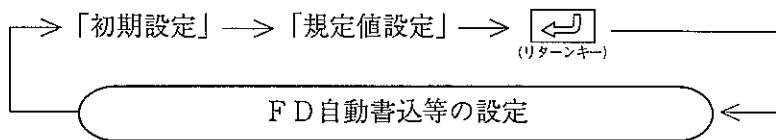
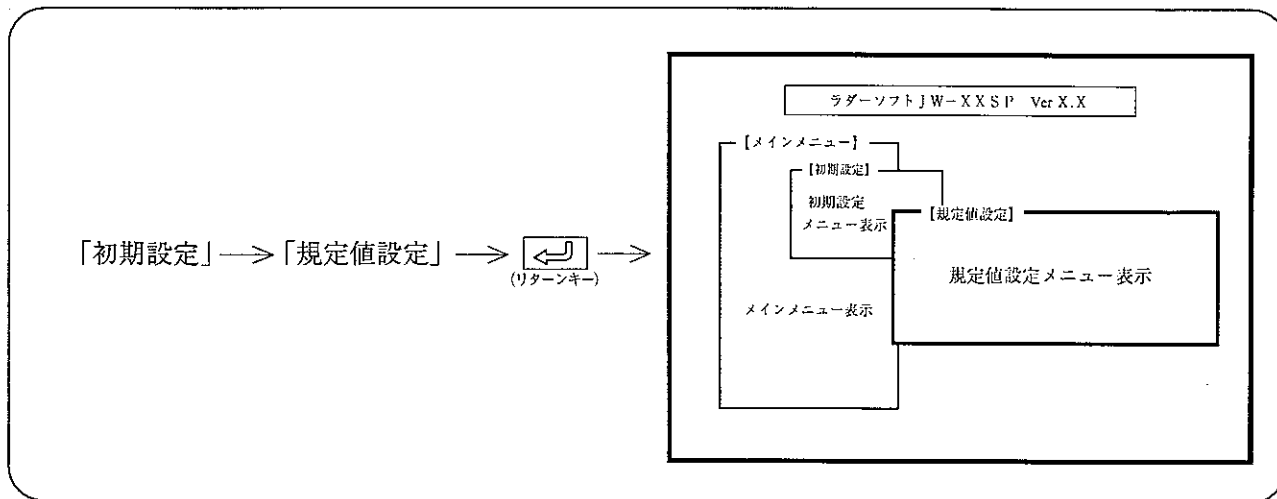
- ESC キーを押すと、「メインメニュー」表示に戻ります。
- 一度初期設定を行うと、設定内容はハードディスクに保存しますので、立ち上げ毎に再設定する必要はありません。
- 各メニューは数値キーまたは、カーソル移動キーで選択できます。

6－1 規 定 値 設 定

ユーザードライブ、ＦＤ自動書込等を設定します。

操作概要

操作手順

第6章

操 作 例

（1） ＦＤ自動書込

作成・変更したプログラム、パラメータメモリ等をユーザーディスクへ自動的に書き込むか、否かをカーソル移動キー（ ← → ）で選択します。

ユーザドライブ／ディレクトリの指定はFD転送メニュー内で行ってください。

（2） プログラム表示領域

・ＰＣ機種が「JW50/70/100、JW50H/70H/100H」で、システムメモリ＃０２０４の設定値が２０４～２０７(8)のとき、又は、JW33H2/H3のとき、プログラムメモリとして使用するファイル番号を選択します。

・ファイル番号８（＃８）、９（＃９）はともに、メモリ空間が６４Ｋバイトあり、プログラムメモリに使用すると、３１.５Ｋwとなります。

・～31.5Kw（＃８）を使用すると、プログラムアドレスは「００００００」～「７６７７７」となります。

・31.5～63.0Kw（＃９）を使用すると、プログラムアドレスは「１０００００」～「１７６７７７」となります。

・「プログラム表示領域」を選択後、カーソル移動キー（ ← → ）で選択します。

・モニタ中は、「SHIFT」＋ f・1 キーで＃８、＃９を切り替えることができます。

（3） メモリ容量設定

・ＰＣ機種が「JW10、JW22」のとき、プログラム容量を選択します。

・「メモリ容量」を選択後、カーソル移動キー（ ← → ）で選択します。

（4）タイムアウト時間

・「タイムアウト時間」を選択後、数値キーで時間を設定します。

・タイムアウト時間は、ＰＣ転送タイムアウトの時間とプリンタ紙切れ検出時間の設定です。プリンタ紙切れ検出時間は、約（タイムアウト時間＋15秒）となります。

（5）シンボル・コメントの読出し

・「ＦＤ転送」でコメントメモリを読み出す場合の、シンボル・コメントの「クリア後の読み出し」または「追加・上書」を選択します。「追加・上書」を選択すると、ユーザーディスクのシンボル・コメントを読み出して追加します。
「クリア後」を選択すると、パソコンのコメントメモリ内容は全てクリアされ、ユーザーディスクのシンボル・コメントを読み出します。

・「シンボル・コメントの読出し」を選択後、カーソル移動キーで選択します。

（6）カラー表示

・表示のカラーまたはモノクロをカーソル移動キー（［←］［→］）で選択します。

（7）応用命令の入力（本ソフトのVer 5.3より対応）

・プログラム作成の応用命令の入力方法および表示／プリント方法を選択します。

・「F番号」を選択すると、応用命令の入力はF番号で入力できます。また、プリントでは ―［F-000 XFER｜09000｜09200］のようにプリントします。

・「コメント」を選択すると応用命令の入力は名称で入力できます。また、プリントでは「F番号」と同様にプリントします。

・「コメント（番号表示なし）」を選択すると、応用命令の入力は名称で入力できます、このとき画面上にはF番号を表示しません。また、プリントでもF番号をプリントしません。
（―［XFER｜09000｜09200］）

・応用命令の名称入力に使用する名称は、自由に設定できます。設定は市販のエディタを使用して、FUN.TXTファイルを作成してください。なお、作成は下記条件を満たしてください。

ファイル名）fun. txt
構成）

```
F000 : XFER, MOV ↵
F001 : BCD , TRAN ↵
  ・     ・
  ・     ・
F999 : YYYY, XXXX ↵
```

1. 応用命令番号はF記号と3桁の数字で入力してください。
2. 応用命令と名称の区切りは「:」で区切ってください。
3. 1つの応用命令につき複数の名称を設定できますが、表示および印字のときは左端の名称が表示／印字されます。各名称間は「,」で区切ってください。
4. 各応用命令番号の区切りは改行キーにて区切ります。
5. 名称は英数半角4文字とし、4文字以内のときはスペースを挿入してください。
5文字以上に設定された場合は前半の4文字が有効となります。
6. 異なるF番号で同一名称が設定されている場合は、F番号の小さい方が有効となります。

（8）リレー点数拡張（本ソフトのVer 5.5より対応）

・PC機種がJW50H/70H/100Hのとき、リレー点数を20000～57777まで拡張できます。

・カーソル移動キーで「する」「しない」を選択します。

リレー拡張を「する」を選択をすると、ファイルレジスタ1および2の先頭1Kバイト(ファイルアドレス000000～001777)をリレー領域20000～57777(拡張リレー領域)に使用することができます。拡張リレー領域の命令はすべて2語命令分の容量が必要となります。拡張リレーの点数は16384点となります。

拡張リレー領域を使用する場合は、下記の点に注意して下さい。

①バイトアドレスとの関連

拡張リレー領域は、ファイル1および2の先頭から1Kバイト使用します。

バイトアドレスとの対応は次の通りです。

リレー番号	ファイル0	リレー番号	ファイル1	リレー番号	ファイル2
00000	コ0000	20000	1-000000	40000	2-000000
15777	コ1577	37777	1-001777	57777	2-001777
			1-177777		2-177777

②命令処理時間

拡張リレーの命令処理時間は下記の通りになります。

命令語			処理時間
拡張リレー	STR	20000～57777	約0．7μS
	STR NOT	〃	〃
	AND	〃	〃
	AND NOT	〃	〃
	OR	〃	〃
	OR NOT	〃	〃
	OUT	〃	約0．95μS

③拡張リレー領域のクリア

拡張リレー領域のメモリクリアは、ファイル1および2のクリアで行って下さい。

④40000～57777の拡張リレー領域

40000～57777の拡張リレー領域は、メモリモジュールＪＷ－３ＭＡＨ／４ＭＡＨのときに使用可能です。

⑤応用命令での拡張リレーの使用

F-32(SET)/33(RST)/260(RTMR)/261(RCNT)などの命令で拡張リレー領域は使用できません。

⑥ハンディプログラマでの表示

ハンディプログラマＪＷ－１３ＰＧなどでは拡張リレーの部分が正常に表示されません。(拡張リレー使用時は必ずラダーソフトを使用してください。)

⑦サンプリングトレース

サンプリングトレースで、トレースデータおよびトリガ条件に拡張リレーは使用できません。

⑧強制セット／リセット

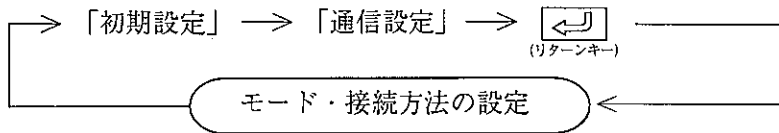
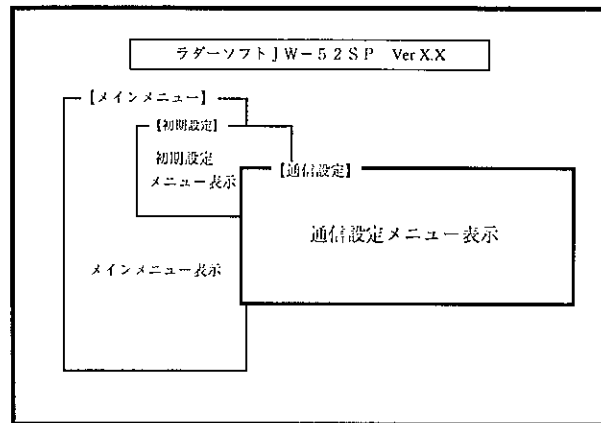
拡張リレー領域の強制セット／リセットはできません。

⑨ブレーク

拡張リレーのブレークの設定はできません。

6－2 通　信　設　定

メモリ内容の更新方法（モード）、接続方法等を設定します。

操作概要

操作手順

名　　称	機　　能
モ　　ー　　ド	パソコンのメモリ内容のみ変更または、ＰＣ本体のメモリ内容も変更かを選択
ＰＣ本体と接続	ＰＣ本体に直接接続して使用
ネットワーク接続	ネットワークユニットまたはME－NETユニットに接続し、他局のＰＣを操作
コンピュータ接続	コンピュータリンクを経由し、ＰＣを操作
リ モ ー ト 接 続	リモートI／O子局ユニットに接続し、親局を操作
ネットワーク直結	ネットワークモジュールを経由し、ＰＣを操作

操　作　例

（１）モード設定

カーソル移動キー（←　→）で選択します。

５２ＳＰ	パソコンのメモリ内容のみ変更
５２ＳＰ＋ＰＣ	パソコンのメモリ内容＋ＰＣのメモリ内容を同時変更

・モニタ中は、設定内容に関係なくＰＣ本体のメモリ内容も同時変更します。

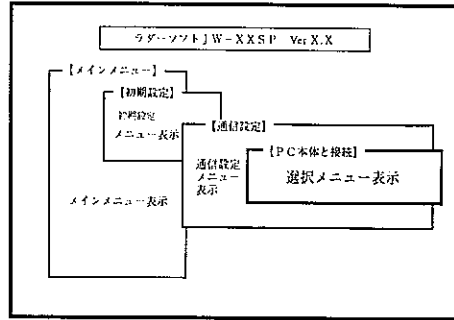
（注）JW10の場合、基本ユニットのVer 2.1以上、JW-52SPのVer 5.3以上でモニタ中にＰＣ本体のメモリ内容を同時変更できます。
JW10でモニタ中にＰＣ本体のメモリ内容を変更すると、１スキャンだけスキャンタイムが数百ms伸びます。ただし、ＰＣは停止しません。

・５２ＳＰ＋ＰＣに設定すると、ＰＣ動作中にＦＤ転送の読出を実行できません。

（2）接続方法

ＰＣ本体と接続、ネットワーク接続等の接続方法を選択します。

① ＰＣ本体と接続

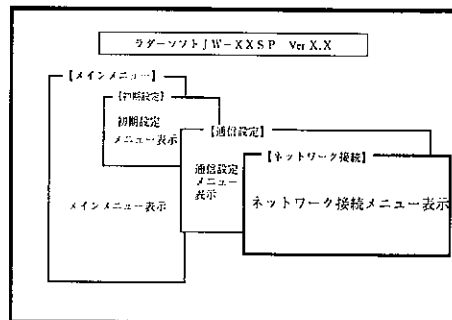
パソコンとＰＣのコントロールユニット間を、変換器（付属品）と接続ケーブルを使用して接続し、ＰＣを操作する方法です。（ＪＷ－５０ＰＧの場合、変換器は不要です。）

「実行」を選択し、 （リターンキー）を押すと「ＰＣ本体と接続」となり、通信設定メニュー表示に戻ります。

機種がJW30Hのとき、通信ボーレートの設定ができます。「標準(19.2kbps)」または、「高速(115.2kbps)」のどちらかをカーソル移動キーで選択して下さい。

高速で通信可能な組合せは、PC本体がJW-31CUH1/32CUH1/33CUH1/33CUH2/33CUH3でパソコンが115.2kbps対応の場合に限ります。

パソコンが115.2kbpsに対応していない場合は、「高速(115.2kbps)」を選択すると19.2kbpsで通信します。

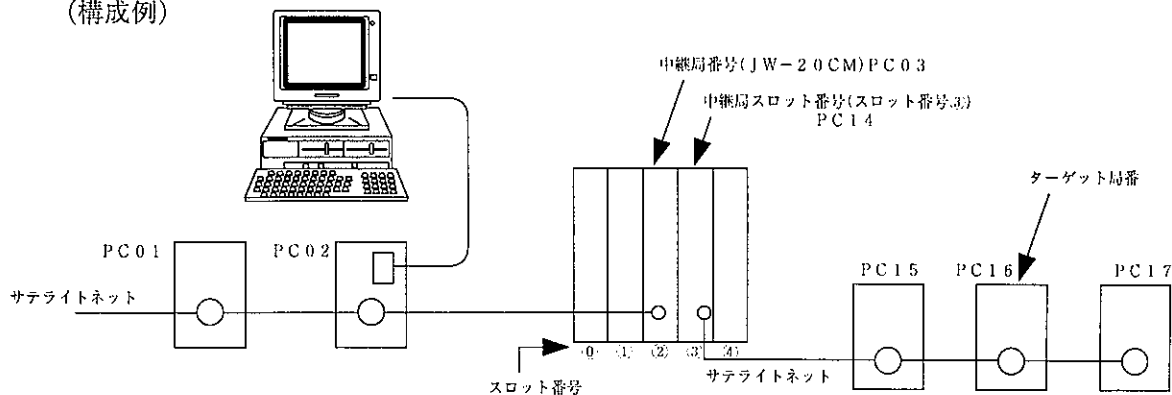
② ネットワーク接続

パソコンをネットワークユニットまたはＭＥ－ＮＥＴユニットに接続し、サテライトネット／ＭＥ－ＮＥＴ／ＳＵＭＩＮＥＴ－３２００に接続されている他局のＰＣを操作する方法です。

・ネットワーク構成

「標準」： サテライトネット／ＭＥ－ＮＥＴ／ＳＵＭＩＮＥＴ－３２００で接続されている局または、他局のＰＣを操作します。

「拡張」： サテライトネット／ＭＥ－ＮＥＴ／ＳＵＭＩＮＥＴ－３２００で接続されている任意の局を中継し、中継局よりサテライトネット／ＭＥ－ＮＥＴ／ＳＵＭＩＮＥＴ－３２００で接続されている他局のＰＣを操作します。

「ネットワーク構成」を選択後、数値キーまたは、カーソル移動キー（← →）で選択します。

（構成例）

・ターゲット局番号

　ＰＣの操作を行うターゲット局番号を設定します。

　「ターゲット局番」を選択後、数値キーより００～７７(8)で設定します。

・中継局番号

　「拡張」ネットワーク接続のとき、中継局番号を設定します。

　「標準」ネットワーク接続のときは、設定不要です。

　「中継局番号」を選択後、数値キーより００～７７(8)で設定します。

・中継局ラック番号

　「拡張」ネットワーク接続のとき、中継局のラック番号を設定します。

　中継局ラック番号は、「０」（初期値）に設定してください。

　「標準」ネットワーク接続のときは、設定不要です。

・中継局スロット番号

　「拡張」ネットワーク接続のとき、中継局のスロット番号を設定します。

　「標準」ネットワーク接続のときは、設定不要です。

　「中継局スロット番号」を選択後、英数キーより０～Ｆで設定します。

・中継局機種設定

　「拡張」ネットワーク接続のとき、中継局ユニットの機種名（サテライトネット／ＳＵＭＩＮＥＴ／ＭＥ－ＮＥＴ）を選択します。

　「標準」ネットワーク接続のときは、設定不要です。

　「中継局機種」を選択後、数値キーまたは、カーソル移動キー（[←] [→]）で選択します。

・ターゲット局機種設定

　ＰＣの操作を行うターゲット局ユニットの機種名（サテライトネット／ＳＵＭＩＮＥＴ／ＭＥ－ＮＥＴ）を選択します。

　「ターゲット局機種」を選択後、数値キーまたは、カーソル移動キー（[←] [→]）で選択します。

上記内容を設定後、[↵]（リターンキー）を押し、「実行」を選択すると、「ネットワーク接続」となり、初期設定メニューに戻ります。

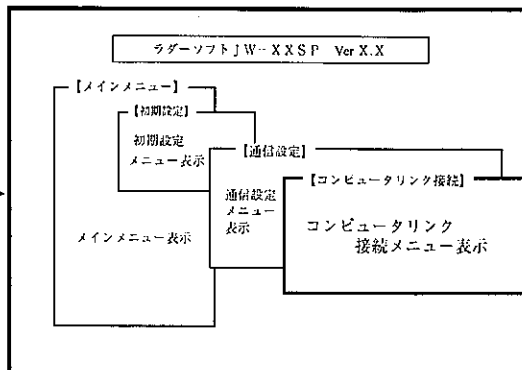
留 意 点

ネットワーク接続にて通信時、タイムアウトとなる場合は、タイムアウト時間(6・3ページ参照)を延ばしてください。

③ コンピュータ接続

パソコンをＲＳ－２３２Ｃ／４２２変換器（Ｚ－１０１ＨＥ）とリンクユニットまたは、コミュニケーションポートを経由して接続し、ＰＣを操作する方法です。

〈キー操作〉

「通信設定」→「コンピュータリンク接続」→ [⏎]（リターンキー）→

・伝送速度

伝送速度を選択します。

「伝送速度」を選択後、数値キー（[1]）または、カーソル移動キー（[←] [→]）で３００・６００・１２００・２４００・４８００・９６００・１９２００・３８４００・５７６００・１１５２００ｂｐｓより選択します。(リンクユニット、コミュニケーションポートの種類により選択できる速度が異なります。)

・データ長

データ長を選択します。「データ長」を選択後、数値キー（[2]）または、カーソル移動キー（[←] [→]）で選択します。

・パリティ

パリティビットを選択します。「パリティ」を選択後、数値キー（[3]）または、カーソル移動キー（[←] [→]）で選択します。

・ストップビット

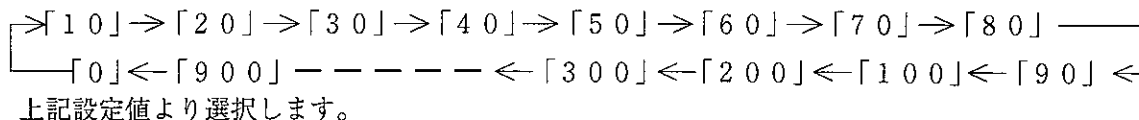
ストップビットを選択します。「ストップビット」を選択後、数値キー（[4]）または、カーソル移動キー（[←] [→]）で選択します。

・応答時間

応答時間を選択します。

「応答時間」を選択後、数値キー（[5]）または、カーソル移動キー（[←] [→]）押すと、設定値が下記の様に変化します。

→「１０」→「２０」→「３０」→「４０」→「５０」→「６０」→「７０」→「８０」→
←「０」←「９００」――――――←「３００」←「２００」←「１００」←「９０」←

上記設定値より選択します。

・局番号

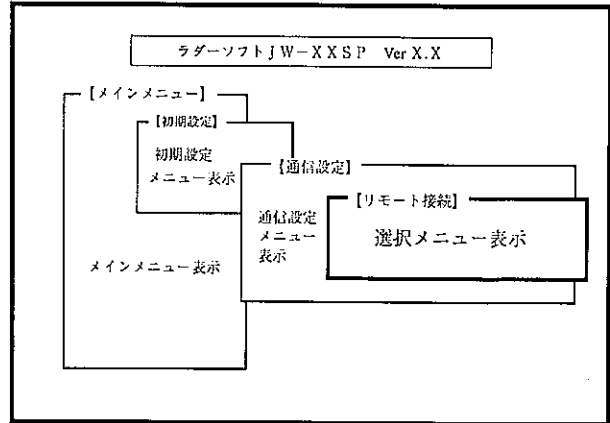
「局番号」を選択後、数値キーで、局番００～３７(8)を設定します。

上記内容を設定後、[⏎]（リターンキー）を押し、「実行」を選択すると、「コンピュータリンク接続」となり、初期設定メニューに戻ります。

なお、接続ケーブルは、「ＲＳ－２３２Ｃ／４２２変換器」の取扱説明書を参照して作成してください。

④ リモート接続

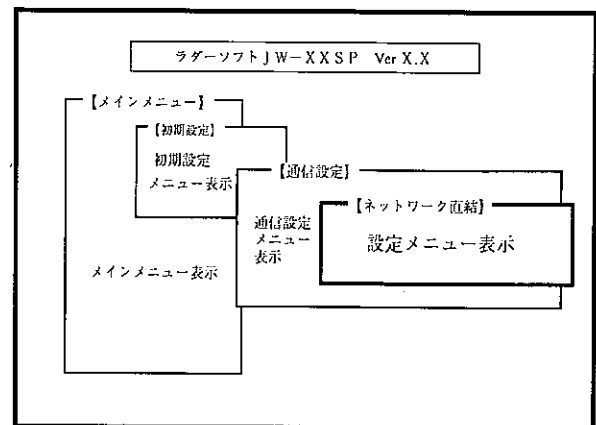
パソコンをリモートＩ／Ｏ子局ユニットに接続し、サテライトネットで接続されている親局ＰＣを操作する方法です。

〈キー操作〉

「実行」を選択し、［↵］（リターンキー）を押すと、「リモート接続」となり、初期設定メニューに戻ります。

・「リモート接続」のとき、操作できるのはサテライトネット接続されている子局から親局のみです。親局から子局、子局から子局の操作はできません。

⑤ ネットワーク直結

ネットワークモジュール(ZW-20AX)を使用し、サテライトネットで接続されている他局のＰＣを操作する方法です。

〈キー操作〉

・ターゲット局番

ＰＣの操作を行うターゲット局番号を設定します。

数値キーより、００～７７(8)で設定します。

ターゲット局番を設定後、［↵］（リターンキー）を押し、「実行」を選択すると、初期設定メニューに戻ります。

（3）接続先による機能対応

JW-52SPの接続先による各機能対応を下表に示します。

項　目(参照ページ)	本体接続	ﾈｯﾄﾜｰｸ接続 ﾘﾓｰﾄ接続	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾘﾝｸ	ﾈｯﾄﾜｰｸ直結	対応機種
検　索(8･5)	○	○	○	○	全機種
設定値／定数変更(8･8)	○	○	○	○	〃
セット／リセット(8･9)	○	○	○	×	〃
表示保持(8･10)	○	○	○	○	〃
表示切替(8･11)	○	○	○	○	〃
スキャンタイム表示(8･12)	○	○	○	○	〃
Ｎスキャン運転(8･13)	○	×	×	×	JWシリーズ(JW10を除く)
ブレークモニタ(8･14)	○	×	×	×	W10とW16/51を除く機種
トリガモニタ(8･15)	○	○	○	○	全機種
エラーモニタ(8･16)	○	○	○	○	〃
ＰＣ運転／停止(8･17)	○	○	○	○	〃
強制ＯＮ／ＯＦＦ(8･18)	○	×	×	×	JWシリーズ(JW10を除く)
アドレス指定ブレーク(8･19)	○	×	×	×	JWシリーズ(JW10を除く)
ＥＮＤ命令ブレーク(8･19)	○	×	×	×	JWシリーズ(JW10を除く)
レジスタブレーク(8･19)	○	×	×	×	JW50/70/100、JW50H/70H/100H
回路編集［ＲＵＮ中］(8･28)	○	×	×	×	全機種
回路編集［停止中］(8･28)	○	○	△1	○	〃
命令語モニタ(8･32)	○	○	○	○	〃
システムメモリモニタ(8･27)	○	○	○	○	〃
任意ラダーモニタ(8･25)	○	○	○	○	〃
多点モニタ(8･23)	○	○	○	○	〃
Ｉ／Ｏサーチ(8･30)	○	○	×	○	JW50/70/100、JW50H/70H/100H
ＡＣＴ検索(8･31)	○	○	○	○	JW21/22
サンプリングトレース(8･35)	○	×	×	×	JWシリーズ(JW10を除く)
EEP(ﾌﾗｯｼｭ)ROM書込／読出(12･16)	○	○	△2	△2	JWシリーズ
ＣＵメモリクリア(12･17)	○	○	△2	△2	全機種
時刻表示(12･12)	○	○	×	×	JW50/70/100、JW50H/70H/100H JW22、JW32H/H1、JW33H/H1/H2/H3
Ｉ/Ｏﾃｰﾌﾞﾙ作成／読出(12･17)	○	○	△2	△2	JW21/22、JW30H
PCよりPROMﾗｲﾀへの転送(12･17)	○	○	×	×	JW22
シークレット機能(12･17)	○	○	○	○	JW10、JW30H

△1・・・コンピュータリンクの挿入／削除は不可です。

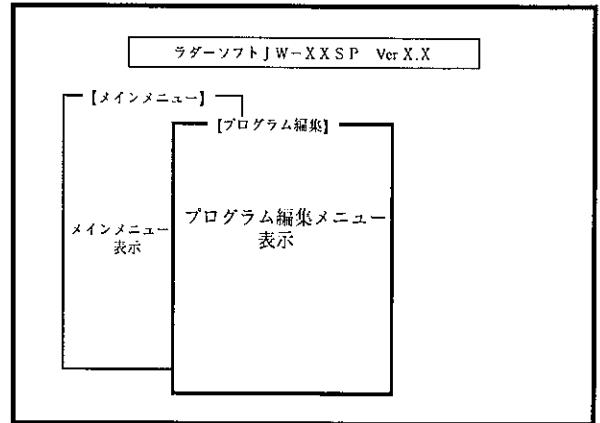
△2・・・機種がJW30Hのときのみ可能です。

第7章　プログラム編集

機種設定／変更、プログラミング、メモリクリア、データメモリ設定、システムメモリ設定、プログラムチェック等を行うモードです。

キー操作

「メインメニュー」→「プログラム編集」→ ⏎ (リターンキー) →

画面表示

機　能

名　称	機　能	参照ページ
機種設定	・W10、W16、W51、W70H、W100H、JW21、JW22、JW50/70/100、JW50H/70H/100H、JW31H/H1、JW32H/H1、JW33H/H1、JW33H2/H3、JW10の機種設定	7･2
シンボルコメント設定	・リレー、タイマ、カウンタ等にシンボル・コメントを登録	7･5
ラダープログラミング	・ラダー図によるプログラムの作成・変更・削除等	7･9
命令語プログラミング	・命令語によるプログラムの作成・変更・削除等	7･44
メモリクリア	・データメモリ、プログラムメモリ等のクリア	7･64
データメモリ設定	・データメモリの設定、変更	7･66
システムメモリ設定	・システムメモリの設定、変更	7･68
プログラムチェック	・作成したプログラムをチェック	7･72
ライブラリ作成	・シンボルによるラダー図の作成・変更・削除等	7･75
FD転送	・ＦＤに対する操作	11･1
PC転送	・ＰＣに対する操作	12･1
本体パラメータ設定	・CU本体に設定する特殊ユニット、オプションユニットのパラメータ設定	7･77

留意点

・各メニューの選択は、数値キーまたは、カーソル移動キー（↑ ↓）で行います。
・ESC キーを押すと、「メインメニュー」に戻ります。
・プログラム作成／修正後は、必ず「プログラムチェック」を行ってください。
・作成／修正した「プログラム」は必ず「ＦＤ転送」でユーザーディスクに保存してください。

7－1 機　種　設　定

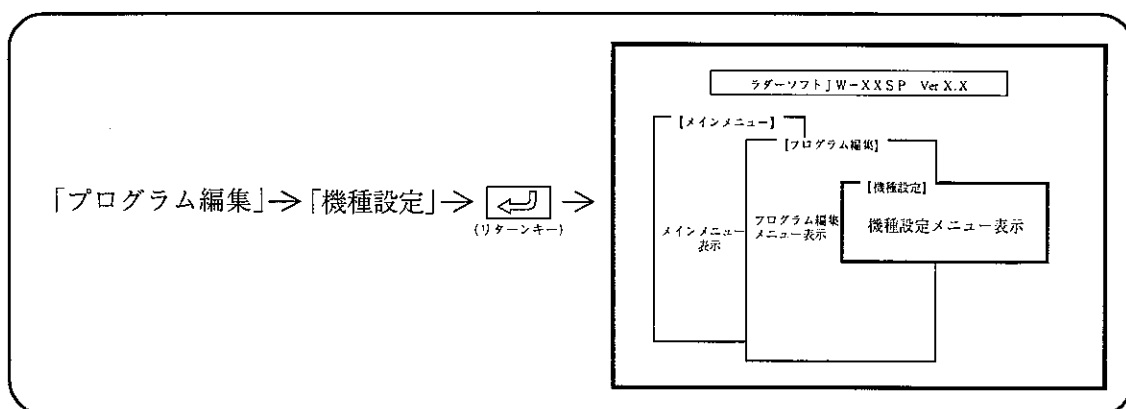
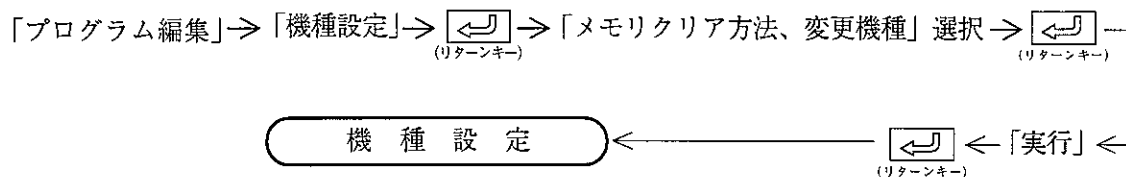
プログラム作成、ＰＣ本体よりプログラム読み出し等を行う前にパソコンのＰＣ機種を設定するモードです。

機種設定の方法は、２通りあります。

①メモリクリアして機種設定

②メモリクリアせず機種設定

操作概要

「プログラム編集」→「機種設定」→ [⏎]（リターンキー） →「メモリクリア方法、変更機種」選択 → [⏎]（リターンキー） →「実行」→ [⏎]（リターンキー） → 機種設定

操作例

（１）メモリクリア

・「メモリクリア」を選択後、数値キーまたは、カーソル移動キー（ [←] [→] ）で選択します。

・パソコンのＰＣ機種を変更するとき、メモリ内容をクリアするか、否かを選択します。

（２）変更機種

「変更機種」を選択後、数値キーまたは、カーソル移動キー（ [←] [→] ）で選択します。

（３）機種設定

「メモリクリア」、「変更機種」設定後、 [⏎]（リターンキー）を押します。

留意点

・J-board(Z-311J/312J)は、JW22の設定で使用できます。

第7章

・メモリクリアして機種変更した場合のメモリ内容

メモリの種類	内容
プログラムメモリ	クリア（NOP）、最終アドレスにF-40(END)を書き込む
システムメモリ	クリア（設定したＰＣ機種の初期値）
データメモリ	クリア（００）
ファイルメモリ	クリア（００）
コメントメモリ	クリア
パラメータメモリ	クリア（００）

・メモリクリアせずに機種変更した場合のメモリ内容

① 変更前の機種：Ｗ１０

メモリの種類	W16/51 W100	W70H /100H	JW50/70 /100	JW50H/70H /100H	JW30H	JW21/22	JW10
プログラムメモリ	保持	保持	保持	保持	保持	保持	保持
システムメモリ	初期値	初期値	初期値	初期値	初期値	初期値	初期値
データメモリ	保持	保持	保持	保持	保持	保持	保持
ファイルメモリ	保持	保持	保持	保持	保持	—	—
コメントメモリ	保持	保持	保持	保持	保持	保持	保持
パラメータメモリ	—	—	—	—	00 ｸﾘｱ	00 ｸﾘｱ	—

② 変更前の機種：Ｗ１６／５１

メモリの種類	Ｗ１０	W100 W70H/100H	JW50/70 /100	JW50H/ 70H/100H	JW30H	JW21/22	JW10
プログラムメモリ	—	保持	保持	保持	保持	保持	保持
システムメモリ	—	初期値	初期値	初期値	初期値	初期値	初期値
データメモリ	—	保持	保持	保持	保持	保持	保持
ファイルメモリ	—	保持	保持	保持	保持	—	—
コメントメモリ	—	保持	保持	保持	保持	保持	保持
パラメータメモリ	—	—	—	—	00 ｸﾘｱ	00 ｸﾘｱ	—

③ 変更前の機種：Ｗ１００

メモリの種類	W10 W16/51	W70H /100H	JW50/70 /100	JW50H /70H/100H	JW30H	JW21/22	JW10
プログラムメモリ	—	保持	保持	保持	保持	保持	保持
システムメモリ	—	初期値	初期値	初期値	初期値	初期値	初期値
データメモリ	—	保持	保持	保持	保持	保持	保持
ファイルメモリ	—	保持	保持	保持	保持	—	—
コメントメモリ	—	保持	保持	保持	保持	保持	保持
パラメータメモリ	—	—	—	—	00 ｸﾘｱ	00 ｸﾘｱ	—

④ 変更前の機種：Ｗ７０Ｈ／１００Ｈ

メモリの種類	W10 W16/51	W100	JW50/70 /100	JW50H/ 70H/100H	JW30H	JW21/22	JW10
プログラムメモリ	—	保持	保持	保持	保持	保持	保持
システムメモリ	—	初期値	初期値	初期値	初期値	初期値	初期値
データメモリ	—	保持	保持	保持	保持	保持	保持
ファイルメモリ	—	保持	保持	保持	保持	—	—
コメントメモリ	—	保持	保持	保持	保持	保持	保持
パラメータメモリ	—	—	—	—	00 ｸﾘｱ	00 ｸﾘｱ	—

⑤ 変更前の機種：ＪＷ５０／７０／１００（またはＪＷ５０Ｈ／７０Ｈ／１００Ｈ）

メモリの種類	W10/16/51 /100/70H/100H	JW50H/70H/100H (またはJW50/70/100)	JW21/22	JW30H	JW10
プログラムメモリ	—	保持	保持	保持	保持
システムメモリ	—	初期値	初期値	初期値	初期値
データメモリ	—	保持	保持	保持	保持
ファイルメモリ	—	保持	—	保持	—
コメントメモリ	—	保持	保持	保持	保持
パラメータメモリ	—	—	00 ｸﾘｱ	00 ｸﾘｱ	—

⑥ 変更前の機種：ＪＷ２１（またはＪＷ２２）

メモリの種類	W10/16/51 /100/70H/100H	JW50/70 /100	JW50H/70H /100H	JW22 (またはJW21)	JW30H	JW10
プログラムメモリ	—	保持	保持	保持	保持	保持
システムメモリ	—	初期値	初期値	初期値	初期値	初期値
データメモリ	—	保持	保持	保持	保持	保持
ファイルメモリ	—	00 ｸﾘｱ	00 ｸﾘｱ	—	00 ｸﾘｱ	—
コメントメモリ	—	保持	保持	保持	保持	保持
パラメータメモリ	—	—	—	保持	保持	—

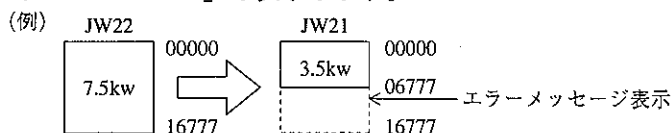
⑦ 変更前の機種：ＪＷ３０Ｈ

メモリの種類	W10/16/51 /100/70H/100H	JW50/70 /100	JW50H /70H/100H	JW21/22	JW30H	JW10
プログラムメモリ	—	保持	保持	保持	保持	保持
システムメモリ	—	初期値	初期値	初期値	初期値	初期値
データメモリ	—	保持	保持	保持	保持	保持
ファイルメモリ	—	保持	保持	—	保持	—
コメントメモリ	—	保持	保持	保持	保持	保持
パラメータメモリ	—	—	—	保持	保持	

⑧ 変更前の機種：ＪＷ１０

メモリの種類	W10/16/51 /100/70H/100H	JW50/70 /100	JW50H /70H/100H	JW21/22	JW30H
プログラムメモリ	—	保持	保持	保持	保持
システムメモリ	—	初期値	初期値	初期値	初期値
データメモリ	—	保持	保持	保持	保持
ファイルメモリ	—	00クリア	00クリア	—	00クリア
コメントメモリ	—	保持	保持	保持	保持
パラメータメモリ	—	—	—	00クリア	00クリア

留意点

・変更前のプログラム容量が、変更後の容量より大きいときは、先頭より変更の容量分を変換し、「エラーメッセージ」を表示します。

・変更できない命令が存在する場合、その一覧を表示します。
・JW50/70/100、JW50H/70H/100Hのプログラム上のファイル4～FをJW33H2/H3に機種変更するとファイル10～1Bに変換されます。

第7章

7－2 シンボル・コメント設定

リレー、データメモリ、F－90、およびJW21／22のプロセス、ステップにシンボル・コメントを登録します。

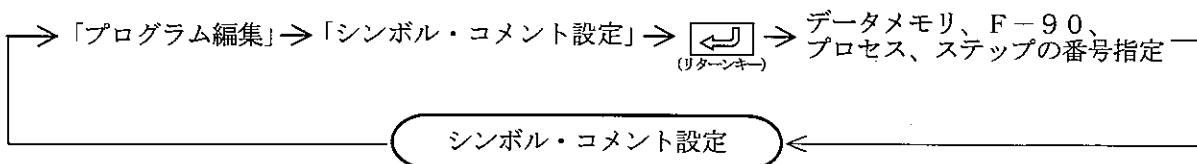
・シンボルは全角文字で８文字（半角文字で１６文字）まで、コメントは全角文字で１４文字（半角文字で２８文字）まで登録できます。

・シンボル、コメントともに全角文字・半角文字の混在が可能です。

・ラダー図または命令語でプログラムの作成、修正を行っているときにも表示します。（シンボル、コメントの入力（修正）も可能）

・プリントアウト時にシンボル付きや、コメント付きに設定すると、シンボルやコメントを付けてプリントアウトできます。

操作概要

→「プログラム編集」→「シンボル・コメント設定」→ [↵]（リターンキー）→ データメモリ、F－９０、プロセス、ステップの番号指定 → シンボル・コメント設定

操作手順

「プログラム編集」→「シンボル・コメント設定」→ [↵]（リターンキー）→

アドレス	シンボル	コメント
00000	SOL01	シリンダ1前進
00001	SOL02	シリンダ1後退
00002	SOL03	シリンダ2前進
00003	SOL04	シリンダ2後退
00004	SOL05	シリンダ3前進
00005	SOL06	シリンダ3後退
00006	SOL07	シリンダ4前進
00007	SOL08	シリンダ4後退
00010	SOL09	シリンダ5前進
00011	SOL10	シリンダ5後退
00020	LS01	シリンダ1前進端
00021	LS02	シリンダ1後進端
00022	LS03	シリンダ2前進端
00023	LS04	シリンダ2後進端
00024	LS05	シリンダ3前進端
00025	LS06	シリンダ3後進端

登録数＝ 43 個　　プログラム シンボル・コメント　　機種：JW file #8　容量： 7.5Kw　残量： 7.5Kw

・登録されているデータメモリアドレスの先頭より１６個分を表示します。
・登録数は、データメモリ、F－９０、プロセス、ステップの合計数です。

名　　称	機　　能
切替	F１～F１０の機能表示切り替え
クリア	カーソル位置のシンボル・コメントをクリア
アドレス	データメモリアドレスを設定
コード	データメモリ領域の切り替え
複写	カーソル位置の１つ上の行のシンボル・コメントをカーソル位置へ複写
削除	カーソル位置のアドレス・シンボル・コメントを削除
終了	シンボル・コメント設定を終了
書込	シンボル・コメントをパソコンのメモリに書き込む
F－90	応用命令F９０の番号設定（０００００～００３７７７(8)）
PROC	SF命令のPROC（プロセス）番号設定（００～０３）
STEP	SF命令のSTEP（ステップ）番号設定（００～７７(8)）
範囲コピー	シンボル・コメントのブロックコピー
範囲移動	シンボル・コメントのブロック移動
範囲削除	シンボル・コメントのブロック削除

第7章

操作例

(1) シンボル・コメント登録方法

① データメモリ

「クリア」→「アドレス」→「コード」→ データメモリ領域選択 → アドレス入力 → ⏎(リターンキー) → [シンボル入力 → ⏎(リターンキー)] または [⏎(リターンキー)] → コメント入力 →「書込」

「コード」キーを繰り返し押して、データメモリ領域を選択してください。

② F-90

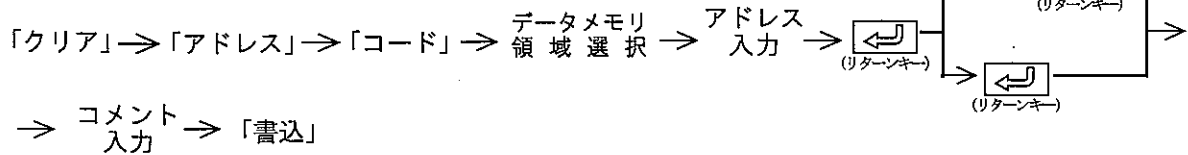
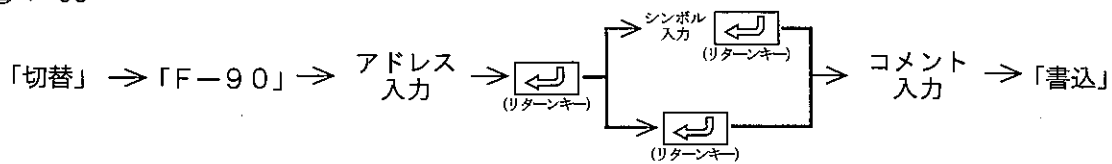
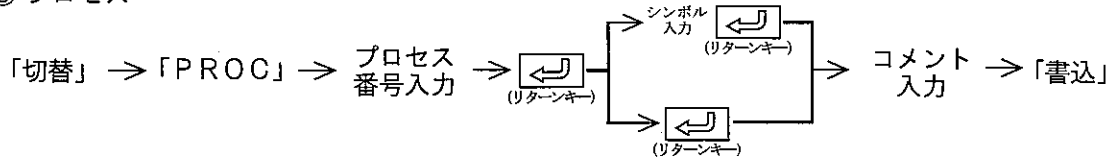
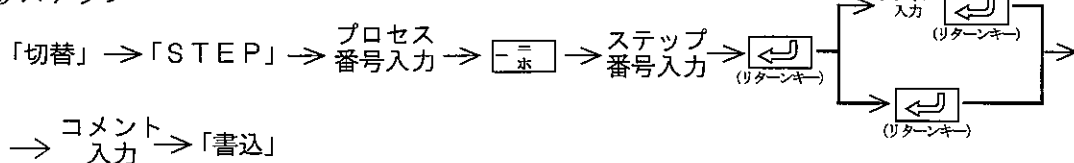
「切替」→「F－90」→ アドレス入力 → ⏎(リターンキー) → [シンボル入力 → ⏎(リターンキー)] または [⏎(リターンキー)] → コメント入力 →「書込」

③ プロセス

「切替」→「PROC」→ プロセス番号入力 → ⏎(リターンキー) → [シンボル入力 → ⏎(リターンキー)] または [⏎(リターンキー)] → コメント入力 →「書込」

第7章

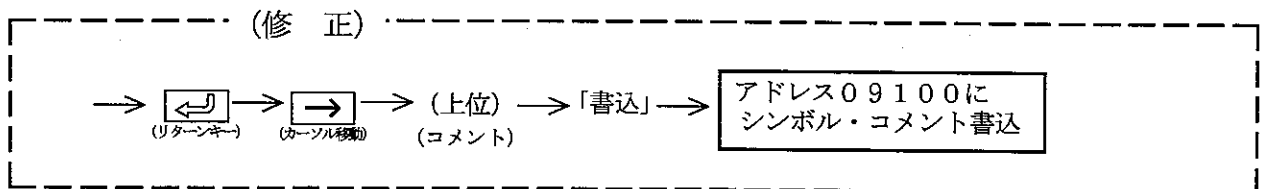
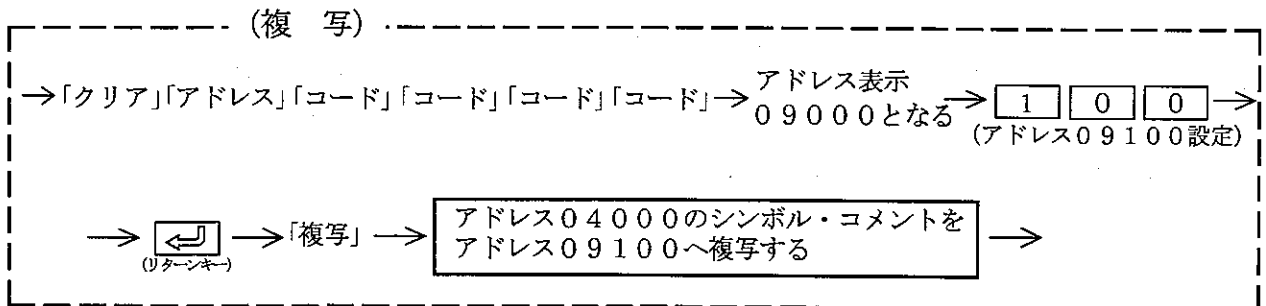
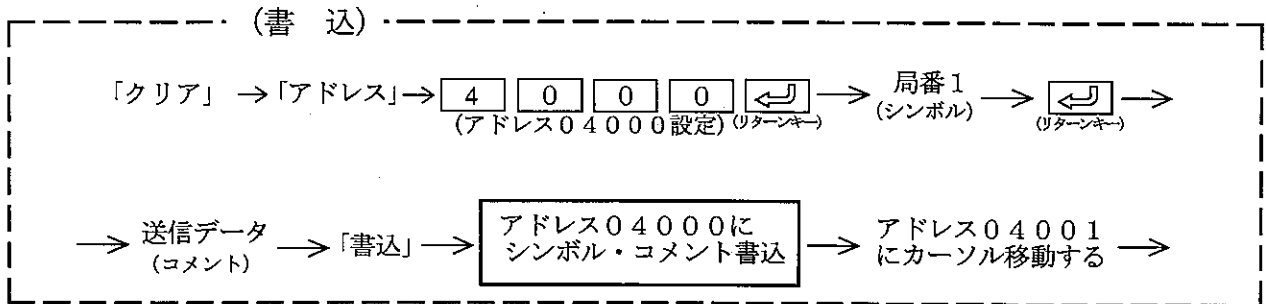
④ ステップ

「切替」→「STEP」→ プロセス番号入力 → [－ ＝ ホ] → ステップ番号入力 → ⏎(リターンキー) → [シンボル入力 → ⏎(リターンキー)] または [⏎(リターンキー)] → コメント入力 →「書込」

留意点

- 日本語入力のキー操作に関しては、インストールした日本語変換プログラムの取扱説明書を参照してください。
- 「書込」キーの代わりに [SHIFT] + [⏎] キーでも可能です。
- 「シンボル」のみ書き込む場合は、シンボル入力後、「書込」キーを押してください。
- 「コメント」のみ書き込む場合は、[⏎]キーでカーソルを「コメント」欄へ移動後、コメントを入力してください。
- 入力した「シンボル」「コメント」の修正は、「書込」キーを押す前に [⏎] キーを押し、カーソルを修正欄へ移動させ、[←] [→] キーで修正位置へ移動後入力してください。

(2) シンボル・コメント複写方法

(例)

アドレス	シンボル	コ メ ン ト
０４０００	局番１	送信データ
０９１００	局番１	送信データ(上位)

(3) シンボル・コメント削除方法

・データメモリ

「クリア」→「アドレス」→「コード」→ データメモリ領域選択 → アドレス入力 →「削除」

・Ｆ－９０

「切替」→「Ｆ－９０」→ アドレス入力（０００００～０３７７７(8)）→「削除」

・プロセス

「切替」→「ＰＲＯＣ」→ プロセス番号入力（００～０３）→「削除」

・ステップ

「切替」→「ＳＴＥＰ」→ プロセス番号入力 → [－＝ホ] → ステップ番号入力（００～７７(8)）→

→「削除」

(4) 入力中のシンボル・コメント削除方法

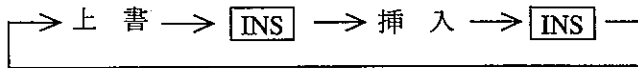
「クリア」キーにより削除できます。

カーソル位置	クリア（削除）する内容
シンボル入力部	シンボルのみ
コメント入力部	コメントのみ

第７章

（５）シンボル・コメントの修正方法

※ INS キーによる入力モードの切り替え（初期設定は「上書」です。）

→上　書 → INS → 挿　入 → INS →（上書へ戻る）

（例１：文字挿入）

「コント」 ⇨ 「コメント」

「ン」の位置へカーソル移動 → INS キーを押す → 入力モードを切り替える →

→ 「メ」入力 → コメントとなる

（例２：文字上書き）

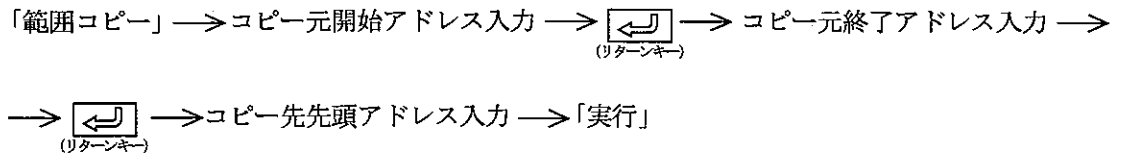
「コメット」 ⇨ 「コメント」

「ッ」の位置へカーソル移動 → 「ン」入力 → コメントとなる

（６）範囲コピー

下記キー操作でブロック単位でのシンボル・コメントのコピーができます。

「範囲コピー」→コピー元開始アドレス入力 → ⏎（リターンキー） → コピー元終了アドレス入力 →

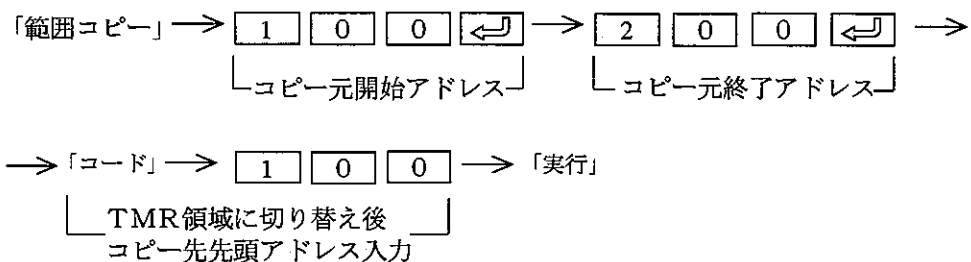
→ ⏎（リターンキー） →コピー先先頭アドレス入力 →「実行」

※ アドレスは、「コード」キーで切り替えてください。

（例） リレー００１００～００２００のシンボル・コメントをＴＭＲ１００～２００にコピー

「範囲コピー」→ 1 0 0 ⏎ → 2 0 0 ⏎ →

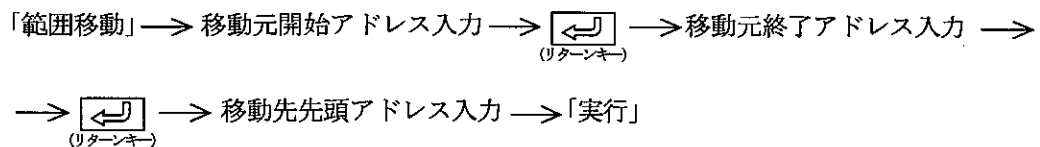
（1 0 0 ⏎：コピー元開始アドレス、2 0 0 ⏎：コピー元終了アドレス）

→「コード」→ 1 0 0 →「実行」

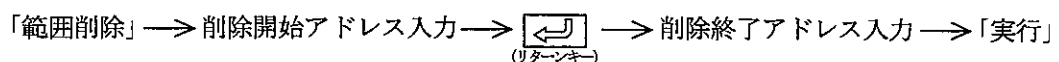
（「コード」→ 1 0 0：ＴＭＲ領域に切り替え後　コピー先先頭アドレス入力）

（７）範囲移動

下記キー操作でブロック単位でのシンボル・コメントの移動ができます。

「範囲移動」→ 移動元開始アドレス入力 → ⏎（リターンキー） →移動元終了アドレス入力 →

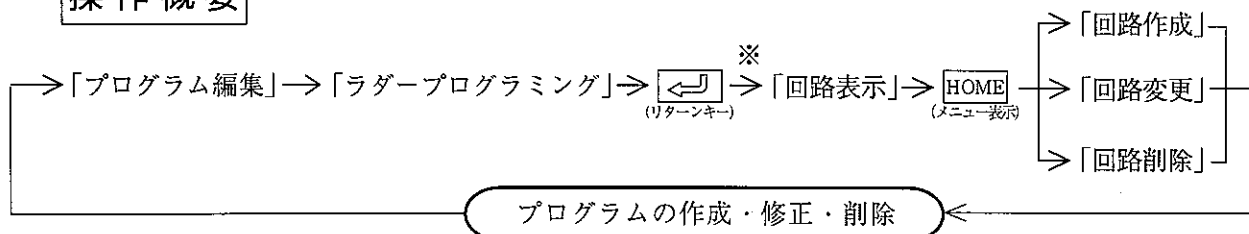
→ ⏎（リターンキー） → 移動先先頭アドレス入力 →「実行」

（８）範囲削除

下記キー操作でブロック単位でのシンボル・コメントの削除ができます。

「範囲削除」→ 削除開始アドレス入力 → ⏎（リターンキー） → 削除終了アドレス入力 →「実行」

7－3 ラダープログラミング

ラダー図によりプログラムの作成、修正、削除等を行うモードです。

「ラダープログラミング」モードは、回路表示、回路作成、回路変更、回路削除に分かれています。

本ソフトのVer 5.0より複数回路を同時に作成できます。(7･27～29ﾍﾟｰｼﾞ参照)

操作概要

※ 機種をJW30Hに設定の場合

本ソフト(Ver 5.0以上)を使用して、プログラムメモリがクリア状態のとき下記画面を表示します。

構造化プログラム手法を利用しますか 0:使用する　1:使用しない

ここで、「0」を選択して[↵](リターンキー)を押すと、以降は構造化プログラム手法でのプログラム作成となります。

「1」を選択して[↵](リターンキー)を押すと、回路表示して通常のプログラム作成となります。

構造化プログラム手法については、「JW-52SP/92SP構造化プログラミングマニュアル」に説明していますので、本書と共にお読みください。

備　考

・ラダー図表示

横方向：１１リレー接点＋１コイル（１１リレー接点以上入力した時は、左へシフト表示、最大２５２リレー接点まで入力可能）

縦方向：６リレーライン

・カーソル移動

[→]：右方向へ１リレー接点分移動（右端の時は、下行左端へ移動）

[←]：左方向へ１リレー接点分移動（左端の時は、上行右端へ移動）

[↑]：上行へ１リレーライン分移動（最上行の時は、１リレーライン分上方向へシフト表示）

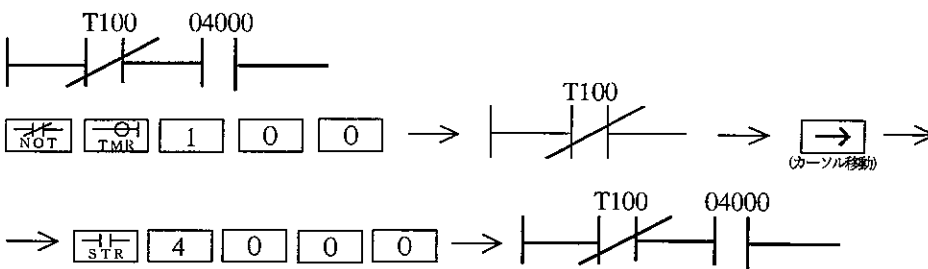
[↓]：下行へ１リレーライン分移動（最下行の時は、１リレーライン分下方向へシフト表示）

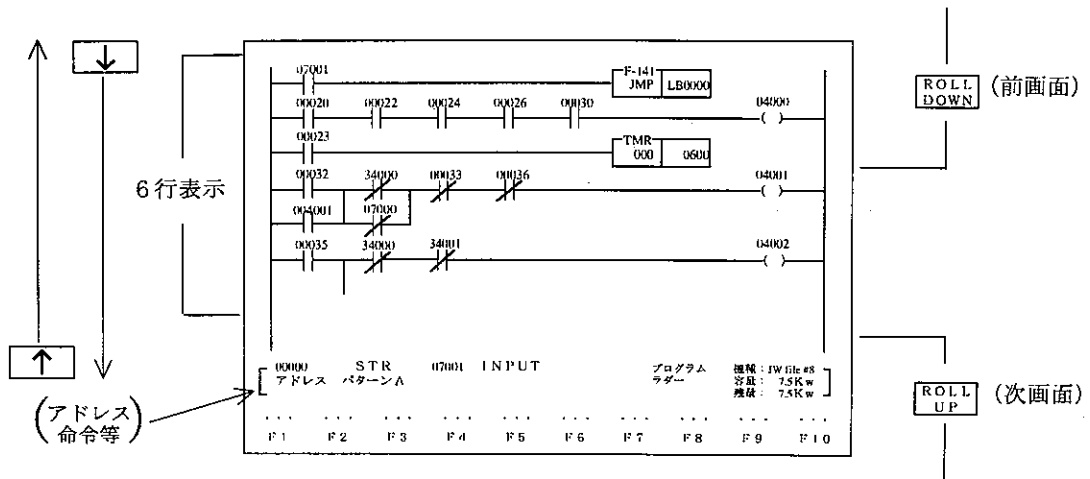
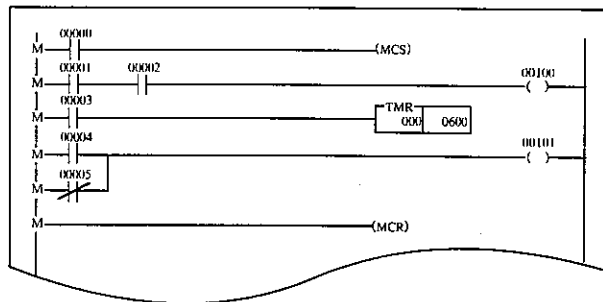
・ラダーシンボルキー

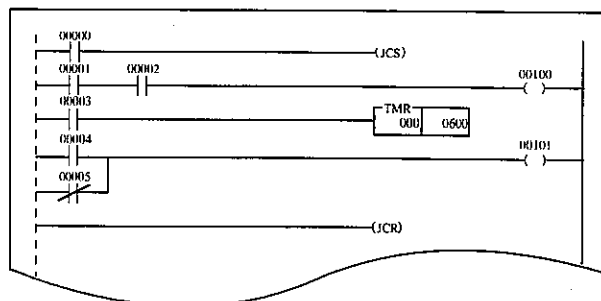
[NOT]：　(NOT)　　[CNT]：　(CNT)

[AND]：　(AND)　　[TMR]：　(TMR)

[OR]：　(OR)　　[FUN]：　(FUN)

・入　力　例

〔1〕回 路 表 示

・「ラダープログラミング」モードを選択したとき、すでにプログラムがパソコンのメモリに書き込まれている場合は、プログラムの先頭より6行分の内容を表示します。
・プログラムを書き込んでいないときは破線のみ表示します。
・ラダー図表示中 ↓ キーで、カーソルを移動させるとプラス1行づつスクロール表示します。また、↑ キーで、マイナス1行づつスクロール表示します。
・ROLL UP キーで、表示中の最下行を最上行として次の画面（ラダー図）を表示します。
また、ROLL DOWN キーで表示中の最上行を最下行として前の画面（ラダー図）を表示します。
・メッセージ表示部には、カーソル位置の情報（プログラムアドレス、命令等）を表示します。

・マスターコントロール制御内の母線は、下図の様に「M」を表示します。

・ジャンプコントロール制御内の母線は、下図の様に「破線」になります。

第7章

[回路表示での機能]

機　　　能	参照ページ
キー操作による検索表示	7・12
命令検索による表示	7・12
プログラムアドレス検索による表示	7・13
データメモリアドレス検索による表示	7・14
データメモリ番号・設定値の変更	7・14
ネットワーク単位の移動・複写・削除	7・15
ライブラリファイルの登録・読出・削除	7・17
データメモリの使用状況表示	7・23
表　示　切　替	7・23
リレー・タイマー・カウンタ・レジスタ番号の一括変更	7・24
ステップの使用状況表示	7・24

(1) キー操作による検索表示

・[↑]キーを押すと、上方向へカーソルが移動し、カーソルが最上行のとき押すと、1行分前方のラダーを表示します。

・[↓]キーを押すと、下方向へカーソルが移動し、カーソルが最下行のとき押すと、1行分後方のラダーを表示します。

・[→]キーを押すと、右方向へカーソルが移動します。1行に11接点以上入力しているときは、右方向へシフト表示します。また、カーソルが右端のとき押すと、次行先頭へ移動します。

・[←]キーを押すと、左方向へカーソルが移動します。カーソルが左端のとき押すと、前行の右端へ移動します。

・[ROLL DOWN]キーを押すと、表示中の最上行を最下行として、前方のラダー図表示となります。

・[ROLL UP]キーを押すと、表示中の最下行を最上行として、後方のラダー図表示となります。

(2) 命令検索による表示

命令を設定し、その命令が存在する回路(ネットワーク)を先頭として表示します。

〈キー操作〉

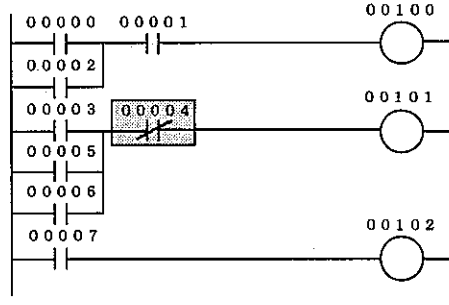
「クリア」→「アドレス」→ ※検索開始プログラムアドレスを入力 → 命令語(ラダーシンボル)+番号 →

→「検索(+)」→ [指定した命令を含む回路を先頭として表示]

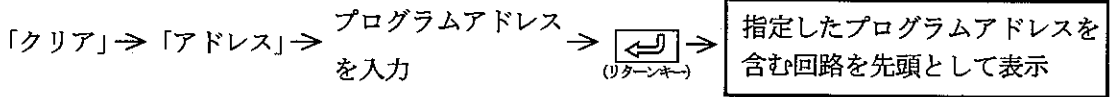
・プログラムアドレス00000から検索する場合は、「※」印の操作は不要です。

・「検索(+)」キーを続けて押すと、最終アドレスまで検索します。

・「検索(-)」キーを押すと、アドレス減少方向に検索します。

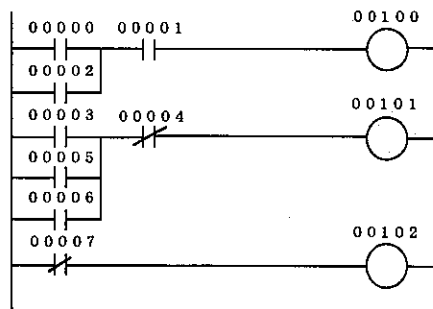
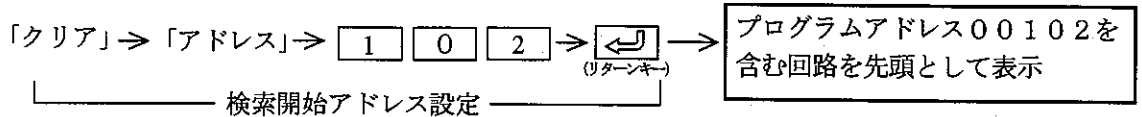
第7章

[例] AND　NOT　00004の検索

アドレス	命　令	
00100	STR	00000
00101	OR	00002
00102	AND	00001
00103	OUT	00100
00104	STR	00003
00105	OR	00005
00106	OR	00006
00107	AND　NOT	00004
00110	OUT	00101
00111	STR　NOT	00007
00112	OUT	00102

（3）プログラムアドレス検索による表示

プログラムアドレスを設定し、そのアドレスに存在する命令の回路を先頭として表示します。

〈キー操作〉

「クリア」→「アドレス」→ プログラムアドレスを入力 → ⏎(リターンキー) → 指定したプログラムアドレスを含む回路を先頭として表示

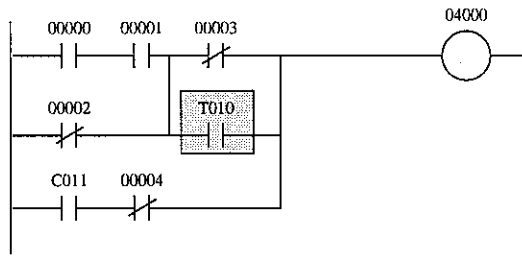
[例] プログラムアドレス00102の検索

アドレス	命　令	
00100	STR	00000
00101	OR	00002
00102	AND	00001
00103	OUT	00100
00104	STR	00003
00105	OR	00005
00106	OR	00006
00107	AND　NOT	00004
00110	OUT	00101
00111	STR　NOT	00007
00112	OUT	00102

（4）データメモリアドレス検索による表示

任意のデータメモリ（リレー、TMR／CNT等）を設定し、そのデータメモリが存在する回路を先頭として表示します。

〈キー操作〉

「クリア」→「コード」→ データメモリ領域を選択 → データメモリ番号を入力 →「検索（+）」→

→ 指定したデータメモリを含む回路を先頭として表示

・「コード」キーを押し、データメモリ領域を選択してください。

・「検索(+)」キーを続けて押すと、最終アドレスまで検索します。

・「検索(-)」キーを押すと、アドレス減少方向に検索します。

［例］TMR　010の検索

アドレス	命　令	
00000	STR	00000
00001	AND	00001
00002	OR NOT	00002
00003	STR NOT	00003
00004	OR TMR	010
00005	AND STR	
00006	STR CNT	011
00007	AND NOT	00004
00010	OR STR	
00011	OUT	04000

・「ズーム（+）」または「ズーム（−）」を押すと、指定されたデータメモリアドレスを出力に持つ回路のみを検索します。（リレー、TMR／CNTのみ）

「前検索」で以前に検索したプログラムアドレスを表示します。

（5）データメモリ番号・設定値の変更

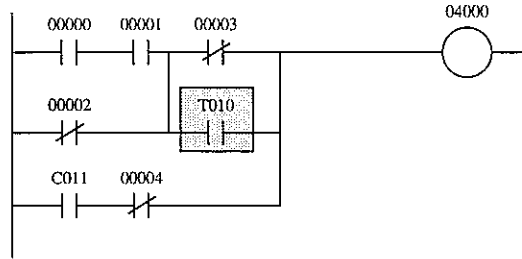
プログラム内で使用しているデータメモリ番号または、設定値を変更します。

〈キー操作〉

変更したい命令語へカーソル移動 → データメモリ番号または、設定値入力 →「書込」

・命令の変更（a接点→b接点等）、追加、削除はできません。

（回路変更モードで行ってください。）

[例] TMR０１０をTMR００１へ変更

アドレス	命　令	
00000	STR	00000
00001	AND	00001
00002	OR NOT	00002
00003	STR NOT	00003
00004	OR TMR	010
00005	AND STR	
00006	STR CNT	011
00007	AND NOT	00004
00010	OR STR	
00011	OUT	04000

「クリア」「コード」[1] [0]「検索(+)」―→ [0] [0] [1] ―→「書込」

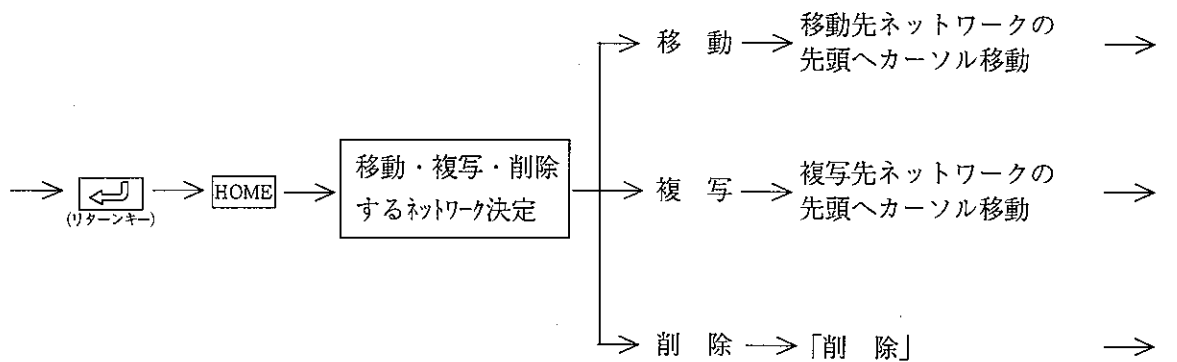
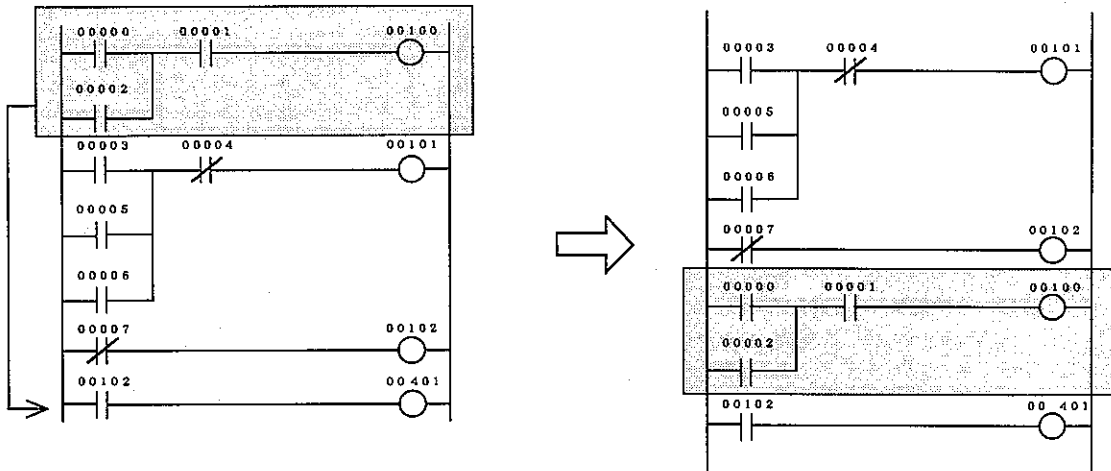
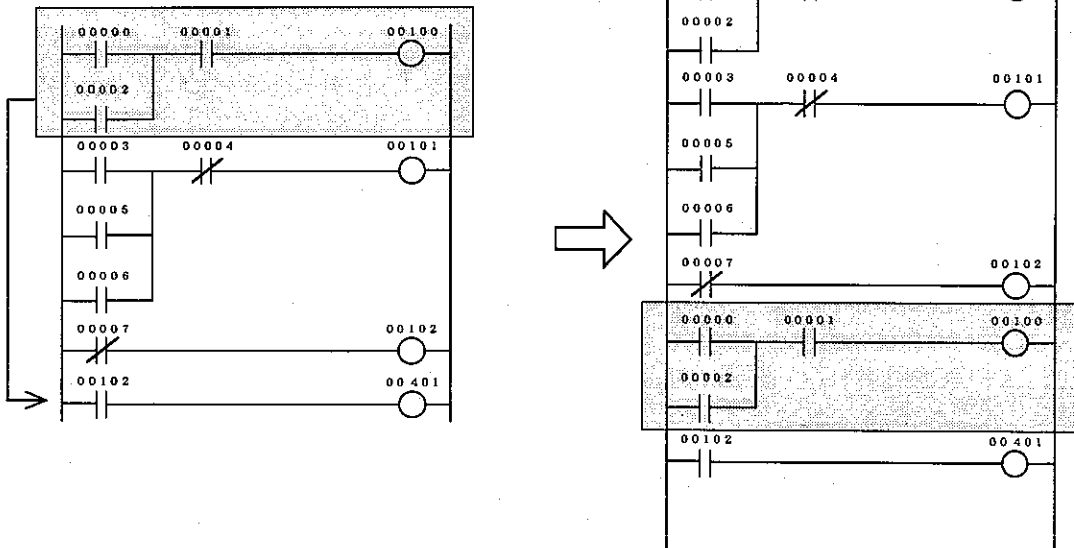
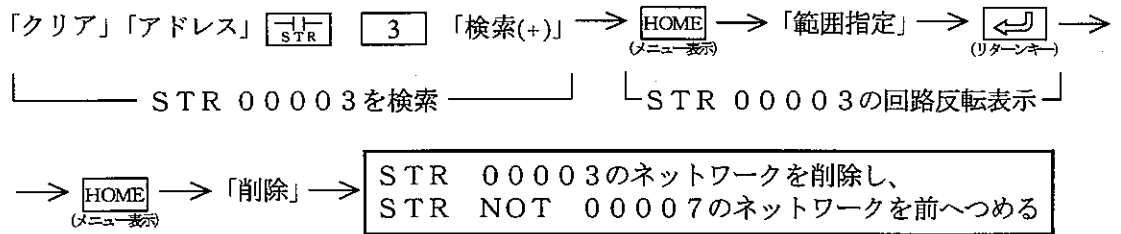
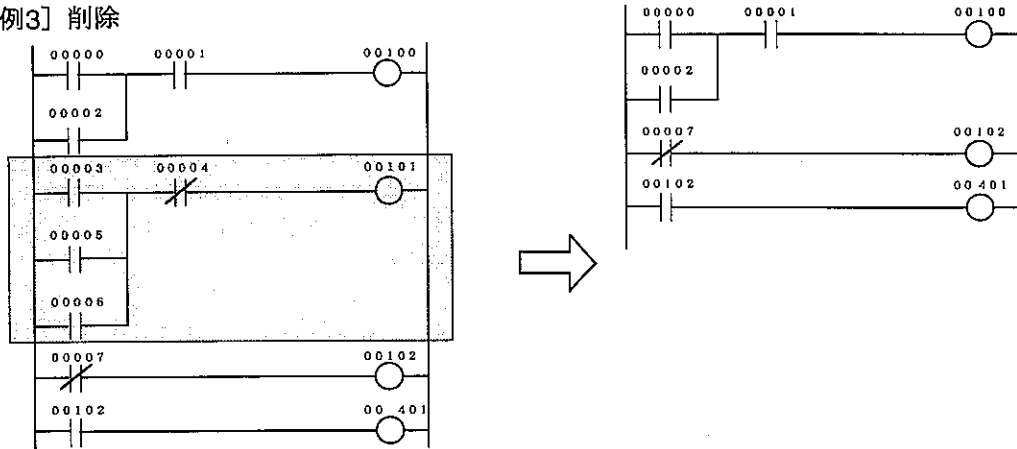
└―― TMR０１０を検索 ――┘　└ 変更後の番号００１書込 ┘

（６）ネットワーク単位の移動・複写・削除

範囲指定を行った任意のネットワークを任意の位置へ移動・複写および削除します。

〈キー操作〉

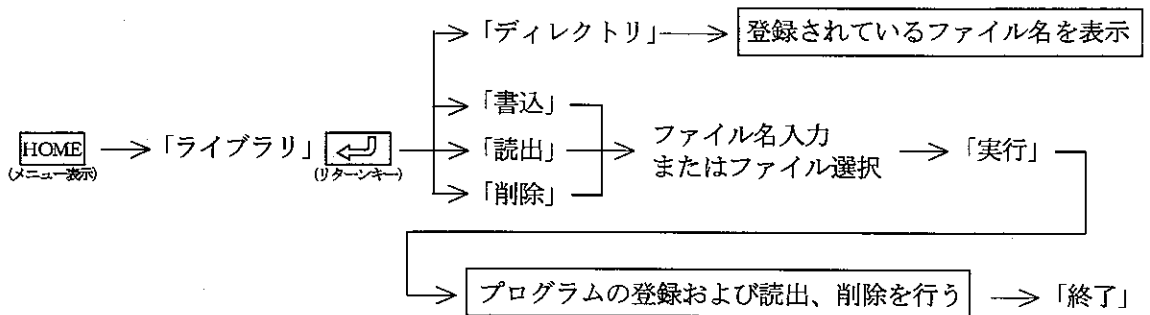
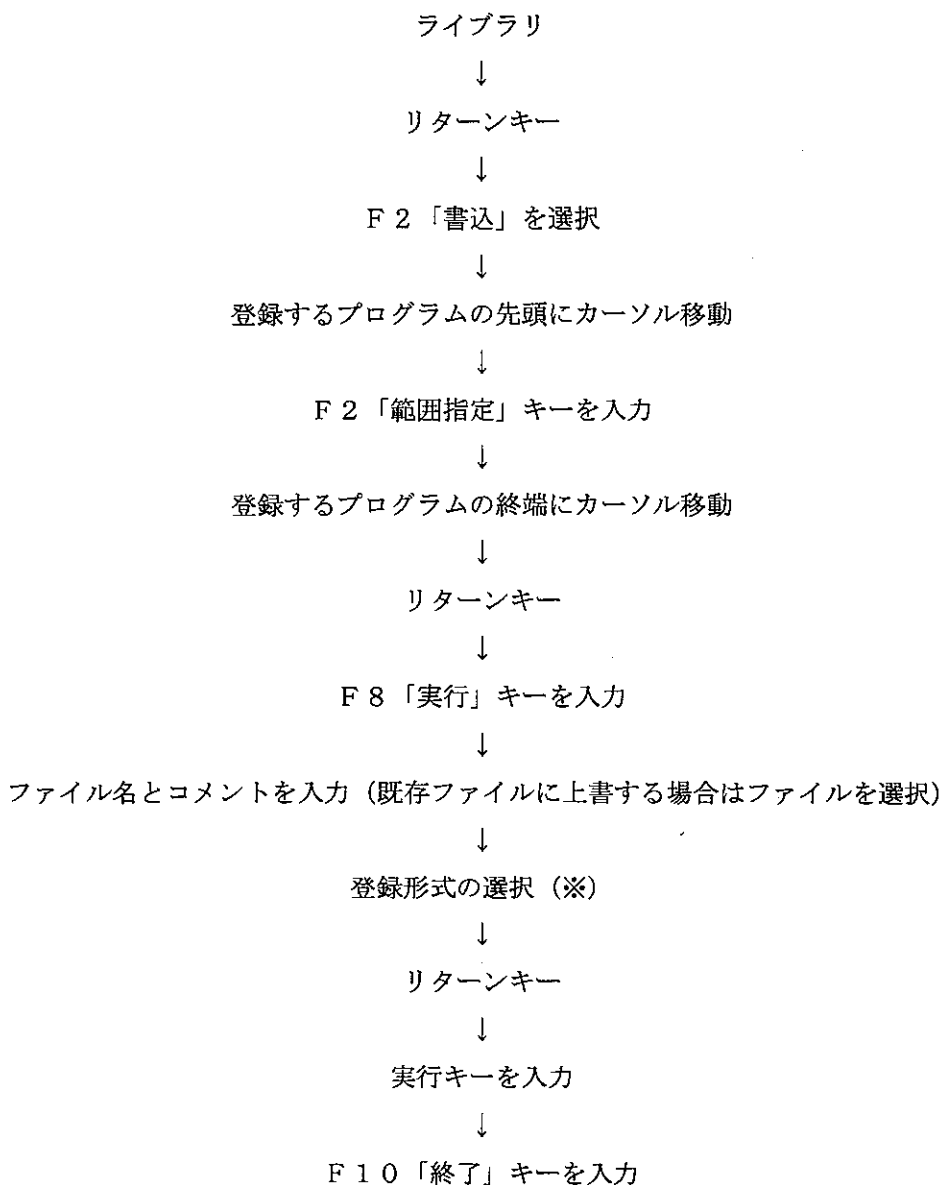
移動・複写・削除する先頭ﾈｯﾄﾜｰｸへｶｰｿﾙ移動 ―→ [HOME] ―→「範囲指定」―→ カーソル位置のﾈｯﾄﾜｰｸ反転表示 ―→ 移動・複写・削除する最終ﾈｯﾄﾜｰｸへｶｰｿﾙ移動 ―→

第7章

[例1] 移動
00000 00001 00100
00002
00003 00004 00101
00005
00006
00007 00102
00102 00401
「クリア」「アドレス」STR「検索(+)」→HOME(メニュー表示)→「範囲指定」→(リターンキー)→(リターンキー)→
STR 00000を検索
STR 00000の回路反転表示
→↓→「移動」→
STR 00102
へカーソル移動
STR00102のネットワーク直前へ
STR00000のネットワーク移動
[例2] 複写
「クリア」「アドレス」STR「検索(+)」→HOME(メニュー表示)→「範囲指定」→(リターンキー)→
STR 00000を検索
STR 00000の回路反転表示
→↓→「複写」→
STR 00102
へカーソル移動
STR00102のネットワーク直前へ
STR00000のネットワーク移動

[例3] 削除

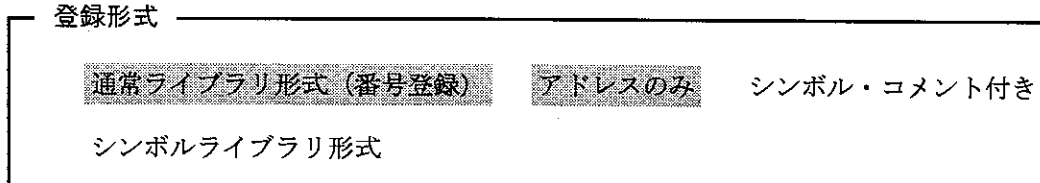
（7）ライブラリファイルの登録・読出・削除

作成したプログラムをライブラリファイルへ登録（書込）および、ライブラリファイルより読出・削除します。

〈キー操作〉

第7章

① 登録（書込）

※ 登録形式の選択には、次のウィンドウが表示されます。

登録形式

通常ライブラリ形式（番号登録）　アドレスのみ　シンボル・コメント付き

シンボルライブラリ形式

ライブラリへの登録には次の３種類の登録方法があります。

各登録形式の選択はカーソル移動キーで行ってください。

1．通常ライブラリ形式、アドレスのみ・・・・・・・・ 従来のライブラリ

2．通常ライブラリ形式、シンボル・コメント付き ・ 従来のライブラリ＋必要なシンボル コメント

3．シンボルライブラリ形式 ・・ 登録されているシンボルでシンボルライブラリ登録します。シンボルがついていないものについては、番号をシンボルとして登録します。

1. 通常ライブラリの登録

従来のライブラリであり、リレー／レジスタ番号（表示内容のまま）で登録します。通常は、この方式で登録します。

登録形式選択画面で、通常ライブラリ形式（番号登録）アドレスのみを選択します。

例を登録するとライブラリは、

01230　03010

51420　01270

の状態になります。

2. シンボル・コメント付きライブラリの登録

通常ライブラリ形式で登録しますが、使用しているリレー／レジスタ番号のシンボル・コメントも同時に登録します。

登録形式選択画面で、通常ライブラリ形式（番号登録）シンボル・コメント付きを選択します。

例を登録すると、

の状態になります。

3. シンボルライブラリの登録

リレー／レジスタ番号に登録されているシンボルを使用して登録します。

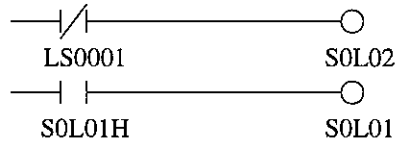
シンボルが設定されていない場合は、システムが自動的にシンボルを割り付けます。この形式で登録した場合、読み出し時に各シンボルに対するリレー／レジスタ番号の割り付けが必要です。

登録形式選択画面で、シンボルライブラリ形式を選択します。

登録形式

通常ライブラリ形式（番号登録）　アドレスのみ　シンボル・コメント付き

シンボルライブラリ形式

例を登録すると、

の状態になります。

② 読出

ライブラリファイルを読み出す位置にカーソルを移動
（カーソル位置のプログラムの前に挿入）

↓

ＨＯＭＥ　ＣＬＲキー（メニュー表示）

↓

ライブラリを選択

↓

リターンキー

↓

Ｆ３「読出」を選択

↓

↑↓キーとスペースキーにて、ファイルを選択（複数選択可能）

↓

「実行」キー

↓

リターンキー

↓

リレー／レジスタ番号変換機能の選択

↓

読出回数の設定

↓

マクロ／シンボルライブラリの変換
（マクロ／シンボルライブラリ形式を使用時のみ）

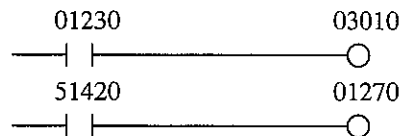
ファイルの選択はカーソル移動キーとスペースで行ってください。

複数ファイルを選択した場合は、選択された順に読み出します。選択された順序は番号で表示されます。

1. リレー／レジスタ番号の変換機能

登録されているライブラリのリレー／レジスタ番号を変更して読み出すことができます。この機能を使用する場合には、リレー／レジスタ番号変換機能の選択で「する」を選択します。

［例］ライブラリ内容

↓

変換元リレー／レジスタ（開始）番号		01230
変換元リレー／レジスタ（終了）番号		01270
変換先（開始）番号		02000
シンボル・コメント変換	する	しない

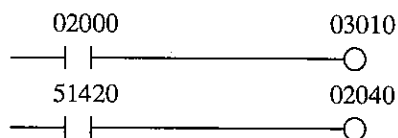
変換元番号は、レジスタも指定可能です。

変換先番号は、変換元番号の種類（リレーまたはレジスタ）に併せてください。

シンボル・コメントの変換は、ライブラリ内に登録されているシンボル・コメントの内容を変換に併せて変更するか否かの選択です。

変換の指定は複数回指定できます。当変換を終了すると、選択画面が表示されますので、さらに変換を行う場合は「する」を選択してください。

↓

読出後のプログラム

2. 読出回数の指定機能

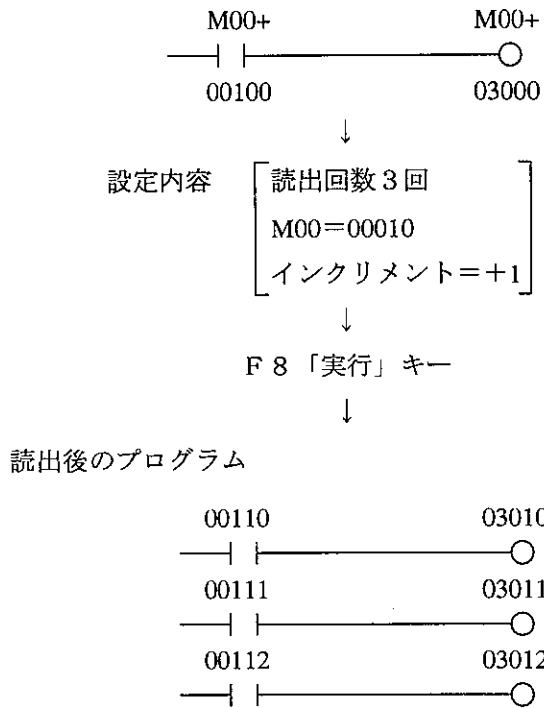
同一ライブラリファイルを複数回連続して読み出すことができます。

（読出回数は、一度に最大９９回まで可能です。）

読出回数の設定で、数値キーより入力し設定してください。

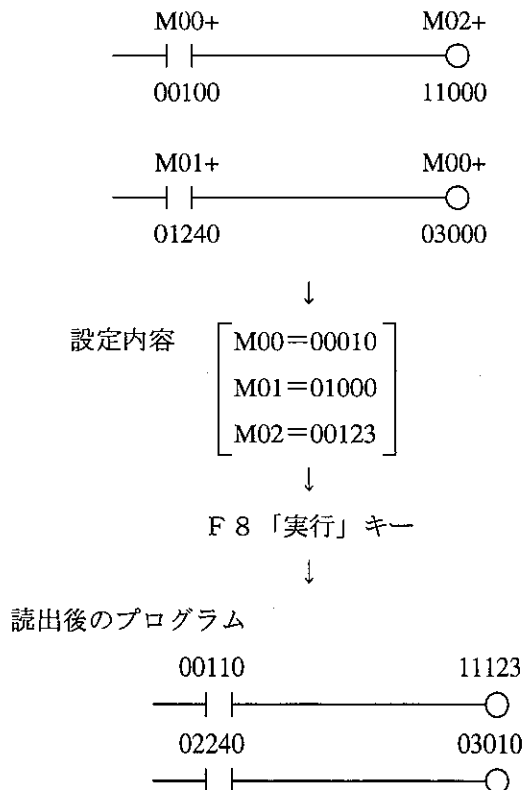
複数回読み出すライブラリをマクロライブラリ形式で記述しておくと、リレー番号などをインクリメント（デクリメント）して読み出すことができます。

［例］ライブラリ内容

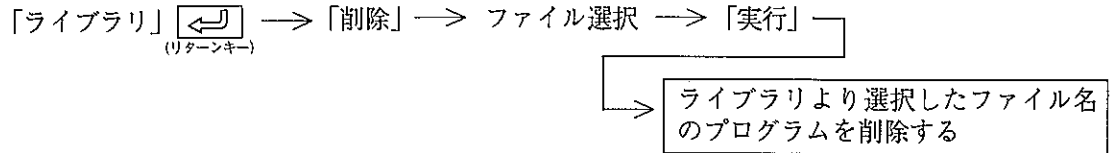
読出後のプログラム

3. マクロ／シンボルライブラリで登録されたデータの変換

読み出しを行うライブラリにマクロまたはシンボルライブラリ形式が存在する場合、リレー／レジスタ番号への変換が必要となります。

ライブラリを読み出し時、それぞれにアドレスを設定します。

［例］ライブラリ内容

リレー／タイマ／レジスタ番号の切り替えは「コード」キーで行ってください。

③ 削除

「ライブラリ」［↵］(リターンキー) ──> 「削除」──> ファイル選択 ──> 「実行」──> ライブラリより選択したファイル名のプログラムを削除する

・ファイル選択はカーソル移動キー（［↓］［↑］）とスペースキーで行ってください。

（8） データメモリの使用状況表示

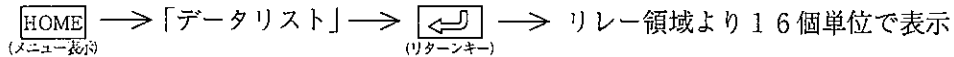
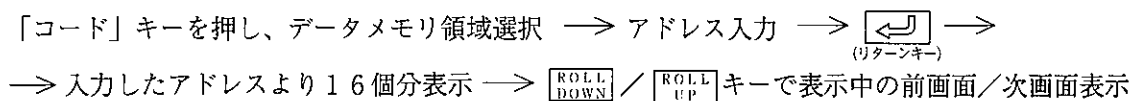
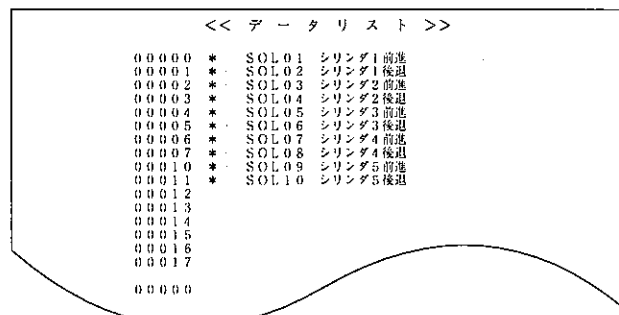
・データメモリの使用状況を登録されたシンボル・コメント付きで表示します。

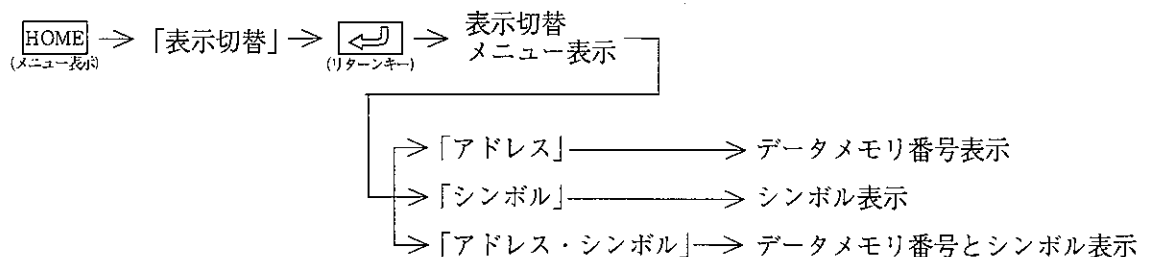
・接点として使用しているときは「－」表示、コイル（ＯＵＴ命令）として使用しているときは「＊」表示となります。

〈キー操作〉

［HOME］(メニュー表示) ──> 「データリスト」──> ［↵］(リターンキー) ──> リレー領域より１６個単位で表示

〈表示例〉

「コード」キーを押し、データメモリ領域選択 ──> アドレス入力 ──> ［↵］(リターンキー) ──>
──> 入力したアドレスより１６個分表示 ──> ［ROLL DOWN］／［ROLL UP］キーで表示中の前画面／次画面表示

（9）表示切替

接点・コイル等への表示内容を切り替えます。

〈キー操作〉

・「データメモリ番号」は、接点・コイル等の上段に表示します。（初期設定）

・「シンボル」は、接点・コイル等の下段に表示します。

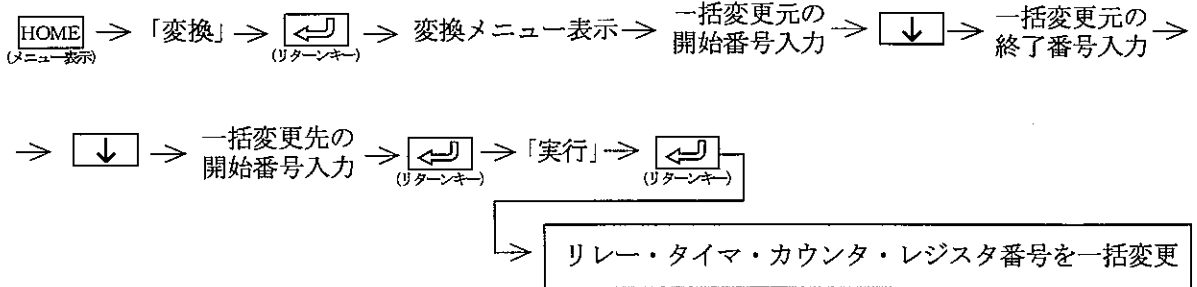
（１０）リレー・タイマ・カウンタ・レジスタ番号の一括変更

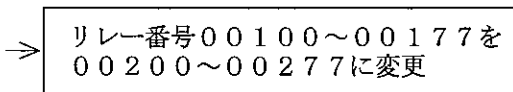
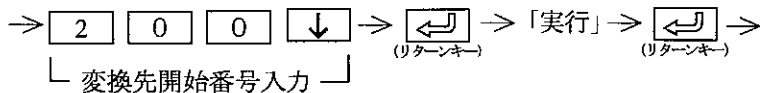
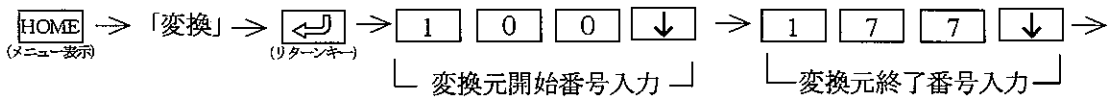
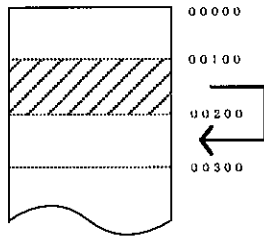
プログラム内で使用しているリレー・タイマ・カウンタ・レジスタの番号を一括変更します。

〈キー操作〉

HOME（メニュー表示）→「変換」→ ⏎（リターンキー）→ 変換メニュー表示 → 一括変更元の開始番号入力 → ↓ → 一括変更元の終了番号入力 →

→ ↓ → 一括変更先の開始番号入力 → ⏎（リターンキー）→「実行」→ ⏎（リターンキー）

→ リレー・タイマ・カウンタ・レジスタ番号を一括変更

・「コード」キーで、リレー → タイマ／カウンタ → レジスタ領域を切り替えできます。

［例］リレー番号00100～00177を00200～00277に変更

HOME（メニュー表示）→「変換」→ ⏎（リターンキー）→ 1 0 0 ↓ → 1 7 7 ↓ →
（1 0 0 ↓：変換元開始番号入力）（1 7 7 ↓：変換元終了番号入力）

→ 2 0 0 ↓ → ⏎（リターンキー）→「実行」→ ⏎（リターンキー）→
（2 0 0 ↓：変換先開始番号入力）

→ リレー番号００１００～００１７７を００２００～００２７７に変更

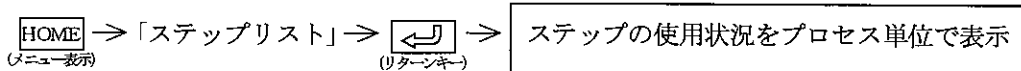
（１１）ステップの使用状況表示

ＰＣ機種設定が「ＪＷ２１」および「ＪＷ２２」のとき、ＳＦ命令のステップ使用状況を表示します。

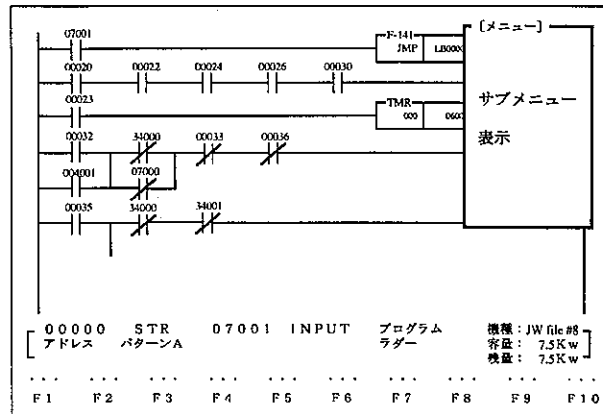
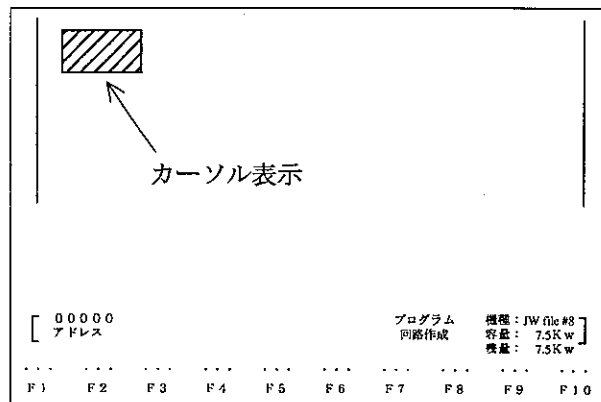
〈キー操作〉

HOME（メニュー表示）→「ステップリスト」→ ⏎（リターンキー）→ ステップの使用状況をプロセス単位で表示

無印は未使用、＊印は使用を示します。

第7章

〔2〕回路作成

・パソコンのメモリにラダー図でプログラムを書き込みます。

・「回路表示」の状態で、HOMEキーを押すと画面に「メニュー」を表示します。

・「回路作成」を選択すると、下記画面表示となりラダー図でプログラム作成が可能となります。尚、作成した回路（ネットワーク）は、「回路表示」状態で表示しているカーソル位置のネットワークの直前に書き込みます。

・接点番号、コイル番号等入力後 ⏎（リターンキー）を押すと、「シンボル・コメント」を登録できます。

(例)
「命令入力」⟶「接点／コイル番号入力」⟶ ⏎(リターンキー) ⟶ シンボル入力 ⟶ ⏎(リターンキー) ⟶
⟶ コメント入力 ⟶「書込」⟶ カーソル移動 ⟶「命令入力」⟶ ・・・・・

・ラダープログラミングの場合、「命令入力」はプログラムアドレス順に入力する必要はありません。

・「書込」キーを押してメモリに書き込むときは、命令やデータメモリアドレスが正しく設定されていることを確認してください。

・「書込」キーを押すと、未接続の接点とコイル（出力）間を接続し、メモリに書き込みます。またSHIFT＋⏎も「書込」と同機能です。

・「プログラムオーバー」により書き込めないときは、プログラムの中間や、END命令付近に存在する不要なプログラムを削除してください。

機　　能

名　　称	機　　能
要素挿入	・カーソル位置より右の要素を１要素分右へ移動し、要素挿入を可能にする
要素削除	・カーソル位置の要素を削除
行挿入	・カーソル位置より下の行を１行下げる
ＯＲ削除	・カーソル位置より上方向交点までのＯＲ接続線を削除
コード	・データメモリ領域の切り替え
コード変換	・レジスタ内容の表示切り替え
接続	・未接続の接点とコイル（出力）を接続
改行	・カーソルを次行先頭へ移動
書込	・作成した回路をパソコンのメモリに書き込む
コイルリスト	・コイル（出力）使用状況表示
Ｔ／Ｃリスト	・タイマ／カウンタ使用状況表示
表示切替	・接点／コイル等への表示内容切り替え
ステップリスト	・ＳＦ命令のステップ使用状況表示
終了	・回路表示モードに戻る
[Uナ] キー	・タイマ／カウンタのＵＰ（アップ）／ＤＯＷＮ（ダウン）設定
[Iニ] キー	・ＵＰ／ＤＯＷＮタイマおよびカウンタの設定値（ＢＣＤ／ＢＩＮ）切り替え
サブメニュー表示終了	・[ESC] キーを押すと、[HOME] によるサブメニュー表示を終了

第7章

操作例１　プログラムアドレス００００００からの書込

（下記プログラムの書き込み例）

アドレス	命	令
00000	STR	00000
00001	OR	00002
00002	AND	00100
00003	OUT	00100
00004	STR	00003
00005	OR	00005
00006	OR	00006
00007	AND　NOT	00004
00010	OUT	00101

・リレー番号、タイマ番号等の上位桁の０を入力する必要はありません。

・カーソル移動は、「改行」または、[←] [→] [↑] [↓] キーで行います。

・作成したネットワークを表示（回路確認）しているとき、

１.「終了」キーを押すと、「回路作成」を終了し、「回路表示」となります。

２.「回路作成」キーを押すと、連続してネットワーク単位で作成できます。

３.「回路変更」キーを押すと、作成したネットワークの変更（修正）ができます。

４.「回路削除」キーを押すと、作成したネットワークを削除します。

・複数回路を同時に作成できますが、同時に作成できる回路は最大16回路までとなります。
また、１回路に複数の出力／応用命令を使用する場合、2個目以降の出力／応用命令の位置で [OR] キーを入力してください。

操作例 2　ネットワーク間への書込（挿入）

（下記斜線部分の書き込み例）

命	令
ＳＴＲ	０４０００
ＴＭＲ	１００
	００１０
ＳＴＲ　ＴＭＲ	１００
Ｆ－１２ｗ	
	コ００００
	０９１００

「回路表示」―→「クリア」[OUT] [4] [1] [0] [0]「検索(+)」―→

挿入位置のネットワークBを検索

―→ 検索した命令（ＯＵＴ　０４１００）のネットワークを画面最上行に表示 ―→ [HOME]（メニュー表示）―→「回路作成」―→ [⏎]（リターンキー）―→

・リレー番号、タイマ番号等の上位桁の０を入力する必要はありません。

・応用命令の入力は、ファンクション番号とＦ６「コード」キーによる命令の種類（定数：ｃ，ｘ、ワード：ｗ、ダブルワード：ｄ）選択後、F10「書込」キーにより命令を確定します。

・カーソル移動は、「改行」または、[←] [→] [↑] [↓] キーで行います。

・作成したネットワークを表示（回路確認）しているとき、

1.「終了」キーを押すと、「回路作成」を終了し、「回路表示」となります。

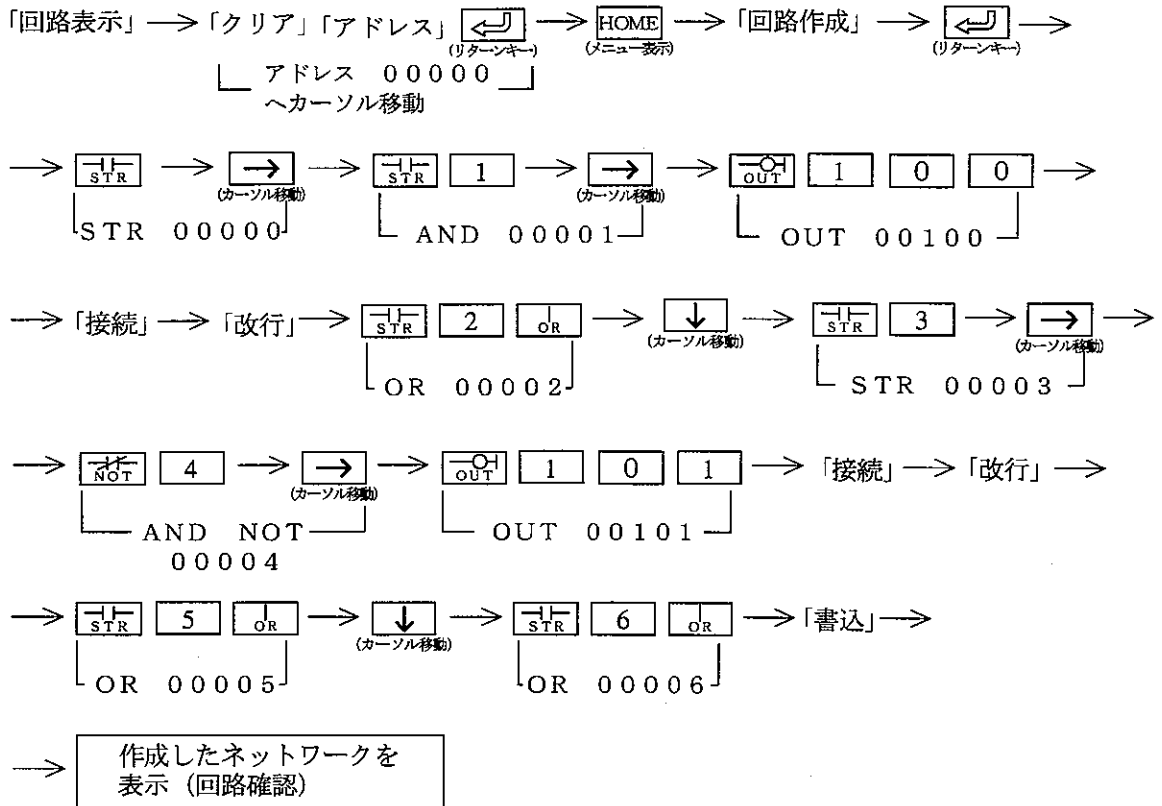
2.「回路作成」キーを押すと、連続してネットワーク単位で作成できます。

3.「回路変更」キーを押すと、作成したネットワークの変更（修正）ができます。

4.「回路削除」キーを押すと、作成したネットワークを削除します。

・複数回路を同時に作成できますが、同時に作成できる回路は最大16回路までとなります。
また、1回路に複数の出力／応用命令を使用する場合、2個目以降の出力／応用命令の位置で[OR]キーを入力してください。

・ＪＷ１０の場合、ＴＭＲ／ＣＮＴの設定値はＦ６「コード」キーにより切替を行い、レジスタ指定も可能です。

第7章

操作例 3　プログラムの書かれていないアドレスからの書込

（下記プログラムの書込例）

アドレス	命令	
01000	STR	04100
01001	UTMR (BCD)	
01002		020
01003		0300
01004	STR	04101
01005	STR	04102
01006	DCNT (BIN)	
01007		015
01010		00020

・リレー番号、タイマ番号等の上位桁の0を入力する必要はありません。

・カーソル移動は、「改行」または、[←] [→] [↑] [↓]キーで行います。

・作成したネットワークを表示（回路確認）しているとき、

1.「終了」キーを押すと、「回路作成」を終了し、「回路表示」となります。

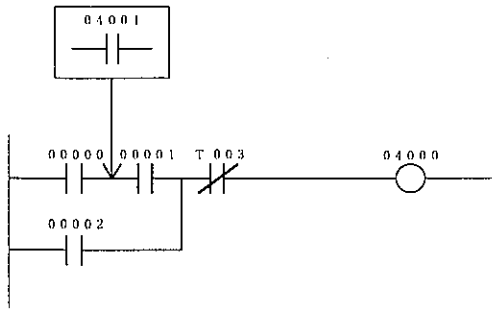
2.「回路作成」キーを押すと、連続してネットワーク単位で作成できます。

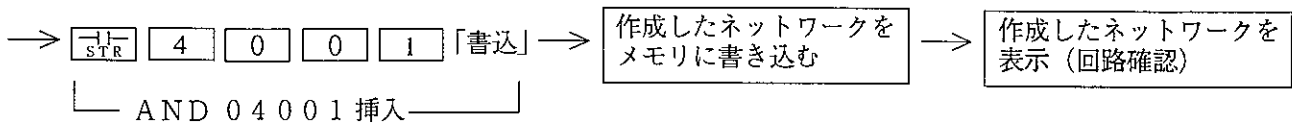
3.「回路変更」キーを押すと、作成したネットワークの変更（修正）ができます。

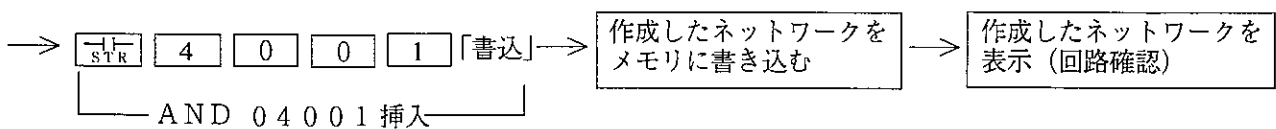
4.「回路削除」キーを押すと、作成したネットワークを削除します。

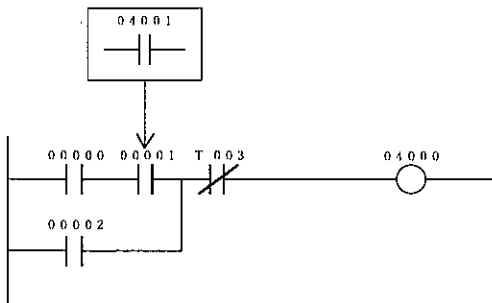
・複数回路を同時に作成できますが、同時に作成できる回路は最大16回路までとなります。
また、1回路に複数の出力／応用命令を使用する場合、2個目以降の出力／応用命令の位置で[OR]キーを入力してください。

操作例 4 命令語の挿入

(下記命令語の挿入例)

① 回路作成中

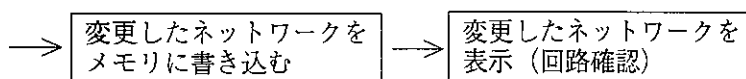
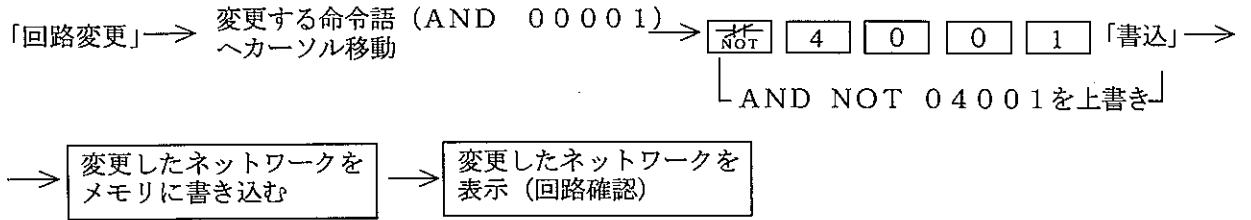
命令語挿入位置(AND　00001)へカーソル移動 →「要素挿入」→ AND　00001以降の命令1要素分右へずれる →

② 作成したネットワーク表示中(回路確認)

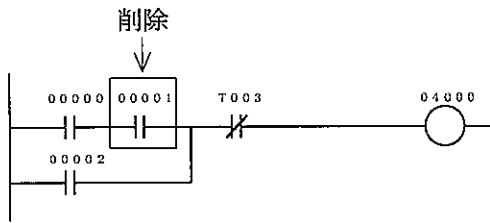
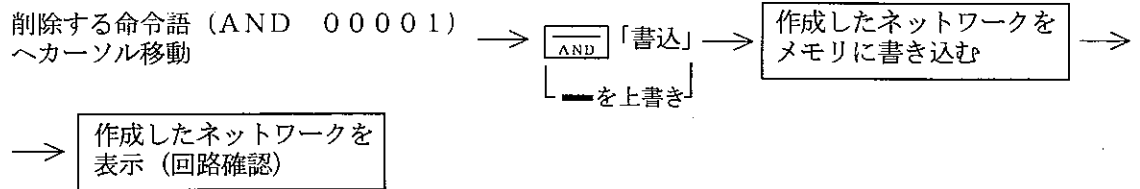
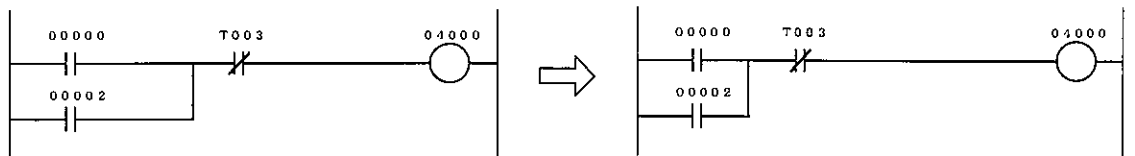
「回路変更」→ 命令語挿入位置(AND　00001)へカーソル移動 →「要素挿入」→ AND　00001以降の命令1要素分右へずれる →

操作例 5 命令語の変更

(下記命令語の変更例)

① 回路作成中

変更する命令語(AND　00001)へカーソル移動 → NOT 4 0 0 1「書込」→

AND NOT 04001を上書き

第7章

② 作成したネットワーク表示中（回路確認）

操作例６　命令語の削除

（下記命令語の削除例）

① 回路作成中

・「書込」キーを押すと、下図のように自動修正します。

・「要素削除」キーで、命令語削除したときも AND（━━）キーで接続してください。

② 作成したネットワーク表示中（回路確認）

・「書込」キーを押すと、下図のように自動修正します。

・「要素削除」キーで、命令語削除したときも AND（━━）キーで接続してください。

第7章

その他の機能

① 行挿入

カーソル位置以降の行を１行下げます。ただし、ネットワークの最上行では使用できません。

② ＯＲ削除

カーソル位置のＯＲ接続線を削除します。

・カーソル位置より上へ、横線と交差するまで削除します。

③ コイルリスト

・プログラム内で、コイル（ＯＵＴ命令）として使用しているリレー番号を「＊」で表示します。

<< コ イ ル 使 用 リ ス ト >>

00000＊	00020	00040	00060	00100	00120	00140	00160
00001＊	00021	00041	00061	00101	00121	00141	00161
00002＊	00022	00042	00062	00102	00122	00142	00162
00003＊	00023	00043	00063	00103	00123	00143	00163
00004＊	00024	00044	00064	00104	00124	00144	00164
00005＊	00025	00045	00065	00105	00125	00145	00165
00006＊	00026	00046	00066	00106	00126	00146	00166
00007＊	00027	00047	00067	00107	00127	00147	00167
00010＊	00030	00050	00070＊	00110	00130	00150	00170
00011＊	00031	00051	00071＊	00111	00131	00151	00171
00012	00032	00052	00072	00112	00132	00152	00172
00013	00033	00053	00073	00113	00133	00153	00173
00014	00034	00054	00074	00114	00134	00154	00174
00015	00035	00055	00075	00115	00135	00155	00175
00016	00036	00056	00076	00116	00136	00156	00176
00017	00037	00057	00077	00117	00137	00157	00177

コイルとして使用しているとき	＊を表示
コイルとして二重使用しているとき	＊を反転表示
コイルとして使用していないとき	なにも表示しない

・１画面１２８点単位で表示します。

・ROLL DOWN キーで前方１２８点、ROLL UP キーで後方１２８点の情報を表示します。

④ T／Cリスト

プログラム内で、タイマ／カウンタ／MD命令として使用している番号を、それぞれ記号で表示します。

```
            << タイマ・カウンタ使用リスト >>

000T     020  040  060  100 T   120  140  160
001 C    021  041  061  101  C  121  141  161
002 C    022  042  062  102     122  142  162
003   M  023  043  063  103     123  143  163
004      024  044  064  104     124  144  164
005      025  045  065  105     125  145  165
006      026  046  066  106     126  146  166
007      027  047  067  107     127  147  167
010      030  050  070  110     130  150  170
011      031  051  071  111     131  151  171
012      032  052  072  112     132  152  172
013      033  053  073  113     133  153  173
014      034  054  074  114     134  154  174
015      035  055  075  115     135  155  175
016      036  056  076  116     136  156  176
017      037  057  077  117     137  157  177
```

TMRとして使用しているとき	Tを表示
10msTMRとして使用しているとき	Tを反転表示
CNTとして使用しているとき	Cを表示
MDとして使用しているとき	Mを表示
TMR／CNT／MDとして二重使用しているとき	T／C／Mを反転表示
TMR／CNT／MDとして使用していないとき	なにも表示しない

・１画面１２８点単位で表示します。

・ROLL DOWNキーで前方１２８点、ROLL UPキーで後方１２８点の情報を表示します。

⑤ＳＴＥＰリスト

ＰＣ機種設定が「ＪＷ２１」または「ＪＷ２２」のときＳＦ命令のステップ番号使用状況を表示します。無印は未使用、＊印は使用を示します。

⑥ 表示切替

接点・コイル等への表示内容を切り替えます。

・「データメモリ番号」は、接点・コイル等の上段に表示します。（初期設定）

・「シンボル」は、接点・コイル等の下段に表示します。

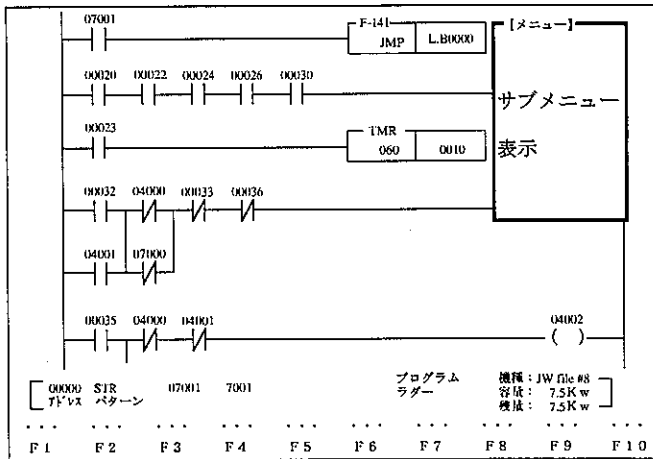
・「シンボル」は半角１６文字を設定出来ますが、先頭より半角６文字分のみ表示します。

※初期状態は、「アドレス表示」となっています。

第7章

〔3〕回路変更

・パソコンのメモリに書き込まれているプログラムの修正、変更を行います。

・「回路表示」の状態で、HOME キーを押すと画面に「メニュー」を表示します。

・回路変更を行うネットワークへ検索機能等を利用してカーソル移動後、「回路変更」を選択すると下記画面表示となり修正・変更を行えます。

カーソル位置のネットワークのみ表示します。

・接点番号、コイル番号等入力後 [⏎]（リターンキー）を押すと、「シンボル・コメント」を登録できます。

(例)「命令入力」—>「接点／コイル番号入力」—> [⏎](リターンキー) —> [シンボル入力] —> [⏎](リターンキー) —>

—> [コメント入力] —>「書込」—> カーソル移動 —>「命令入力」—> ・・・・・

・ラダープログラミングの場合、「命令入力」はプログラムアドレス順に入力する必要はありません。

・「書込」キーを押してメモリに書き込むときは、命令やデータメモリアドレスが正しく設定されていることを確認してください。

・「書込」キーを押すと、未接続の接点とコイル（出力）間を接続し、メモリに書き込みます。
また SHIFT ＋ [⏎] も「書込」と同機能です。

・「プログラムオーバー」により書き込めないときは、プログラムの中間や、END命令付近に存在する不要なプログラムを削除してください。

機　能

名　称	機　能
要素挿入	・カーソル位置より右の要素を１要素分右へ移動し、要素挿入を可能にする
要素削除	・カーソル位置の要素を削除
行挿入	・カーソル位置より下の行を１行下げる
ＯＲ削除	・カーソル位置より上方向交点までのＯＲ接続線を削除
コード	・データメモリ領域の切り替え
コード変換	・レジスタ内容の表示切り替え
接続	・未接続の接点とコイル（出力）を接続
改行	・カーソルを次行先頭へ移動
書込	・作成した回路をパソコンのメモリに書き込む
コイルリスト	・コイル（出力）使用状況表示
Ｔ／Ｃリスト	・タイマ／カウンタ使用状況表示
表示切替	・接点／コイル等への表示内容切り替え
ステップリスト	・ＳＦ命令のステップ使用状況表示
終了	・回路表示モードに戻る
[U ナ] キー	・タイマ／カウンタのＵＰ（アップ）／ＤＯＷＮ（ダウン）設定
[I ニ] キー	・ＵＰ／ＤＯＷＮタイマおよびカウンタの設定値（ＢＣＤ／ＢＩＮ）切り替え
サブメニュー終了	・[ESC] キーを押すと、[HOME] によるサブメニューを終了

第7章

操作例 1　命令の挿入

（下記命令語の挿入例）

アドレス	命　令	
00100	STR	00100
00101	AND	04001
00102	OR	04000
00103	AND　NOT	00101
00104	OUT	04000

→

アドレス	命　令	
00100	STR	00101
00101	AND	04001
00102	OR	04000
00103	AND　NOT	00101
00104	AND	00102
00105	OUT	04000

「回路表示」→「クリア」[OUT] [4] [0] [0] [0]「検索(+)」→ 検索したネットワークを画面最上行に表示 →

（[OUT]～「検索(+)」：命令語を挿入するネットワーク検索）

→ [HOME]（メニュー表示）「回路変更」→ 検索したネットワークのみ表示 → [→] キーで挿入位置へカーソル移動 →

→ [STR] [1] [0] [2]「書込」→ 修正したネットワークをメモリに書き込む → 修正したネットワークを表示（回路確認）

（[STR] [1] [0] [2]：AND　00102 を挿入）

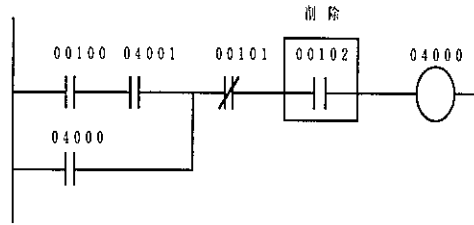
・接点間に命令語を挿入するときは、挿入位置へカーソル移動後「要素挿入」キーを押し挿入位置確保後、命令語を挿入してください。

・行間に命令語を挿入するときは、挿入位置へカーソル移動後「行挿入」キーを押し、挿入位置確保後、命令語を挿入してください。

・リレー番号、タイマ番号等の上位桁の０を入力する必要はありません。

・カーソル移動は、「改行」または、[←] [→] [↑] [↓] キーで行います。

操作例 2　命令の削除

（下記命令語の削除例）

アドレス	命令	
00100	STR	00100
00101	AND	04001
00102	OR	04000
00103	AND NOT	00101
00104	AND	00102
00105	OUT	04000

→

アドレス	命令	
00100	STR	00100
00101	AND	04001
00102	OR	04000
00103	AND NOT	00101
00104	OUT	04000

「回路表示」→「クリア」［OUT］［4］［0］［0］［0］「検索(+)」→ 検索したネットワークを画面最上行に表示 →

└── 命令語を削除するネットワーク検索 ──┘

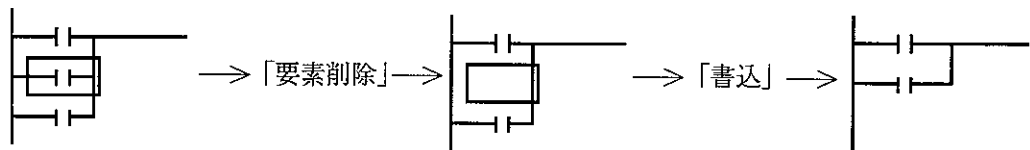
→「要素削除」「書込」→ 修正したネットワークをメモリに書き込む → 修正したネットワークを表示（回路確認）

・命令の削除は、［AND］(−) キーでの上書きでも行えます。

・行間の命令削除例

・リレー番号、タイマ番号等の上位桁の0を入力する必要はありません。

・カーソル移動は、「改行」または、［←］［→］［↑］［↓］キーで行います。

第7章

操作例 3　命令の変更

（下記命令語の変更例）

アドレス	命	令
00110	STR	00100
00111	AND	04001
00112	OR	04000
00113	AND	00101
00114	OUT	04000

→

アドレス	命	令
00110	STR	00100
00111	AND	04001
00112	OR	04000
00113	AND NOT	00102
00114	OUT	04000

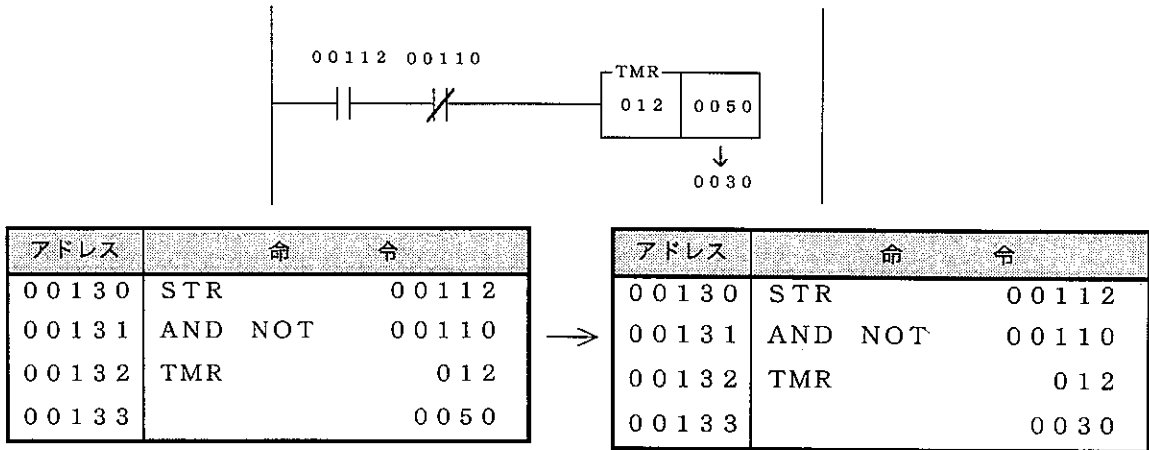
→ NOT 1 0 2 「書込」→ 修正したネットワークをメモリに書き込む → 修正したネットワークを表示（回路確認）

AND NOT 00102を上書き

・リレー番号、タイマ番号等の上位桁の0を入力する必要はありません。

・カーソル移動は、「改行」または、 ← → ↑ ↓ キーで行います。

操作例4　データメモリ・設定値の変更

（下記設定値の変更例）

アドレス	命	令
00130	STR	00112
00131	AND　NOT	00110
00132	TMR	012
00133		0050

→

アドレス	命	令
00130	STR	00112
00131	AND　NOT	00110
00132	TMR	012
00133		0030

→ [→](カーソル移動) キーで変更位置へカーソル移動 → [0] キーで設定値0000にする → [3] [0] 「書込」 →

（[3] [0]：設定値入力）

→ 修正したネットワークをメモリに書き込む

・リレー番号、タイマ番号等の上位桁の０を入力する必要はありません。

・カーソル移動は、「改行」または、[←] [→] [↑] [↓] キーで行います。

第7章

その他の機能

① 行挿入

カーソル位置以降の行を１行下げます。ただし、ネットワークの最上行では使用できません。

② ＯＲ削除

カーソル位置のＯＲ接続線を削除します。

・カーソル位置より上へ、横線と交差するまで削除します。

③ コイルリスト

・プログラム内で、コイル（ＯＵＴ命令）として使用しているリレー番号を「＊」で表示します。

<< コイル使用リスト >>

00000＊	00020	00040	00060	00100	00120	00140	00160
00001＊	00021	00041	00061	00101	00121	00141	00161
00002＊	00022	00042	00062	00102	00122	00142	00162
00003＊	00023	00043	00063	00103	00123	00143	00163
00004＊	00024	00044	00064	00104	00124	00144	00164
00005＊	00025	00045	00065	00105	00125	00145	00165
00006＊	00026	00046	00066	00106	00126	00146	00166
00007＊	00027	00047	00067	00107	00127	00147	00167
00010＊	00030	00050	00070＊	00110	00130	00150	00170
00011＊	00031	00051	00071＊	00111	00131	00151	00171
00012	00032	00052	00072	00112	00132	00152	00172
00013	00033	00053	00073	00113	00133	00153	00173
00014	00034	00054	00074	00114	00134	00154	00174
00015	00035	00055	00075	00115	00135	00155	00175
00016	00036	00056	00076	00116	00136	00156	00176
00017	00037	00057	00077	00117	00137	00157	00177

コイルとして使用しているとき	＊を表示
コイルとして二重使用しているとき	＊を反転表示
コイルとして使用していないとき	なにも表示しない

・１画面１２８点単位で表示します。

・[ROLL DOWN] キーで前方１２８点、[ROLL UP] キーで後方１２８点の情報を表示します。

④ T／Cリスト

プログラム内で、タイマ／カウンタ／MD命令として使用している番号を、それぞれ記号で表示します。

TMRとして使用しているとき	Tを表示
10ms TMRとして使用しているとき	Tを反転表示
CNTとして使用しているとき	Cを表示
MDとして使用しているとき	Mを表示
TMR／CNT／MDとして二重使用しているとき	T／C／Mを反転表示
TMR／CNT／MDとして使用していないとき	なにも表示しない

・1画面128点単位で表示します。

・ROLL DOWN キーで前方128点、ROLL UP キーで後方128点の情報を表示します。

⑤ STEPリスト

PC機種設定が「JW21」または「JW22」のときSF命令のステップ番号使用状況を表示します。無印は未使用、*印は使用を示します。

⑥ 表示切替

接点・コイル等への表示内容を切り替えます。

・「データメモリ番号」は、接点・コイル等の上段に表示します。（初期設定）

・「シンボル」は、接点・コイル等の下段に表示します。

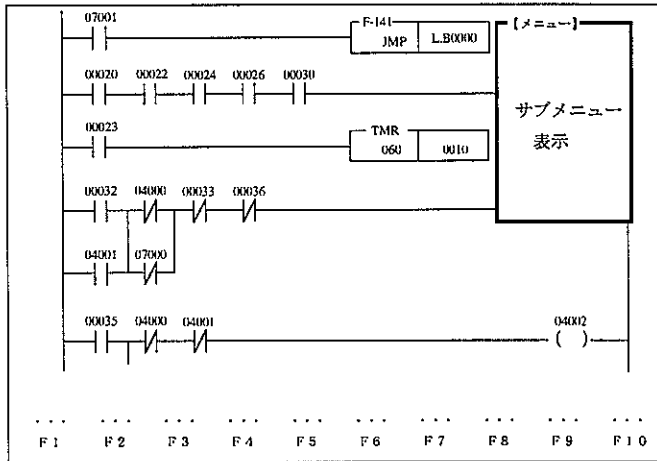
・「シンボル」は半角16文字を設定出来ますが、先頭より半角6文字のみ表示します。

※初期値は「アドレス表示」となっています。

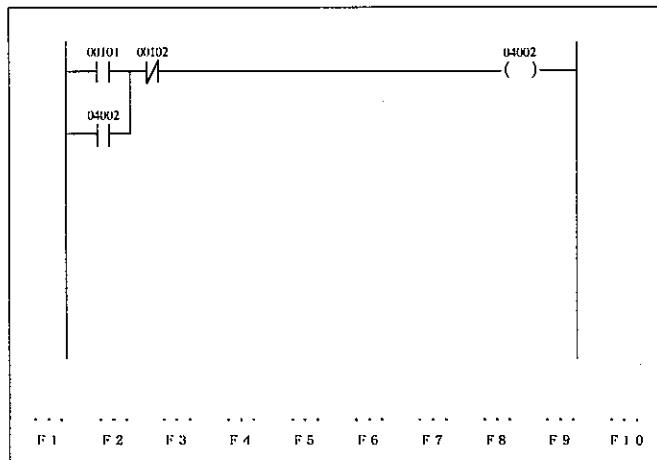
第7章

〔4〕回路削除

パソコンのメモリに書き込まれているプログラムの任意のネットワークを削除します。

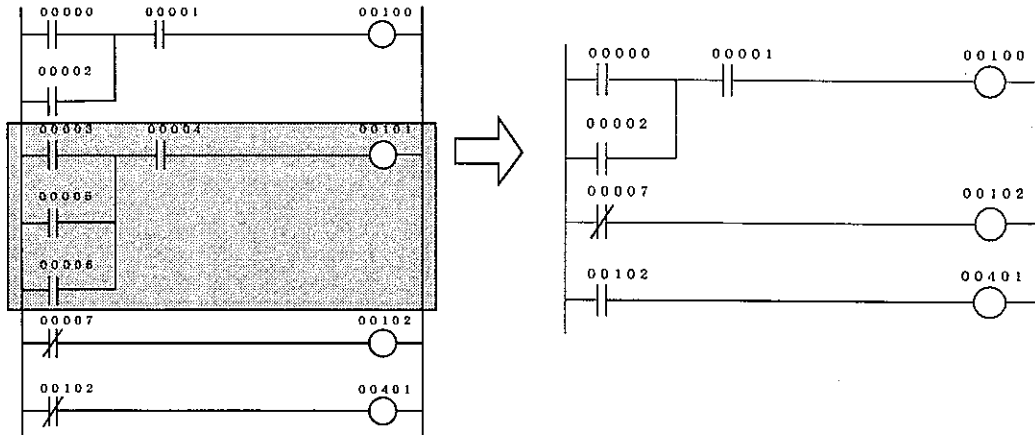
「回路表示」の状態で、HOME キーを押すと画面に「メニュー」を表示します。

・回路削除を行うネットワークへ検索機能等を利用してカーソル移動後、「回路削除」を選択すると下記画面表示となりネットワーク単位で削除できます。

カーソル位置のネットワークのみ表示します。

第7章

機　　能

名　　称	機　　能
削　　除	表示中のネットワークを削除
終　　了	回路表示モードに戻る

操 作 例

（下記斜線のネットワーク削除例）

「回路表示」—> 「クリア」[OUT] [1] [0] [1] 「検索(+)」 —> 検索したネットワークを画面最上行に表示 —>

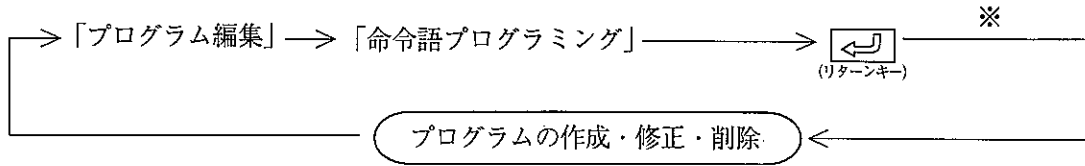
└── 削除するネットワーク検索 ──┘

—> [HOME](メニュー表示) 「回路削除」 [↵](リターンキー) —> 「削除」 —> 指定したネットワークを削除し、以降のネットワークをつめて表示

第7章

7－4 命令語プログラミング

命令語によりプログラムの作成・修正・削除等を行うモードです。

操作概要

※ 機種をJW30Hに設定の場合

本ソフト(Ver 5.0以上)を使用して、プログラムメモリがクリア状態のとき下記画面を表示します。

構造化プログラム手法を利用しますか

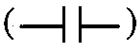
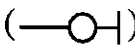
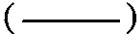
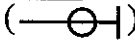
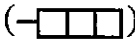
0:使用する　1:使用しない

ここで、「0」を選択して[↵](リターンキー)を押すと、以降は構造化プログラム手法でのプログラム作成となります。

「1」を選択して[↵](リターンキー)を押すと、回路表示して通常のプログラム作成となります。

構造化プログラム手法については、「JW-52SP/92SP構造化プログラミングマニュアル」に説明していますので、本書と共にお読みください。

備　　考

・命令語表示

縦方向：１６ステップ／画面（ステップ単位でスクロール表示）

横方向：プログラムアドレス、命令語、リレー／タイマ等の番号、シンボル、コメントを表示

・カーソル移動

[↑]: ステップマイナス方向へ移動

[↓]: ステッププラス方向へ移動

[→]: シンボル／コメント欄内で右へ移動

[←]: シンボル／コメント欄内で左へ移動

・命令語キー

キー	命令		キー	命令
[STR]:	STR (─┤├─)		[OUT]:	OUT (──○┤)
[NOT]:	NOT (─┤/├─)		[CNT]:	CNT (──○┤)
[AND]:	AND (────)		[TMR]:	TMR (──○┤)
[OR]:	OR (═══)		[FUN]:	FUN (─[ ])

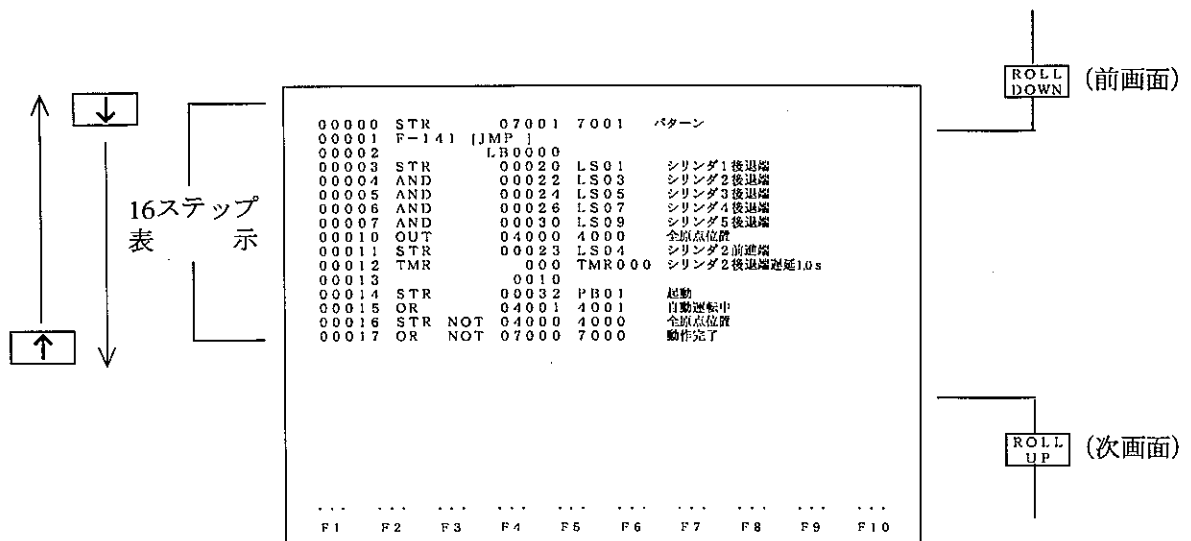
・入力例（１）画面表示

アドレス	命　　令		キー入力
00000	STR NOT TMR	100	→ [STR] [NOT] [TMR] [1] [0] [0]「書込」
00001	AND	04000	→ [AND] [4] [0] [0] [0]「書込」

第７章

操作手順１

〔1〕画面表示

- 「命令語プログラミング」モードを選択したとき、すでにプログラムがパソコンのメモリに書き込まれている場合は、プログラムの先頭より１６ステップ分の内容を表示します。
- プログラムが書き込まれていないときは、アドレスのみ表示します。
- [↓]キーを押すと、アドレスプラス方向へカーソル移動し、最下行のときに押すと、次アドレスをスクロール表示します。
- [↑]キーを押すと、アドレスマイナス方向へカーソル移動し、最上行のときに押すと、前アドレスをスクロール表示します。
- [ROLL UP]キーで、表示中の最下行を最上行として次の画面を表示します。また、[ROLL DOWN]キーで、表示中の最上行を最下行として前の画面を表示します。

[画面表示での機能]

機　　　　能	参照ページ
キー操作による検索表示	7・47
命令検索による表示	7・47
プログラムアドレス検索による表示	7・48
データメモリアドレス検索による表示	7・49
データメモリ番号・設定値の変更	7・49
命令語単位の移動・複写・削除	7・50
ライブラリファイルの登録・読出・削除	7・53
データメモリの使用状況表示	7・54
リレー・タイマ・カウンタ番号の一括変更	7・54
ステップの使用状況表示	7・55

第7章

(1) キー操作による検索表示

- [↓] キーを押すと、アドレスプラス方向へカーソル移動し、最下行のときに押すと、次アドレスをスクロール表示します。
- [↑] キーを押すと、アドレスマイナス方向へカーソル移動し、最上行のときに押すと、前アドレスをスクロール表示します。
- [ROLL UP] キーで、表示中の最下行を最上行として次の画面を表示します。また、[ROLL DOWN] キーで、表示中の最上行を最下行として前の画面を表示します。

(2) 命令検索による表示

命令を設定し、その命令が存在するプログラムアドレスをカーソル位置として表示します。

<キー操作>

「クリア」 ──> 「アドレス」 ──> 検索開始プログラムアドレスを入力※ ──> 命令語＋番号 ──>

──> 「検索」 ──> [指定した命令を含む回路を先頭として表示]

・プログラムアドレス００００００から検索する場合は、「※」印の操作は不要です。

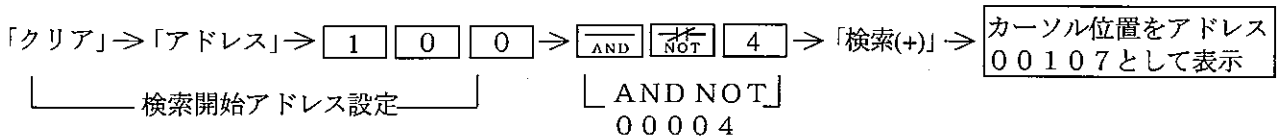
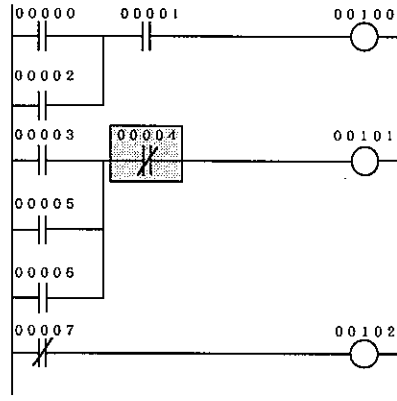
・「検索(+)」キーを続けて押すと、最終アドレスまで検索します。

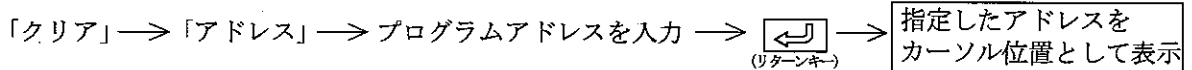
・「検索(-)」キーを続けて押すと、アドレス減少方向に検索します。

[例] AND　NOT　００００４の検索

アドレス	命	令
００１００	STR	０００００
００１０１	OR	０００２
００１０２	AND	００００１
００１０３	OUT	００１００
００１０４	STR	００００３
００１０５	OR	００００５
００１０６	OR	００００６
００１０７	AND　NOT	００００４
００１１０	OUT	００１０１
００１１１	STR　NOT	００００７
００１１２	OUT	００１０２

「クリア」→「アドレス」→ [1] [0] [0] → [AND] [NOT] [4] →「検索(+)」→ カーソル位置をアドレス００１０７として表示

検索開始アドレス設定　　AND NOT ００００４

（３）プログラムアドレス検索による表示

プログラムアドレスを設定し、そのアドレスをカーソル位置として表示します。

<キー操作>

「クリア」→「アドレス」→ プログラムアドレスを入力 → [↵] (リターンキー) → 指定したアドレスをカーソル位置として表示

[例] プログラムアドレス００１０２の検索

アドレス	命	令
００１００	STR	０００００
００１０１	OR	０００２
００１０２	AND	００００１
００１０３	OUT	００１００
００１０４	STR	００００３
００１０５	OR	００００５
００１０６	OR	００００６
００１０７	AND　NOT	００００４
００１１０	OUT	００１０１
００１１１	STR　NOT	００００７
００１１２	OUT	００１０２

第7章

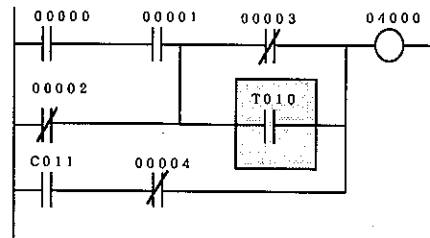
（4）データメモリアドレス検索による表示

任意のデータメモリ（リレー、TMR／CNT等）を設定し、そのデータメモリが存在するプログラムアドレスをカーソル位置として表示します。

<キー操作>

「クリア」→「コード」→ データメモリ領域を選択 → データメモリ番号を入力 →「検索(+)」→ 任意のデータメモリが存在するアドレスをカーソル位置として表示

［例］TMR 010の検索

アドレス	命令	
00000	STR	00000
00001	AND	00001
00002	OR NOT	00002
00003	STR NOT	00003
00004	OR TMR	010
00005	AND STR	
00006	STR CNT	011
00007	AND NOT	00004
00010	OR STR	
00011	OUT	04000

「クリア」→「コード」→ [1] [0] →「検索(+)」→ TMR 010（OR TMR 010）のアドレスをカーソル位置として表示

（「コード」：TMR・CNT領域選択、[1] [0]：TMR 010を検索）

・「コード」キーを押して、データメモリ領域を選択してください。

・「検索(+)」キーを続けて押すと、最終アドレスまで検索します。

・「検索(−)」キーを押すと、アドレス減少方向に検索します。

（5）データメモリ番号・設定値の変更

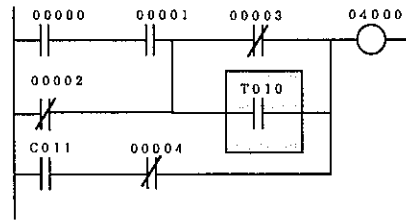
プログラム内で使用しているデータメモリ番号または、設定値を変更します。

<キー操作>

変更したいアドレスへカーソル移動 → データメモリ番号または、設定値入力 →「書込」

第7章

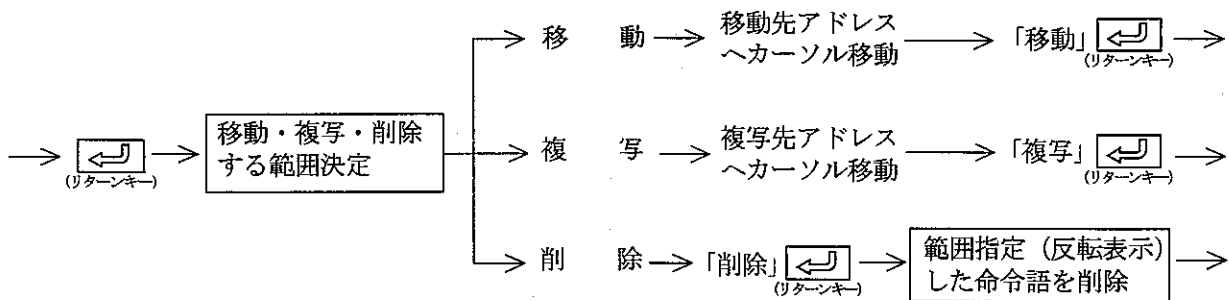
[例] TMR 010 を　TMR 001 へ変更

アドレス	命	令
00000	STR	00000
00001	AND	00001
00002	OR NOT	00002
00003	STR NOT	00003
00004	OR TMR	010
00005	AND STR	
00006	STR CNT	011
00007	AND NOT	00004
00010	OR STR	
00011	OUT	04000

（6）命令語単位の移動・複写・削除

範囲指定を行った任意の命令語を任意の位置へ移動・複写および削除します。

＜キー操作＞

移動・複写・削除する先頭アドレスへカーソル移動 → HOME (メニュー表示) →「範囲指定」⏎(リターンキー) → カーソル位置の行反転表示 →

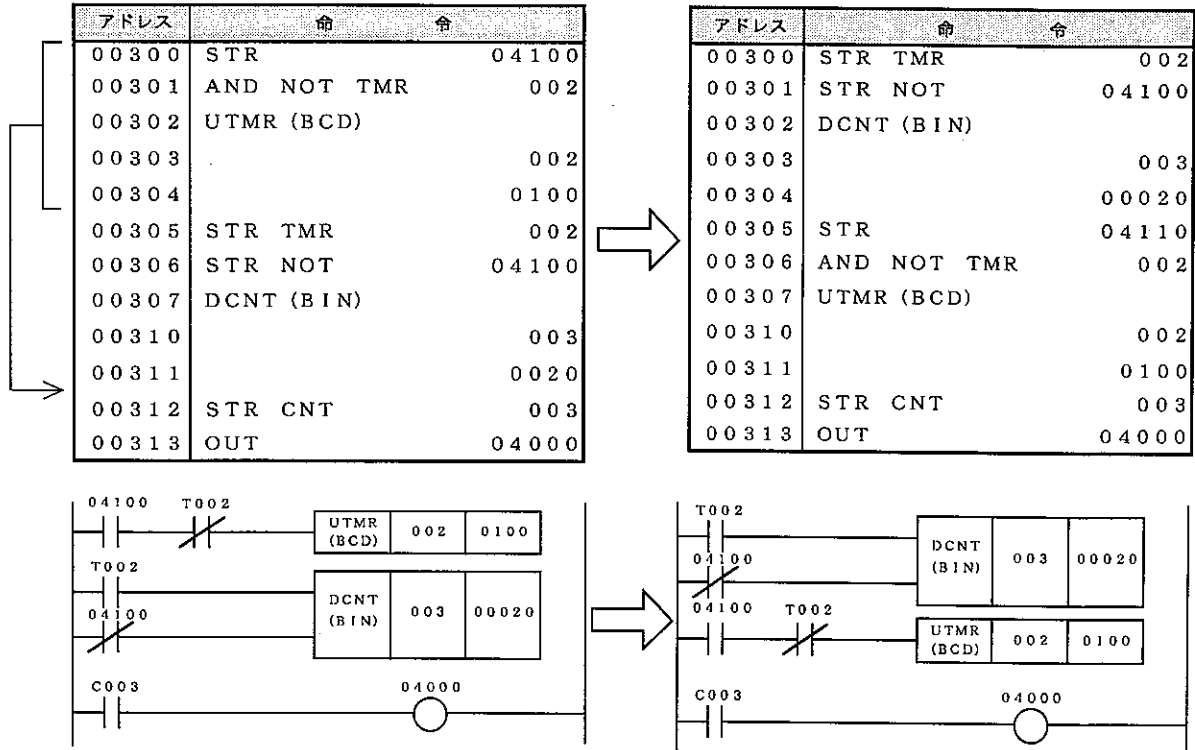
→ 移動・複写・削除する最終アドレスへカーソル移動

→ カーソル位置のアドレスの前へ複写 → 複写後の命令語表示

→ 削除後の命令語を前につめて表示

第7章

[例1] 移 動

アドレス	命 令	
00300	STR	04100
00301	AND NOT TMR	002
00302	UTMR (BCD)	
00303		002
00304		0100
00305	STR TMR	002
00306	STR NOT	04100
00307	DCNT (BIN)	
00310		003
00311		0020
00312	STR CNT	003
00313	OUT	04000

アドレス	命 令	
00300	STR TMR	002
00301	STR NOT	04100
00302	DCNT (BIN)	
00303		003
00304		00020
00305	STR	04110
00306	AND NOT TMR	002
00307	UTMR (BCD)	
00310		002
00311		0100
00312	STR CNT	003
00313	OUT	04000

→ HOME(メニュー表示)「範囲指定」↵(リターンキー) → ↓ (アドレス00304までカーソル移動) → ↵(リターンキー) →

アドレス00300～00304間反転表示

[例2] 複 写

アドレス	命 令	
00300	STR	04100
00301	AND NOT TMR	002
00302	UTMR (BCD)	
00303		002
00304		0100
00305	STR TMR	002
00306	STR NOT	04100
00307	DCNT (BIN)	
00310		003
00311		0020
00312	STR CNT	003
00313	OUT	04000

⇨

アドレス	命 令	
00300	STR	04100
00301	AND NOT TMR	002
00302	UTMR (BCD)	
00303		002
00304		0100
00305	STR TMR	002
00306	STR NOT	04100
00307	DCNT (BIN)	
00310		003
00311		00020
00312	STR	04100
00313	AND NOT TMR	002
00314	UTMR (BCD)	
00315		002
00316		0100
00317	STR CNT	003
00320	OUT	04000

「クリア」「アドレス」[STR] [4] [1] [0] [0] 「検索(＋)」 ⟶
STR 04 100を検索

⟶ [HOME](メニュー表示) 「範囲指定」[⏎](リターンキー) ⟶ [↓] (アドレス００３０４までカーソル移動) ⟶
アドレス００３００～００３０４間反転表示

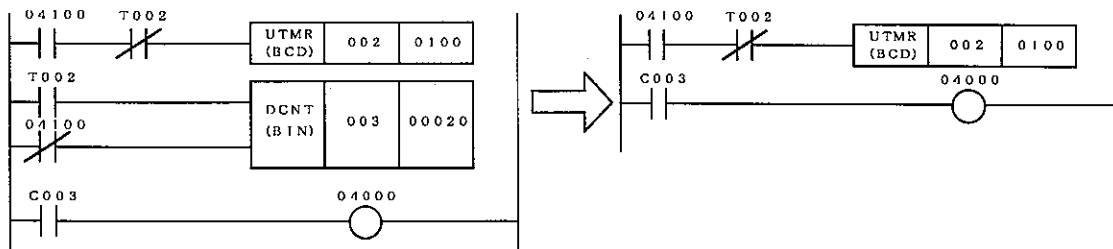
⟶ [⏎](リターンキー) ⟶ [↓] (アドレス００３１２までカーソル移動) ⟶ 「複写」[⏎](リターンキー) ⟶ アドレス００３１２の直前へ００３００～００３０４の命令語複写

［例3］削　除

アドレス	命	令
00300	STR	04100
00301	AND NOT TMR	002
00302	UTMR (BCD)	
00303		002
00304		0100
00305	STR TMR	002
00306	STR NOT	04100
00307	DCNT (BIN)	
00310		003
00311		0020
00312	STR CNT	003
00313	OUT	04000

削除（00305～00311）

⟹

アドレス	命	令
00300	STR	04100
00301	AND NOT TMR	002
00302	UTMR (BCD)	
00303		002
00304		0100
00305	STR CNT	003
00306	OUT	04000

「クリア」「アドレス」[STR] [TMR] [2] ⟶ [HOME](メニュー表示) 「範囲指定」[⏎](リターンキー) ⟶ [↓] (アドレス００３１１までカーソル移動) ⟶
STR TMR ００２を検索
アドレス００３０５～００３１１間反転表示

⟶ [⏎](リターンキー) ⟶ 「削除」[⏎](リターンキー) ⟶ アドレス００３０５～００３１１間の命令語削除し、以降の命令語を前へつめる

第7章

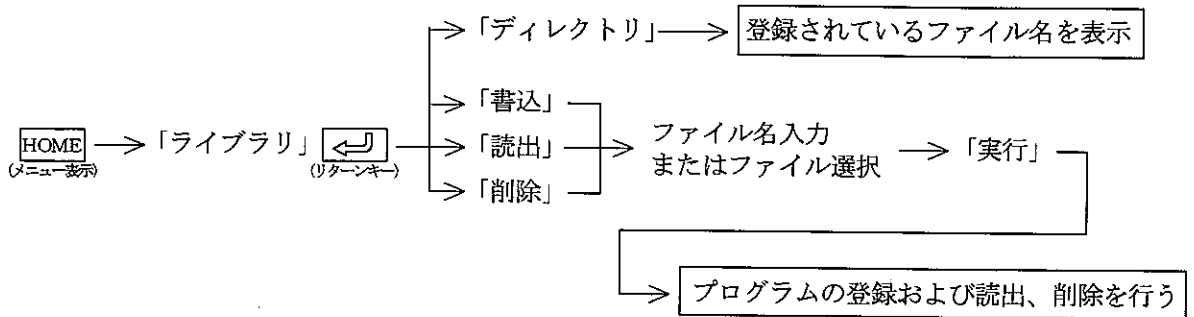
（7）ライブラリファイルの登録・読出・削除

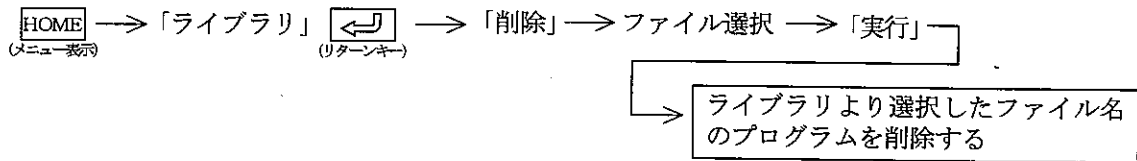
作成したプログラムをライブラリファイルへ登録（書込）および、ライブラリファイルより読出・削除します。

<キー操作>

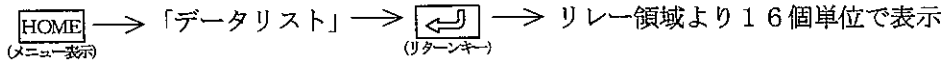
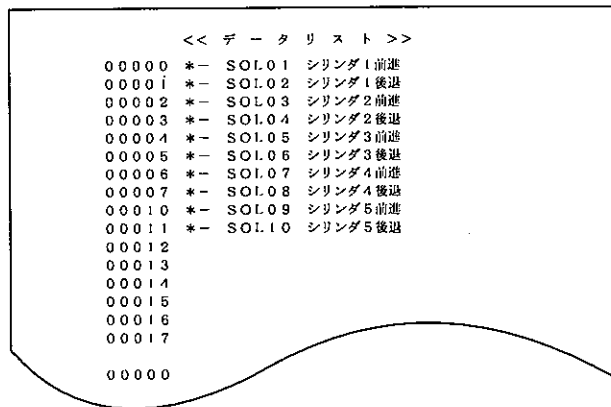
① 登録（書込）

7･18～20ﾍﾟｰｼﾞと同様です。

② 読出

7･19～21ﾍﾟｰｼﾞと同様です。

③ 削除

登録されているファイル名は「ディレクトリ」キーを押すと表示します。

（8）データメモリの使用状況表示

・データメモリの使用状況を登録したシンボル・コメント付きで表示します。

・接点として使用しているときは、「−」表示、コイル（ＯＵＴ命令）として使用しているときは「＊」表示となります。

＜キー操作＞

HOME（メニュー表示）→「データリスト」→ ⏎（リターンキー）→ リレー領域より１６個単位で表示

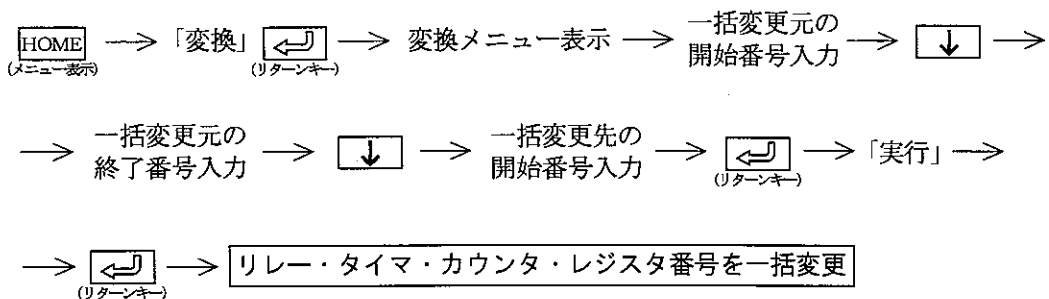
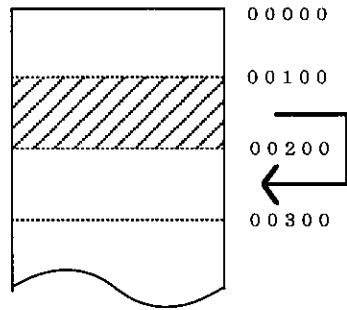
＜表示例＞

「コード」キーを押し、データメモリ領域選択 → アドレス入力 → ⏎ → 入力したアドレスより１６個分表示 → ROLL DOWN ／ ROLL UP キーで表示中の前画面／次画面表示

（9）リレー・タイマ・カウンタ・レジスタ番号の一括変更

プログラム内で使用しているリレー・タイマ・カウンタ・レジスタの番号を一括変更します。

＜キー操作＞

HOME（メニュー表示）→「変換」⏎（リターンキー）→ 変換メニュー表示 → 一括変更元の開始番号入力 → ↓ → 一括変更元の終了番号入力 → ↓ → 一括変更先の開始番号入力 → ⏎（リターンキー）→「実行」→ ⏎（リターンキー）→ リレー・タイマ・カウンタ・レジスタ番号を一括変更

・「コード」キーで、リレー→タイマ／カウンタ→レジスタ領域を切り替えられます。

［例］リレー番号００１００～００１７７を００２００～００２７７に変更

（１０）ステップの使用状況表示

ＰＣ機種設定が「ＪＷ２１」および「ＪＷ２２」のとき、ＳＦ命令のステップ使用状況を表示します。

＜キー操作＞

HOME (メニュー表示) → 「ステップリスト」 → ⏎ (リターンキー) → ステップ使用状況をプロセス単位で表示

無印は未使用、＊印は使用を示します。

第7章

〔2〕 プログラム作成

・パソコンのメモリに命令語でプログラムを書き込みます。

・プログラムの書き込み方法は、

1．アドレス００００００からの書き込み

2．指定アドレスからの書き込み

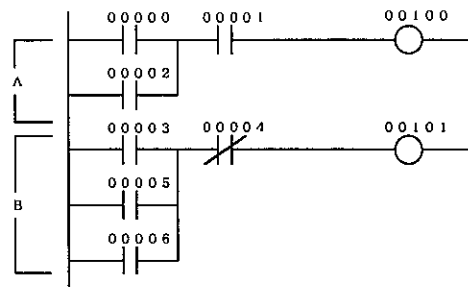
3．プログラムが書き込まれていないアドレスからの書き込みがあります。

・プログラム書き込み中にも、シンボル・コメントの登録及び変更が行えます。

> ・リレー番号、タイマ番号等の上位桁の０を入力する必要はありません。
> ・SHIFT ＋ ⏎ も「書込」と同機能です。
> ・シンボル／コメントを日本語で入力される場合は準備された「日本語変換プログラム」の取扱説明書を参照してください。
> ・データメモリ領域の切り替えは「コード」キーを使用してください。
> ・レジスタ内容の切り替えは「コード変換」キーを使用してください。
> ・「プログラムオーバー」により書き込めないときは、プログラムの中間やＥＮＤ命令付近に存在する不要なプログラムを削除してください。

操作例１ プログラムアドレス０００００からの書込

（下記プログラムの書き込み例）

アドレス	命令	
00000	STR	00000
00001	OR	00002
00002	AND	00001
00003	OUT	00100
00004	STR	00003
00005	OR	00005
00006	OR	00006
00007	AND NOT	00004
00010	OUT	00101

※ 命令語プログラミングは、アドレス単位で命令入力後、「書込」キーを押して書き込みます。

※ 命令入力後、 ⏎ （リターン）キーを押すと入力したリレー、タイマ／カウンタ番号等のシンボル・コメントを登録／変更できます。この場合、シンボル・コメント入力後、「書込」キーを押して書き込みます。

※「書込」キーを押すと、登録したアドレスが上へ１行スクロールします。カーソルは＋１したアドレスとなります。（カーソル位置は変化しません。）

※ 登録した内容を確認しながらプログラム作成するときは、カーソルを ↓ キーで最下行へ移動後、登録すれば直前の１５ステップ分の内容を表示します。

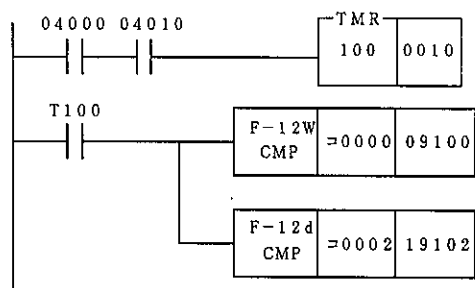
<キー操作>

「命令語プログラミング」選択
キーでカーソルを最下行へ移動
「クリア」
カーソル位置のアドレス00000にする
「書込」
STR 00000
OR 00002
AND 00001
OUT 00100
ネットワークAの書き込み
STR 00003
OR 00005
OR 00006
AND NOT 00004
OUT 00101

第7章

操作例２ 指定アドレスからの書込

（下記プログラムの書き込み例）

アドレス	命令	
00600	STR	04000
00601	AND	04010
00602	TMR	100
00603		0010
00604	STR TMR	100
00605	F−12w	
00606		コ0000
00607		09100
00610	F−12d	
00611		コ0002
00612		19102

※ 命令語プログラミングは、アドレス単位で命令入力後、「書込」キーを押して書き込みます。

※ 命令入力後、［⏎］（リターン）キーを押すと入力したリレー、タイマ／カウンタ番号等のシンボル・コメントを登録／変更できます。この場合、シンボル・コメント入力後「書込」キーを押して書き込みます。

※「書込」キーを押すと、登録したアドレスが上へ１行スクロールします。カーソルは＋１したアドレスとなります。（カーソル位置は変化しません。）

※ 登録した内容を確認しながらプログラム作成するときは、カーソルを［↓］キーで最下行へ移動後、登録すれば直前の１５ステップ分の内容を表示します。

第7章

「命令語プログラミング」選択→［↓］キーでカーソルを最下行へ移動→「クリア」「アドレス」［6］［0］

└── カーソル位置のアドレス００６００にする ──

→［0］→［STR］［4］［0］［0］［0］→「書込」→［AND］［4］［0］［1］［0］→「書込」→［TMR］

└ STR ０４０００ ┘　└ AND ０４０１０ ┘

→［1］［0］［0］→「書込」→［1］［0］→「書込」→［STR］［TMR］［1］［0］［0］→「書込」→［FUN］

── TMR １００ ┘　└設定値 ００１０┘　└ STR TMR １００ ┘

→［1］［2］「コード」「コード」→「書込」→「書込」→「コード」「コード」［1］［0］［0］→「書込」→

── F−１２W ──┘　コ００００　└── ０９１００ ──┘

→［FUN］［1］［2］「コード」「コード」「コード」「コード」→「書込」→［2］→「書込」→「コード」「コード」

└── F−１２d ──┘　└コ０００２┘

→［1］［0］［2］→「書込」

── １９１０２ ──┘

操作例 3　プログラムの書かれていないアドレスからの書込

（下記プログラムの書き込み例）

アドレス	命	令
01000	STR	04100
01001	UTMR (BCD)	
01002		020
01003		0300
01004	STR	04101
01005	STR	04102
01006	DCNT (BIN)	
01007		015
01010		00020

※ 命令語プログラミングは、アドレス単位で命令入力後「書込」キーを押して書き込みます。

※ 命令入力後、［⏎］（リターン）キーを押すと入力したリレー、タイマ／カウンタ番号等のシンボル・コメントを登録／変更できます。この場合、シンボル・コメント入力後「書込」キーを押して書き込みます。

※「書込」キーを押すと、登録したアドレスが上へ1行スクロールします。カーソルは＋1したアドレスとなります。（カーソル位置は変化しません。）

※ 登録した内容を確認しながらプログラム作成するときは、カーソルを［↓］キーで最下行へ移動後、登録すれば直前の15ステップ分の内容を表示します。

第7章

操作例 4　命令語の挿入

（下記命令語の挿入例）

アドレス	命	令
00110	STR	00100
00111	AND	04001
00112	OR	04000
00113	AND NOT	00101
00114	OUT	04000

⇒

アドレス	命	令
00110	STR	00100
00111	AND	04001
00112	OR	04000
00113	AND NOT	00101
00114	AND	00102
00115	OUT	04000

※ 命令語プログラミングは、アドレス単位で命令入力後、「書込」キーを押して書き込みます。

※ 命令入力後、［⏎］（リターン）キーを押すと入力したリレー、タイマ／カウンタ番号等のシンボル・コメントを登録／変更できます。この場合、シンボル・コメント入力後「書込」キーを押して書き込みます。

※「書込」キーを押すと、登録したアドレスが上へ1行スクロールします。カーソルは＋1したアドレスとなります。（カーソル位置は変化しません。）

※ 登録した内容を確認しながらプログラム作成するときは、カーソルを［↓］キーで最下行へ移動後、登録すれば直前の１５ステップ分の内容を表示します。

操作例 5　命令語の変更

（下記命令語の変更例）

アドレス	命	令
00110	STR	00100
00111	AND	04001
00112	OR	04000
00113	AND	00101
00114	OUT	04000

⇨

アドレス	命	令
00110	STR	00100
00111	AND	04001
00112	OR	04000
00113	AND　NOT	00102
00114	OUT	04000

※ 命令語プログラミングは、アドレス単位で命令入力後、「書込」キーを押して書き込みます。

※ 命令入力後、[⏎]（リターン）キーを押すと入力したリレー、タイマ／カウンタ番号等のシンボル・コメントを登録／変更できます。この場合、シンボル・コメント入力後「書込」キーを押して書き込みます。

※「書込」キーを押すと、登録したアドレスが上へ1行スクロールします。カーソルは＋１したアドレスとなります。（カーソル位置は変化しません。）

※ 登録した内容を確認しながらプログラム作成するときは、カーソルを[↓]キーで最下行へ移動後、登録すれば直前の１５ステップ分の内容を表示します。

第7章

「命令語プログラミング」選択 ⟶ [↓]キーでカーソルを最下行へ移動⟶

操作例 6　命令語の削除

（下記命令語の削除例）

アドレス	命 令	
00110	STR	00100
00111	AND	04001
00112	OR	04000
00113	AND　NOT	00101
00114	AND	00102
00115	OUT	04000

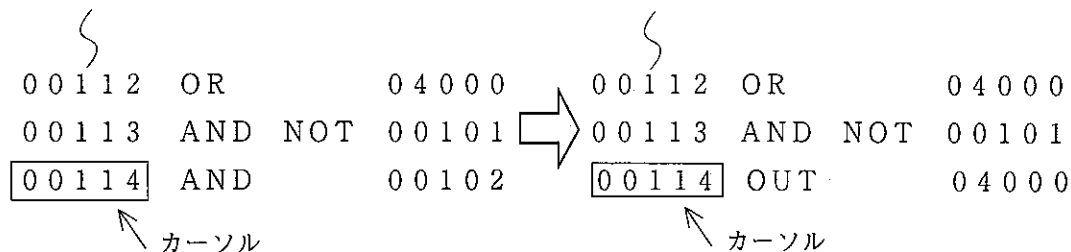
アドレス	命 令	
00110	STR	00100
00111	AND	04001
00112	OR	04000
00113	AND　NOT	00101
00114	OUT	04000

※ 命令語プログラミングは、アドレス単位で命令入力後、「書込」キーを押して書き込みます。

※ 命令入力後、[⏎]（リターン）キーを押すと入力したリレー、タイマ／カウンタ番号等のシンボル・コメントを登録／変更できます。この場合、シンボル・コメント入力後「書込」キーを押して書き込みます。

※「書込」キーを押すと、登録したアドレスが上へ１行スクロールします。カーソルは＋１したアドレスとなります。（カーソル位置は変化しません。）

※ 登録した内容を確認しながらプログラム作成するときは、カーソルを[↓]キーで最下行へ移動後、登録すれば直前の１５ステップ分の内容を表示します。

「命令語プログラミング」選択 ⟶ [↓] キーでカーソルを最下行へ移動 ⟶

その他の機能

① コイルリスト

・プログラム内で、コイル（ＯＵＴ命令）として使用しているリレー番号を「＊」で表示します。

＜キー操作＞

「命令語プログラミング」選択 → HOME（メニュー表示） → 「コイルリスト」 → ⏎（リターンキー）

<< コ イ ル 使 用 リ ス ト >>

00000＊	00020	00040	00060	00100	00120	00140	00160
00001＊	00021	00041	00061	00101	00121	00141	00161
00002＊	00022	00042	00062	00102	00122	00142	00162
00003＊	00023	00043	00063	00103	00123	00143	00163
00004＊	00024	00044	00064	00104	00124	00144	00164
00005＊	00025	00045	00065	00105	00125	00145	00165
00006＊	00026	00046	00066	00106	00126	00146	00166
00007＊	00027	00047	00067	00107	00127	00147	00167
00010＊	00030	00050	00070＊	00110	00130	00150	00170
00011＊	00031	00051	00071＊	00111	00131	00151	00171
00012	00032	00052	00072	00112	00132	00152	00172
00013	00033	00053	00073	00113	00133	00153	00173
00014	00034	00054	00074	00114	00134	00154	00174
00015	00035	00055	00075	00115	00135	00155	00175
00016	00036	00056	00076	00116	00136	00156	00176
00017	00037	00057	00077	00117	00137	00157	00177

コイルとして使用しているとき	＊を表示
コイルとして二重使用しているとき	＊を反転表示
コイルとして使用していないとき	なにも表示しない

・１画面１２８点単位で表示します。

・ROLL DOWN キーで前方１２８点、ROLL UP キーで後方１２８点の情報を表示します。

② Ｔ／Ｃリスト

・プログラム内で、タイマ／カウンタ／MD命令として使用している番号を、それぞれ記号で表示します。

＜キー操作＞

「命令語プログラミング」選択 → HOME（メニュー表示） → 「Ｔ／Ｃリスト」 → ⏎（リターンキー）

<< タイマ・カウンタ使用リスト >>

000T	020	040	060	100 T	120	140	160
001 C	021	041	061	101 C	121	141	161
002 C	022	042	062	102	122	142	162
003 M	023	043	063	103	123	143	163
004	024	044	064	104	124	144	164
005	025	045	065	105	125	145	165
006	026	046	066	106	126	146	166
007	027	047	067	107	127	147	167
010	030	050	070	110	130	150	170
011	031	051	071	111	131	151	171
012	032	052	072	112	132	152	172
013	033	053	073	113	133	153	173
014	034	054	074	114	134	154	174
015	035	055	075	115	135	155	175
016	036	056	076	116	136	156	176
017	037	057	077	117	137	157	177

ＴＭＲとして使用しているとき	Ｔを表示
１０ｍｓＴＭＲとして使用しているとき	Ｔを反転表示
ＣＮＴとして使用しているとき	Ｃを表示
ＭＤとして使用しているとき	Ｍを表示
ＴＭＲ／ＣＮＴ／ＭＤとして二重使用しているとき	Ｔ／Ｃ／Ｍを反転表示
ＴＭＲ／ＣＮＴ／ＭＤとして使用していないとき	なにも表示しない

・１画面１２８点単位で表示します。

・ROLL DOWN キーで前方１２８点、ROLL UP キーで後方１２８点の情報を表示します。

③ ステップリスト

・ＰＣ機種設定が「ＪＷ２１」また「ＪＷ２２」のときＳＦ命令のステップ番号使用状況を「＊」で表示します。

「命令語プログラミング」選択 → HOME（メニュー表示） → 「ステップリスト」 → ⏎（リターンキー）

無印は未使用、＊印は使用を示します。

第7章

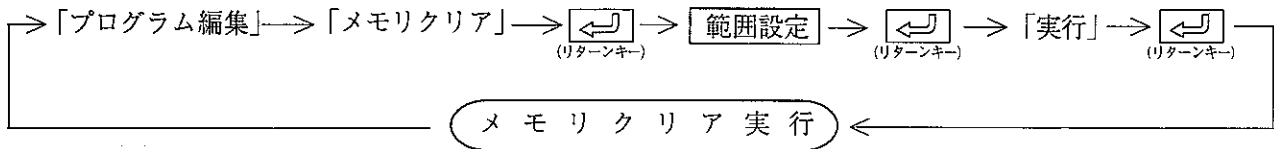
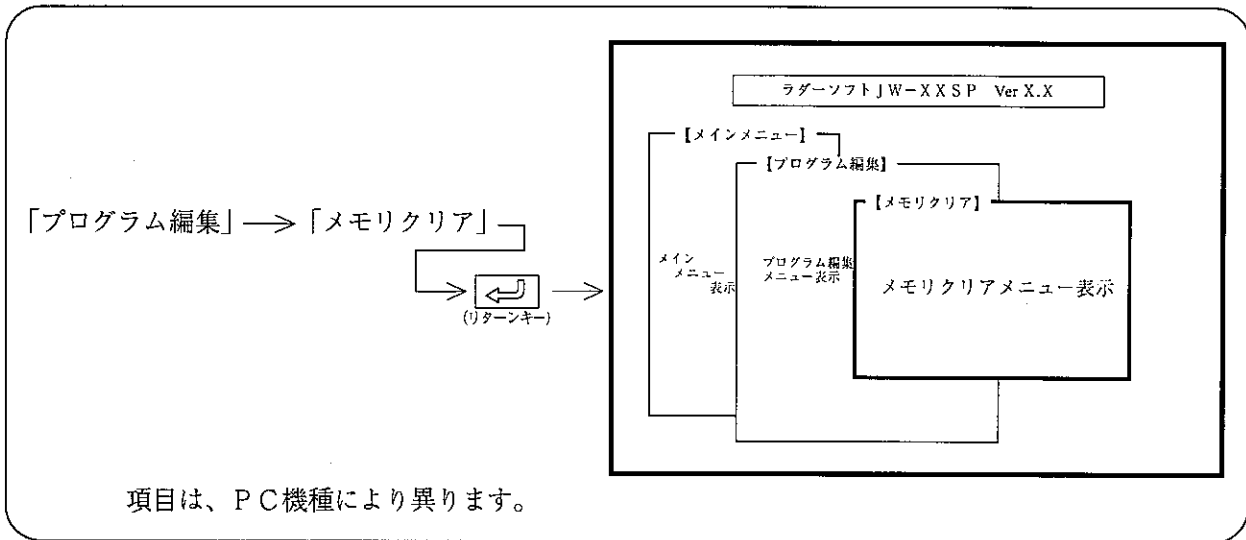
7－5 メモリクリア

新たにプログラムを作成する場合、およびパソコンのメモリ内容を消去して新しいプログラム作成する場合にメモリクリアを行うモードです。

操作概要

操作手順1

項目は、ＰＣ機種により異ります。

第7章

操作例

（1）プログラムメモリのクリア範囲設定方法

「する」を選択して、クリアする開始番号入力 → [→](カーソル移動) →クリアする終了番号入力

（2）データメモリ、ファイルメモリ等の設定方法

(例、データメモリの設定方法)

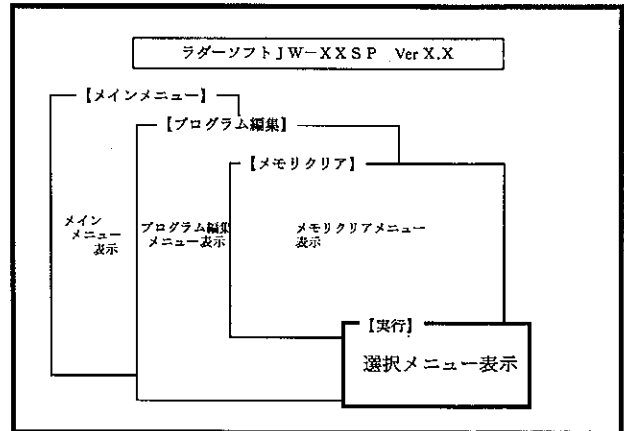
数値キーまたは、カーソル移動キー（[←][→]）を押し、カーソル（反転表示）移動にて選択します。

→「しない」→「数値キー」→「する」→「数値キー」

（3）ファイルメモリのクリア範囲設定方法(PC機種がJW32H/H1、JW33H/H1、JW33H2/H3の場合)

「する」を選択して、クリアする先頭ファイル番号入力 → [→](カーソル移動) →クリアする終了番号入力

操作手順2

「メモリクリア」→ 範囲設定 → [↵](リターンキー) →

操 作 例

（1）メモリクリアを実行する場合

「実行」→ [↵](リターンキー) → メモリクリアを開始します。

（2）メモリクリアを中止する場合

「終了」→ [↵](リターンキー)

または、

ESC

→「メモリクリア」メニューに戻ります。

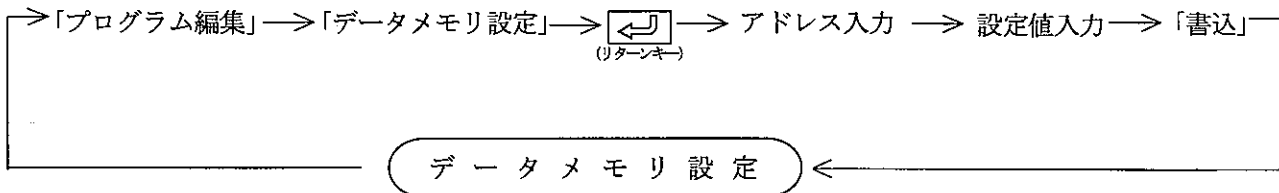
（3）メモリクリア実行後の各メモリ内容

項　　目	内　　容
プログラムメモリ	NOP命令 但し、最終アドレスには、 END（F40）命令を 書き込む
データメモリ	00
ファイルメモリ	00
パラメータメモリ	00
システムメモリ	初期状態
シンボル・コメントメモリ	クリア

第7章

7－6 データメモリ設定

データメモリの内容をHEX、8進、10進、2進、JISの各コードで設定または、モニタできるモードです。

操作概要

→「プログラム編集」→「データメモリ設定」→ [⏎]（リターンキー）→ アドレス入力 → 設定値入力 →「書込」→ データメモリ設定

操作手順

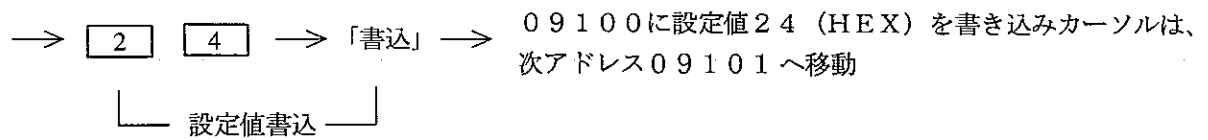
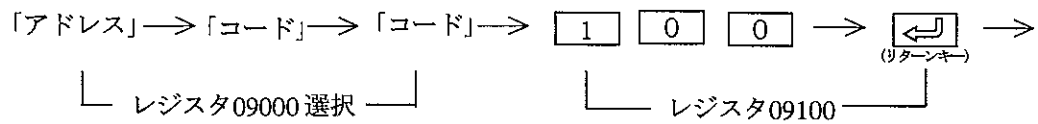
「コ」の領域から16個単位で、アドレス・設定値・シンボル・コメントを表示します。

名　称	機　能
アドレス	データメモリアドレスを設定
コード	データメモリ領域を設定
コード変換	設定値の表示内容を切替（HEX、8進、10進、2進、JISコード）
ワード	表示内容をバイト単位 ⟷ ワード単位切替
終了	プログラム編集メニューに戻る
書込	設定値の書き込み

第7章

操 作 例

・データメモリ０９１００に、ＨＥＸで「２４」を書き込む場合

０９１００に設定値２４（ＨＥＸ）を書き込みカーソルは、次アドレス０９１０１へ移動

留 意 点

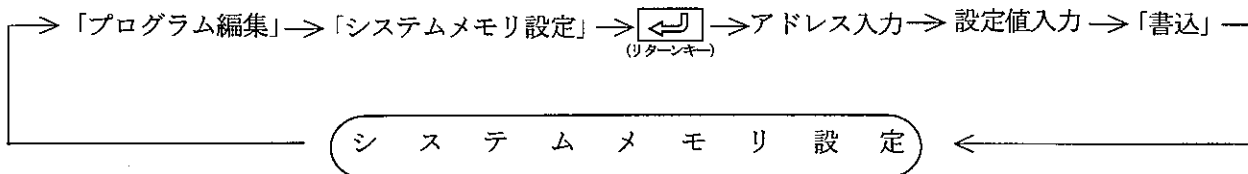
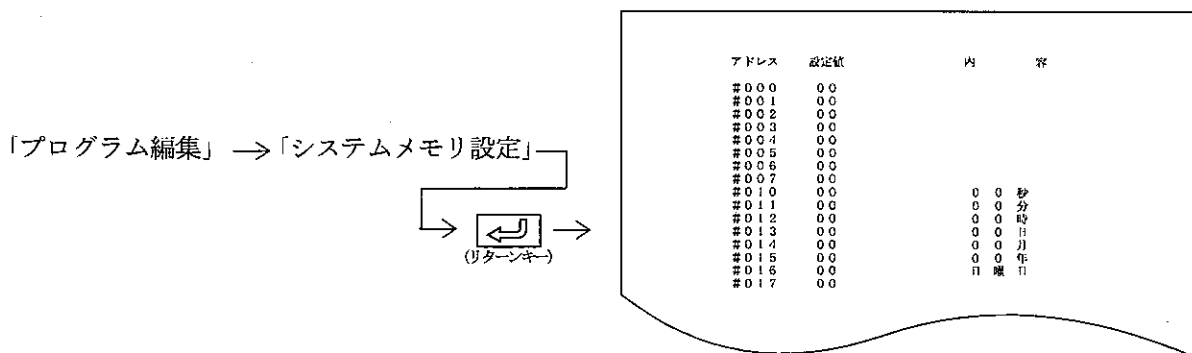
・シンボル／コメントは、「シンボル・コメント設定」モードで登録した内容を表示するだけです。入力（修正）はできません。
・ワード単位でも設定値を入力できます。
・「書込」は、SHIFT ＋ ⏎ でも可能です。

第7章

7－7 システムメモリ設定

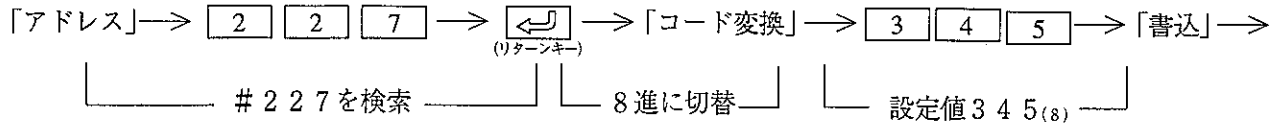
システムメモリの内容をＨＥＸ、８進、１０進、２進、ＪＩＳの各コードで設定またはモニタできるモードです。

システムメモリの内容については、各ＰＣに付属の「取扱説明書」または、「プログラミングマニュアル」を参照してください。

操作概要

操作手順１

名　称	機　　種
Ｉ／Ｏ設定	ＰＣ機種がJW50/70/100、JW50H/70H/100Hのとき、各スロットのＩ／Ｏの種類／点数等を設定
アドレス	システムメモリアドレスを設定
コード変換	設定値の表示内容を切り替え（ＨＥＸ、８進、１０進、２進、ＪＩＳコード）
ワード	表示内容をバイト単位 ←→ ワード単位切替
終了	プログラム編集メニューに戻る
書込	設定値の書き込み

操作例

（1）下記設定値の書き込み例

アドレス	初期値	設定値	備考
＃２２７	０００(8)	３４５(8)	タイマ７００～７７７を１０ｍｓタイマに設定

→ カーソルは＃２３０へ移動

① アドレス入力ミス時の修正方法

・[⏎]キーを押す前・・・数値キーで正しい数値を再入力

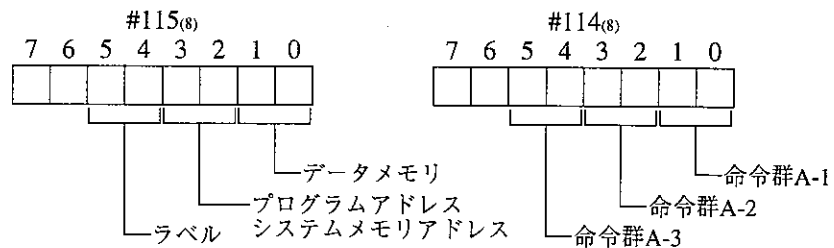
・[⏎]キーをした後・・・「アドレス」キーを押し、再入力

② 設定値入力ミス時の修正方法

・「書込」キーを押す前・・・数値キーで正しい数値を再入力

・「書込」キーを押した後・・・修正するアドレスへカーソル移動後、設定値を再入力

（2）アドレス、ラベル番号、応用命令の定数にて８／１０／１６進数の選択（JW10、JW30H）

データメモリアドレス（リレー／タイマ･カウンタ／レジスタ番号）、プログラムアドレス、システムメモリアドレス、ラベル番号、応用命令の定数についてそれぞれ何進数で表示するかをシステムメモリ#114、#115(8)に設定します。

	システムメモリアドレス
命令群A－1	#114(8)のビット　D0～D1
命令群A－2	〃　D2～D3
命令群A－3	〃　D4～D5
データメモリ	#115(8)のビット　D0～D1
プログラムアドレス・システムメモリアドレス	〃　D2～D3
ラベル	〃　D4～D5

各２ビットの設定値	内容
00	初期値 ※
01	8進表示
10	10進表示
11	16進表示

※ 命令語は各命令語の初期値の進数で設定されます。（詳細はJW10、JW30Hのマニュアルの各命令語の項で確認願います。）
データメモリ・プログラムアドレス・システムメモリアドレス・ラベルは8進数で設定されます。

第7章

[命令群の分類]

A－1群	定数がある転送／比較命令 F-01、F-01w、F-07、F-07w、F-08、F-08w、Fc12、Fc12w、Fx12、Fx12w、F-71、F-71w、F-91、Fc180、Fc180w、Fc181、Fc181w、Fc182、Fc182w、Fc183、Fc183w、Fc184、Fc184w、Fc185、Fc185w
A－2群	ビットパターン指定に定数がある命令 Fc13、Fc13w、Fx13、Fx13w、Fc14、Fc14w、Fx14、Fx14w、Fc17、Fc17w、Fx17、Fx17w、Fc18、Fc18w、Fx18、Fx18w
A－3群	バイト数指定に定数がある命令 F-67、F-68、F-70、F-70w、F-72、F-72w、F-73、F-73w、F-74、F-74w、F-79、F-79w、F-144、F-174、F-175、F-252、F-253

アンダーラインのある命令語はJW10で使用可能です。

[システムメモリ#114(8)、#115(8) (8/10/16進の選択)の対応表]

8進数	10進数	16進数
#114	#076	#04C
#115	#077	#04D

（3）I／O設定（JW50／70／100、JW50H／70H／100H）

JW用入出力ユニットを使用しているとき、各ラックおよびスロットに実装するユニットの種類および入出力点数を設定します。

操作手順2

「システムメモリ設定」―>「I／O設定」―>

ラック番号	先頭アドレス	スロット0	スロット1	スロット2	スロット3	スロット4	スロット5
0	10000	電源ユニット	CPUﾕﾆｯﾄ	I／O非実装	I／O非実装	I／O非実装	I／O非実装
1	10000	I／O非実装	I／O非実装	I／O非実装	I／O非実装	I／O非実装	I／O非実装
2	10000	I／O非実装	I／O非実装	I／O非実装	I／O非実装	I／O非実装	I／O非実装
3	10000	I／O非実装	I／O非実装	I／O非実装	I／O非実装	I／O非実装	I／O非実装
4	10000	I／O非実装	I／O非実装	I／O非実装	I／O非実装	I／O非実装	I／O非実装
5	10000	I／O非実装	I／O非実装	I／O非実装	I／O非実装	I／O非実装	I／O非実装
6	10000	I／O非実装	I／O非実装	I／O非実装	I／O非実装	I／O非実装	I／O非実装
7	10000	I／O非実装	I／O非実装	I／O非実装	I／O非実装	I／O非実装	I／O非実装

F1　F2　F3　F4　F5　F6　F7　F8　F9　F10

操 作 例

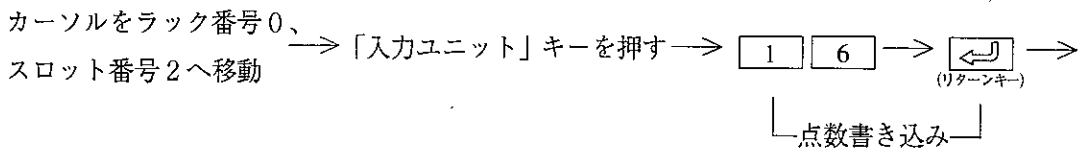
- スロット番号は、「0」～「F」の16個ありますが、「5」以降はスクロール表示します。
- ラック番号0の「先頭アドレス」および、ラック番号0／スロット番号0、1の「電源ユニット」、「CPUユニット」は変更できません。
- 「実行」キーを押すと、設定内容をメモリに書込み「システムメモリ設定」に戻ります。
- 「終了」キーまたは、[ESC] キーを押して、「システムメモリ設定」に戻った時は、設定内容をメモリに書き込みません。

> I／O設定は各PCの最大入出力点数(JW50/50H:512点、JW70/70H:1024点、JW100/100H:4096点)内で行ってください。最大入出力点数を越えてI／O設定するとPCは正常動作しません。

① 入力ユニット、出力ユニット、ダミーユニット、空きスロットのI／O設定

（例　ラック番号0、スロット番号2に「16点の入力ユニット」を設定する場合）

カーソルをラック番号0、スロット番号2へ移動 ―>「入力ユニット」キーを押す ―> [1] [6] ―> [⏎]（リターンキー） ―>

（[1] [6] ―> [⏎]：点数書き込み）

―> カーソルはスロット番号3へ移動

「空」キーは、「空スロット」となり、入出力点数0点として処理します。

従って、次のスロットアドレスを前づめにて処理します。

第7章

② 特殊I／Oユニットの I／O設定

特殊I／Oユニットは、制御出力用（データ交換用）に入出力リレー領域を２バイト、データ格納用にレジスタを６４バイト使用します。

下表を参照して、「入／出力点数」「I／Oの種類」「データ格納用レジスタの先頭アドレス」を設定してください。

ユニット名	機種名	入／出力点数	I／Oの種類
アナログ入力ユニット	JW－8AD	16	出　力
アナログ出力ユニット	JW－2DA	16	出　力
I／Oリンク親局ユニット	JW－31LM JW－31LMH	16	出　力
高速カウンタユニット	JW－2HC	16	入出力
位置決め基本ユニット	JW－12PM	16	出　力
位置決め増設ユニット	JW－22PM	－	I／O非実装または空
IDコントロールユニット	JW－11DU JW－12DU	16	入出力

なお、先頭アドレスは、コ００００～９９６００の範囲内で６４バイトづつ任意に設定できます。

（例　ラック番号０、スロット番号３に「I／Oリンク親局ユニット」を設定する場合）

カーソルをラック番号０、スロット番号３へ移動 ―> 「特殊ユニット」キーを押す ―> [1] [6] [⏎]（リターンキー）―>
（[1] [6]：I／O点数）

―>「特殊ユニット」キーを押す ―> [⏎]（リターンキー）―> 先頭アドレス入力 ―> [→] ―> カーソルは、スロット番号４へ移動
（「特殊ユニット」キーを押す：「出」を選択）

I／Oの種類は、「特殊ユニット」キーを押すと下記の様に変化します。

―> 入出（入出力）―> 入（入力）―> 出（出力）―（入出に戻る）

（４）I／O登録（JW２１／JW２２）

機種設定が「JW２１」または、「JW２２」のとき「PC転送」メニューの「PC操作」処理内で「I／O登録」を行ってください。「I／O登録」を行わないとJW２１、JW２２は動作しません。

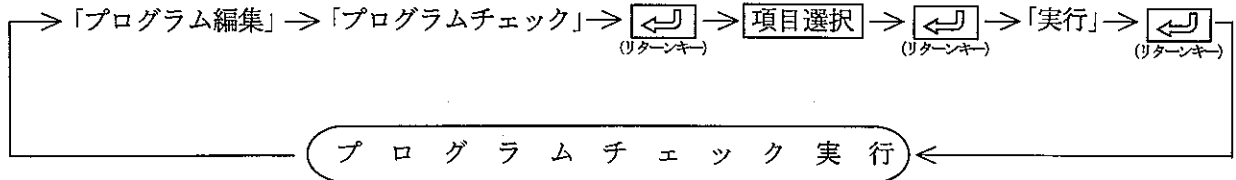
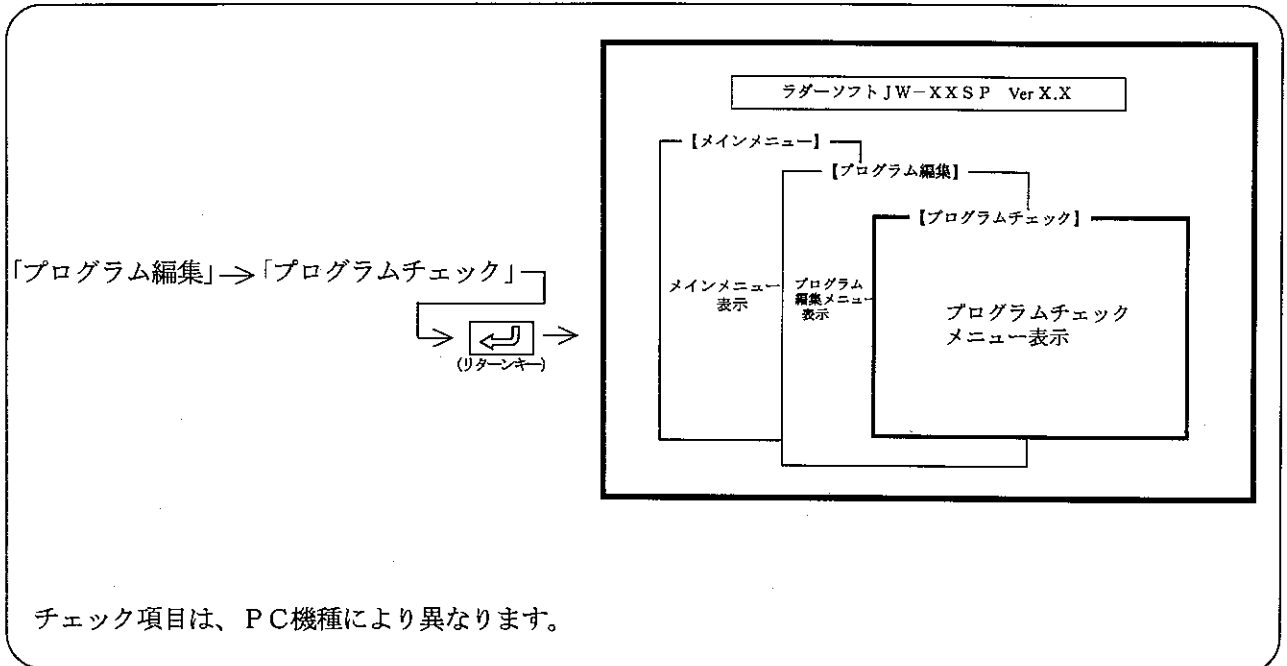
留意点

・システムメモリ＃０００～＃１７７はOS領域です。不要な値を書き込まないでください。
・ワード単位でも設定値を入力できます。
・「書込」は、[SHIFT]＋[⏎] でも可能です。
・システムメモリ＃２６０～＃３７７間のメッセージは、DL９を使用しているものとして表示しています。

7－8 プログラムチェック

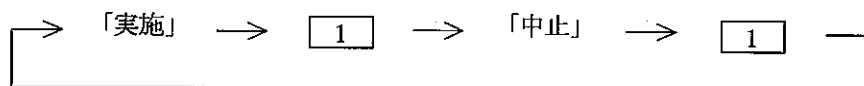
作成したプログラムのパリティチェックおよびプログラムチェック（文法チェック）を行うモードです。

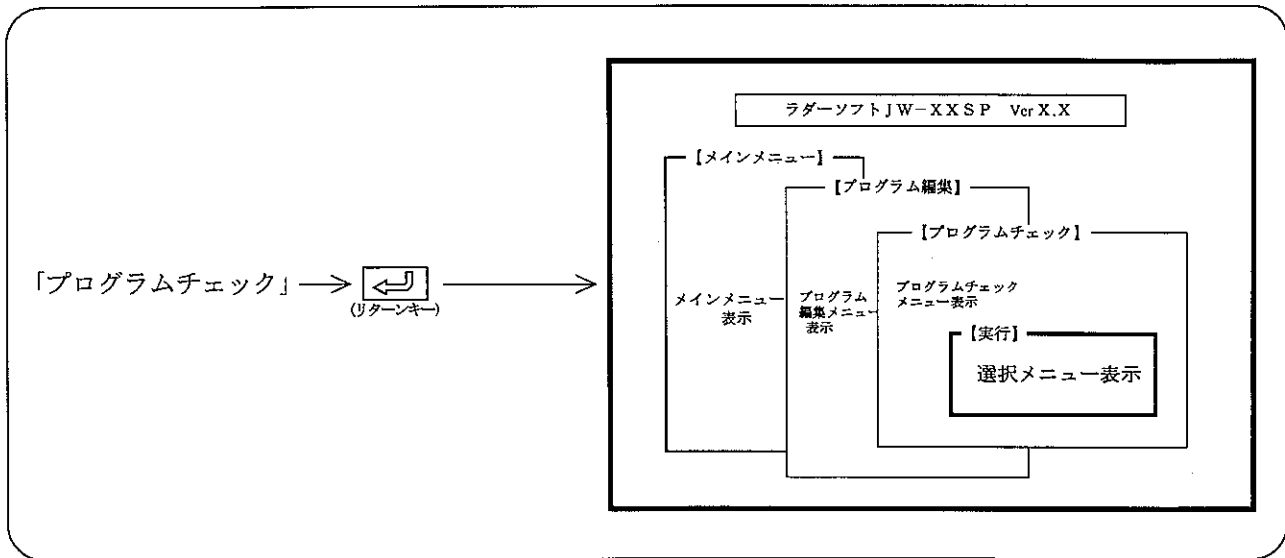
ＰＣ運転前に必ずチェックしてください。

操作概要

操作手順１

操作例

作成したプログラムを指定した項目のみチェックします。

① カーソルキー又は数字キーにてチェックを実施するか否かを選択します。

（例）　スタックチェック

② チェック項目選択後、[⏎]キーを押します。

操作手順2

操 作 例

（1）プログラムチェックを実行する場合

「実行」 → [↵](リターンキー) → 「プログラムチェック」を開始します。

（2）プログラムチェックを中止する場合

チェック結果

・エラー発生アドレスとエラー内容を表示します。

第7章

7－9 ライブラリ作成

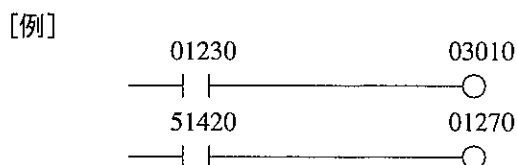
共通回路をライブラリとして作成することができます。

ライブラリは現在使用しているプログラムより取り出して作成する事もできます。

ライブラリに記述できるプログラム形式は、通常の番号入力形式／シンボルでの入力形式／マクロ入力形式の3種類です。それぞれの形式の混在は可能ですので、必要に応じて組み合わせて作成してください。

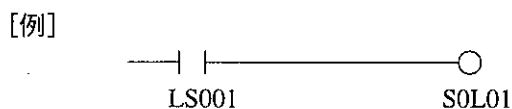
（1）通常の番号入力形式プログラム作成

プログラム作成方法は、ラダープログラミングとほぼ同じです。ただし、ラダーシンボル(┤├ 等)入力時にはリレー番号などが表示去れませんが、ラダーシンボル入力後、ラダープログラミングと同操作で数字キーを入力すれば表示されます。

[例]

（2）シンボルライブラリ形式プログラム作成

通常の番号入力の代わりにシンボルを使用してプログラムを作成する方法です。ラダーシンボル入力後、リターンキーを押してから、シンボルを設定して書込してください。

設定されたシンボルは、ライブラリの読出時に各番号に割り付けて使用します。

[例]

（3）マクロライブラリ形式プログラム作成

通常の番号入力の代わりに、M00～M77の変数と定数を用いてプログラムする方法です。設定された変数はライブラリの読出時に設定し、その番号は、設定された変数＋定数の値として使用します。

特に、次の様な関連がはっきりしているものをマクロライブラリで記述すると、プログラムの開発工数の削減などに役立ちます。

① 入力と出力の番号関係があるもの

② 補助リレーと実出力の番号関係があるもの

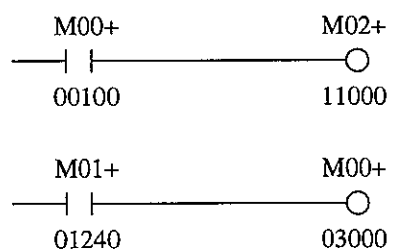
③ その他それぞれのリレー／レジスタ番号の関係があるもの

ライブラリ作成方法は、リレー／レジスタ番号入力時に、「M」キーを入力してください。Mの番号（００～７７）を設定後、「+」「−」キーを入力してから、定数の設定をしてください。

第7章

[例]

```
M00+              M02+
─┤ ├──────────────○
00100             11000

M01+              M00+
─┤ ├──────────────○
01240             03000
```

ライブラリプログラムの印字

操作概要

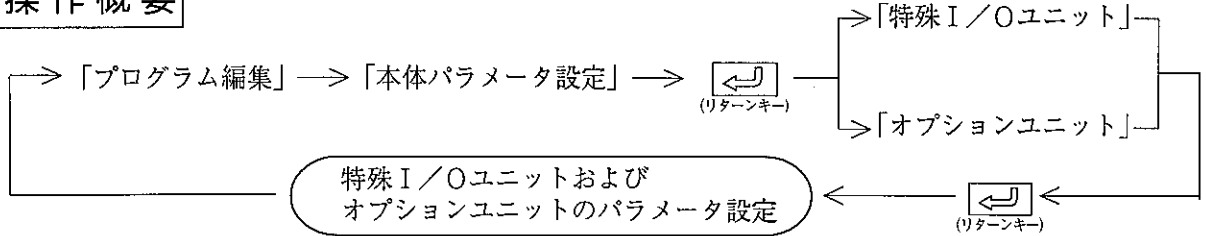
「ライブラリ作成」 ⟶ HOME (メニュー表示) ⟶ 「プリント」 ⟶ 「する」

表示している内容をそのまま印字します。プリンタ機種／用紙の設定はプリントモードの「プリンタ設定」で行ってください。

第7章

7－10 本体パラメータ設定

ＣＵ本体に設定する特殊Ｉ／Ｏユニット、およびオプションユニットのパラメータを設定するモードです。

操作概要

備　考

特殊Ｉ／Ｏユニット

■JW20/20H/30H用

機　種　名	形　名
高速カウンタユニット	ＪＷ－２１ＨＣ
シリアルインターフェイスユニット	ＪＷ－２１ＳＵ
アナログ出力ユニット	ＪＷ－２２ＤＡ
アナログ入力ユニット	ＪＷ－２４ＡＤ
パルス出力ユニット	ＪＷ－２１ＰＳ

■J-board用

機　種　名	形　名
アナログ入力ボード	Ｚ－３５１Ｊ
アナログ出力ボード	Ｚ－３５２Ｊ
パルス出力ボード	Ｚ－３５３Ｊ
シリアルインターフェイスボード	Ｚ－３５４Ｊ

オプションユニット

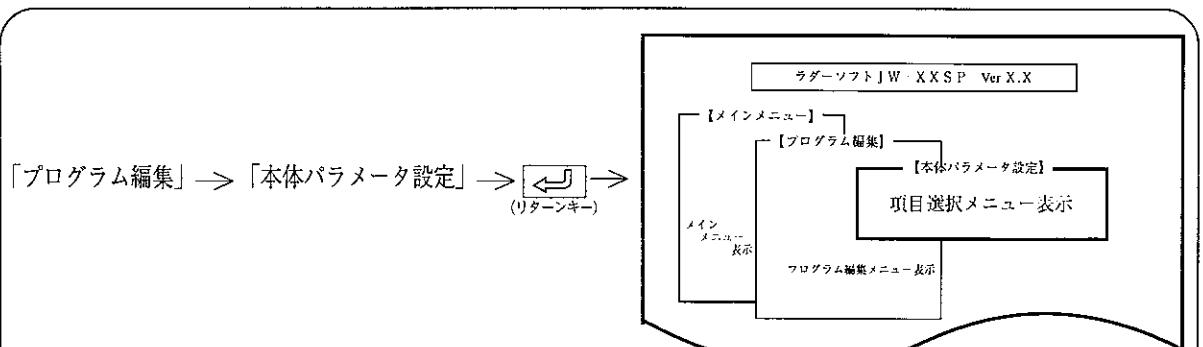
■JW20/20H/30H用

機　種　名	形　名
リンクユニット	ＪＷ－２１ＣＭ

■J-board用

機　種　名	形　名
通信ボード１	Ｚ－３３１Ｊ
通信ボード２	Ｚ－３３２Ｊ

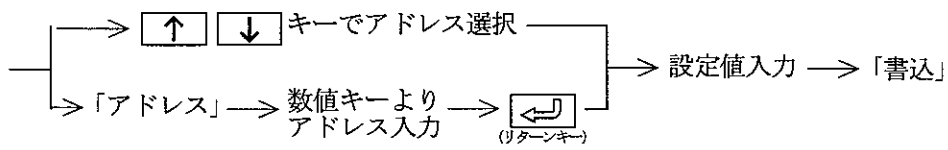
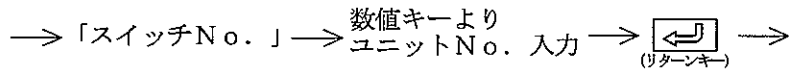
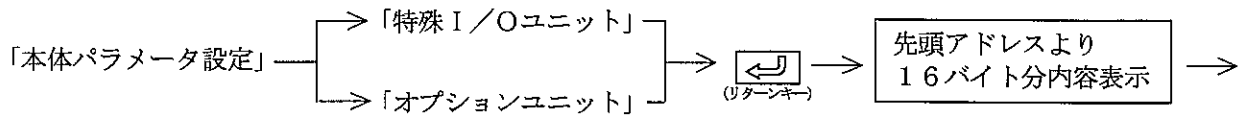
第7章

操作手順

名　称	機　能
スイッチＮｏ．	ユニットＮｏ．を設定
アドレス	パラメータアドレスを設定
コード変換	設定値のコード切り替え（ＨＥＸ→８進→１０進→２進→ＪＩＳ）
ワード	表示内容切り替え（バイト→ワード→ダブルワード）
終了	「プログラム編集メニュー」に戻る
書込	設定値を書き込む

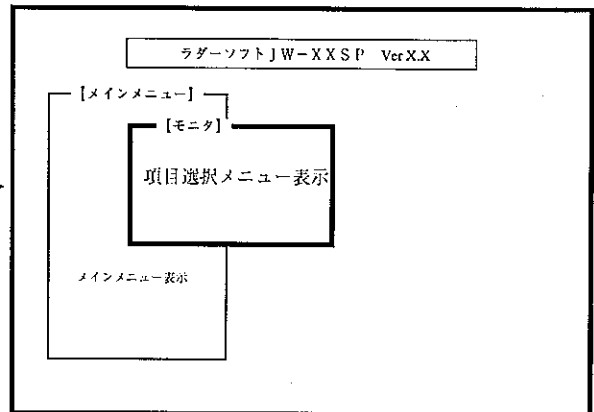
操 作 例

「本体パラメータ設定」
「特殊Ｉ／Ｏユニット」
「オプションユニット」
(リターンキー)
先頭アドレスより
１６バイト分内容表示
「スイッチＮｏ．」
数値キーより
ユニットＮｏ．入力
(リターンキー)

↑
↓
キーでアドレス選択
「アドレス」
数値キーより
アドレス入力
(リターンキー)
設定値入力
「書込」

第7章

第 8 章　モ　ニ　タ

ＰＣのプログラム内容を読み出し、リレーのＯＮ/ＯＦＦ状態、ＴＭＲ・ＣＮＴの現在値などデータメモリの状態をモニタするモードです。
モニタを行う前にＰＣから、プログラムを読み出してください

キー操作　　画面表示

機　　能

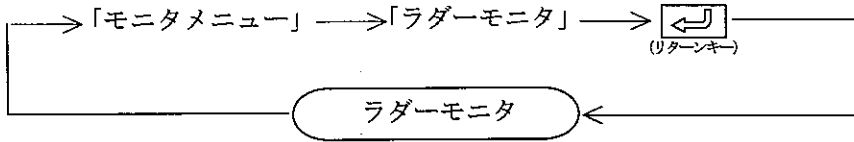
名　　称	機　　能	参照ページ
ラダーモニタ	・ラダー図を用いて、接点のＯＮ／ＯＦＦ、レジスタ値のモニタ及びＴＭＲ、ＣＮＴの現在値のモニタ等	8・2
命令語モニタ	命令語による上記内容のモニタ	8・32
サンプリングトレース	・リレーのＯＮ／ＯＦＦ情報、レジスタ内容を任意周期でサンプリングし、タイムチャート表示	8・35
ＦＤ転送	ＦＤに対する操作	11・1
ＰＣ転送	ＰＣに対する操作	12・1
ＳＦモニタ	・機種設定が「ＪＷ２１または、ＪＷ２２」のとき、ステップフロー命令（ＳＦ）でのプログラムをモニタ	8・38

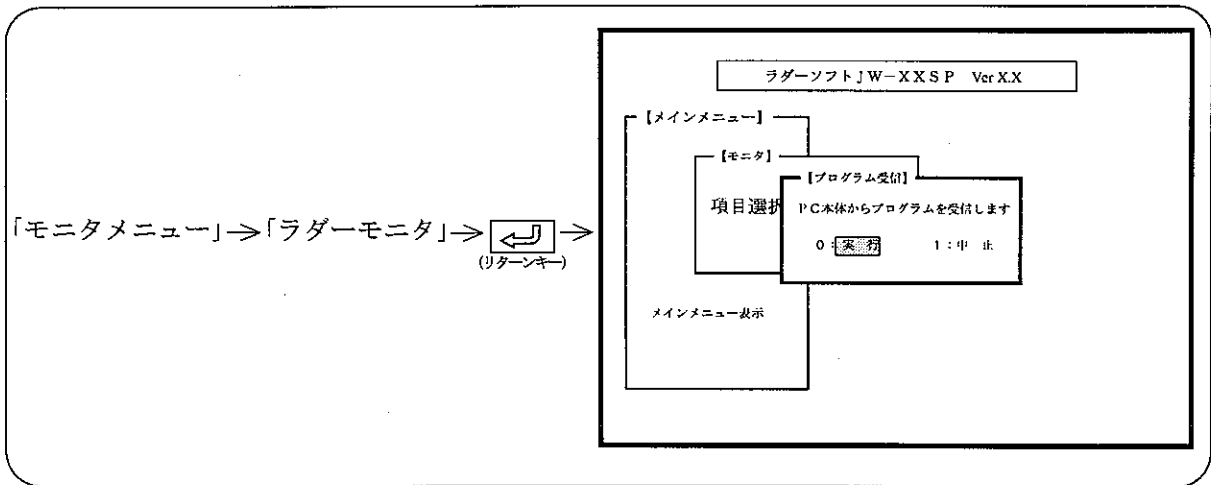
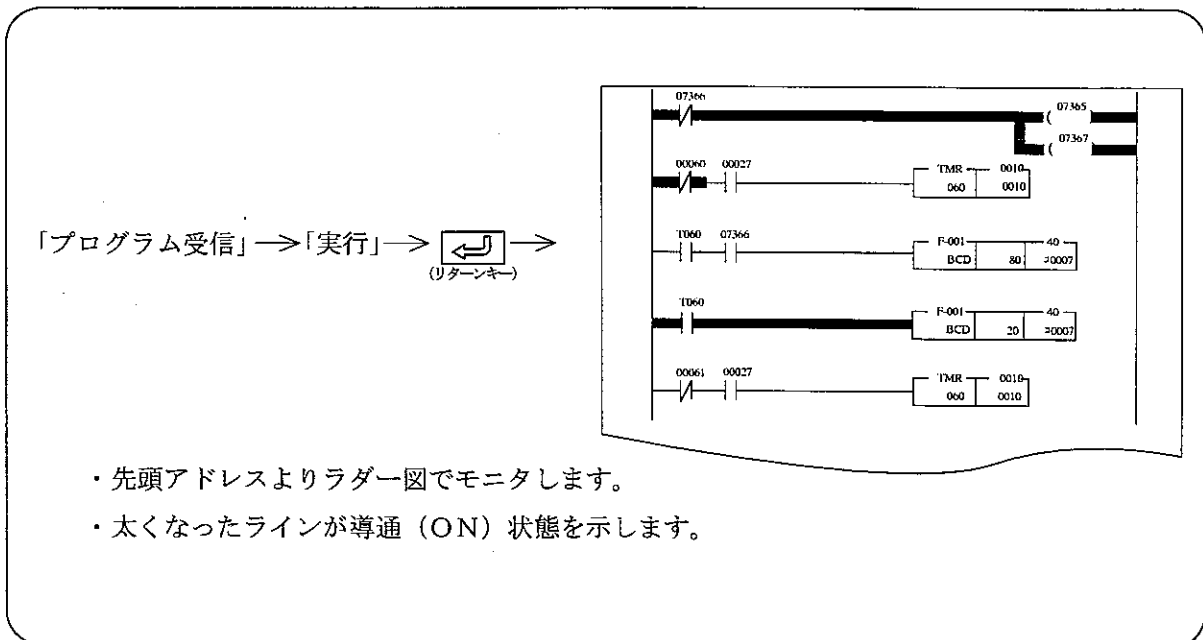
留 意 点

・ ESC キーを押すと、「メインメニュー」表示に戻ります。
・各メニューは、数値キーまたは、カーソル移動で選択できます。

8－1 ラダーモニタ

ＰＣ本体の動作状態をラダー図でモニタします。

操作概要

・ ＰＣにシークレット機能あり。かつ使用している時は、パスワードの入力が必要です。

操作手順1

操作手順2

・先頭アドレスよりラダー図でモニタします。

・太くなったラインが導通（ON）状態を示します。

ラダーモニタでの機能

（　）内の数字は参照ページを示します。

第8章

※

任意ラダーモニタ
(8·25)
検　索
(8·5)
プログラムアドレス／命令等を指定して検索、前画面／次画面機能を使用して検索。
設定値・定数変更
(8·8)
タイマ／カウンタの設定値、レジスタの定数等を変更。
システムメモリモニタ
(8·27)
アドレス指定
(8·27)
システムメモリアドレス指定してモニタ。
バイト／ワード切替
(8·24)
バイト単位 ←→ ワード単位の表示切り替え。
コード切替
(8·27)
設定値の表示切り替え
(HEX→8進→10進→2進→JIS→HEX)
回路編集
(8·28)
プログラムの作成／変更／削除。
命令語
(8·32)
命令語モニタに切り替え。
BCD／BIN
(8·29)
タイマ／カウンタの設定値・現在値の表示切り替え。
UP／DOWN
(8·29)
タイマ／カウンタのUP／DOWN切り替え。
I／Oサーチ
(8·30)
実装ユニットのチェック。(JW50／70／100、JW50H／70H／100H)
ACT検索
(8·31)
アクティブステップの検索。(JW21／22)

第8章

（1）検　索

「ラダープログラミング」モードと同様に、１画面６行で動作状態を表示します。

a．キー操作による検索表示

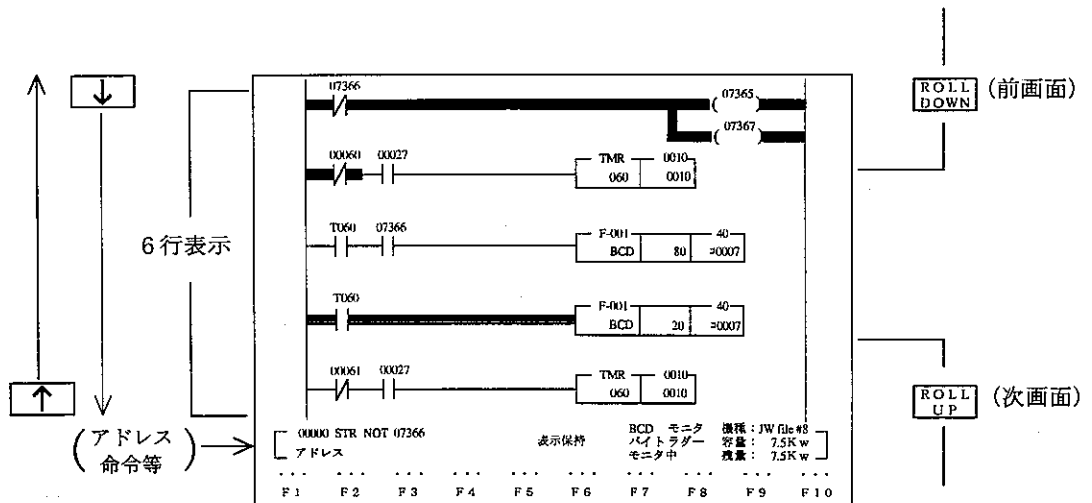
・［↑］キーを押すと、上方向へカーソルが移動し、カーソルが最上行のとき押すと、1行分前方のラダーを表示します。

・［↓］キーを押すと、下方向へカーソルが移動し、カーソルが最下行のとき押すと、1行分後方のラダーを表示します。

・［→］キーを押すと、右方向へカーソルが移動します。１行に１１接点以上入力しているときは、右方向へシフト表示します。また、カーソルが右端のとき押すと、次行先頭へ移動します。

・［←］キーを押すと、左方向へカーソルが移動します。カーソルが左端のとき押すと、前行の右端へ移動します。

・［ROLL DOWN］キーを押すと、表示中の最上行を最下行として、前方のラダー図表示となります。

・［ROLL UP］キーを押すと、表示中の最下行を最上行として、後方のラダー図表示となります。

b．命令検索による表示

命令を設定し、その命令が存在する回路（ネットワーク）を先頭として表示します。

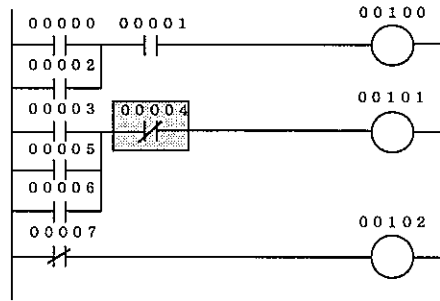
〈キー操作〉

「クリア」→「アドレス」→ ※検索開始プログラムアドレスを入力 → 命令語（ラダーシンボル）＋番号 →

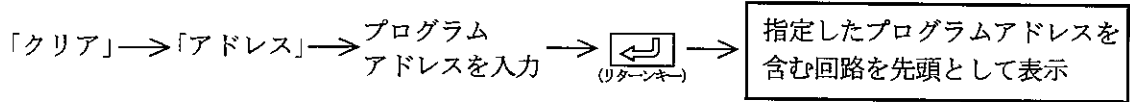
→「検索(＋)」→ 指定した命令を含む回路を先頭として表示

・プログラムアドレス００００００から検索する場合は、「※」印の操作は不要です。

・「検索(＋)」キーを続けて押すと、最終アドレスまで検索します。

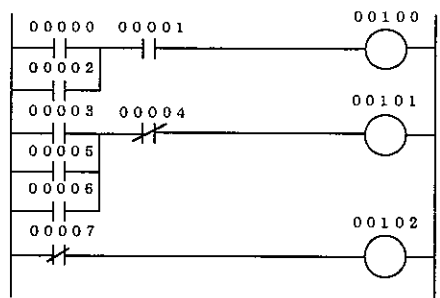
・「検索(−)」キーを押すと、アドレス減少方向に検索します。

（例）AND　NOT　00004の検索

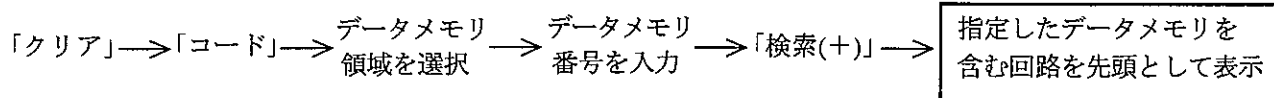
アドレス	命	令
00100	STR	00000
00101	OR	00002
00102	AND	00001
00103	OUT	00100
00104	STR	00003
00105	OR	00005
00106	OR	00006
00107	AND　NOT	00004
00110	OUT	00101
00111	STR　NOT	00007
00112	OUT	00102

c．プログラムアドレス検索による表示

プログラムアドレスを設定し、そのアドレスに存在する命令の回路を先頭として表示します。

〈キー操作〉

「クリア」→「アドレス」→ プログラムアドレスを入力 → ⏎(リターンキー) → 指定したプログラムアドレスを含む回路を先頭として表示

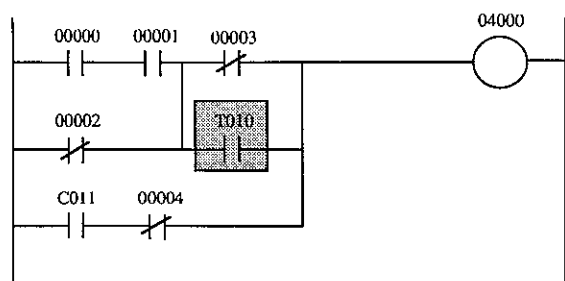
（例）プログラムアドレス00102の検索

アドレス	命	令
00100	STR	00000
00101	OR	00002
00102	AND	00001
00103	OUT	00100
00104	STR	00003
00105	OR	00005
00106	OR	00006
00107	AND　NOT	00004
00110	OUT	00101
00111	STR　NOT	00007
00112	OUT	00102

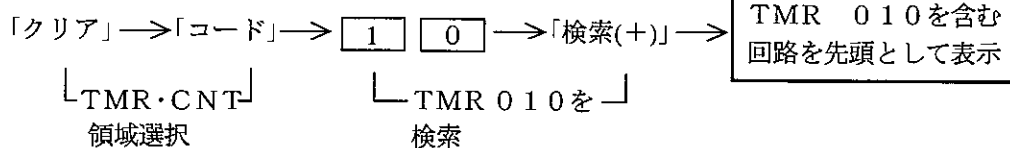
d. データメモリアドレス検索による表示

任意のデータメモリ（リレー、TMR／CNT等）を設定し、そのデータメモリが存在する回路を先頭として表示します。

〈キー操作〉

「クリア」→「コード」→ データメモリ領域を選択 → データメモリ番号を入力 →「検索(＋)」→ 指定したデータメモリを含む回路を先頭として表示

・「コード」キーを押して、データメモリ領域を選択してください。
・「検索(＋)」キーを続けて押すと、最終アドレスまで検索します。
・「検索(－)」キーを押すと、アドレス減少方向に検索します。

（例）TMR　０１０の検索

アドレス	命	令
00000	STR	00000
00001	AND	00001
00002	OR NOT	00001
00003	STR NOT	00003
00004	OR TMR	010
00005	AND STR	
00006	STR CNT	011
00007	AND NOT	00004
00010	OR STR	
00011	OUT	04000

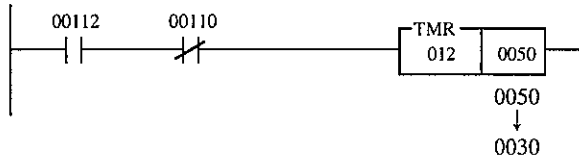
第8章

・「ズーム（＋）」または「ズーム（－）」を押すと、指定されたデータメモリアドレスを出力に持つ回路のみを検索します。（リレー、TMR／CNTのみ）
・「前検索」キーで以前に検索したプログラムアドレスを検索します。

（2）設定値・定数変更

ラダーモニタ中、タイマ・カウンタ・MD及びレジスタの設定値・定数を変更できます。

〈キー操作〉

変更したい命令語へカーソル移動 ⟶ 設定値または、定数入力 ⟶「書込」

(例) TMR０１５の設定値を００５０から００３０へ変更

アドレス	命令		
00130	STR		00112
00131	AND	NOT	00110
00132	TMR		012
00133			0050

⟶

アドレス	命令		
00130	STR		00112
00131	AND	NOT	00110
00132	TMR		012
00133			0030

第8章

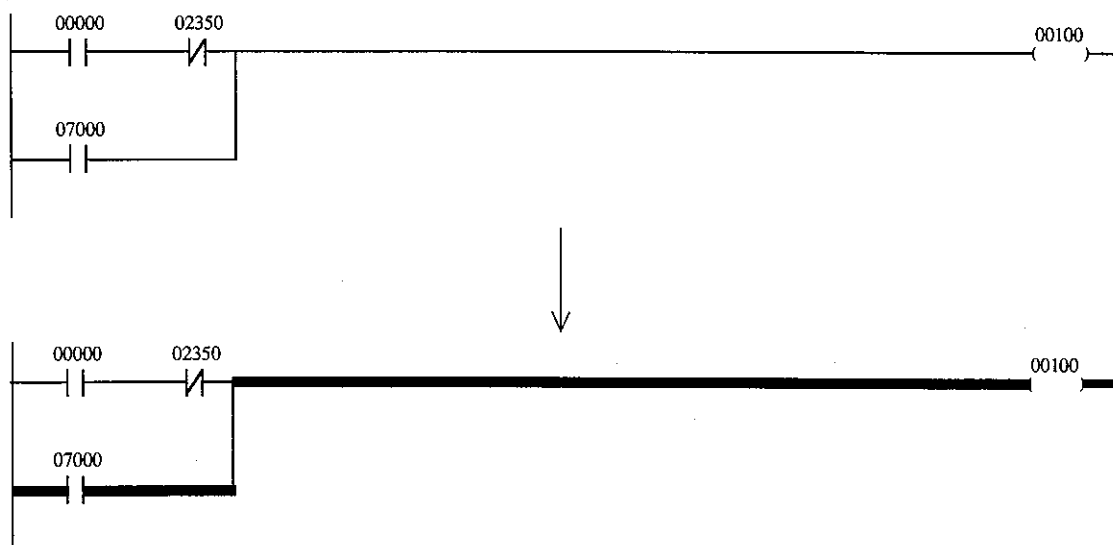
（3）セット／リセット

ラダーモニタ中、ＰＣ本体の動作とは無関係にリレーのセット（ＯＮ）／リセット（ＯＦＦ）および、タイマ・カウンタの現在値をセット（タイムアップ）／リセット（設定値にプリセット）できます。

〈キー操作〉

セット／リセットしたい命令語へカーソル移動 ⟶「セット」または「リセット」キーを押す

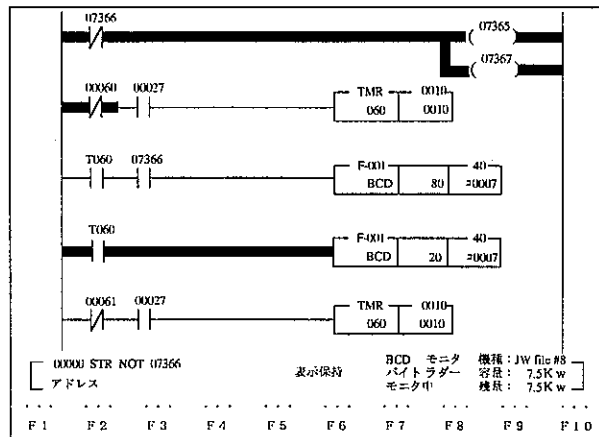
（例）リレー０７０００をセット（ＯＮ）

第8章

（4）表示保持

ラダーモニタ中、ＰＣ本体の動作とは無関係に表示状態を保持できます。

〈キー操作〉

表示保持したい
ネットワークを検索 ──＞「表示保持」キーを押す

（例）先頭アドレスよりモニタ中、「表示保持」キーを押した場合

・表示保持中は、「表示保持」とメッセージエリアに表示します。

・表示保持中、「表示保持」キーを押すと、表示保持を解除します。

第8章

（5）表示切替

接点・コイル等への表示内容を切り替えます。

〈キー操作〉

a．アドレス

00000 02350 00100
07000

（接点・コイル等の上段にアドレス表示）

b．シンボル

LS-01 LS-01 SOL001
PC-OA

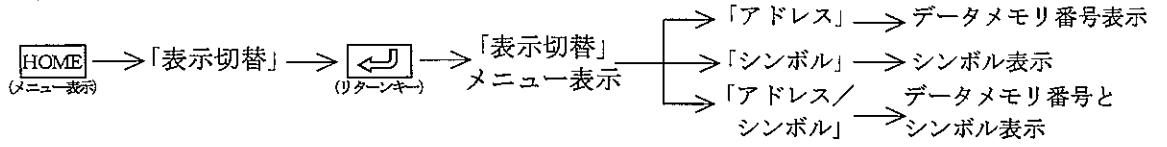
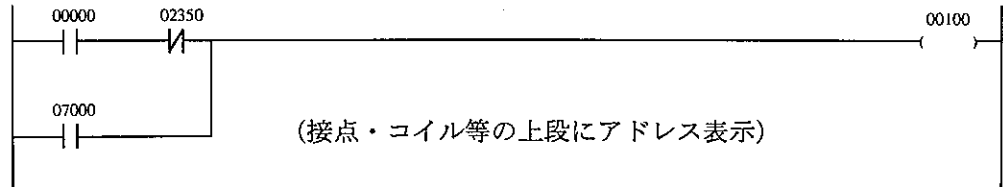
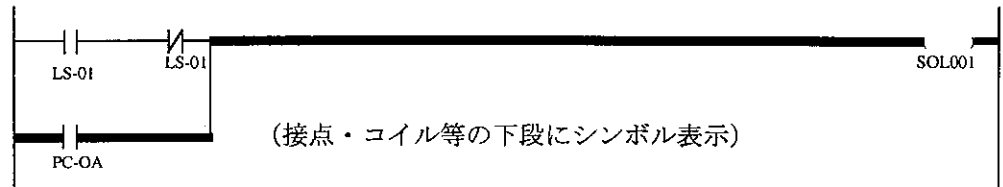
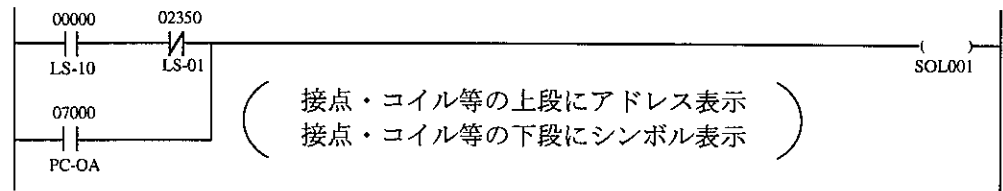
（接点・コイル等の下段にシンボル表示）

c．アドレス／シンボル

00000 02350
LS-10 LS-01 SOL001
07000
PC-OA

（接点・コイル等の上段にアドレス表示
接点・コイル等の下段にシンボル表示）

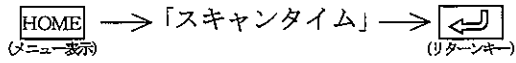
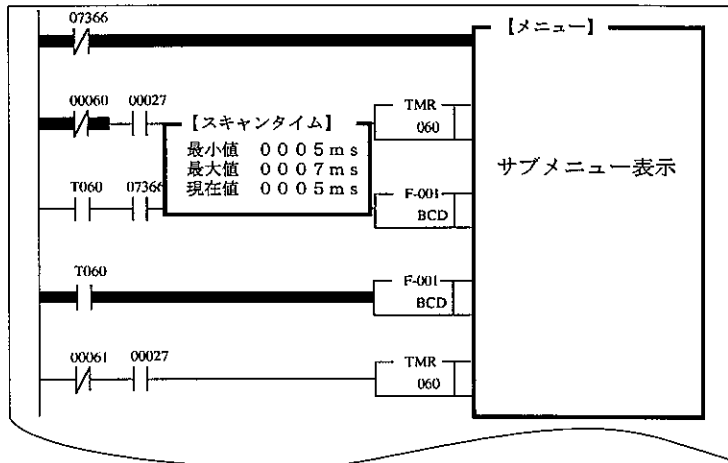
シンボルは半角１６文字を設定出来ますが、先頭より半角６文字分のみ表示します。

第8章

（6）スキャンタイム表示

　　ＰＣ本体のスキャンタイム（演算時間）を表示します。

　　「現在値」「最大値」「最小値」を表示します。

〈キー操作〉

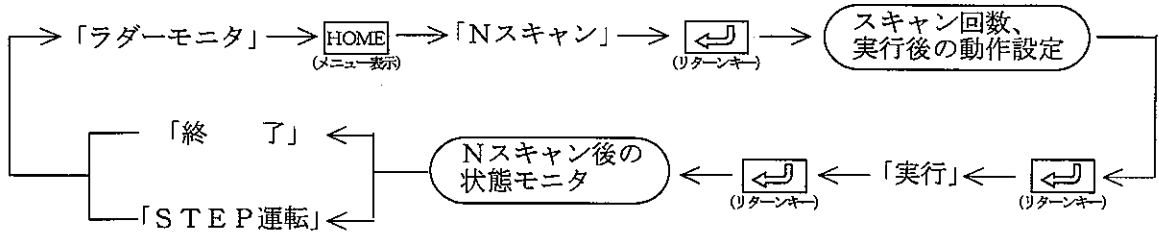
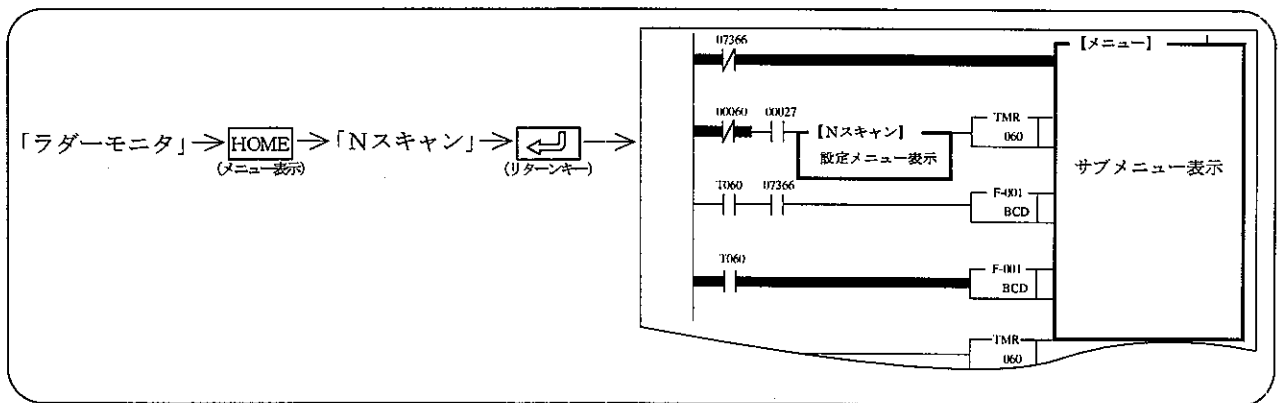
HOME（メニュー表示）→「スキャンタイム」→ ⏎（リターンキー）

〈表示例〉

・１ｍｓ単位で表示します。

・ESC キーを押すと、「スキャンタイムモニタ」を終了します。

第8章

（7）Nスキャン運転

指定スキャン（演算）回数運転後のＰＣ本体の状態を表示します。

操作概要

操作手順

操作例

① 数値キーで、スキャン回数（００００～９９９９）を入力します。

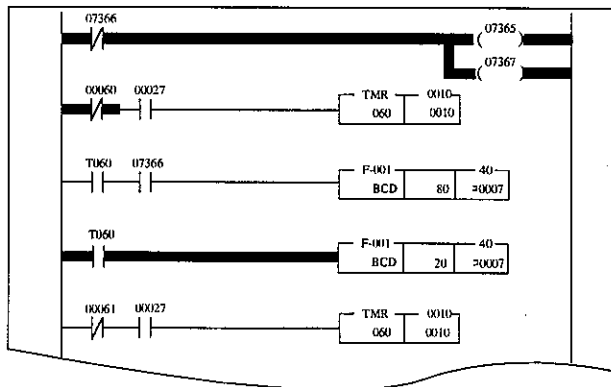
② ↓ キーを押します。

③ 実行状態へカーソルが移動します。

④ ← → キーで「停止」「運転」を選択します。

⑤ ⏎（リターンキー）を押します。

⑥「実行」⏎（リターンキー）を押し、実行します。

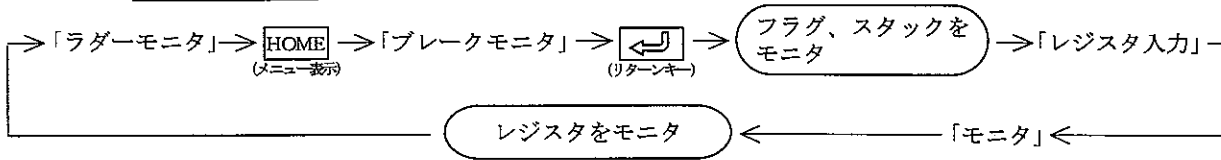
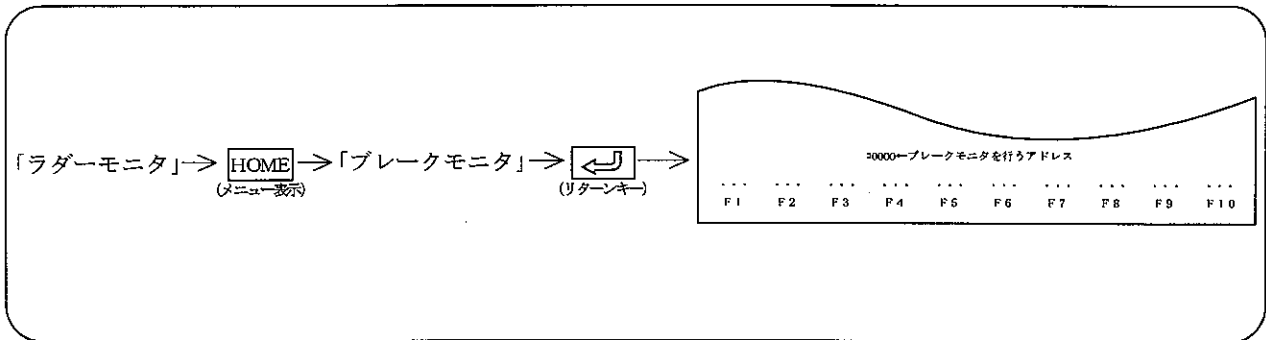
⑦ 指定スキャン回数実行後の状態を表示します。

⑧「ＳＴＥＰ運転」キーを押すと、１ステップ運転後停止します。

⑨「終了」キーまたは、ESC キーを押すと、「ラダーモニタ」状態に戻ります。

第8章

（8）ブレークモニタ

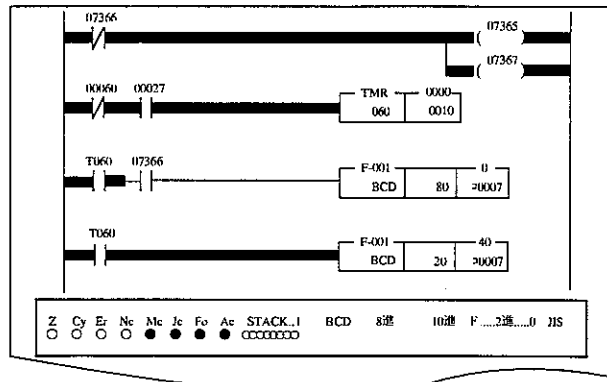
指定した命令のフラグ、スタック、レジスタ内容をモニタします。

操作概要

操作手順

操作例

① 上記キー操作で「フラグ、スタック」をモニタします。

②「コード」キーで、ブレークモニタを行うデータメモリ領域を選択します。

③ 数値キーで、データメモリアドレスを入力します。

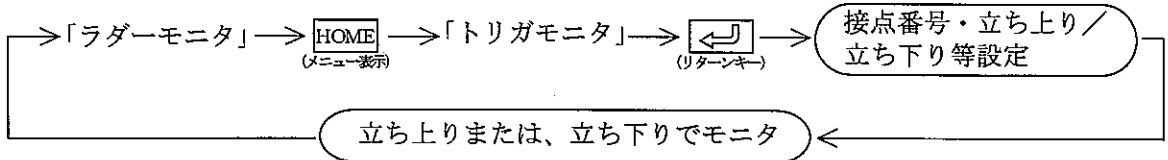
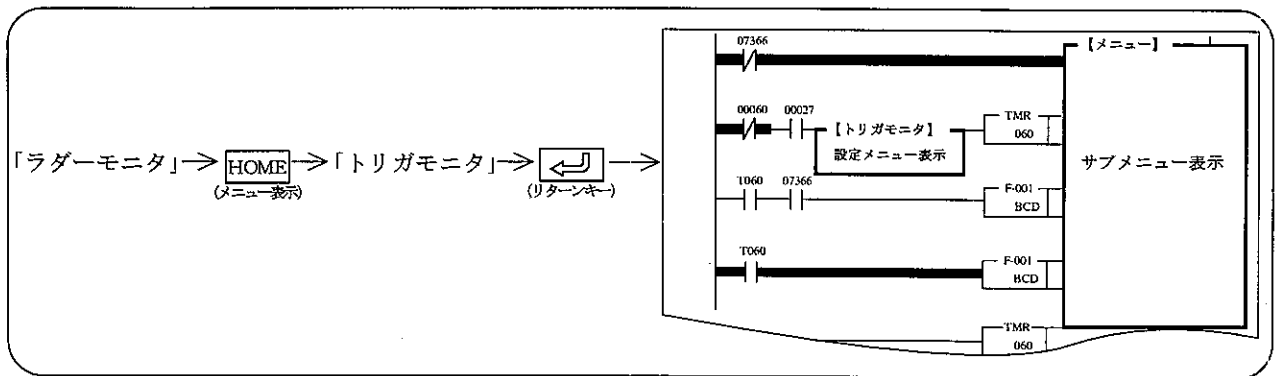
④「モニタ」キーを押すと、下記画面表示となります。

⑤ ブレークモニタを続行するときは、②～④ の操作を繰り返してください。

⑥「終了」キーまたは、ESC キーを押すと、「ラダーモニタ」状態に戻ります。

第8章

（9）トリガモニタ

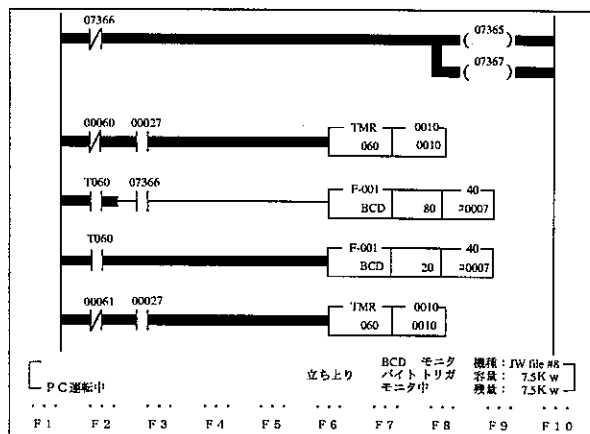
プログラム中に使用している任意の接点をトリガポイントとし、そのトリガポイントの立ち上り／立ち下りでのプログラム状態をモニタします。

操作概要

操作手順

操作例

① トリガポイントに指定する接点（リレー）番号を入力します。

② [↓] キーを押し、「トリガ条件」へカーソル移動後、[←] [→] キーで条件を選択します。

③ 条件設定後、[⏎]（リターンキー）を押し、「実行」[⏎]（リターンキー）のキー操作を行います。

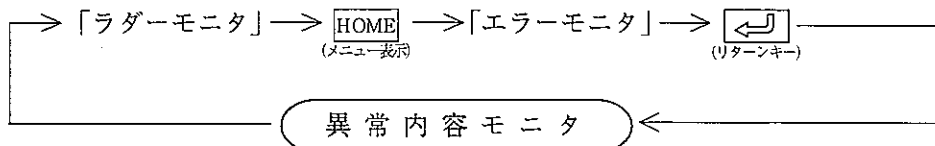
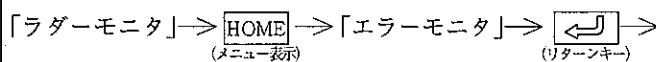
④ 指定条件でモニタ表示します。

⑤「終了」キーまたは、[ESC] キーを押すと、「ラダーモニタ」状態に戻ります。

実際のモニタは、トリガポイントの変化（立上り又は立下り）を検知した時より遅れます。瞬間のデータを見る場合はブレークを使用してください。

第8章

（１０）エラーモニタ

ＰＣ本体の異常内容（システムメモリ＃１６０～１６７）とオプションの異常内容（システムメモリ＃１７０～１７７）をモニタします。

操作概要

操作手順

・異常コード（ＢＣＤ）とメッセージを表示します。

・「異常履歴」は下記画面表示となります。

・「スロット指定」キーを押すと、スロット番号が、ＣＵ→１→２…７と変化します。

・スロット番号指定後、「実行」キーを押すと、指定したスロットの異常履歴を表示します。

（１１）ＰＣ運転／停止

モニタ中に、ＰＣ本体の運転／停止を行えます。

操作概要

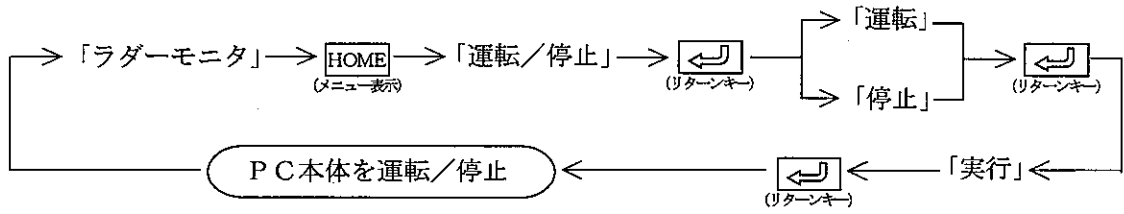
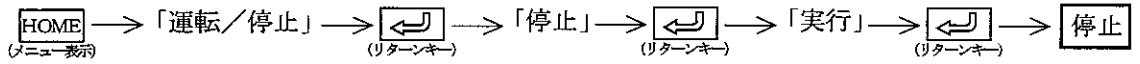
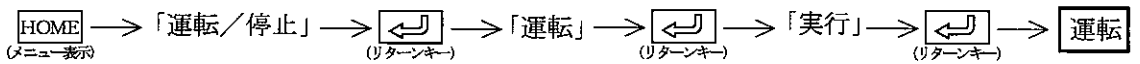
操作例

① 運転中→停止

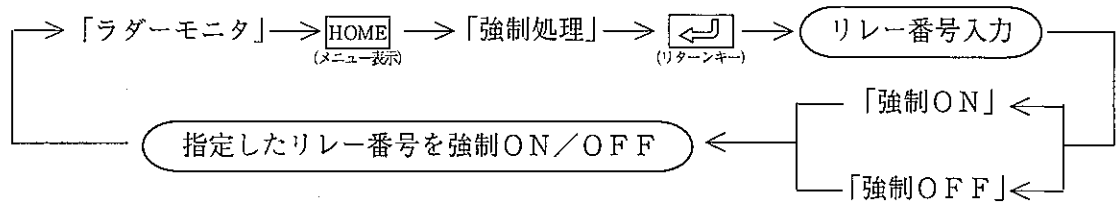
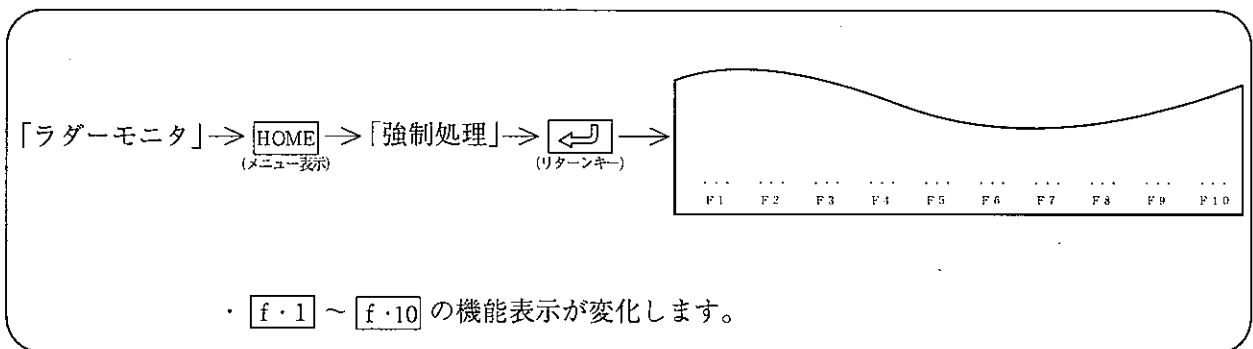
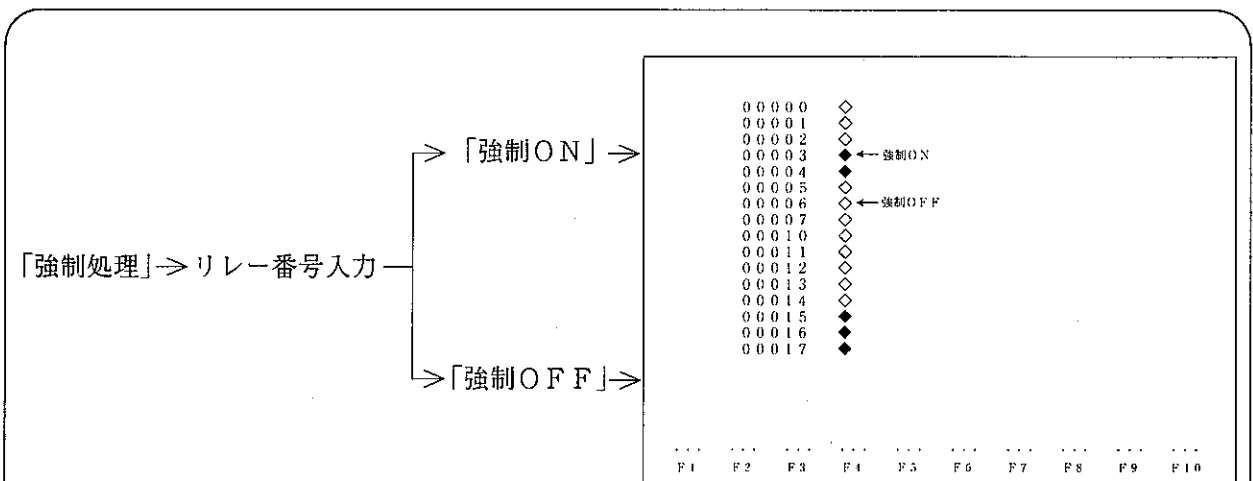
HOME (メニュー表示) → 「運転／停止」 → (リターンキー) → 「停止」 → (リターンキー) → 「実行」 → (リターンキー) → 停止

② 停止中→運転

HOME (メニュー表示) → 「運転／停止」 → (リターンキー) → 「運転」 → (リターンキー) → 「実行」 → (リターンキー) → 運転

第8章

(12) 強制ON/OFF

リレー番号(入出力リレー、補助リレー、キープリレー、汎用リレー)を指定して、強制ON/OFFできます。

操作概要

操作手順

操作例

名　　称	内　　容
強制ON	指定したリレー番号を強制ON
強制OFF	指定したリレー番号を強制OFF
強制解除	強制ON/OFFを解除
指定解除	強制ON/OFFを指定したリレー番号を解除
終　　了	「ラダーモニタ」モードに戻る

第8章

（１３）ブレーク

ａ．プログラムアドレス指定ブレーク

命令の存在するアドレスをブレークポイントに指定することにより、指定したアドレスの命令実行後のデータメモリの状態をモニタします。

ｂ．ＥＮＤ命令ブレーク

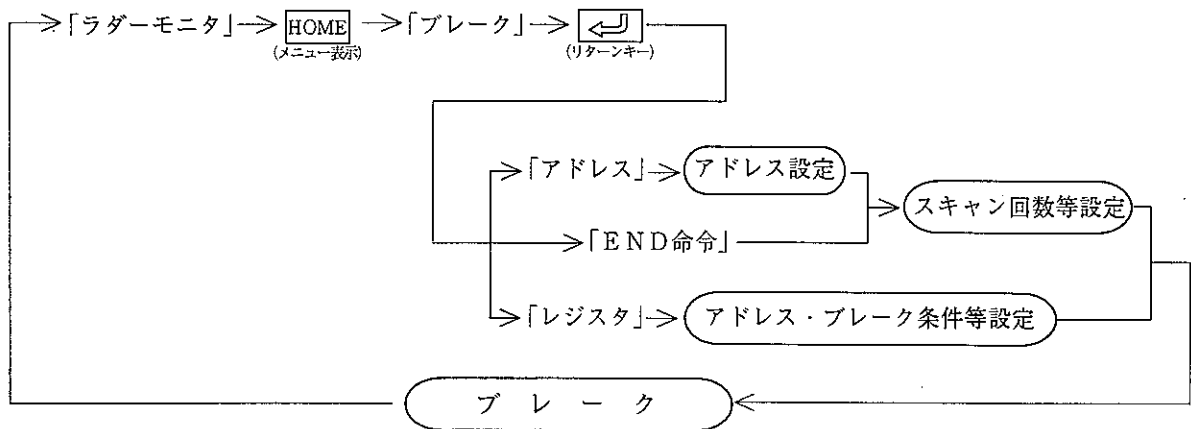
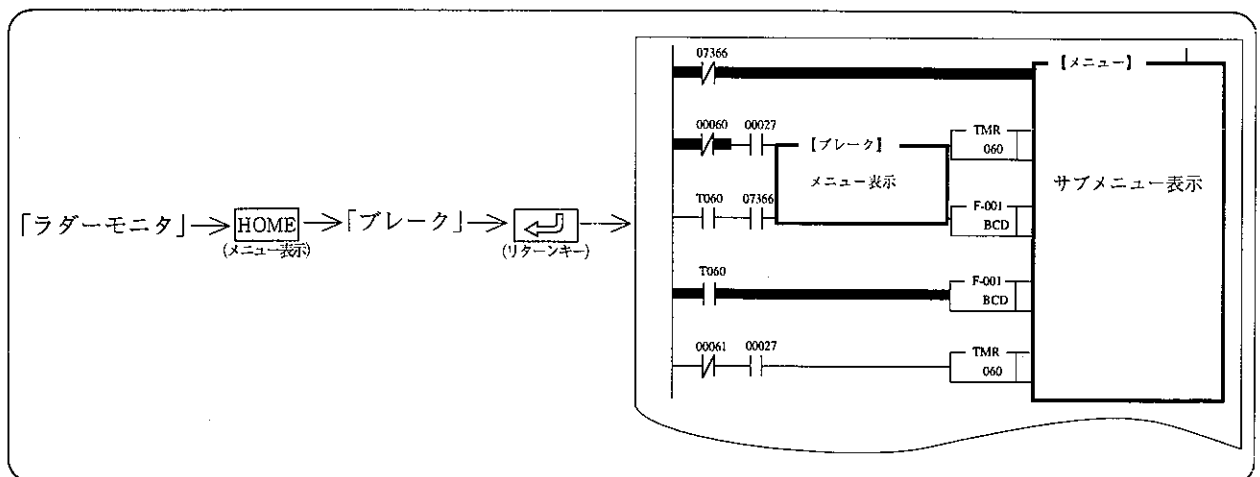
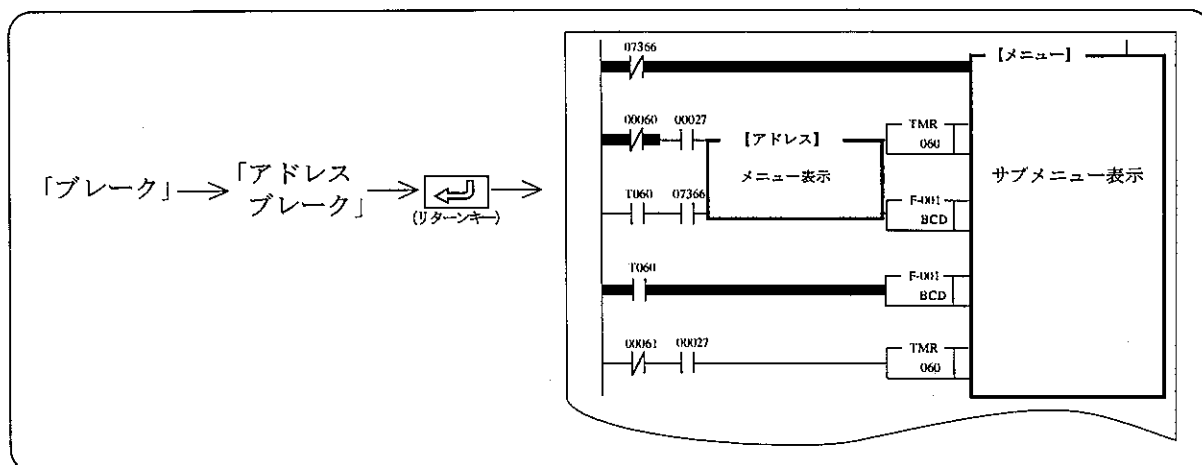
プログラムの最初あるいはブレーク後、停止のアドレスからＥＮＤ（Ｆ－４０）／ＥＮＤＣ（Ｆ－４９）命令までの演算の実行回数を指定し、指定した演算回数の実行後のデータメモリの状態をモニタします。

ｃ．レジスタアドレス指定ブレーク

ブレークポイントとして、レジスタアドレスを指定し、そのレジスタアドレスにデータが書き込まれたときのデータメモリの状態をモニタします。

操作概要

操作手順１

第８章

操作手順２（プログラムアドレス指定ブレーク）

操　作　例

① 数値キーで、ブレークポイントに指定するアドレスを入力します。

② [↓] キーを押し、カーソルを「スキャン回数」欄へ移動させます。

③ スキャン（演算）回数を０００１～９９９９で設定します。

④ [↓] キーを押し、カーソルを「ブレーク後状態」欄へ移動させます。

⑤ ブレーク後のＰＣ本体の動作状態を [←] [→] キーでカーソルを移動させ設定します。

⑥ [↓] キーを押し、カーソルを「レジスタ」欄へ移動させます。

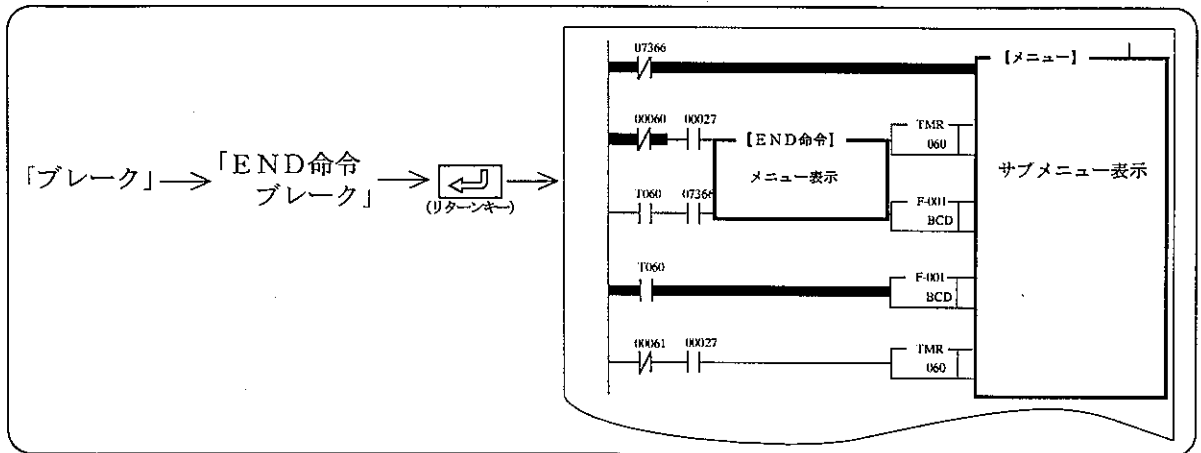
⑦ ブレーク後、モニタするレジスタの有無を [←] [→] キーでカーソルを移動させ設定します。

⑧ ブレーク後、レジスタをモニタするときは、
- 「コード」キーで、データメモリ領域を設定後、数値キーよりアドレスを入力します。
- [⏎] （リターンキー）を押すと、指定したレジスタアドレスのモニタを行います。

⑨ レジスタをモニタ中
- 「コード変換」キーを押すと、ＨＥＸ→８進→１０進→２進→ＪＩＳの切り替えができます。
- 「ワード」キーを押すと、バイト単位 ⟷ ワード単位の切り替えができます。
- [ROLL DOWN] キーを押すと、設定したレジスタアドレスを最下行として、前方の１５点をモニタします。
- [ROLL UP] キーを押すと、設定したレジスタアドレスを最上行として、後方の１５点をモニタします。

⑩ 「終了」キーまたは、[ESC] を押すと、「ラダーモニタ」状態に戻ります。

第8章

操作手順３（ＥＮＤ命令ブレーク）

① スキャン（演算）回数を０００１～９９９９で設定します。

② [↓] キーを押し、カーソルを「ブレーク後状態」欄へ移動させます。

③ ブレーク後のＰＣ本体の動作状態を [←] [→] キーでカーソルを移動させ設定します。

④ [↓] キーを押し、カーソルを「レジスタ」欄へ移動させます。

⑤ ブレーク後、モニタするレジスタの有無を [←] [→] キーでカーソルを移動させ設定します。

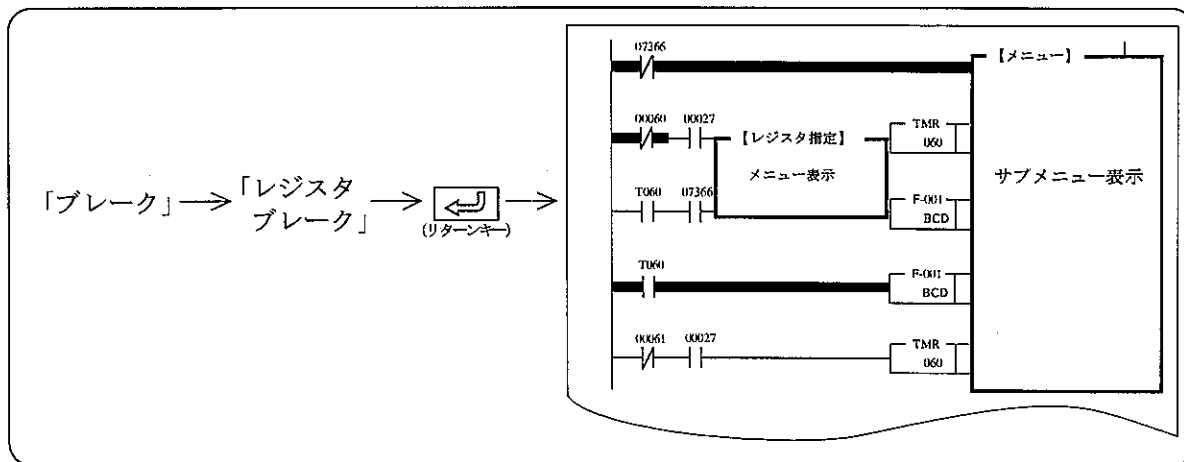
⑥ [↵]（リターンキー）を押し、「実行」[↵]（リターンキー）のキー操作で「ＥＮＤ命令ブレーク」を行います。

⑦ ブレーク後、レジスタをモニタするときは
- 「コード」キーで、データメモリ領域を設定後、数値キーよりアドレスを入力します。
- [↵]（リターンキー）を押すと、指定したレジスタアドレスのモニタを行います。

⑧ レジスタをモニタ中
- 「コード変換」キーを押すと、ＨＥＸ→８進→１０進→２進→ＪＩＳの切り替えができます。
- 「ワード」キーを押すと、バイト単位 ⟷ ワード単位の切り替えができます。
- [ROLL DOWN] キーを押すと、設定したレジスタアドレスを最下行として、前方の１５点をモニタします。
- [ROLL UP] キーを押すと、設定したレジスタアドレスを最上行として、後方の１５点をモニタします。

⑨ 「終了」キーまたは、[ESC] キーを押すと、「ラダーモニタ」状態に戻ります。

第８章

操作手順４ （レジスタ指定ブレーク）

① 「コード」キーを押し、レジスタ領域を設定します。

② 数値キーより、レジスタアドレスを入力します。

③ [↓]キーを押し、カーソルを「比較データ」欄へ移動させます。

④ 数値キーより「比較データ」を入力します。

⑤ [↓]キーを押し、カーソルを「ブレーク条件」欄へ移動させます。

⑥ ブレーク条件を [←] [→] キーでカーソルを移動させ設定します。

⑦ [↓]キーでカーソルを「ブレーク後状態」欄へ移動させます。

⑧ ブレーク後のＰＣ本体の動作状態を [←] [→] キーでカーソルを移動させ設定します。

⑨ ブレーク後、モニタするレジスタの有無を [←] [→] キーでカーソルを移動させ設定します。

⑩ [⏎] （リターンキー）を押し、「実行」[⏎]（リターンキー）のキー操作で「プログラムアドレス指定ブレーク」を行います。

⑪ ブレーク後、レジスタをモニタするときは、
- 「コード」キーで、データメモリ領域を設定後、数値キーよりアドレスを入力します。
- [⏎] （リターンキー）を押すと、指定したレジスタアドレスのモニタを行います。

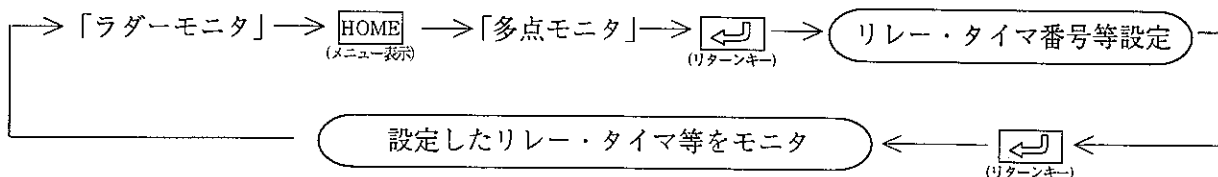
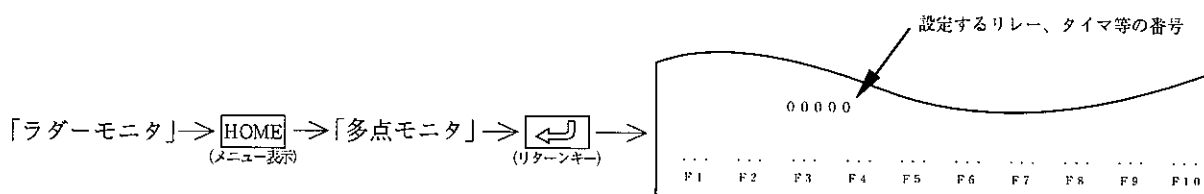
⑫ レジスタをモニタ中
- 「コード変換」キーを押すと、ＨＥＸ→８進→１０進→２進→ＪＩＳの切り替えができます。
- 「ワード」キーを押すと、バイト単位 ⟷ ワード単位の切り替えができます。
- [ROLL DOWN] キーを押すと、設定したレジスタアドレスを最下行として、前方の１５点をモニタします。
- [ROLL UP] キーを押すと、設定したレジスタアドレスを最上行として、後方の１５点をモニタします。

⑬ 「終了」キーまたは、 [ESC] キーを押すと、「ラダーモニタ」状態に戻ります。

第8章

（１４）多点モニタ

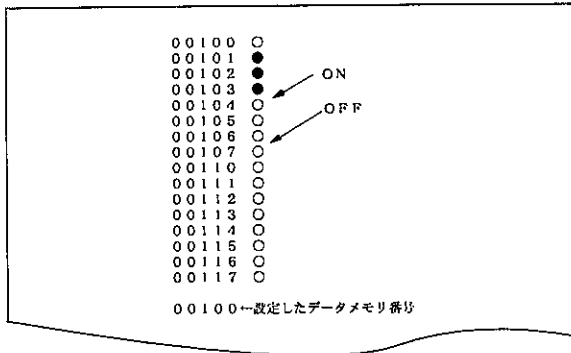
リレー、タイマ、カウンタ、レジスタ等の番号を指定して、その内容をモニタします。
最大１６個のリレー、タイマ等のモニタができます。

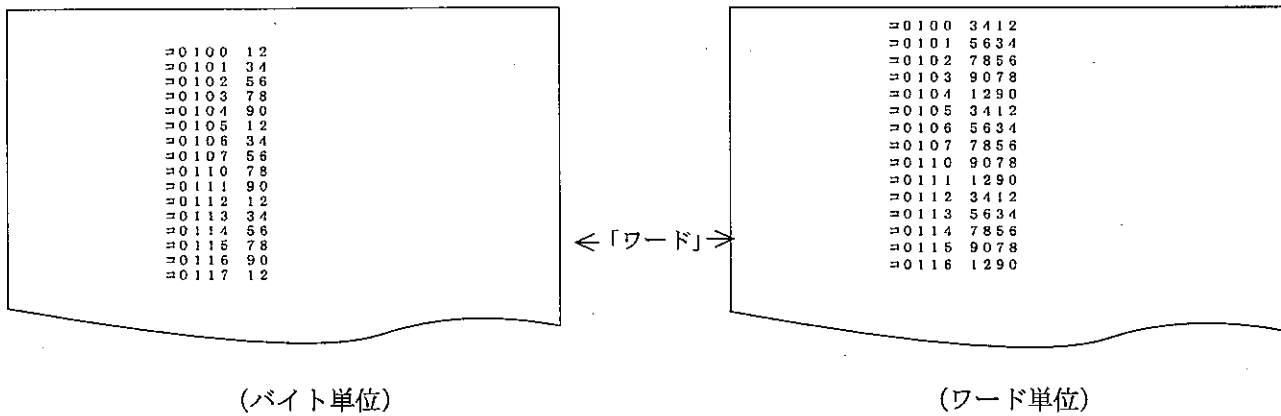
操作概要

操作手順

名　　称	内　　　容
ワ ー ド	表示内容をバイト単位 ⟷ ワード単位切り替え
コ ー ド	データメモリ領域の切り替え
コード変換	レジスタの表示切り替え
セ ッ ト	指定したリレー、タイマ等をセット
リセット	指定したリレー、タイマ等をリセット
前方連続	指定したリレー、タイマ番号等の前方１５個分をモニタ
後方連続	指定したリレー、タイマ番号等の後方１５個分をモニタ
終　　了	多点モニタを終了し、「ラダーモニタ」状態に戻る
強制処理	強制セット／リセットモードとなる
書　　込	設定値の書き込み

・セット／リセットの詳細は、8･9ﾍﾟｰｼﾞを参照してください。
・強制処理の詳細は、8･18ﾍﾟｰｼﾞを参照してください。

第8章

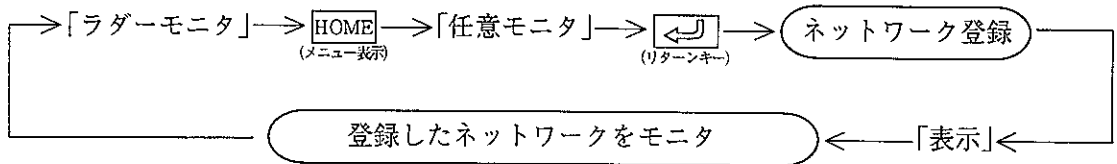
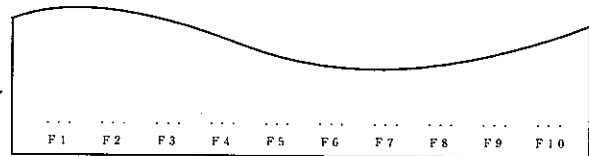
操 作 例

① 連続モニタ

② バイト単位 ←→ ワード単位切替

(バイト単位)　　　　(ワード単位)

「コード変換」キーを押すと、表示内容が「ＨＥＸ」→「８進」→「１０進」→「２進」→「ＪＩＳ」と切り替わります。

（１５）任意ラダーモニタ

任意のネットワークをプログラム順に関係なく、選択したネットワーク順にモニタできます。最大１６個のネットワークを選択（登録）できます。

操作概要

操作手順

名　　称	内　　容
ク　リ　ア	カーソル位置のプログラムアドレスと命令語、シンボル、コメントをクリア
ア ド レ ス	プログラムアドレスを設定
コ　ー　ド	データメモリ領域を変更
コード変換	レジスタ領域を変更
検索（－）	カーソル位置のプログラムアドレス減少方向への検索
検索（＋）	カーソル位置のプログラムアドレス増加方向への検索
終　　了	「ラダーモニタ」状態に戻る
表　　示	登録したネットワークをモニタ
モニタ登録	カーソル位置のネットワークを登録
前　画　面	ROLL DOWN キーを押すと、表示画面の最上行を最下行にして前画面を表示
次　画　面	ROLL UP キーを押すと、表示画面の最下行を最上行にして次画面を表示

第8章

操 作 例

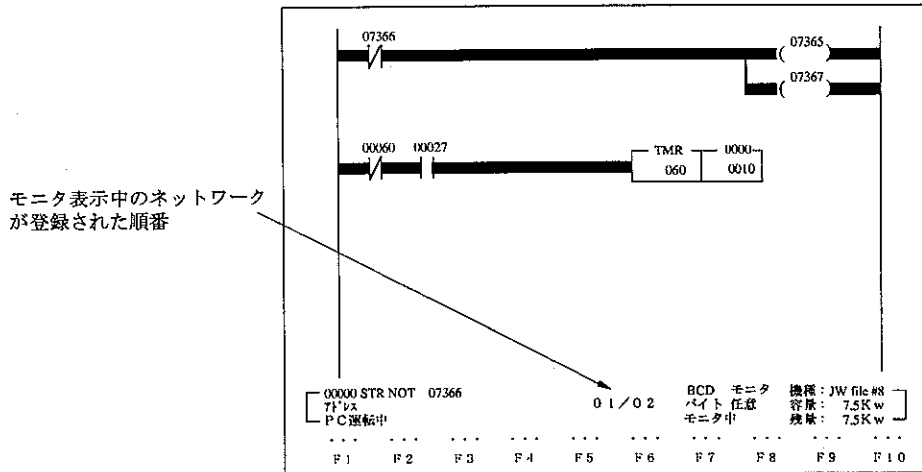
① 検索機能（8･5ページ参照）を使用して、任意のネットワークへカーソルを移動します。

②「モニタ登録」キーを押し登録します。

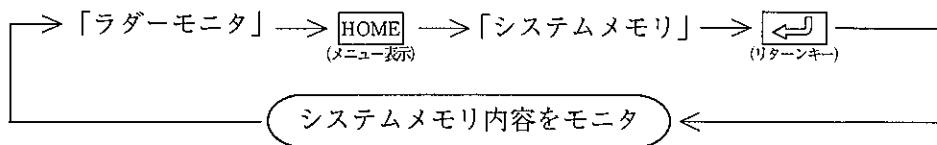
③ 上記、① ②を繰り返し任意のネットワークを登録します。

④「表示」キーを押すと、登録した任意のネットワークをモニタします。

⑤「終了」キーまたは、 ESC キーを押すと、「ラダーモニタ」状態に戻ります。

第8章

（１６）システムメモリモニタ

ＰＣ本体の各種機能を設定しているシステムメモリの内容をモニタします。

操作概要

操作手順

名　　称	内　　容
アドレス	システムメモリアドレスを設定
コード変換	表示内容のコード変換
ワード	表示内容をバイト単位 ⟷ ワード単位に切り替え
終了	「ラダーモニタ」状態に戻る

操作例

①アドレス指定

「アドレス」→（数値キーよりアドレス入力）→ ↵ (リターンキー) → 指定アドレスのモニタ

②バイト単位とワード単位の切替

「ワード」キーを押すと、表示単位の「バイト」⟷「ワード」を切り替えできます。

③コード切替

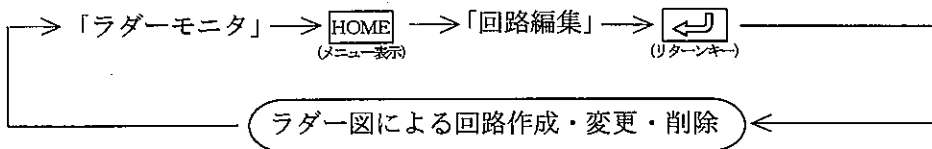
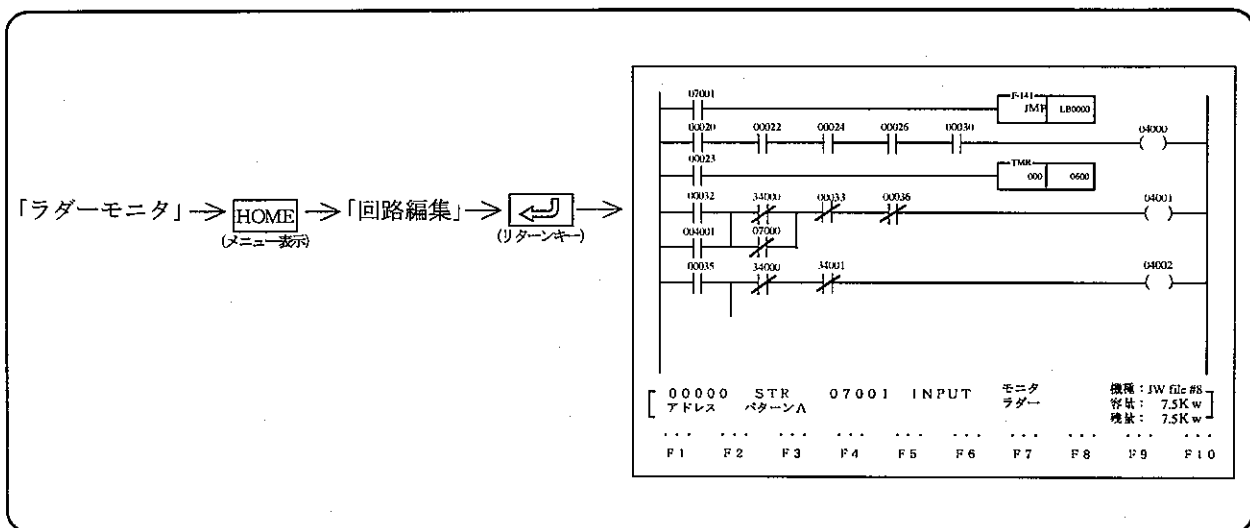
「コード変換」キーを押すと、表示内容を「ＨＥＸ」→「８進」→「１０進」→「２進」→「ＪＩＳ」と切り替えできます。

第８章

（17）回路編集

ラダーモニタ状態で、ラダー図による「回路作成」「回路変更」「回路削除」が行えます。

ＰＣ本体の内容も同時に変更しますので、ＰＣ運転中の変更には十分注意してください。

操作概要

操作手順

操 作 例

① 回路作成

「回路作成」→「ラダープログラミング」の7·25ページを参照してください。

② 回路変更

「回路変更」→「ラダープログラミング」の7·34ページを参照してください。

③ 回路削除

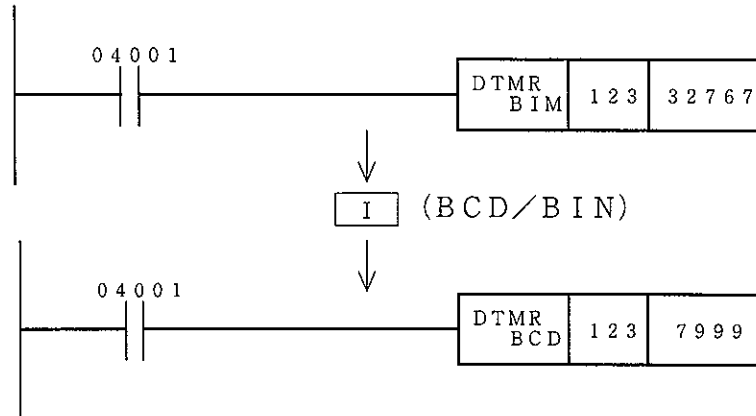
「回路削除」→「ラダープログラミング」の7·42ページを参照してください。

（１８）ＢＣＤ／ＢＩＮ

アップタイマ・カウンタおよびダウンタイマ・カウンタの設定値をＢＣＤまたは、ＢＩＮに切り替えます。

操 作 例

①アップタイマ・カウンタまたは、ダウンタイマ・カウンタを検索します。

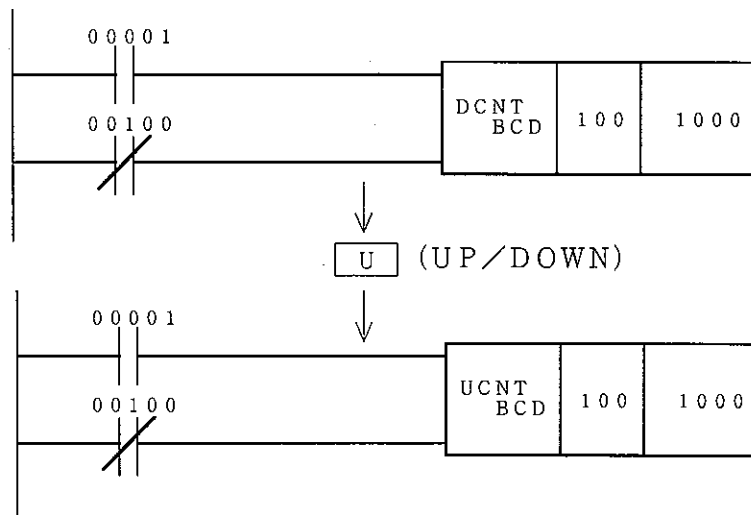
②［Ｉ］キーを押すと、「ＢＣＤ」←→「ＢＩＮ」と切り替わります。

（１９）ＵＰ／ＤＯＷＮ

アップタイマ・カウンタまたは、ダウンタイマ・カウンタを設定します。

操 作 例

①アップタイマ・カウンタまたは、ダウンタイマ・カウンタを検索します。

②［Ｕ］キーを押すと、「ＵＰ」←→「ＤＯＷＮ」と切り替わります。

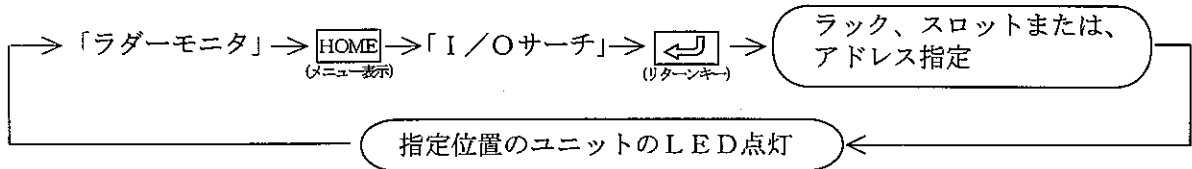
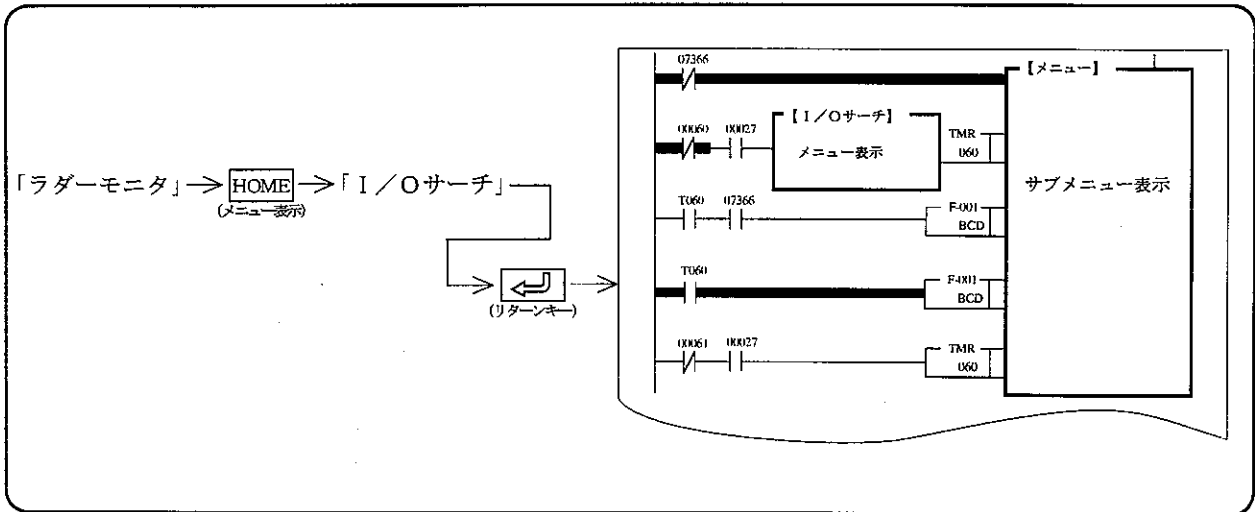
第8章

（２０）Ｉ／Ｏサーチ（JW50／70／100、JW50H／70H／100H）

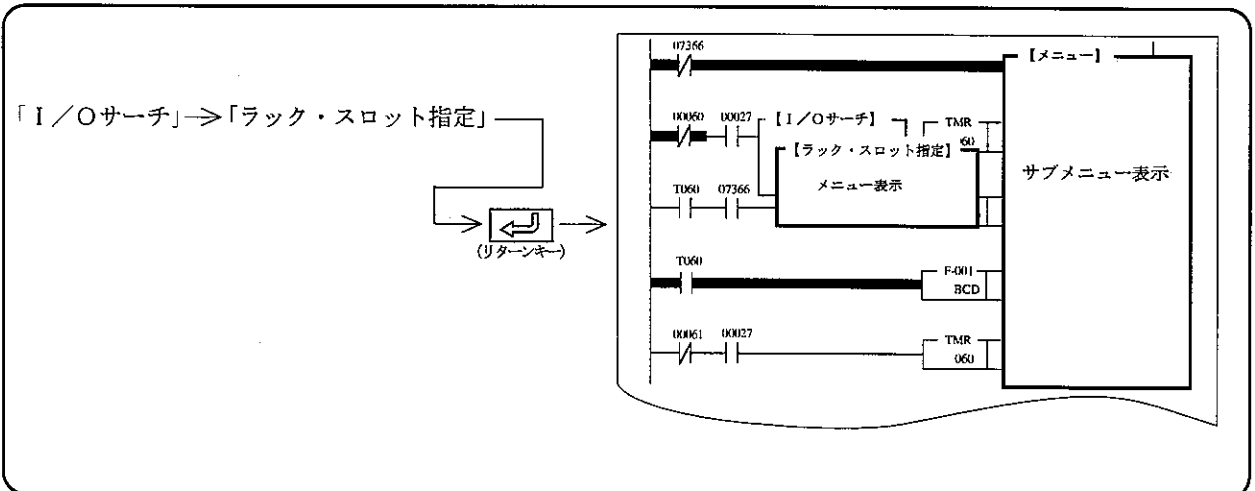
①ラック、スロット番号指定Ｉ／Ｏサーチ

ラック番号（ベースユニットの番号）、スロット番号を指定して、指定位置のユニットのＬＥＤチェックを行います。

②アドレス指定Ｉ／Ｏサーチ

指定したアドレス位置のユニットのＬＥＤチェックを行います。

操作概要

操作手順１

操作手順２（ラック、スロット番号指定Ｉ／Ｏサーチ）

第8章

操 作 例

① 数値キーで、ラック番号（0～7）を入力します。

② [↓] キー押し、カーソルをスロット番号欄へ移動させます。

③ 英数キーで、スロット番号（0～9、A～F）を入力します。

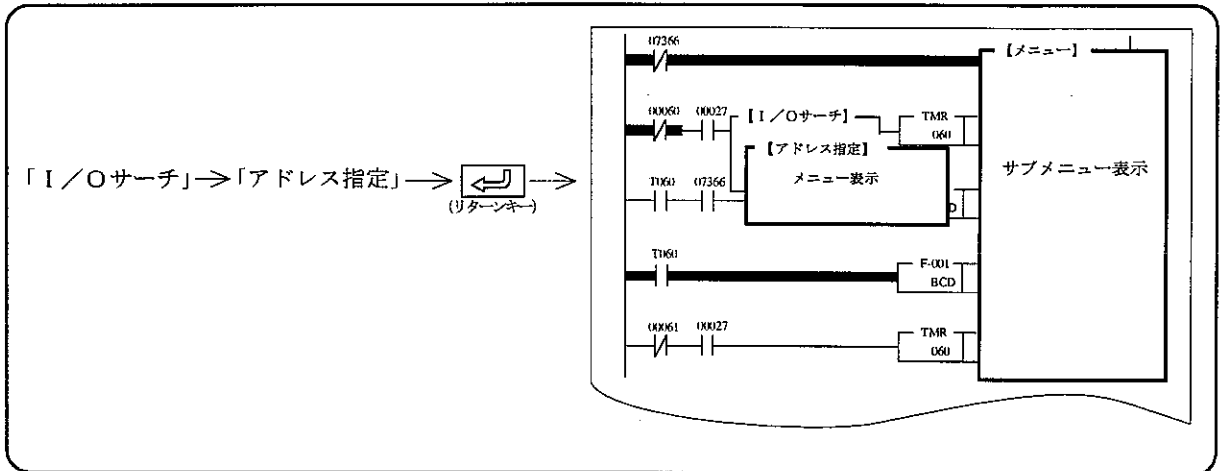
④ [↓] キーを押し、カーソルを操作内容欄へ移動させます。

⑤ [←] [→] キーを押し、設定します。

⑥ [↵]（リターンキー）を押し、「実行」 [↵]（リターンキー）のキー操作で「I／Oサーチ」を実行します。

⑦ ＬＥＤ点灯を選択すると、指定位置のユニットのＬＥＤが約１秒間点灯します。

⑧ ＳＵ消灯を選択すると、指定位置の「ＳＵ」ＬＥＤが消灯します。

操作手順3 （アドレス指定Ｉ／Ｏサーチ）

操 作 例

① 数値キーでアドレスを入力します。

（バイトアドレス（コ××××）で設定するときは、「コード」キーで切り替え後、バイトアドレスを入力してください。）

② [↓] キーを押し、カーソルを操作内容欄へ移動させます。

③ [←] [→] キーを押し、設定します。

④ [↵]（リターンキー）を押し、「実行」 [↵]（リターンキー）のキー操作で「I／Oサーチ」を実行します。

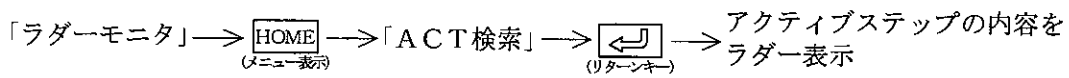
⑤ ＬＥＤ点灯を選択すると、指定アドレスのユニットのＬＥＤが約１秒間点灯します。

⑥ ＳＵ消灯を選択すると、指定位置の「ＳＵ」ＬＥＤが消灯します。

（２１）ＡＣＴ検索

ＰＣ機種が、ＪＷ２１／２２のとき、ＳＦ命令のアクティブ（実行中）ステップの内容をラダーモニタします。

〈キー操作〉

「ラダーモニタ」→ [HOME]（メニュー表示）→「ＡＣＴ検索」→ [↵]（リターンキー）→ アクティブステップの内容をラダー表示

8－2 命令語モニタ

ＰＣ本体の動作状態を命令語でモニタします。

操作概要

操作手順1

操作手順2

・先頭アドレスより命令語でモニタします。

・○印はＯＦＦ、●印はＯＮを示します。

第8章

命令語モニタでの機能

命令語モニタ中の各機能の操作方法は、「ラダーモニタ」での操作と共通です。

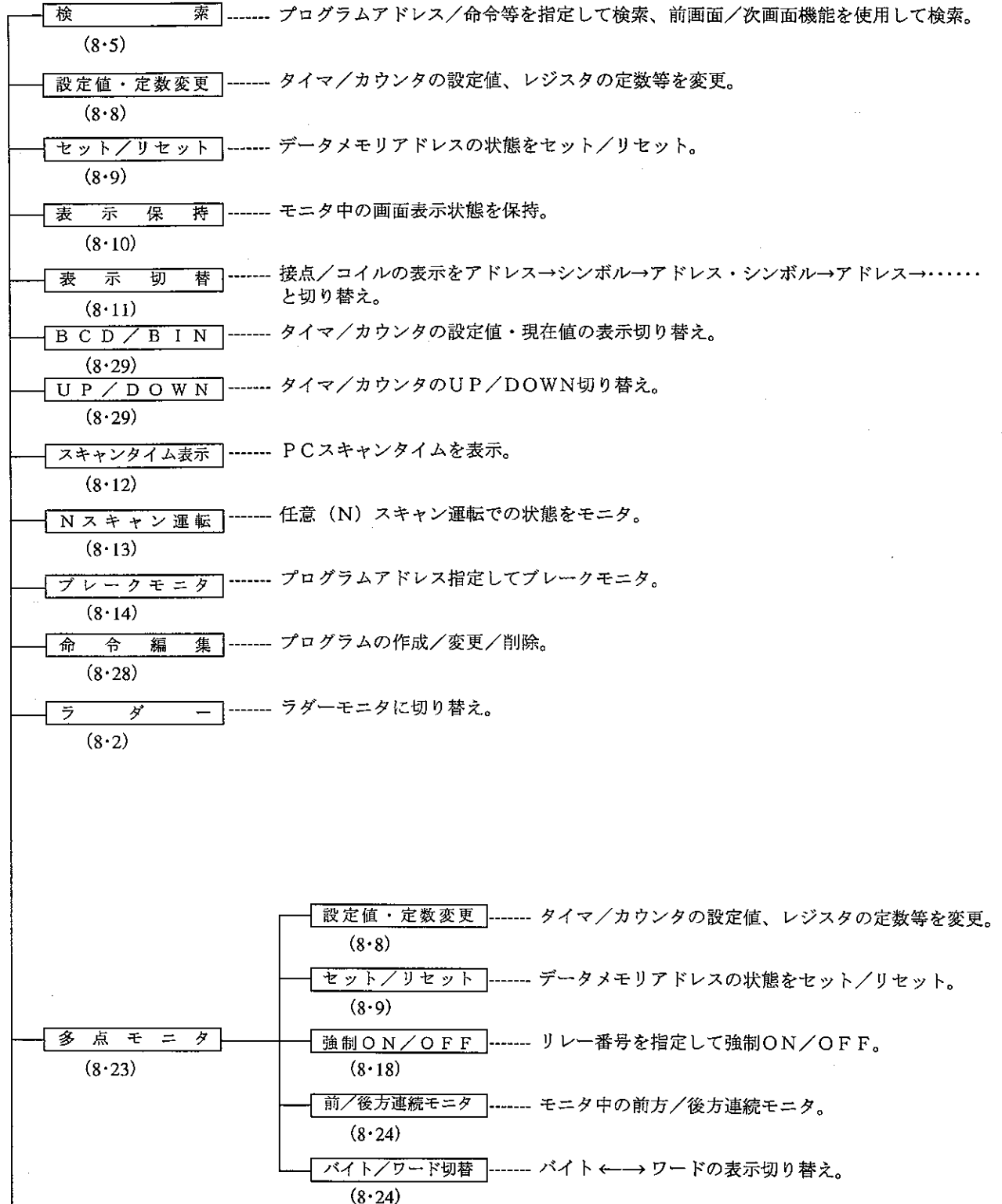
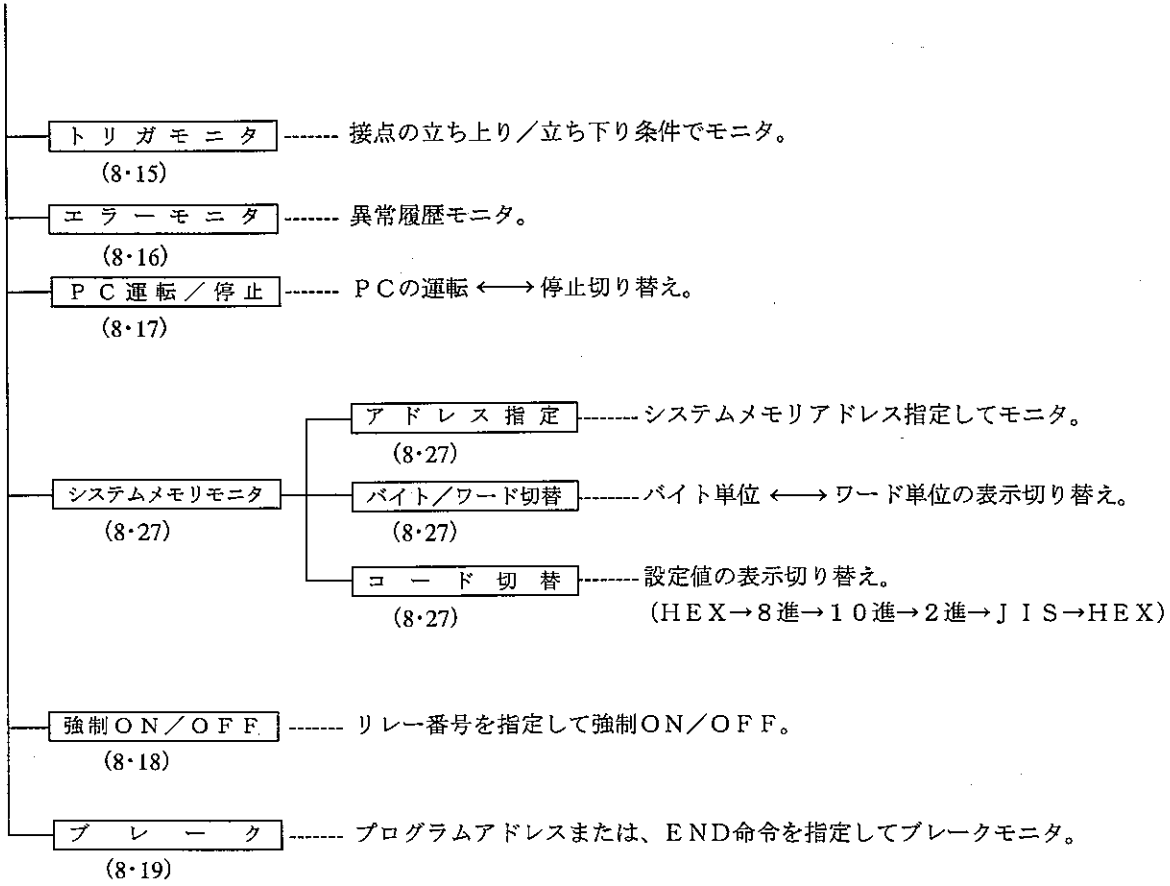
8・2～8・31ページの操作手順を「命令語モニタ」に読み替えて操作してください。

（　）内の数字は参照ページを示します。

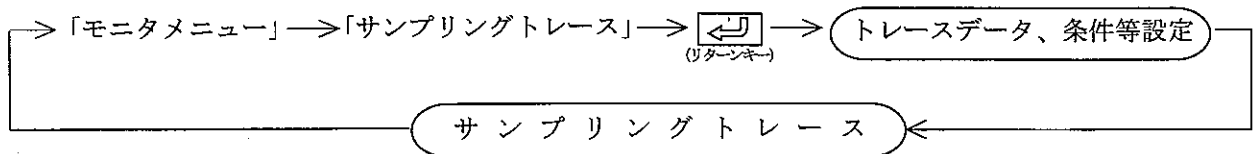
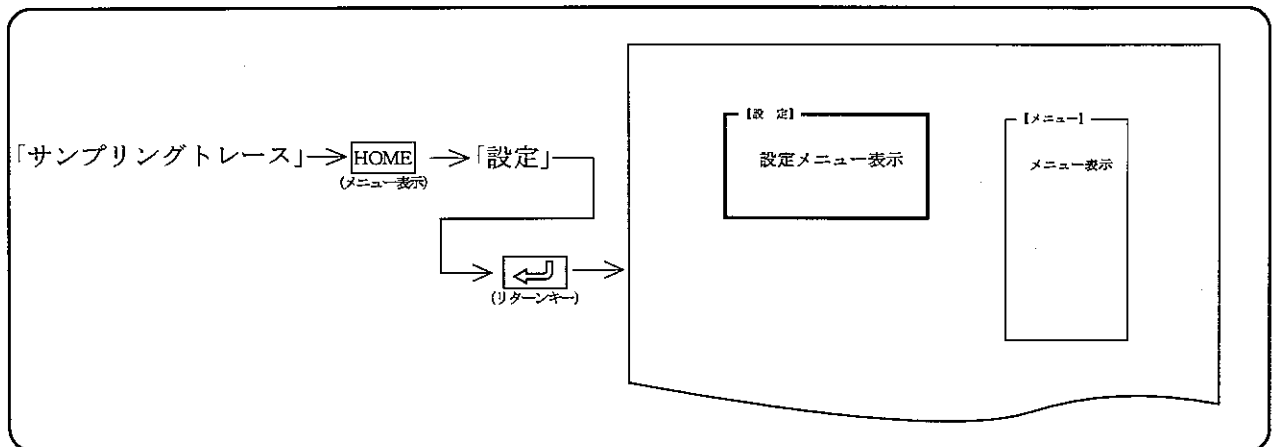
第8章

※

トリガモニタ
(8・15)
接点の立ち上り／立ち下り条件でモニタ。
エラーモニタ
(8・16)
異常履歴モニタ。
PC運転／停止
(8・17)
PCの運転⟷停止切り替え。
システムメモリモニタ
(8・27)
アドレス指定
(8・27)
システムメモリアドレス指定してモニタ。
バイト／ワード切替
(8・27)
バイト単位⟷ワード単位の表示切り替え。
コード切替
(8・27)
設定値の表示切り替え。
(HEX→8進→10進→2進→JIS→HEX)
強制ON／OFF
(8・18)
リレー番号を指定して強制ON／OFF。
ブレーク
(8・19)
プログラムアドレスまたは、END命令を指定してブレークモニタ。

第8章

8－3 サンプリングトレース

任意のリレーのON／OFF状態およびレジスタ値の内容を任意周期でサンプリングし、表示します。

操作概要

操作手順

操作例

（1）設定

①トレースメモリファイル

データサンプリングに使用するファイル番号を設定します。

・数値キーまたは、カーソル移動キー（ ↓ ↑ ）で、カーソルを「トレースメモリファイル」へ移動させます。

・英数キーでファイル番号を入力します。

②トレースメモリ容量

データサンプリングに使用するメモリ容量を設定します。

・数値キーまたは、カーソル移動キー（ ↓ ↑ ）で、カーソルを「トレースメモリ容量」へ移動させます。

・数値キーでメモリ容量を入力します。

③ 周期設定

データサンプリング周期を選択します。

・数値キーまたは、カーソル移動キー（ ↓ ↑ ）で、カーソルを「周期設定」へ移動させます。

・カーソル移動キー（ ← → ）で選択します。

・「時間」を選択した場合は、００００～１０００ｍｓを数値キーより入力します。

第8章

④トリガモード

サンプリング開始条件を選択します。

・数値キーまたは、カーソル移動キー（[↓] [↑]）で、カーソルを「トリガモード」へ移動させます。

・カーソル移動キー（[←] [→]）で選択します。

（２）トレースデータの設定

・サンプリングを行うリレー、レジスタ番号を設定します。

・トレースデータは、リレー接点１５個、レジスタ６バイトまで設定できます。

・[HOME]（メニュー表示）キーを押し、「トレースデータ」[⏎]（リターンキー）を押すと、トレースデータ設定画面となります。

・Ｆ１～Ｆ１０の機能表示も下記の様に変化します。

「クリア」：トレースデータアドレスを「０」にする

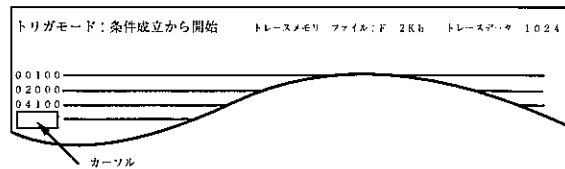
「コード」：データメモリ領域の切り替え

「挿　入」：カーソル位置にトレースデータを挿入

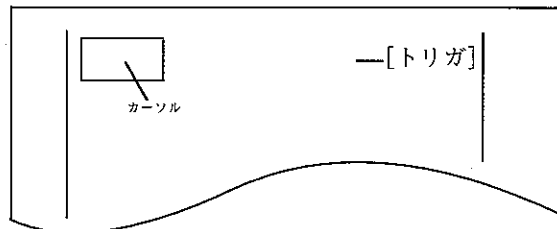
「終　了」：トレースデータの設定モード終了

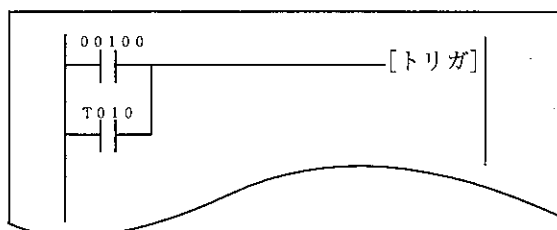
「削　除」：カーソル位置のトレースデータを削除

「書　込」：トレースデータを登録

・[↑] [↓]キーで、トレースデータのカーソルを移動させ、リレー番号、レジスタ番号を入力します。

・「書込」キーを押すと、表示内容を登録します。

（３）トリガ条件の設定

・[HOME]（メニュー表示）キーを押し、「トリガ条件」[⏎]（リターンキー）を押すと、下図画面表示となります。

・最大５個の接点を使用して、ＡＮＤ／ＯＲ形式で「トリガ条件」を設定します。

（例）リレー00100とタイマ010のＯＲをトリガ条件とする場合

・接点の入力、データメモリ領域の切り替え方法等は、「ラダープログラミング」と同様です。

・[⏎]（リターンキー）を押すと、入力した「トリガ条件」を登録します。

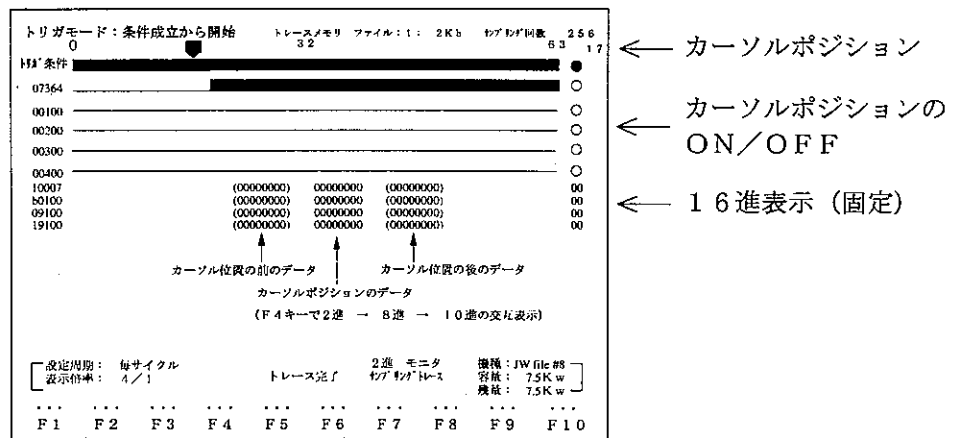
（4）表示切替

・トレースデータの内容を「アドレス」または、「シンボル」と切り替えます。

・[HOME]（メニュー表示）キーを押し、「表示切替」[⏎]（リターンキー）を押すと、「アドレス」「シンボル」の選択ができます。

（5）モニタ開始

・トリガ条件、トリガモード等設定後、[HOME]（メニュー表示）「モニタ開始」[⏎]（リターンキー）を押すと、サンプリングトレースを開始します。

・サンプリング終了または、「停止」キーを押し停止すると、下図の様に表示します。

・リレーは、ONのとき■となります。

・カーソル（■）は、[←][→]キーで移動します。または、「カーソル位置」キーを押し、数値キーでの指定もできます。

・画面右端に、カーソル位置と、そのときの情報を表示します。

・レジスタは、カーソル位置と、その前後のデータを表示します。データは、「コード変換」キーで、「2進」→「8進」→「10進」に切り替わります。

・「表示拡大」キーを押すと、表示倍率を「1／1」→「2／1」→「4／1」→「8／1」→「32／1」と変更できます。

・「表示縮小」キーを押すと、表示倍率「1／2」→「1／4」→「1／8」→「1／16」と変更できます。

・トレースデータが15個以上のときは、[ROLL DOWN]／[ROLL UP]キーで前画面／次画面表示に切り替えてください。

第8章

8－4 ＳＦモニタ（ＪＷ２１／２２のみ）

ＳＦ命令のステップ状態をモニタします。

操作概要

操作手順

・アクティブステップは■印で表示します。

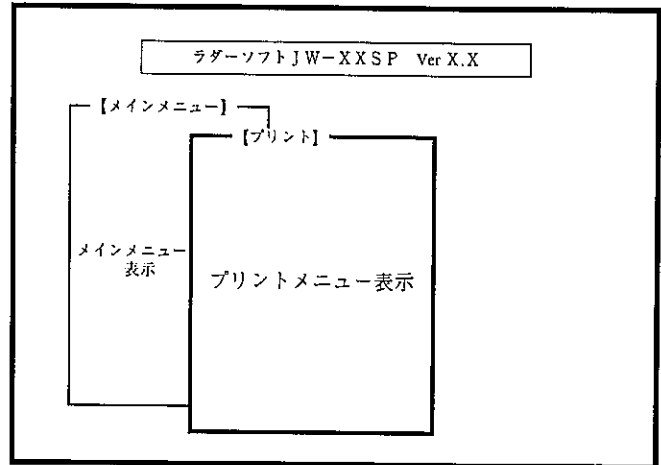
・非アクティブステップは□印で表示します。

第8章

第 9 章　プリント

パソコンのメモリ内容（プログラム、データ等）をプリントアウトするモードです。

キー操作

画面表示

機　能

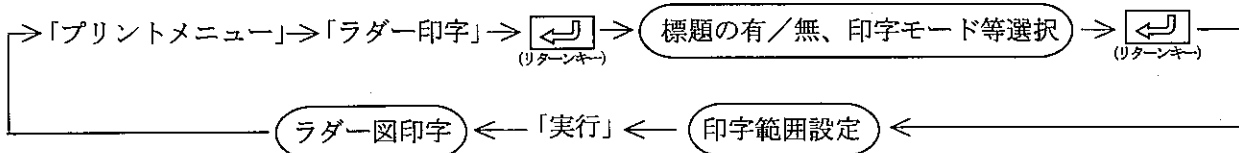
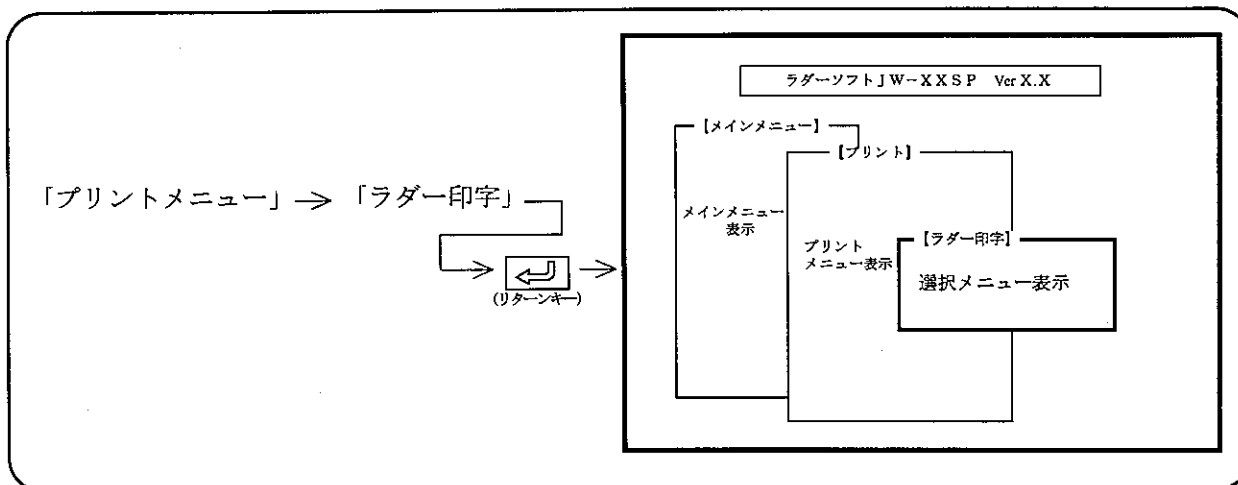
名　称	機　能	参照ページ
ラダー印字	ラダー図でプログラムを印字	9・2
命令語印字	命令語でプログラムを印字	9・6
接点使用リスト	接点使用リストをアドレス順または、プログラム順で印字	9・9
システムメモリ	システムメモリの設定内容を印字	9・12
データメモリ	データメモリの内容を印字	9・14
シンボル・コメント	シンボル・コメントの印字	9・16
標題設定	プリント標題の設定	9・18
表紙設定	プリント表紙の設定	9・20
プリンタ設定	プリンタの設定	9・22
ＦＤ転送	ＦＤに対する操作	11・1
ＰＣ転送	ＰＣに対する操作	12・1
本体パラメータ	本体パラメータメモリを印字	9・24

留意点

・プリントを行う前に、「プログラム編集」でプログラムの作成または、「ＦＤ転送」、「ＰＣ転送」でプログラムの読み出し（再生）を行い、パソコンのメモリにプリントする内容を書き込んでください。
・使用できるプリンタは、「日本電気ＰＣ−ＰＲ２０１Ｆ／Ｈ／Ｖ／Ｂ／Ｊ／Ｘ／Ｇの各シリーズ」および「キャノンＬＡＳＥＲ ＳＨＯＴの各シリーズ」、「エプソンＥＳＣ／Ｐ仕様のプリンタ」です。
・各メニューは、数値キーおよび、カーソル移動キーで選択できます。
・ ESC キーで１つ前の画面表示に戻ります。

9－1 ラダー印字

プログラム内容をラダー図で印字します。

操作概要

操作手順１

操作例

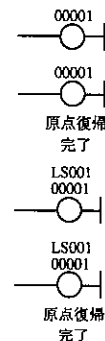
（１）標　　題

- 「付き」に設定すると各ページの右下に「標題設定」で入力した標題を付けて印字します。
- 数値キーまたは、カーソル移動キー（[←] [→]）を押すと、「無し」／「付き」が選択できます。

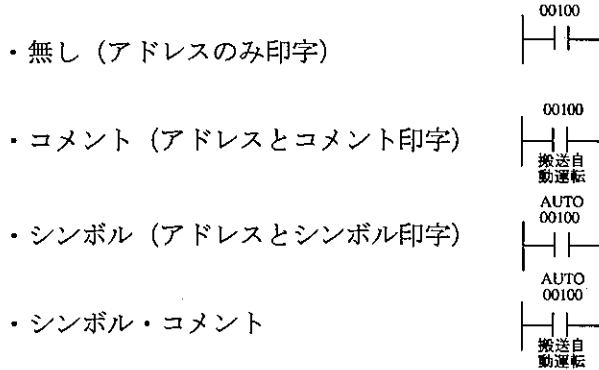
（２）モ　ー　ド

- 「高速」に設定すると、縦線（ラダー図の母線、標題の縦線）が、１～２ドット分左右上下にずれる場合があります。
- 数値キーまたは、カーソル移動キー（[←] [→]）を押すと、「高速」／「高品位」が選択できます。

（３）コイル

- コイル（ＯＵＴ命令）へのシンボル・コメントの有／無を設定します。

・数値キーまたは、カーソル移動キー（[←] [→]）を押すと「無し」「シンボル」「コメント」「シンボル・コメント」を選択できます。

（4）接　点

・接点へのシンボル・コメントの有／無を設定します。

・数値キーまたは、カーソル移動キー（[←] [→]）を押すと「無し」「コメント」「シンボル」「シンボル・コメント」を選択できます。

（5）クロスリファレンス

・「付き」に設定すると、各接点およびコイル（ＯＵＴ命令）にクロスリファレンスを付けて印字します。

・数値キーまたは、カーソル移動キー（[←] [→]）を押すと、「無し」／「付き」が選択できます。

・クロスリファレンスは印字前に作成する必要があります。クロスリファレンス作成選択画面が出た時は必ず「する」を選択してください。

（6）用紙節約

・「する」を選択すると、各ページの最後がネットワークの途中になる場合でも印字します。「しない」を選択すると、各ページの最後がネットワークの途中になる場合は、改ページします。

・数値キーまたは、カーソル移動キー（[←] [→]）を押すと「する」／「しない」が選択できます。

第9章

以下の(7)〜(11)の機能は、本ソフトのVer 5.3より対応しています。

（7）コイルのコメント位置

前ページのコイルで「コメント付き」または「シンボル・コメント付き」を選択したとき、コメントを各コイルの「下に印字」または「右に印字」を設定します。

・数値キーまたはカーソル移動キー（[←] [→]）を押して、「下」／「右」を選択します。

（8）最大シンボル文字数

コイル／接点の設定（9・2、3ﾍﾟｰｼﾞ）で「シンボル付き」または「シンボル・コメント付き」を選択したとき、各シンボルを先頭より最大文字数まで印字します。

・最大値（16文字）に設定すると、設定しているシンボルをすべて印字できます。
・カーソル移動キーで最大シンボル文字数を選択し、数字キー（0～9）より設定します。

（9）最大コメント文字数

コイル／接点の設定（9・2、3ﾍﾟｰｼﾞ）で「コメント付き」または「シンボル・コメント付き」を選択したとき、各コメントを先頭より最大文字数まで印字します。

・最大値（28文字）に設定すると、設定しているコメントをすべて印字できます。
・カーソル移動キーで最大シンボル文字数を選択し、数字キー（0～9）より設定します。

（10）プログラムアドレス印字

・「する」に設定すると、各回路の先頭にプログラムアドレスを付けて印字します。
・「しない」に設定すると、各回路の先頭にプログラムアドレスを印字しません。
　ただし、標題にてプログラムアドレスの項目を設定していると、標題の位置には印字します。
・数値キーまたはカーソル移動キー（ ← → ）を押して、「する」／「しない」を選択します。

（11）応用命令の印字行数

応用命令／タイマ命令などで使用する印字行数を選択します。

・数値キーまたはカーソル移動キー（ ← → ）を押して、「3行」／「5行」を選択します。

（12）以上の１１項目を設定後、⏎（リターンキー）を押します。

操作手順2

第9章

プログラム全てを印字する場合

・「実行」キーを押すと「先頭アドレス」から「最終アドレス」まで印字します。

・画面には、印字中のネットワークを表示します。

印字範囲を指定する場合

（1）「クリア」～「検索(+)」キーを使用して、範囲指定を行う先頭ネットワークへカーソルを移動させます。

（2）「範囲指定」キーを押します。（カーソル位置のネットワークが反転表示となります。）

（3）「クリア」～「検索(+)」キーを使用して、範囲指定を行う最終ネットワークへカーソルを移動させます。

（4）「範囲指定」キーを押します。（範囲指定中から範囲指定となります。）

（5）「実行」キーを押すと、範囲指定を行った先頭ネットワークより印字します。

印字途中で停止（終了）する場合

（1）「停止」キーを押すと、表示中のネットワークを印字後、停止します。

（2）停止している時「終了」キーを押すと、「ラダー図印字」を終了し「プリントメニュー」に戻ります。

（3）停止している時「解除」キーを押すと、「ラダー図印字」を再開します。

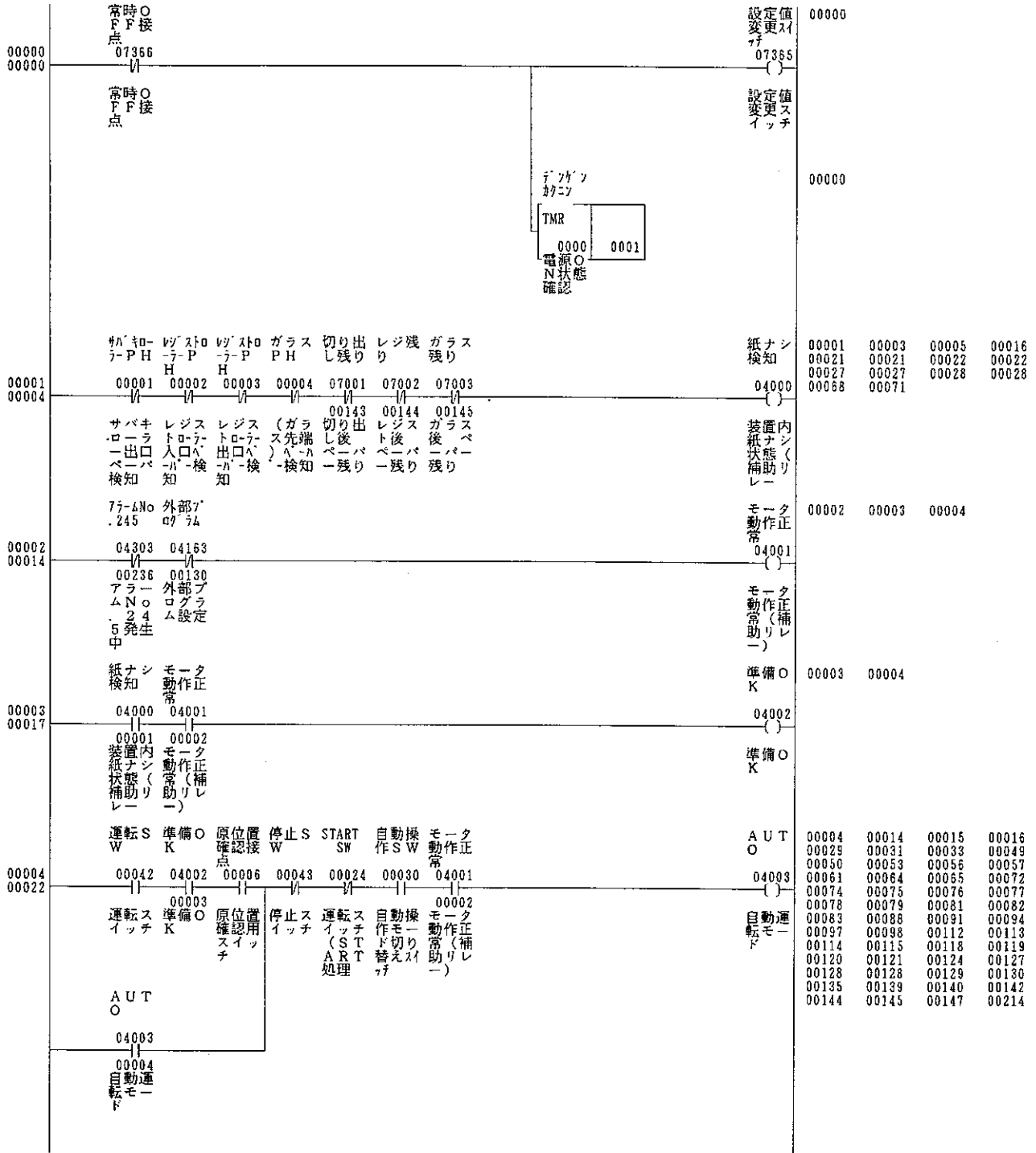
留意点

・ＪＷ専用命令のＦ－９０（コメント入力用）命令にシンボルやコメントを登録すると、ラダー図印字では、Ｆ－９０命令の代りにシンボルやコメントを印字します。ただし、シンボルの１文字目に＠（アットマーク）を使うと改ページとなり、シンボルは印字しません。

・接点のＡＮＤ接続が多く、１行で印字できない場合は、下図のように印字します。

第9章

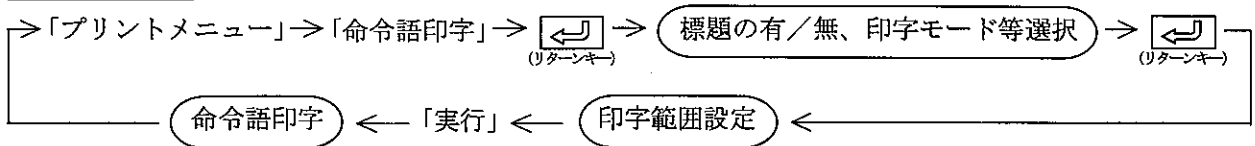
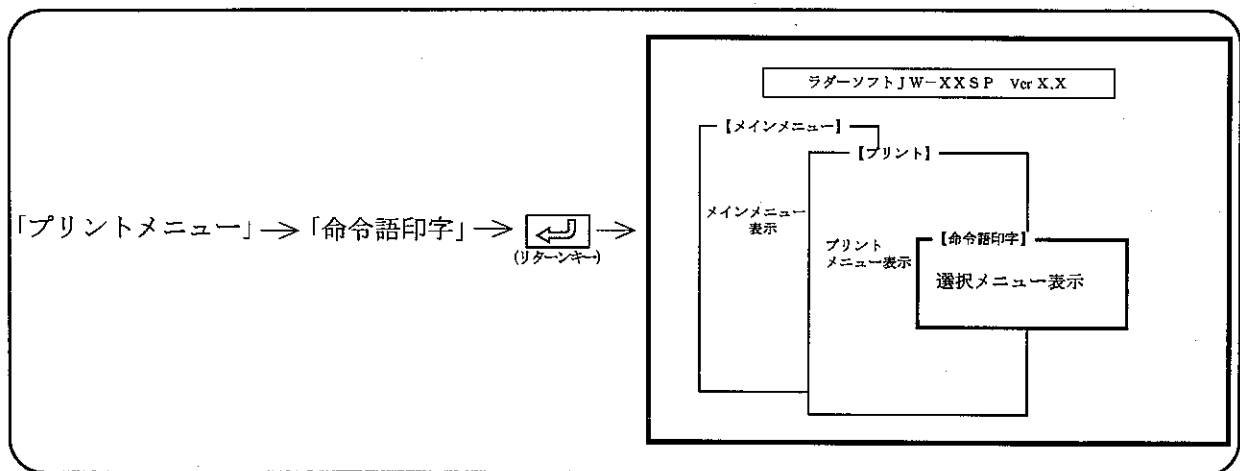
プリント例

［標題付き高品位、接点：シンボル／コメント、コイル：シンボル／コメント、クロスリファレンス付き
コイルのコメント位置：下、最大シンボル文字数：１６、最大コメント文字数：２８、プログラムアドレス：印字］

機　種 (MODEL)	JW32H 15.5Kw	開始アドレス 開始ﾈｯﾄﾜｰｸ	00000 00000			名　称 (NAME)	A　ライン
年・月・日	訂正記事	ページ		00000001		コード (CODE)	C A − 5 1 0 0
95-09-30		設計	作成	検図	承認	図　番	D 1 0 0 5 6 2 1
						シャープ ﾏﾆﾌｧｸﾁｬﾘﾝｸﾞｼｽﾃﾑ（株） SHARP MANUFACTURING SYSTEMS CORPORATION	

第9章

9－2 命令語印字

プログラム内容を命令語で印字します。

操作概要

操作手順1

操作例

（1）標　　題

・「付き」に設定すると、各ページの右下に「標題設定」で入力した標題を付けて印字します。

・数値キーまたは、カーソル移動キー（← →）を押すと「無し」／「付き」が選択できます。

（2）モード

・「高速」に設定すると、標題の縦線等が１～２ドット分左右上下にずれる場合があります。

・数値キーまたは、カーソル移動キー（← →）を押すと「高速」／「高品位」が選択できます。

（3）シンボル

・「付き」に設定すると、シンボル付きで印字します。

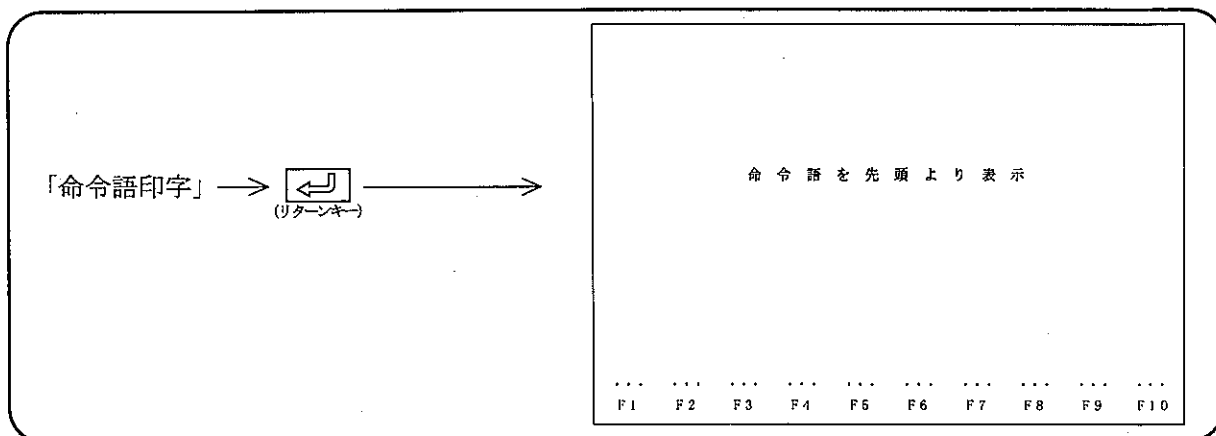
・数値キーまたは、カーソル移動キー（← →）を押すと「無し」／「付き」が選択できます。

（4）コメント

・「付き」に設定すると、コメント付きで印字します。

・数値キーまたは、カーソル移動キー（← →）を押すと「無し」／「付き」が選択できます。

（5）上記、４項目を設定後、⏎（リターンキー）を押します。

操作手順2

プログラムすべてを印字する場合

・「実行」キーを押すと「先頭アドレス」から「最終アドレス」まで印字します。
・画面には、印字中のアドレスを表示します。

印字範囲を指定する場合

（1）「クリア」～「検索(+)」キーを使用して、範囲指定を行う先頭アドレスへカーソルを移動させます。
（2）「範囲指定」キーを押します。（カーソル位置の命令語等が反転表示となります。）
（3）「クリア」～「検索(+)」キーを使用して、範囲指定を行う最終アドレスへカーソルを移動させます。
（4）「範囲指定」キー押します。（範囲指定中から範囲指定となります。）
（5）「実行」キーを押すと、範囲指定を行った先頭アドレスより印字します。
・画面には、印字中のアドレスを表示します。

印字を途中で停止（終了）する場合

（1）「停止」キー押すと、表示中のアドレスを印字後、停止します。
（2）停止している時「終了」キーを押すと、「命令語印字」を終了して「プリントメニュー」に戻ります。
（3）停止している時「解除」キーを押すと、「命令語印字」を再開します。

留 意 点

ＪＷ専用命令のＦ－９０（コメント入力用）命令にシンボルやコメントを登録すると、命令語印字では、通常の応用命令と同様に命令語、シンボル、コメントをプリントします。また、ラダー図印字と異なり、１文字目に＠（アットマーク）を登録しても、改ページせず、シンボル・コメントをプリントします。

プリント例

（標題付き高品位、シンボル・コメント付き）

```
①      ②          ③      ④       ⑤
00000  STR        00000  INPUT1  入力リレー1
00001  AND NOT    00001  INPUT2  入力リレー2
00002  AND        00002  INPUT3  入力リレー3
00003  AND NOT    00003  INPUT4  入力リレー4
00004  AND        00004  INPUT5  入力リレー5
00005  AND NOT    00005  INPUT6  入力リレー6
00006  AND        00006  INPUT7  入力リレー7
00007  OR         04000  補助 1  補助リレー1
00010  AND        00007  INPUT8  入力リレー8
00011  OUT        04000  補助 1  補助リレー1
00012  STR        00000  INPUT1  入力リレー1
00013  AND        00001  INPUT2  入力リレー2
00014  AND NOT    00002  INPUT3  入力リレー3
00015  AND        00003  INPUT4  入力リレー4
00016  AND NOT    00004  INPUT5  入力リレー5
00017  AND        00005  INPUT6  入力リレー6
00020  AND NOT    00006  INPUT7  入力リレー7
00021  AND        00007  INPUT8  入力リレー8
00022  AND NOT    00010  入力9   入力リレー9
00023  AND        00011  入力11  入力リレー11
00024  AND NOT    00012  入力12  入力リレー12
00025  AND        00013  入力13  入力リレー13
00026  AND NOT    00014  入力14  入力リレー14
00027  AND        00015  入力15  入力リレー15
00030  AND NOT    00016  入力16  入力リレー16
00031  AND        00017  入力17  入力リレー17
00032  OUT        04001  補助 2  補助リレー2
00033  OUT        00020  OUT 1   出力リレー01
00034  STR        00000  INPUT1  入力リレー1
00035  OR NOT     00021  OUT 2   出力リレー02
00036  OR         04002  補助 3  補助リレー3
00037  STR        04000  補助 1  補助リレー1
00040  OR         00021  OUT 2   出力リレー02
00041  STR        04001  補助 2  補助リレー2
00042  AND        04002  補助 3  補助リレー3
00043  AND NOT    04001  補助 2  補助リレー2
00044  OR         00022  OUT 3   出力リレー03
00045  AND STR
00046  STR        04003  補助 4  補助リレー4
00047  AND NOT    04000  補助 1  補助リレー1
00050  OR STR
00051  AND STR
00052  OUT        00021  OUT 2   出力リレー02
00053  OUT        04002  補助 3  補助リレー3
00054  OUT        04003  補助 4  補助リレー4
00055  OUT        04004  補助 5  補助リレー5
00056  STR        00001  INPUT2  入力リレー2
00057  TMR          000  TMR 01  タイマー 01

00060                   1234
00061  STR NOT         00002  INPUT3  入力リレー3
00062  AND NOT         04000  補助 1  補助リレー1
00063  AND NOT         04001  補助 2  補助リレー2
00064  AND NOT         04002  補助 3  補助リレー3
00065  TMR               001  TMR 02  タイマー 02
00066                   0000
00067  TMR               002  TMR 03  タイマー 03
00070                   0000
00071  TMR               003  TMR 04  タイマー 04
00072                   0000
00073  STR         CNT   010  CNT 01  カウンタ01
00074  F-200  (>POR)
00075                     00
00076                 ●10000  dddddd  DDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDD
00077                 PORT00
00100  F-210  (ADD )
00101                  b1234  AAAAAA  aaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa
00102                  ]1234  bbbbbb  BBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBB
00103                  09000  CCCCCC  cccccccccccccccccccccccc
00104  Fc210w (ADD )
00105                  b0000
00106                 000000
00107                  ]0001  EEEEEE  eeeeeeeeeeeeeeeeeeeeeeee
00110  F-210w (ADD )
00111                  19000
00112                  b0000
00113                  ]0000  dddddd  DDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDD
00114  Fc210  (ADD )
00115                  ]0000  dddddd  DDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDD
00116                    000
00117                  ]0000  dddddd  DDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDD
00120  F-210  (ADD )
00121                  ]0000  dddddd  DDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDD
00122                  ]0000  dddddd  DDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDD
00123                  ]0000  dddddd  DDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDD
00124  STR             00000  INPUT1  入力リレー1
00125  AND         TMR   000  TMR 01  タイマー 01
00126  AND             07000  KEEP 1  キープリレー01
00127  STR             00001  INPUT2  入力リレー2
00130  AND         TMR   001  TMR 02  タイマー 02
00131  AND             07001  KEEP 2  キープリレー02
00132  CNT               010  CNT 01  カウンタ01
00133                   1111
00134  STR             10000  汎用 1  汎用リレー01
00135  AND NOT     CNT   000  TMR 01  タイマー 01
00136  AND NOT         04000  補助 1  補助リレー1
00137  STR         TMR   000  TMR 01  タイマー 01
```

標題

機種 (MODEL)	JW21 3.5Kw	開始アドレス 開始ネットワーク	00000	名称 (NAME)	命令語プリントサンプル
年・月・日	訂正記事			コード (CODE)	
		設計 / 作成 / 検図 / 承認		図番	00001
				シャープ株式会社 コンピュータ事業部 SHARP CORPORATION	日付 1988-04-03 / ページ 0000000001

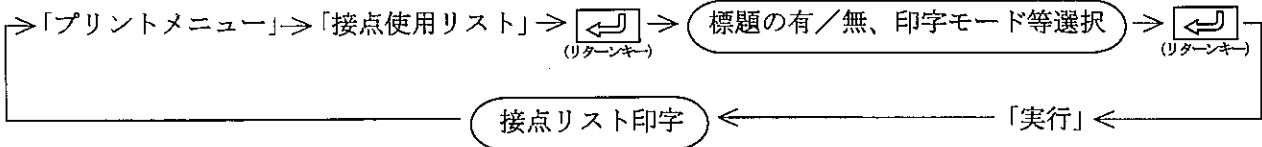
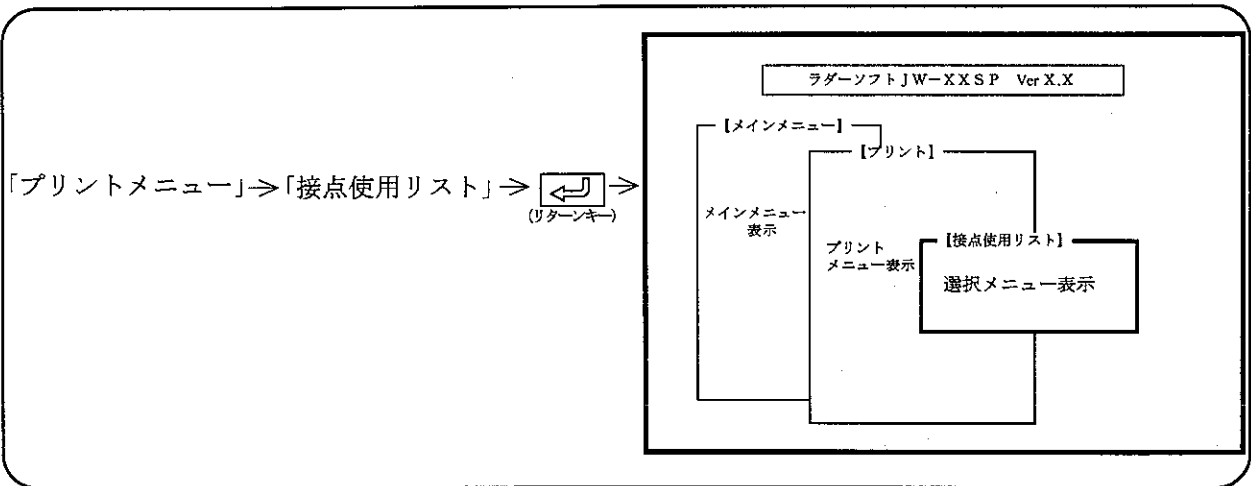
①プログラムアドレス
②命令語
③リレー、タイマ等の番号
④シンボル
⑤コメント

第9章

9－3 接点使用リスト印字

プログラム内で使用している接点番号、回路番号、アドレスを印字します。

プリント内容は、「プログラム順」「アドレス順」の選択ができます。

操作概要

操作手順1

操作例

（1）標　題

・「付き」に設定すると、各ページの右下に「標題設定」で入力した標題を付けて印字します。

・数値キーまたは、カーソル移動キー（[←] [→]）を押すと「無し」／「付き」が選択できます。

（2）モード

・「高速」に設定すると、標題の縦線等が1～2ドット分左右上下にずれる場合があります。

・数値キーまたは、カーソル移動キー（[←] [→]）を押すと「高速」／「高品位」が選択できます。

（3）順　番

・「プログラム順」または、「アドレス順」を選択します。

・数値キーまたは、カーソル移動キー（[←] [→]）を押すと「プログラム順」／「アドレス順」が選択できます。

（4）開始番号

・プリント開始アドレスを設定します。

・開始番号欄へカーソル移動後、「コード」キーでデータメモリ領域を切り替えます。

・数値キーより開始番号入力後、カーソル移動により設定完了となります。

（5）終了番号

・プリント終了アドレスを設定します。

・終了番号欄へカーソル移動後、「コード」キーでデータメモリ領域を切り替えます。

・数値キーより終了番号入力後、カーソル移動により設定完了となります。

（6）コメント

・「付き」に設定すると、コメント付きで印字します。

・数値キーまたは、カーソル移動キー（[←][→]）を押すと「無し」／「付き」が選択できます。

（7）シンボル

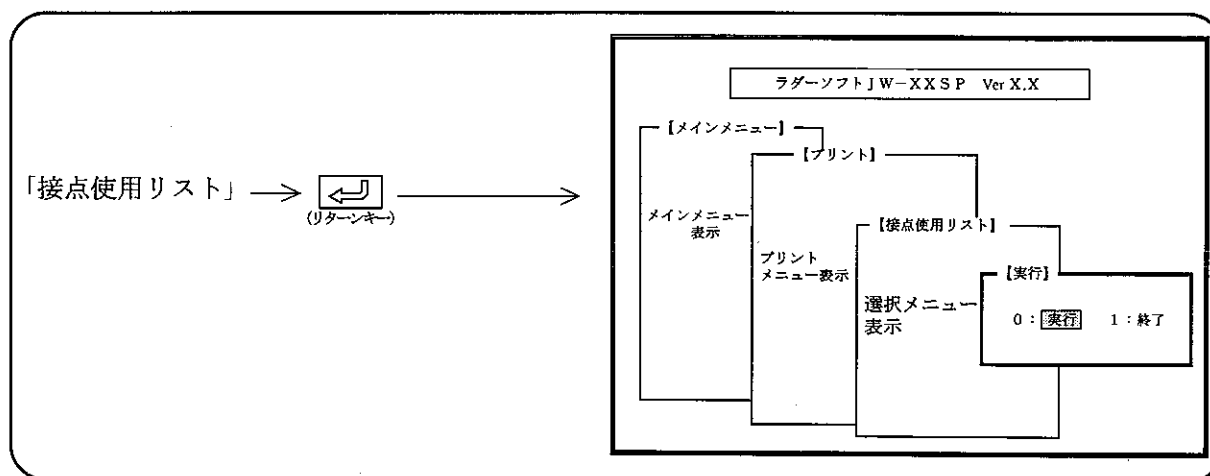
・「付き」に設定すると、シンボル付きで印字します。

・数値キーまたは、カーソル移動キー（[←][→]）を押すと「無し」／「付き」が選択できます。

（8）未使用アドレス印字

・アドレス順印字のとき、「する」に設定すると、プログラムに使用していないアドレスも印字します。

・数値キーまたは、カーソル移動キーを押すと「する」／「しない」が選択できます。

操作手順2

印字する場合

「実行」を選択後、[↵]（リターンキー）を押すと、設定した内容で開始番号より印字開始します。

必要に応じてクロスリファレンスファイルを作る必要があります。印字前にクロスリファレンス作成の選択画面が出た場合は必ず「する」を選択してください。

印字途中で停止（終了）する場合

（1）「停止」キーを押すと、印字中のリストを印字後、停止します。

（2）停止している時「終了」キーを押すと、「プリントメニュー」に戻ります。

（3）停止している時「解除」キーを押すと、「接点使用リスト印字」を再開します。

プリント例1

プログラム順（標題付き高品位、シンボル／コメント付き）

プリント例2

アドレス順（標題付き高品位、シンボル／コメント付き）

9－4 システムメモリプリント

システムメモリの設定値をコメント付きで印字します。

操作概要

操作手順

操作例

（1）標　題

・「付き」に設定すると、各ページの右下に「標題設定」で入力した標題を付けて印字します。

・数値キーまたは、カーソル移動キー（[←] [→]）を押すと「無し」／「付き」が選択できます。

（2）モード

・「高速」に設定すると、標題の縦線等が1～2ドット分左右上下にずれる場合があります。

・数値キーまたは、カーソル移動キー（[←] [→]）を押すと「高速」／「高品位」が選択できます。

先頭アドレスより最終アドレスまで印字する場合

・[⏎]（リターンキー）を押し、「実行メニュー」で「実行」キーを押すと先頭アドレスより最終アドレスまで印字します。

・印字終了すると、画面表示は「プリントメニュー」に戻ります。

印字範囲を指定する場合

（1）[↑] [↓] キーで、カーソルを「開始番号」欄へ移動後、数値キーより開始番号を入力します。

（2）[↓] キーで、カーソルを「終了番号」欄へ移動後、数値キーより終了番号を入力します。

第9章

（3） [⏎]（リターンキー）を押し、「実行メニュー」で「実行」キーを押すと開始アドレスより終了アドレスまで印字します。

（4）印字終了すると、画面表示は「プリントメニュー」に戻ります。

印字途中で停止（終了）する場合

（1）「停止」キーを押すと、表示中のアドレスを印字後、停止します。

（2）停止している時「終了」キーを押すと、「プリントメニュー」に戻ります。

（3）停止している時「解除」キーを押すと、「システムメモリ印字」を再開します。

プリント例

（標題付き高品位印字）

ｱﾄﾞﾚｽ	76543210	16進	10進	8進	内　容
#0200	00000000	00	000	000	
#0201	00000000	00	000	000	ＴＭＲ　復電時リセット
#0202	00000000	00	000	000	ＣＮＴ　ＯＮでリセット
#0203	00000000	00	000	000	
#0204	10000011	83	131	203	
#0205	00000001	01	001	001	
#0206	00000000	00	000	000	ヒューズ断時運転継続
#0207	00000000	00	000	000	オプション異常時運転停止
#0210	00000000	00	000	000	
#0211	00000000	00	000	000	
#0212	00000000	00	000	000	
#0213	00000000	00	000	000	
#0214	00000000	00	000	000	
#0215	00000000	00	000	000	
#0216	00000000	00	000	000	
#0217	00000000	00	000	000	
#0220	00000000	00	000	000	
#0221	00000000	00	000	000	
#0222	00000000	00	000	000	
#0223	00000000	00	000	000	時計機能レジスタ使用
#0224	00000000	00	000	000	コメントメモリ使用領域
#0225	00000000	00	000	000	先頭ファイル番号:0、容量:0000KBです。
#0226	00000000	00	000	000	スキャンタイム設定（００mS）
#0227	00000000	00	000	000	タイマ000～777は、100mSタイマです。
#0230	11000000	C0	192	300	ｷｰﾌﾟﾘﾚｰ領域は(ﾌｧｲﾙｱﾄﾞﾚｽ)000700以降です
#0231	00000001	01	001	001	
#0232	00000000	00	000	000	本体停止時、出力保持先頭ﾌｧｲﾙｱﾄﾞﾚｽ(000000)
#0233	00000000	00	000	000	
#0234	00000000	00	000	000	伝送速度:異常 ﾊﾟﾘﾃｨ:なし ｽﾄｯﾌﾟ:1ﾋﾞｯﾄ
#0235	00000000	00	000	000	局番:０ ０(COM0)
#0236	00000000	00	000	000	伝送速度:異常 ﾊﾟﾘﾃｨ:なし ｽﾄｯﾌﾟ:1ﾋﾞｯﾄ
#0237	00000000	00	000	000	局番:０ ０(COM1)
#0240	00000000	00	000	000	タイマ割込み：未設定
#0241	00000000	00	000	000	割込入力ﾕﾆｯﾄはラック:0、スロット:０です。
#0242	00000000	00	000	000	割込入力ユニットの立上り/立下りの設定
#0243	00000000	00	000	000	割込入力ユニットの立上り/立下りの設定
#0244	00000000	00	000	000	
#0245	00000000	00	000	000	
#0246	00001010	0A	010	012	瞬停検出時間:０１０mS
#0247	00000000	00	000	000	ラック先頭アドレス：連続
#0250	10000000	80	128	200	ｷｰﾌﾟﾘﾚｰ拡張領域は(ﾌｧｲﾙｱﾄﾞﾚｽ)007600以降です
#0251	00001111	0F	015	017	
#0252	01111111	7F	127	177	出力保持終了ﾌｧｲﾙｱﾄﾞﾚｽ(001577)
#0253	00000011	03	003	003	
#0254	00000000	00	000	000	
#0255	00000000	00	000	000	通常運転
#0256	00000000	00	000	000	
#0257	10100000	A0	160	240	#200～#256のチェックコード
#0260	00000000	00	000	000	データリンク(ZW-10CM)接続子局数:０ ０

各種プリントアウトするとき、標題付きを選択すると各ページの右下に、ここで設定した内容を印刷します。　各種プリントアウト時に、　　　の部分は設定可能。

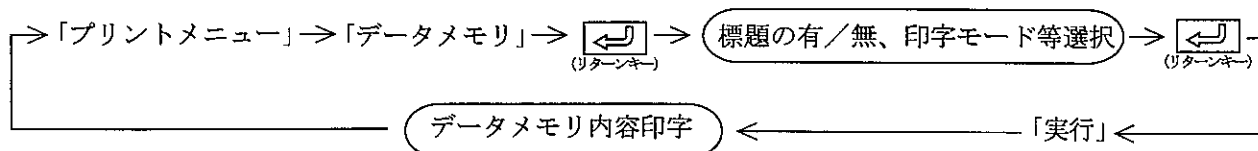
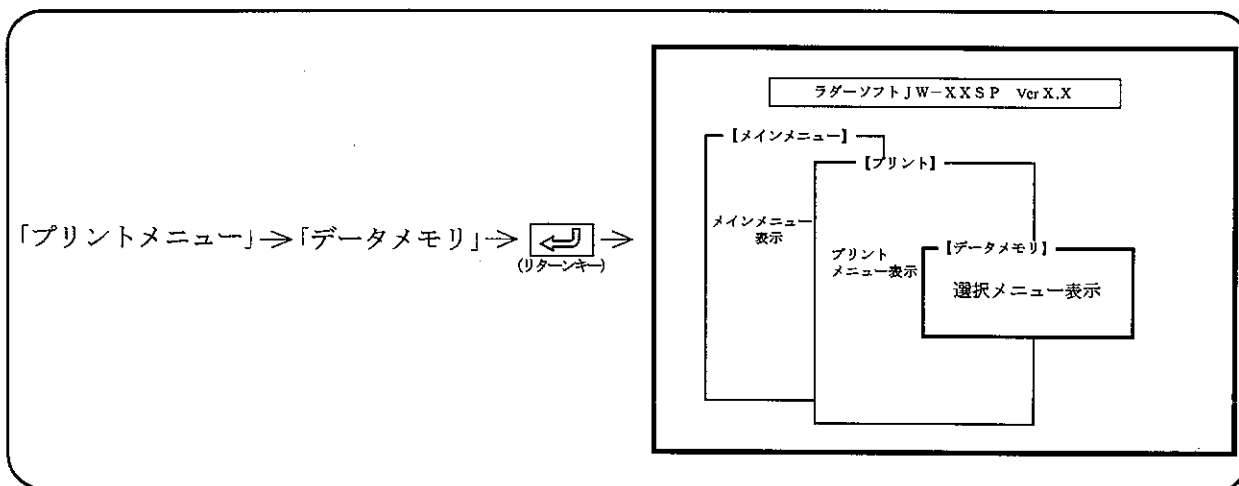
日付　：950918 で年月日を自動印字　開始ｱﾄﾞﾚｽ:　　　でﾍﾟｰｼﾞの開始アドレスを印字
機種　:JW33H　で機種名を自動印字　ﾈｯﾄﾜｰｸNO　:　　　でネットワークＮｏを印字
ﾍﾟｰｼﾞ　:00000001でページを自動印字　ｲﾝｸﾘﾒﾝﾄ　:00000でﾍﾟｰｼﾞ毎に１ずつ増加する
容量　:31.5Kw　でﾒﾓﾘ容量を自動印字　　　番号を印字（設定可能）

F5（全クリア）キーでクリアしてから設定して下さい。
詳細は取扱い説明書を参照下さい。

第9章

9－5 データメモリプリント

データメモリの内容を「2進」、「BCD」、「10進」、「8進」で印字します。

操作概要

操作手順

操作例

(1) 標　題

- 「付き」に設定すると、各ページの右下に「標題設定」で入力した標題を付けて印字します。
- 数値キーまたは、カーソル移動キー（[←][→]）を押すと「無し」／「付き」が選択できます。

(2) モード

- 「高速」に設定すると、標題の縦線等が1～2ドット分左右上下にずれる場合があります。
- 数値キーまたは、カーソル移動キー（[←][→]）を押すと「高速」／「高品位」が選択できます。

第9章

先頭アドレスより最終アドレスまで印字する場合

- [⏎]（リターンキー）を押し、「実行メニュー」で「実行」キーを押すと先頭アドレスより最終アドレスまで印字します。
- 印字終了すると、画面表示は「プリントメニュー」に戻ります。

印字範囲を指定する場合

(1) [↑] [↓] キーでカーソルを「開始番号」欄へ移動後、「コード」キーでデータメモリ領域設定後、数値キーより開始番号を入力します。

（2）［↓］キーで、カーソルを「終了番号」欄へ移動後、「コード」キーでデータメモリ領域設定後、数値キーより終了番号を入力します。

（3）［⏎］(リターンキー) を押し、「実行メニュー」で「実行」キーを押すと開始アドレスより終了アドレスまで印字します。

（4）印字終了すると、画面表示は「プリントメニュー」に戻ります。

印字途中で停止（終了）する場合

（1）「停止」キーを押すと、表示中のアドレスを印字後、停止します。

（2）停止している時「終了」キーを押すと、「プリントメニュー」に戻ります。

（3）停止している時「解除」キーを押すと、「データメモリ印字」を再開します。

プリント例

(標題付き高品位印字)

リレー、コイル	7	6	5	4	3	2	1	0	BCD	10進	8進
00000	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00010	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00020	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00030	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00040	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00050	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00060	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00070	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000

リレー、コイル	7	6	5	4	3	2	1	0	BCD	10進	8進
00100	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00110	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00120	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00130	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00140	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00150	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00160	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00170	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000

リレー、コイル	7	6	5	4	3	2	1	0	BCD	10進	8進
00200	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00210	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00220	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00230	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00240	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00250	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00260	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00270	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000

リレー、コイル	7	6	5	4	3	2	1	0	BCD	10進	8進
00300	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00310	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00320	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00330	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00340	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00350	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00360	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00370	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000

リレー、コイル	7	6	5	4	3	2	1	0	BCD	10進	8進
00400	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00410	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00420	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00430	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00440	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00450	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00460	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00470	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000

リレー、コイル	7	6	5	4	3	2	1	0	BCD	10進	8進
00500	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00510	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00520	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00530	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00540	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00550	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00560	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00570	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000

リレー、コイル	7	6	5	4	3	2	1	0	BCD	10進	8進
00600	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00610	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00620	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00630	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00640	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00650	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00660	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00670	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000

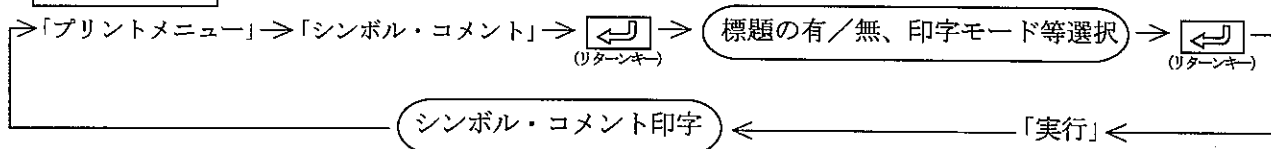
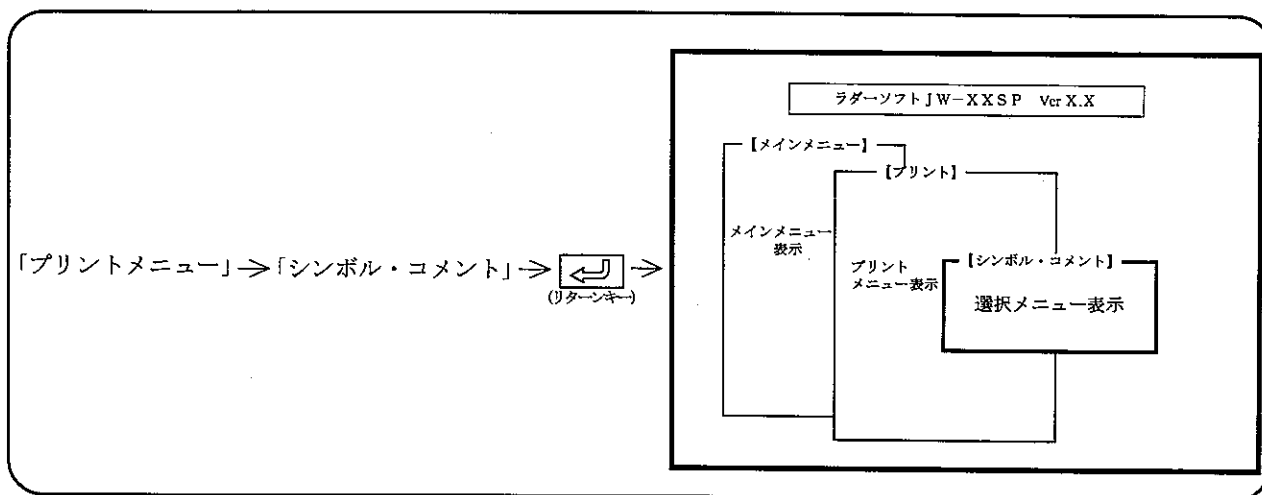
リレー、コイル	7	6	5	4	3	2	1	0	BCD	10進	8進
00700	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00710	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00720	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00730	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00740	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00750	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00760	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
00770	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000

標題

機　種 (MODEL)	JW21 3.5Kw	開始アドレス 開始ネットワーク				名　称 (NAME)	データメモリ プリントサンプル
年・月・日	訂正記事					コード (CODE)	
		設計	作成	検図	承認	図　番	00001
						シャープ株式会社 コンピュータ事業部 SHARP CORPORATION	日付 1988-04-03 ページ 0000000001

９－６ シンボル・コメントプリント

登録しているシンボル・コメントを印字します。

操作概要

操作手順

操作例

（１）標　　題

・「付き」に設定すると、各ページの右下に「標題設定」で入力した標題を付けて印字します。

・数値キーまたは、カーソル移動キー（[←][→]）を押すと「無し」／「付き」が選択できます。

（２）モード

・「高速」に設定すると、標題の縦線等が１～２ドット分左右上下にずれる場合があります。

・数値キーまたは、カーソル移動キー（[←][→]）を押すと「高速」／「高品位」が選択できます。

先頭アドレスより最終アドレスまで印字する場合

・[↵]（リターンキー）を押し、「実行メニュー」で「実行」キーを押すと先頭アドレスより最終アドレスまで印字します。

・印字終了すると、画面表示は「プリントメニュー」に戻ります。

印字範囲を指定する場合

（１）[↑][↓]キーでカーソルを「開始番号」欄へ移動後、「コード」「Ｆ－９０」「ＰＲＯＣ」「ＳＴＥＰ」キーでデータメモリ領域設定後、数値キーより開始番号を入力します。

第９章

（2）［↓］キーで、カーソルを「終了番号」欄へ移動後、「コード」「Ｆ－９０」「ＰＲＯＣ」「ＳＴＥＰ」キーでデータメモリ領域設定後、数値キーより終了番号を入力します。

（3）［⏎］（リターンキー）を押し、「実行メニュー」で「実行」キーを押すと開始アドレスより終了アドレスまで印字します。

（4）印字終了すると、画面表示は「プリントメニュー」に戻ります。

印字途中で停止（終了）する場合

（1）「停止」キーを押すと、表示中のアドレスを印字後、停止します。

（2）停止している時「終了」キーを押すと、「プリントメニュー」に戻ります。

（3）停止している時「解除」キーを押すと、「シンボル・コメント印字」を再開します。

プリント例

（標題付き高品位印字）

ｱﾄﾞﾚｽ	ｼﾝﾎﾞﾙ	コメント
00001	ｻﾊﾞｷﾛｰﾗｰＰＨ	サバキローラー出口ペーパ検知
00002	ﾚｼﾞｽﾄﾛｰﾗｰＰＨ	レジストﾛｰﾗｰ入口ﾍﾟｰﾊﾟｰ検知
00003	ﾚｼﾞｽﾄﾛｰﾗｰＰＨ	レジストﾛｰﾗｰ出口ﾍﾟｰﾊﾟｰ検知
00004	ガラスＰＨ	（ガラス先端）ﾍﾟｰﾊﾟｰ検知
00006	原位置確認接点	原位置確認用スイッチ
00007	各個－自動選択SW	各個－自動選択スイッチＮｏ１
00010	自動運転ＳＷ	自動運転選択スイッチＮｏ１０
00011	自動戻し端確認	自動運転中戻し端ＬＳ確認ＳＷ
00013	UNIT-A　ＵＰ	ユニットＡ上昇処理
00014	LIFT-D　DOWN	リフタＤ下降処理
00024	START　SW	運転スイッチ（ＳＴＡＲＴ処理
00025	自動運転ＳＷ	自動運転選択スイッチＮｏ２５
00030	自動操作ＳＷ	自動操作モード切り替えｽｲｯﾁ
00042	運転ＳＷ	運転スイッチ
00043	停止ＳＷ	停止スイッチ
04000	紙ナシ検知	装置内紙ナシ状態（補助リレー
04001	モータ動作正常	モータ動作正常（補助リレー）
04002	準備ＯＫ	準備ＯＫ
04003	ＡＵＴＯ	自動運転モード
04163	外部ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ	外部プログラム設定
04303	ｱﾗｰﾑNo. 245	アラームＮｏ．２４５発生中
07001	切り出し残り	切り出し後　ペーパー残り
07002	レジ残り	レジスト後　ペーパー残り
07003	ガラス残り	ガラス後　ペーパー残り
07365	設定値変更ｽｲｯﾁ	設定値変更スイッチ
07366	常時ＯＦＦ接点	常時ＯＦＦ接点
0000	ﾃﾞﾝｹﾞﾝｶｸﾆﾝ	電源ＯＮ状態確認
]0200	累積データ	累積データ格納領域（Ａ０）
]0201	累積データ	累積データ格納領域（Ａ１）
]0202	累積データ	累積データ格納領域（Ａ２）
]0203	累積データ	累積データ格納領域（Ａ３）
]0204	累積データ	累積データ格納領域（Ａ４）
]0205	累積データ	累積データ格納領域（Ａ５）
]0206	累積データ	累積データ格納領域（Ａ６）
]0207	累積データ	累積データ格納領域（Ａ７）
09000	現在値格納	現在値格納領域（Ａ０）
09001	現在値格納	現在値格納領域（Ａ１）
09002	現在値格納	現在値格納領域（Ａ２）
09003	現在値格納	現在値格納領域（Ａ３）
09004	現在値格納	現在値格納領域（Ａ４）
09005	現在値格納	現在値格納領域（Ａ５）
09006	現在値格納	現在値格納領域（Ａ６）
09007	現在値格納	現在値格納領域（Ａ７）

機　種 (MODEL)	JW32H 15.5Kw	開始アドレス 開始ﾈｯﾄﾜｰｸ				名　称 (NAME)	Ａ　ライン
年・月・日	訂正記事	ページ	00000001			コード (CODE)	ＣＡ－５１００
95-09-30		設計	作成	検図	承認	図　番	Ｄ１００５６２１
						シャープ ﾏﾆﾌｧｸﾁｬﾘﾝｸﾞ ｼｽﾃﾑ（株） SHARP MANUFACTURING SYSTEMS CORPORATION	

第9章

9－7 標題設定

標題付きで、印字する場合の標題内容を設定します。

全角文字サイズで、横４０文字、縦１３行以内で登録できます。

日本語で入力される場合は、準備された「日本語変換プログラム」の取扱説明書を参照してください。

操作概要

操作手順

（上図は参考画面）

・設定内容を表示します。

名　称	内　　　容
罫線開始	・罫線開始位置を指定
罫線終了	・罫線終了位置を指定 ・罫線開始位置より終了位置までの間に罫線を引く
罫線削除	・カーソル位置の罫線を削除
全クリア	・表示している内容をすべて削除
終　　了	・表示内容をメモリに書き込み後、「プリントメニュー」に戻る

第9章

操 作 例

（1）罫線のひきかた

① 直線

罫線開始位置へ
カーソル移動 ⟶「罫線開始」⟶ 罫線終了位置へ
カーソル移動 ⟶「罫線終了」

② 枠

罫線開始位置へ
カーソル移動 ⟶「罫線開始」⟶ 枠の対角位置へ
カーソル移動 ⟶「罫線終了」

（2）日付・機種等の設定

	メモリの種類	設定方法	内容（プリント例）
	日　付	@ＹＹＹＹ－ＭＭ－ＤＤ@	１９９６－０７－３１
※	機　種	@ＫＫＫＫ@	ＪＷ２２
※	ページ	@ＰＰＰＰ@	０００００１～９９９９９９
※	メモリ容量	@ＭＭＭＭＭ@	３．５ＫＷ
	開始アドレス	@ＡＤＲ@	００００～１６７７７
	ネットワーク No.	@ＮＴＷ@	００００～９９９９
※	変更項目	@ＤＤＤＤ@	変更項目
※	インクリメント	@ＩＩＩ@	各ページ毎に１づつ増加
※	構造化レベル１タイトル	@Ｔ１１１@	・JW30H で構造化プログラミングを使用時、この設定を行うとタイトルを印字できます。(本ソフトの Ver 5.3 より対応)
※	構造化レベル２タイトル	@Ｔ２２２@	
※	⋮	⋮	
※	構造化レベル８タイトル	@Ｔ８８８@	
※	最下位レベルのタイトル	@Ｔ０００@	

・※の項目は桁数を自由に設定できます。(本ソフトの Ver 5.3 より対応)
　[例] @ＰＰ@に設定すると、００００～９９９９の範囲で印字します。

・日付は、パソコンの管理している日付を印字します。

・機種、メモリ容量は、パソコンに設定しているＰＣ機種および、メモリ容量を印字します。

・上記英文字は「大文字半角」で設定してください。

第9章

留 意 点

・文字の挿入は INS （インサート）キーを押してから行ってください。

・文字の削除は DEL または ＢＳ キーで行えます。

・標題を縦13行まで使用しない場合に下詰めで設定すると、空行部分をラダー図等の印字に使用できます。

・印字に使用する用紙により右端部分が印字されない場合があります。この場合、左詰めで設定してください。

9－8 表紙設定

プリント表紙内容の設定および、印字を行います。

全角文字サイズで、横４０文字、縦１８行以内で登録できます。

日本語で入力される場合は、準備された「日本語変換プログラム」の取扱説明書を参照してください。

操作概要

操作手順１ (表紙設定)

(上図は参考画面)

・設定内容を表示します。

名　称	内　　　　容
罫線開始	・罫線開始位置を指定
罫線終了	・罫線終了位置を指定 ・罫線開始位置より終了位置までの間に罫線を引く
罫線削除	・カーソル位置の罫線を削除
全クリア	・表示している内容をすべて削除
終　　了	・表示内容をメモリに書き込み後、「プリントメニュー」に戻る

操 作 例

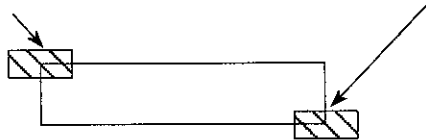
（1）罫線のひきかた

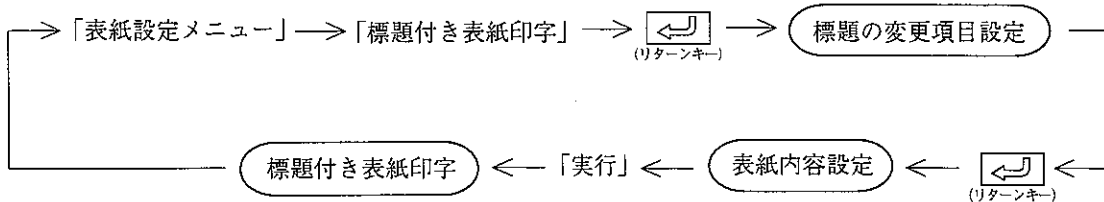
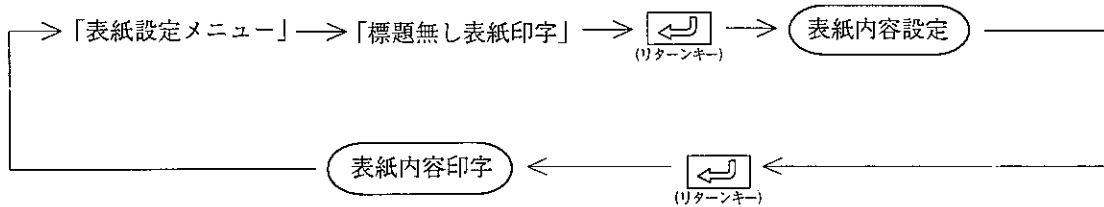
① 直線

罫線開始位置へ カーソル移動 → 「罫線開始」 → 罫線終了位置へ カーソル移動 → 「罫線終了」

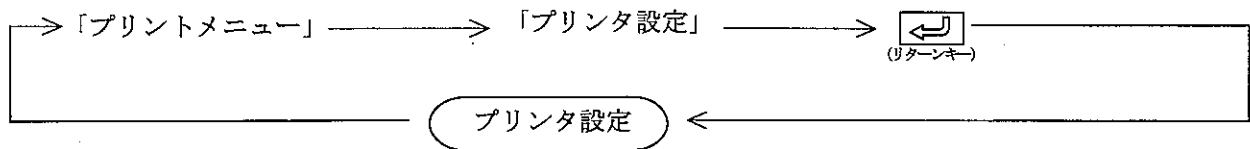
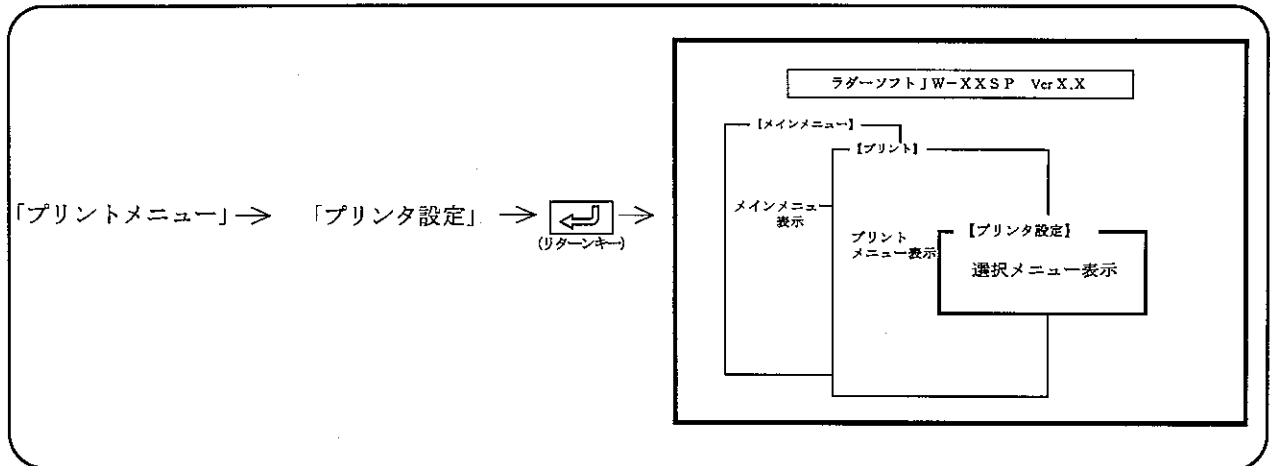
② 枠

罫線開始位置へ カーソル移動 → 「罫線開始」 → 枠の対角位置へ カーソル移動 → 「罫線終了」

留 意 点

・文字の挿入は INS （インサート）キーを押してから行ってください。
・文字の削除は DEL または B S キーで行ってください。
・印字する用紙のサイズにより右端部分が印字されない場合があります。この場合、左詰めで設定してください。

操作手順2 （標題付き表紙印字）

操作手順3 （標題なし表紙印字）

9－9 プリンタ設定

ラダー図、命令語等を印字するプリンタについて設定します。

操作概要

操作手順

操作例

現在設定されている内容を「反転表示」します。

（1）用紙サイズ

・プリント時に使用する用紙サイズで設定します。「用紙サイズ」を選択後、カーソル移動キー（［←］［→］）で既製用紙またはインチ入力を選択します。

・インチ入力を選択する場合、使用する紙の大きさをインチ数で設定してください。

①プリンタ機種設定：「ＰＣ－ＰＲ２０１＊」「ＥＳＣ／Ｐ２４」、「Ｏｔｈｅｒｓ」の場合
既製用紙→「A3縦」／「B4横」／「A4縦」／「A4横」
インチ入力→最小値：（11×08）または（08×11）、最大値：（25×21）または（21×25）

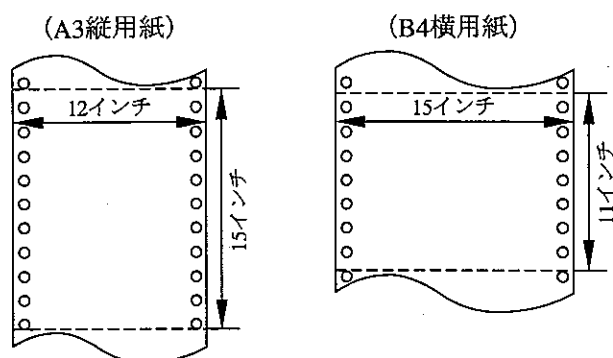
②プリンタ機種設定：「ＬＡＳＥＲ　ＳＨＯＴ」の場合
既製用紙※→「A3縦」／「A3横」／「B4縦」／「B4横」／「A4縦」／「A4横」
インチ入力※→最小値：（11×08）または（08×11）、最大値：（19×17）または（17×19）
※カット紙のこと。

第9章

（2）用紙種類

・プリンタ機種設定が「ＬＡＳＥＲ　ＳＨＯＴ」以外のとき、プリント用紙の種類を選択します。

・「用紙種類」を選択後、「連続紙」または「カット紙」をカーソル移動キー（［←］［→］）で選択します。

・「連続紙」の場合、「A3縦」／「B4横」は下記サイズになります。

（3）プリンタ機種

・数値キーまたは［←］、［→］キーで選択します。

・ＰＣ－ＰＲ２０１＊

　→ＰＣ－ＰＲ２０１Ｈシリーズ（日本電気製）及び後継機。

・ＬＡＳＥＲ　ＳＨＯＴ

　→キャノン社プリンタ仕様ＬＩＰＳⅡクラス及び後継機。

・ＥＳＣ／Ｐ２４

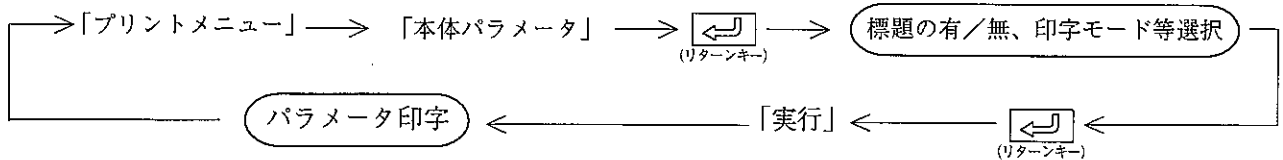
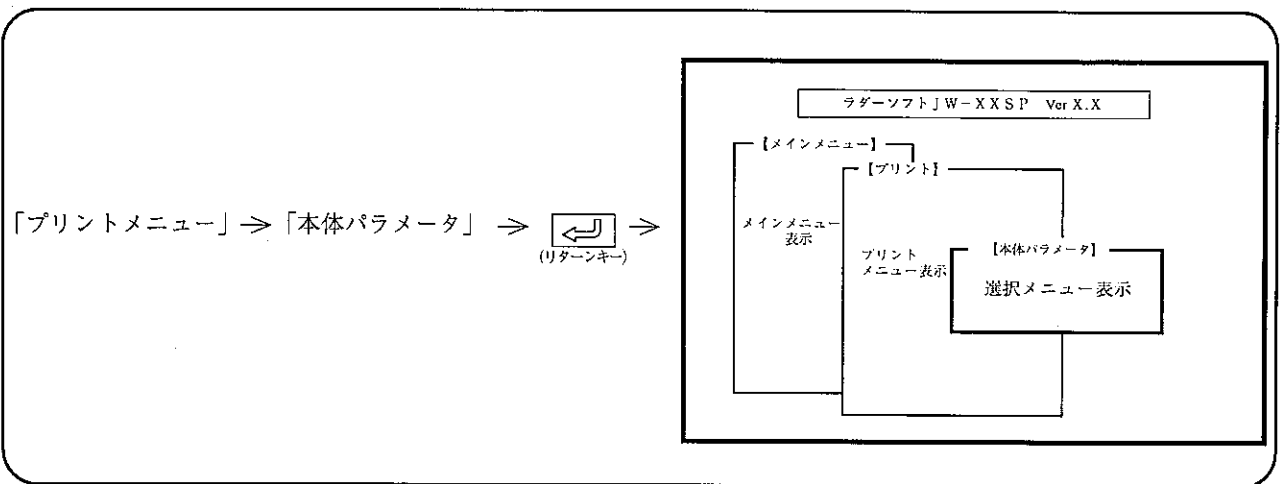
　→エプソン社プリンタ仕様ＥＳＣ／Ｐクラス及び後継機。

・Ｏｔｈｅｒｓ

　→上記以外のプリンタを使用する場合、印字できる可能性があります。但し、上記機種に比べ印字品質は悪くなります。又、全角文字及び記号等印字できない場合があります。

９－１０ 本体パラメータ印字（JW21/22、JW30H）

I／Oユニットおよびオプションユニットのパラメータ内容を２進、HEX、１０進、８進で印字します。

操作概要

操作手順

操作例

（１）標　題

・「付き」に設定すると、各ページの右下に「標題設定」で入力した標題を付けて印字します。

・数値キーまたは、カーソル移動キー（←　→）を押すと「無し」／「付き」が選択できます。

（２）モード

・「高速」に設定すると、標題の縦線等が１～２ドット分左右上下にずれる場合があります。

・数値キーまたは、カーソル移動キー（←　→）を押すと「高速」／高品位」が選択できます。

（３）ユニット

・「特殊I／Oユニット」または、「オプションユニット」を選択します。

・数値キーまたは、カーソル移動キー（←　→）を押すと「特殊I／Oユニット」／「オプションユニット」が選択できます。

全リストを印字する場合

・⏎（リターンキー）を押し、「実行メニュー」で「実行」キーを押すと特殊I／Oユニットまたは、オプションユニットの全リストを印字します。

・印字終了すると、画面表示は「プリントメニュー」に戻ります。

第9章

印字範囲を指定する場合

（1）［↑］［↓］キーで、カーソルを「開始番号」欄へ移動後、数値キーより開始番号を入力します。

（2）［↓］キーでカーソルを「終了番号」欄へ移動後、数値キーより終了番号を入力します。

（3）［↵］（リターンキー）を押し、「実行メニュー」で「実行」キーを押すと開始アドレスより終了アドレスまで印字します。

（4）印字終了すると、画面表示は「プリントメニュー」に戻ります。

印字途中で停止（終了）する場合

（1）「停止」キーを押すと、表示中のアドレスを印字後、停止します。

（2）停止している時「終了」キーを押すと、「プリントメニュー」に戻ります。

（3）停止している時「解除」キーを押すと、「パラメータ印字」を再開します。

プリント例1

特殊I／Oユニット（標題付き高品位印字）

アドレス	7	6	5	4	3	2	1	0	BCD	10進	8進
0-000	0	0	0	0	0	0	0	1	01	001	001
0-001	0	0	0	0	0	0	0	1	01	001	001
0-002	0	0	0	0	0	0	0	1	01	001	001
0-003	0	0	0	0	0	0	0	1	01	001	001
0-004	0	0	0	0	0	0	0	1	01	001	001
0-005	0	0	0	0	0	0	0	1	01	001	001
0-006	0	0	0	0	0	0	0	1	01	001	001
0-007	0	0	0	0	0	0	0	1	01	001	001
アドレス	7	6	5	4	3	2	1	0	BCD	10進	8進
0-010	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-011	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-012	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-013	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-014	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-015	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-016	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-017	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
アドレス	7	6	5	4	3	2	1	0	BCD	10進	8進
0-020	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-021	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-022	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-023	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-024	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-025	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-026	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-027	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
アドレス	7	6	5	4	3	2	1	0	BCD	10進	8進
0-030	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-031	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-032	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-033	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-034	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-035	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-036	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-037	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000

アドレス	7	6	5	4	3	2	1	0	BCD	10進	8進
0-040	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-041	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-042	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-043	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-044	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-045	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-046	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-047	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
アドレス	7	6	5	4	3	2	1	0	BCD	10進	8進
0-050	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-051	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-052	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-053	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-054	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-055	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-056	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-057	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
アドレス	7	6	5	4	3	2	1	0	BCD	10進	8進
0-060	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-061	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-062	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-063	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-064	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-065	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-066	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-067	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
アドレス	7	6	5	4	3	2	1	0	BCD	10進	8進
0-070	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-071	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-072	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-073	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-074	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-075	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-076	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-077	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000

アドレス	7	6	5	4	3	2	1	0	BCD	10進	8進
0-100	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-101	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-102	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-103	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-104	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-105	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-106	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-107	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
アドレス	7	6	5	4	3	2	1	0	BCD	10進	8進
0-110	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-111	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-112	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-113	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-114	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-115	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-116	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-117	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
アドレス	7	6	5	4	3	2	1	0	BCD	10進	8進
0-120	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-121	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-122	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-123	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-124	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-125	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-126	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-127	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
アドレス	7	6	5	4	3	2	1	0	BCD	10進	8進
0-130	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-131	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-132	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-133	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-134	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-135	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-136	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-137	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000

機種 (MODEL)	JW22 7.5Kw	開始アドレス 開始ネットワーク		名称 (NAME)	パラメータ (特殊I／Oユニット)	
年・月・日	訂正記事			コード (CODE)		
		設計	作成	検図	承認	図番 00001
				シャープ株式会社 FAシステム事業部 SHARP CORPORATION	日付 1990-04-06	ページ 00000001

プリント例2

オプションユニット（標題付き高品位印字）

アドレス	7	6	5	4	3	2	1	0	BCD	10進	8進
0-000	0	0	0	0	0	0	0	1	01	001	001
0-001	0	0	0	0	0	0	0	1	01	001	001
0-002	0	0	0	0	0	0	0	1	01	001	001
0-003	0	0	0	0	0	0	0	1	01	001	001
0-004	0	0	0	0	0	0	0	1	01	001	001
0-005	0	0	0	0	0	0	0	1	01	001	001
0-006	0	0	0	0	0	0	0	1	01	001	001
0-007	0	0	0	0	0	0	0	1	01	001	001
アドレス	7	6	5	4	3	2	1	0	BCD	10進	8進
0-010	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-011	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-012	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-013	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-014	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-015	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-016	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-017	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
アドレス	7	6	5	4	3	2	1	0	BCD	10進	8進
0-020	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-021	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-022	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-023	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-024	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-025	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-026	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-027	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
アドレス	7	6	5	4	3	2	1	0	BCD	10進	8進
0-030	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-031	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-032	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-033	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-034	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-035	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-036	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-037	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000

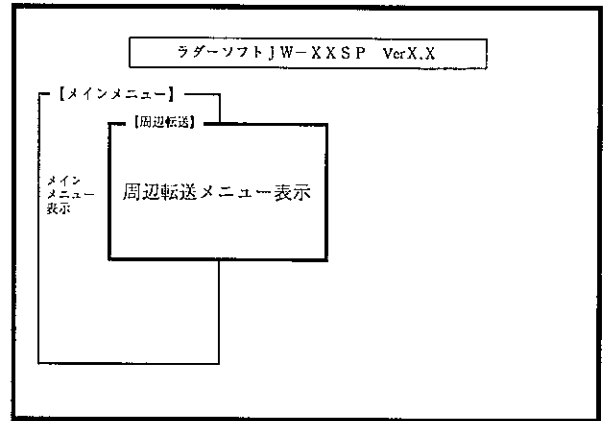
アドレス	7	6	5	4	3	2	1	0	BCD	10進	8進
0-040	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-041	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-042	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-043	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-044	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-045	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-046	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-047	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
アドレス	7	6	5	4	3	2	1	0	BCD	10進	8進
0-050	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-051	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-052	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-053	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-054	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-055	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-056	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-057	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
アドレス	7	6	5	4	3	2	1	0	BCD	10進	8進
0-060	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-061	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-062	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-063	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-064	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-065	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-066	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-067	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
アドレス	7	6	5	4	3	2	1	0	BCD	10進	8進
0-070	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-071	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-072	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-073	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-074	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-075	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-076	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
0-077	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000

アドレス	7	6	5	4	3	2	1	0	BCD	10進	8進
1-000	0	0	0	0	0	0	0	1	01	001	001
1-001	0	0	0	0	0	0	0	1	01	001	001
1-002	0	0	0	0	0	0	0	1	01	001	001
1-003	0	0	0	0	0	0	0	1	01	001	001
1-004	0	0	0	0	0	0	0	1	01	001	001
1-005	0	0	0	0	0	0	0	1	01	001	001
1-006	0	0	0	0	0	0	0	1	01	001	001
1-007	0	0	0	0	0	0	0	1	01	001	001
アドレス	7	6	5	4	3	2	1	0	BCD	10進	8進
1-010	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
1-011	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
1-012	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
1-013	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
1-014	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
1-015	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
1-016	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
1-017	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
アドレス	7	6	5	4	3	2	1	0	BCD	10進	8進
1-020	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
1-021	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
1-022	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
1-023	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
1-024	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
1-025	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
1-026	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
1-027	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
アドレス	7	6	5	4	3	2	1	0	BCD	10進	8進
1-030	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
1-031	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
1-032	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
1-033	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
1-034	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
1-035	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
1-036	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000
1-037	0	0	0	0	0	0	0	0	00	000	000

機種 (MODEL)	JW22 7.5Kw	開始アドレス 開始ネットワーク		名称 (NAME)	パラメータ (オプションユニット)	
年・月・日	訂正記事			コード (CODE)		
		設計	作成	検図	承認	図番 00001
				シャープ株式会社 FAシステム事業部 SHARP CORPORATION	日付 1990-04-06	ページ 00000001

第9章

第 10 章　周 辺 転 送

ＰＲＯＭライタ転送、Z-100LP2FのFD転送、ネットワークユニットおよびME－NETユニットのパラメータ設定を行うモードです。

機　能

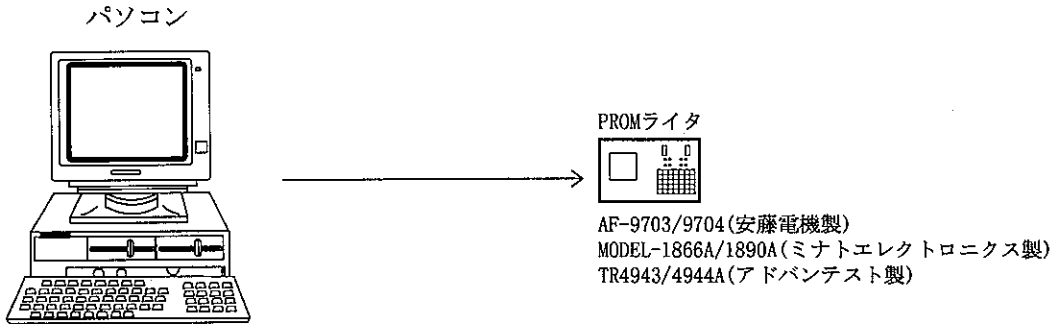
名　称	機　能	参照ページ
ＰＲＯＭライタ転送	・パソコン内のプログラムをＰＲＯＭライタに転送	10･2
Ｚ－１００ＬＰ２Ｆ　ＦＤ転送	・Z-100LP2FのＦＤよりプログラムの読出、書込、削除	10･5
ＦＤ転送	・ＦＤに対する操作	11･1
ＰＣ転送	・ＰＣに対する操作	12･1
サテライトネット	・ネットワークユニット（ZW－20CM、JW－20CM／22CM）、リモート子局ユニット（ZW／JW－20RS）のパラメータ設定、印字	10･10
ＭＥ－ＮＥＴ	・ＭＥ－ＮＥＴユニット（ZW－20CM2、JW－20MN／21MN）のパラメータ設定、印字	10･10
ＳＵＭＩＮＥＴ	・ネットワークユニット（ZW－30CM）のパラメータ設定、印字	10･38
その他ＯＰパラメータ	・上記ネットワークユニットの項目で設定できないパラメータの設定、印字	10･43

留意点

・ ESC キーを押すと、「メインメニュー」表示に戻ります。
・各メニューは、数値キーおよび、カーソル移動キーで選択できます。

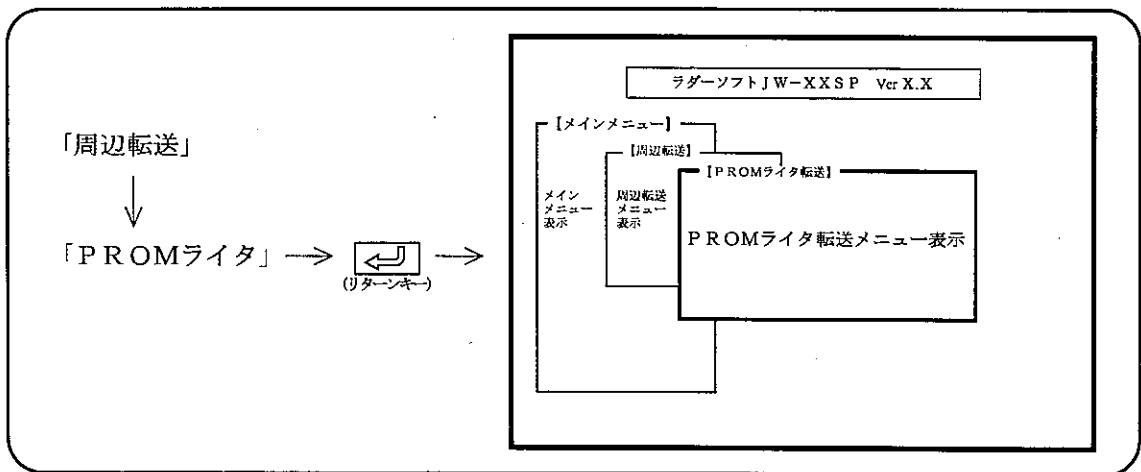
１０－１ ＰＲＯＭライタ転送

パソコン内のプログラムをＰＲＯＭライタに転送します。

接続方法

推奨ＲＯＭ型名

ＰＣ機種	プログラム容量	ＲＯＭ形名
ＪＷ１０	４.０Ｋ語	２７Ｃ５１２（富士通製）
ＪＷ２０、ＪＷ２０Ｈ	３.５Ｋ語	メモリユニット（ＪＷ－２１ＭＯ）実装品
ＪＷ５０／７０／１００ ＪＷ５０Ｈ／７０Ｈ／１００Ｈ	７.５Ｋ語	ＡＴ２８Ｃ２５６－１５ＰＣ（ＡＴＭＥＬ製）
	１５.５Ｋ語	
	３１.５Ｋ語	２７Ｃ５１２（富士通製）

JW50／70／100、JW50H／70H／100Hで、プログラム容量が「３１.５Ｋ語」を超えるとき、ＲＯＭ化できません。

操作手順１

操作例

（１）伝送速度

伝送速度を設定します。

伝送速度に対応した数値キーを押すと、「３００」→「６００」→「１２００」→→「２４００」→「４８００」→「９６００」と変化します。

（2）データ長

データ長を設定します。

数値キーまたは、カーソル移動キー（[←][→]）を押し、「7ビット／8ビット」を選択します。

（3）パリティ

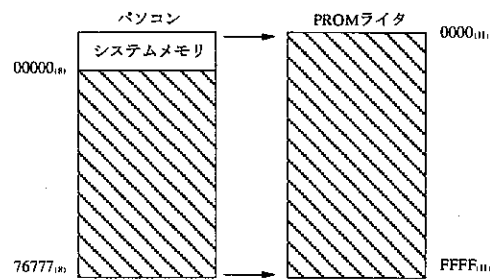
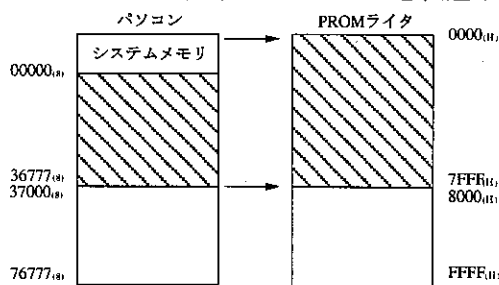
パリティビットを設定します。
数値キーまたは、カーソル移動キー（[←][→]）を押し、「なし」「奇数」「偶数」を選択します。

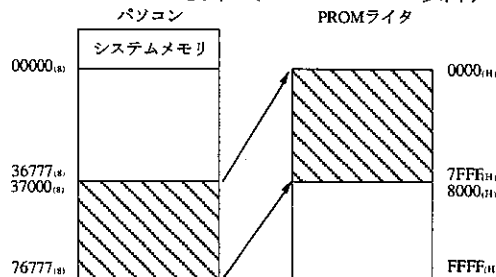
（4）ストップビット

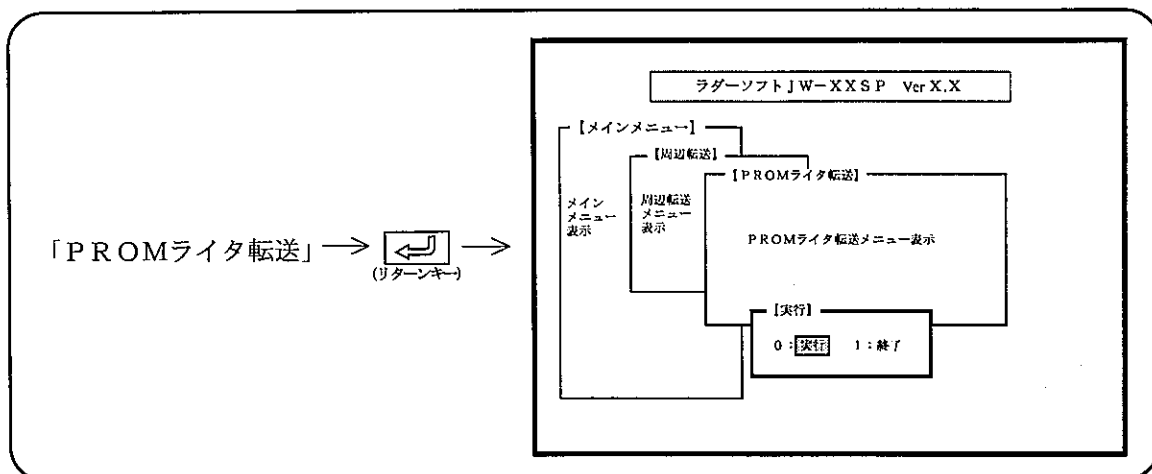
ストップビットを設定します。
数値キーまたは、カーソル移動キー（[←][→]）を押し、「1ビット／2ビット」を選択します。

（5）転送部分

ＰＲＯＭライタへの転送範囲を設定します。
数値キーまたは、カーソル移動キー（[←][→]）を押し、「全部」「前半」「後半」を選択します。

・全部……プログラム容量３１．５ｋｗまでを一括で転送します。

・前半……プログラムの前半１５．５ｋｗを転送します。

・後半……プログラムの後半（１５．５ｋｗ以降）を転送します。

第10章

操作手順2

操　作　例

（１）ＰＲＯＭライタへ転送する場合

「実行」→ [↵] (リターンキー) → 転送開始

・転送中は、アドレスを表示します。

・転送終了すると、ＰＲＯＭライタ転送メニューに戻ります。

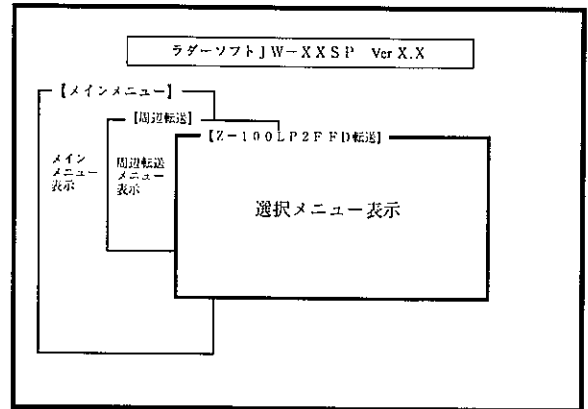
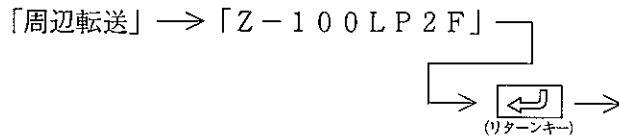
（２）ＰＲＯＭライタへの転送を中止する場合

「終了」→ [↵] (リターンキー) → ＰＲＯＭライタ転送メニューに戻ります。

第10章

１０－２ Ｚ－１００ＬＰ２Ｆ ＦＤ転送

ラダープロセッサⅡ（Ｚ－１００ＬＰ２Ｆ）で登録しているユーザーディスクの内容を読み出し／削除、およびパソコンで作成したプログラム等の書き込みが行えます。

キー操作　　**画面表示**

機　能

名　称	機　能	参照ページ
ファイル名一覧	Ｚ－１００ＬＰ２Ｆのユーザーディスクの全ファイル名を画面上に表示	10･6
書　込	パソコンで作成、変更したプログラム・システムメモリ等をユーザーディスクへ書き込む	10･7
読　出	ユーザーディスク内に登録されているファイルの読み出し	10･8
削　除	ユーザーディスク内に登録されているファイルの削除	10･9

留意点

・パソコンで「初期化」したフロッピーディスクは、Ｚ－１００ＬＰ２Ｆで使用できません。

書込・読出機器 ＼ 初期化機器	パソコン	Ｚ－１００ＬＰ２Ｆ
パソコン	○	○
Ｚ－１００ＬＰ２Ｆ	×	○

・各メニューは、数値キーおよび、カーソル移動キーで選択できます。

・ ESC キーを押すと、１つ前の画面表示に戻ります。

第10章

（1） ファイル名一覧

Ｚ－１００ＬＰ２Ｆのユーザーディスクに登録しているファイル名を表示します。

操作概要

操作手順

・１画面に１６個のファイル名を表示します。

・１６個を超えるファイル名があるときは、［ROLL DOWN］（前画面）、［ROLL UP］（次画面）キーを押し、表示内容を切り替えてください。

・画面左下に登録数を表示します。

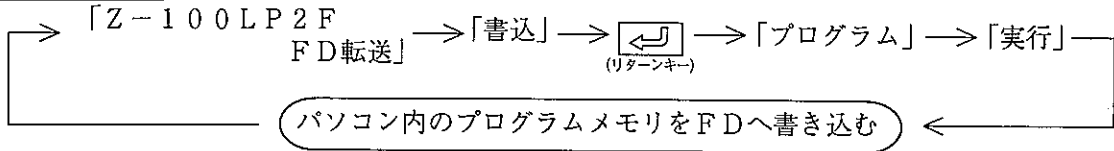
第10章

（2）書　込

パソコン内のメモリ内容（プログラム、データ等）をＺ－１００ＬＰ２Ｆのユーザーディスクに書き込みます。

操作概要

操作手順１

Ｆ１～Ｆ１０の機能表示が変化します。

名　称	内　容
ドライブ	ユーザーディスクドライブ・ディレクトリを変更します
プログラム	プログラムメモリをユーザーディスクへ書き込む
データメモリ	データメモリをユーザーディスクへ書き込む
ファイルメモリ（パラメータ）	ファイルメモリ（パラメータ）をユーザーディスクへ書き込む
コメントメモリ	コメントメモリをユーザーディスクへ書き込む
終了	「Ｚ－１００ＬＰ２Ｆ　ＦＤ転送」メニューに戻る

操作手順２

・ファイル名は、半角文字８文字以内で入力してください。
・コメントは、半角文字１５文字以内で入力してください。
・ファイル名、コメント入力後それぞれ［⏎］(リターン)キーを押すと入力した内容となります。
・「実行」キーを押すと、Ｚ－１００ＬＰ２Ｆのユーザーディスクへの書き込みを開始します。

留　意　点

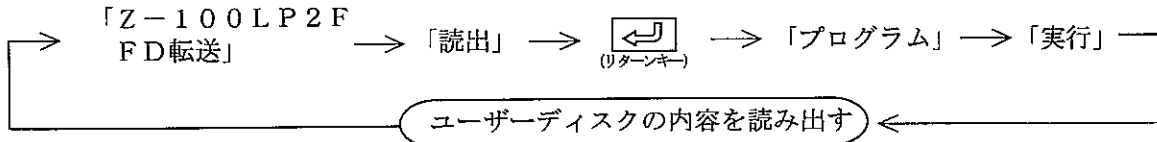
・「コメントメモリ」は、それぞれ先頭よりシンボル半角５文字、コメント半角２０文字を書き込みます。

(3) 読　出

Ｚ－１００ＬＰ２Ｆで登録した内容（プログラム、データメモリ等）をパソコンのメモリに読み出します。

操作概要

操作手順1

Ｆ１～Ｆ１０の機能表示が変化します。

名　　　称	内　　　容
ド ラ イ ブ	ユーザディスクドライブ・ディレクトリを変更します
プ ロ グ ラ ム	プログラムメモリをユーザーディスクより読み出す
デ ー タ メ モ リ	データメモリをユーザーディスクより読み出す
ファイルメモリ（パラメータ）	ファイルメモリ（パラメータ）をユーザーディスクより読み出す
コ メ ン ト メ モ リ	コメントメモリをユーザーディスクより読み出す
終　　　了	「Ｚ－１００ＬＰ２Ｆ　ＦＤ転送」メニューに戻る

操作手順2

・ファイル名は、半角文字８文字以内で入力してください。

・コメントは、半角文字１５文字以内で表示しますが、入力する必要はありません。

・ファイル名、コメント入力後それぞれ［リターンキー］（リターン）キーを押すと入力した内容となります。

・「実行」キーを押すと、Ｚ－１００ＬＰ２Ｆのユーザーディスクより読み出しを開始します。

留　意　点

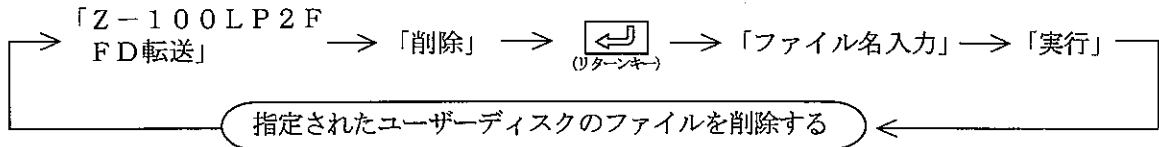
・ファイル名の全角文字／半角文字に注意してください。全角（半角）文字を半角（全角）文字で入力したとき、エラーとなり読み出しません。

・ユーザーディスクを読み出すドライブにより、正常に読み書きできない場合があります。
この場合、下記の各種対策を試してください。
① 他のパソコンで再度実行する。
② ユーザーディスクをJW－30／32／40PGに読み込ませ、JW－30／32／40PGのディスクフォーマットに変換したディスクを使う。

第10章

(4) 削　除

Ｚ－１００ＬＰ２Ｆのユーザーディスクに登録している内容（プログラム、データメモリ等）を削除します。

操作概要

操作手順

・ファイル名は、半角文字８文字以内で入力してください。

・コメントは、半角文字１５文字以内で表示しますが、入力する必要はありません。

・ファイル名、コメント入力後それぞれ ⏎ (リターン) キーを押すと入力した内容となります。

・「実行」キーを押すと、Ｚ－１００ＬＰ２Ｆのユーザーディスクよりファイルを削除します。

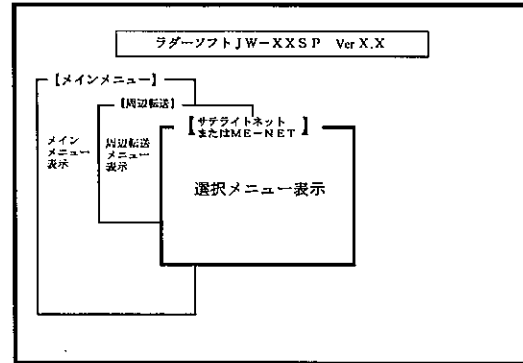
留　意　点

・ファイル名の全角文字／半角文字に注意してください。全角（半角）文字を半角（全角）文字で入力したとき、エラーとなり削除できません。

第10章

１０－３ サテライトネット、ME－NETパラメータ設定・プリント

ネットワークユニット（ZW-20CM、JW-20CM／22CM）、ME-NETユニット（ZW-20CM2、JW-20MN／21MN）およびリモートI/O子局ユニット（ZW／JW-20RS）のパラメータ設定／プリントを行います。

画面表示

機能

・「サテライトネット」を選択の場合

名称	機能	参照ページ
リモートＩ／Ｏ子局設定	リモートＩ／Ｏ子局ユニット（ZW／JW－２０RS）のパラメータ設定	10･11
リモートＩ／Ｏ親局設定	ネットワークユニット（ZW／JW－２０CM）をリモートＩ／Ｏ親局として使用するときのパラメータを設定	10･13
データリンク子局設定	ネットワークユニット（ZW－２０CM、JW－２０CM／２２CM）をデータリンク子局として使用するときのパラメータを設定	10･21
データリンク親局設定	ネットワークユニット（ZW－２０CM、JW－２０CM／２２CM）をデータリンク親局として使用するときのパラメータを設定	10･23
エラーチェック	エラー内容を表示	10･26
パラメータプリント	パラメータ設定内容をプリント	10･28

・「ME－NET」を選択の場合

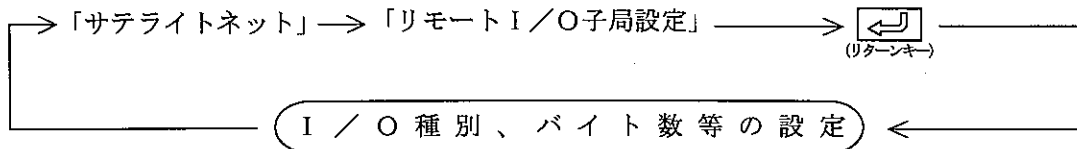
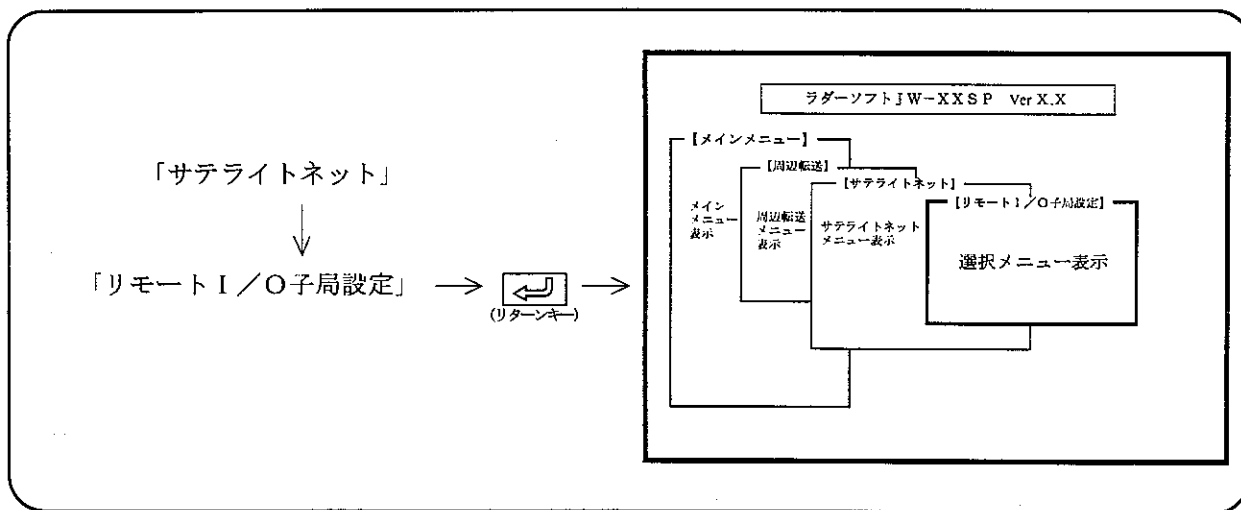
名称	機能	参照ページ
ME－NET子局設定	ME－NETユニット（ZW－２０CM2、JW－２０MN／２１MN）をデータリンク子局として使用するときのパラメータを設定	10･21
ME－NET親局設定	ME－NETユニット（ZW－２０CM2、JW－２０MN／２１MN）をデータリンク親局として使用するときのパラメータを設定	10･23
エラーチェック	エラー内容を表示	10･26
パラメータプリント	パラメータ設定内容をプリント	10･28

留意点

・システム構成を参照して、ネットワークユニット、ME－NETユニットまたはリモートＩ／Ｏ子局ユニットとパソコンを接続してください。
・各メニューは、数値キーおよび、カーソル移動キーで選択できます。
・ESC キーを押すと、１つ前の画面表示に戻ります。

（1）リモートＩ／Ｏ子局設定

リモートＩ／Ｏ子局ユニット（ＺＷ／ＪＷ－２０ＲＳ）のパラメータを設定します。

操作概要

操作手順

操作例１

・Ｉ／Ｏの種類を設定します。

・数値キーまたは、カーソル移動キー（［↓］［↑］）を押し、「ＪＷ」「ＺＷ」を選択後、［⏎］（リターンキー）を押します。

操作例２

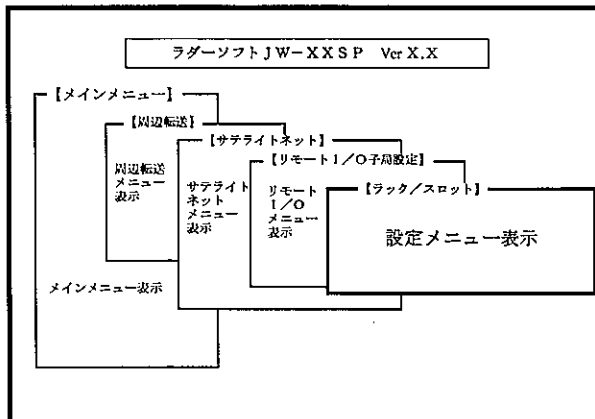
① ＺＷ－Ｉ／Ｏの場合

Ｉ／Ｏバイト数のチェックする／しないを設定 → 「する」に設定した場合 → 数値キーでバイト数（００１～１２８）を１０進数で入力 →

→［⏎］（リターンキー）→「実行」［⏎］（リターンキー）→ 設定完了

第10章

② ＪＷ－Ｉ／Ｏの場合

ＪＷ－Ｉ／Ｏを選択 → [↵]（リターンキー） →

・最大ラック番号

数値キーより、０～７で入力します。

・最大スロット番号

英数キーより、０～Ｆで入力します。

・リモートＩ／Ｏ先頭アドレス

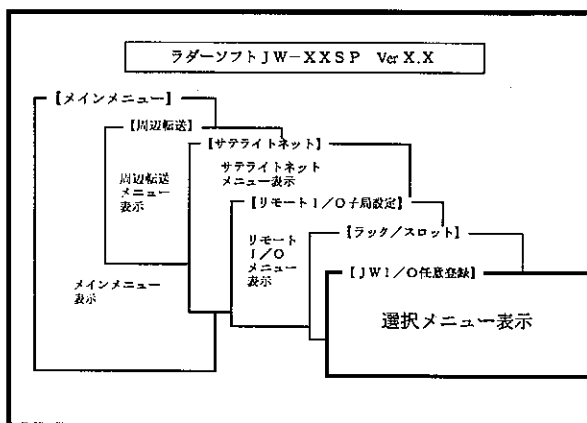
数値キーより、先頭アドレスを入力します。

上記入力後、[↵]（リターンキー）を押すと設定完了となります。

・ＪＷＩ／Ｏ設定

電源投入時毎に自動登録を「する／しない」を選択します。

「しない」を選択した場合は次の通りです。

電源投入時の自動登録設定「しない」を選択 → [↵]（リターンキー） →

・ダミー点数のみ任意登録

「ダミー点数のみ」→ [↵]（リターンキー）→ 各ラック、スロットのダミー点数（０～３０バイト）を２バイト単位で数値キーより入力 → [↵]（リターンキー）→ 設定完了

・ダミー点数、Ｉ／Ｏ種別任意登録

「ダミー、Ｉ／Ｏ種別」→ [↵]（リターンキー）→ 各ラック、スロットのダミーＩ／Ｏ種別を [f・1] ～ [f・10] キーで選択 → ダミー点数を入力 → [↵]（リターンキー）→ 設定完了

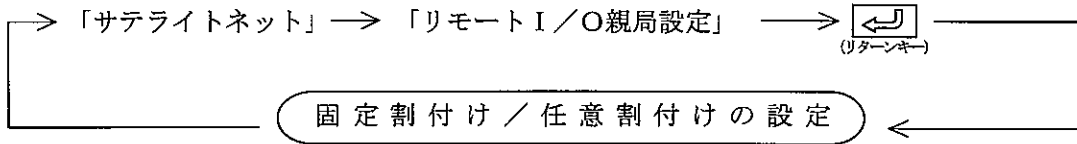
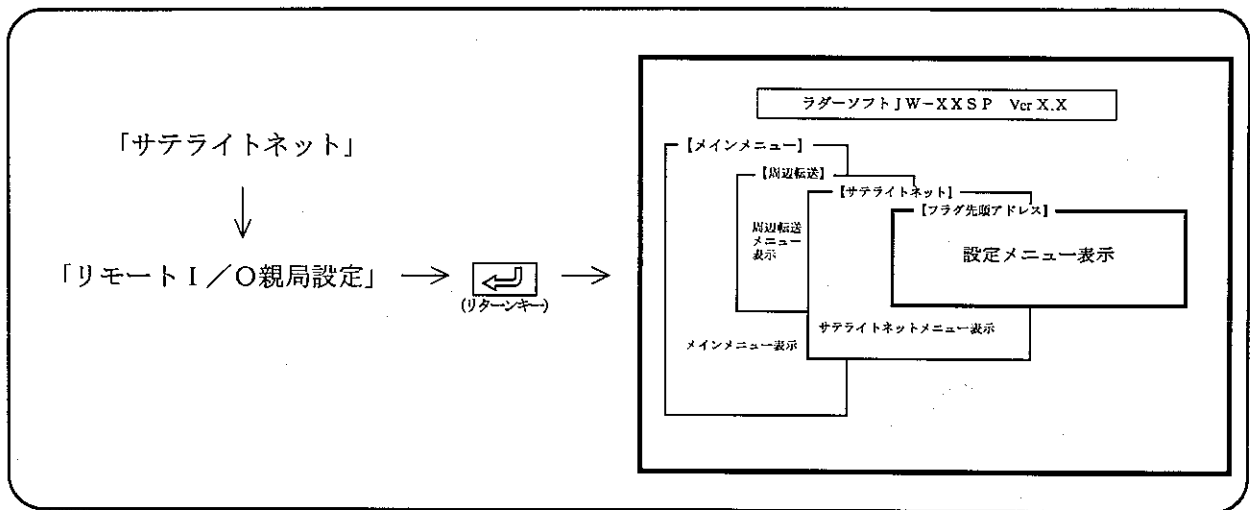
第10章

（2）リモートＩ／Ｏ親局設定

ネットワークユニット（ＺＷ／ＪＷ－２０ＣＭ）をリモートＩ／Ｏ親局として使用するときのパラメータを設定します。

操作概要

操作手順１

操　作　例

① エラーフラグ出力

・エラーフラグを出力するか、否かを設定します。

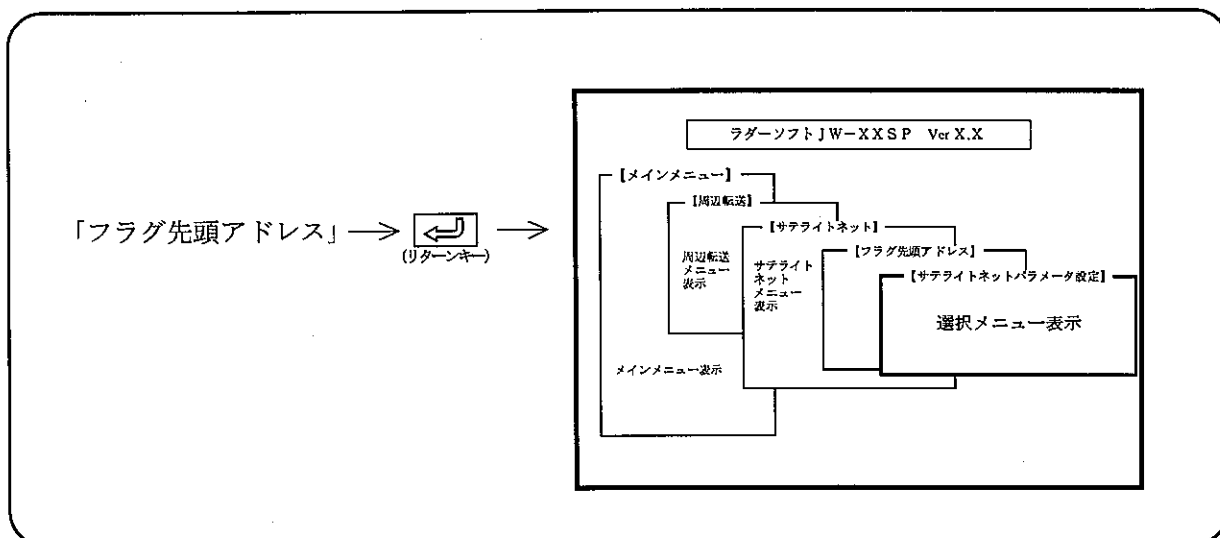
・数値キーまたは、カーソル移動キー（ ← → ）で「する」／「しない」を選択します。

② ファイル番号

ファイル番号（０～７）を設定します。

③ フラグ先頭アドレス

フラグ先頭アドレスを８進数で設定します。

操作手順２

機　　能

① リモートＩ／Ｏ固定割付

- リモートＩ／Ｏ子局用のＩ／Ｏ点数を子局１台当り、６４点または、１２８点単位で割付けます。
- 割り付けられたＩ／Ｏ点数により、接続子局数が異なります。

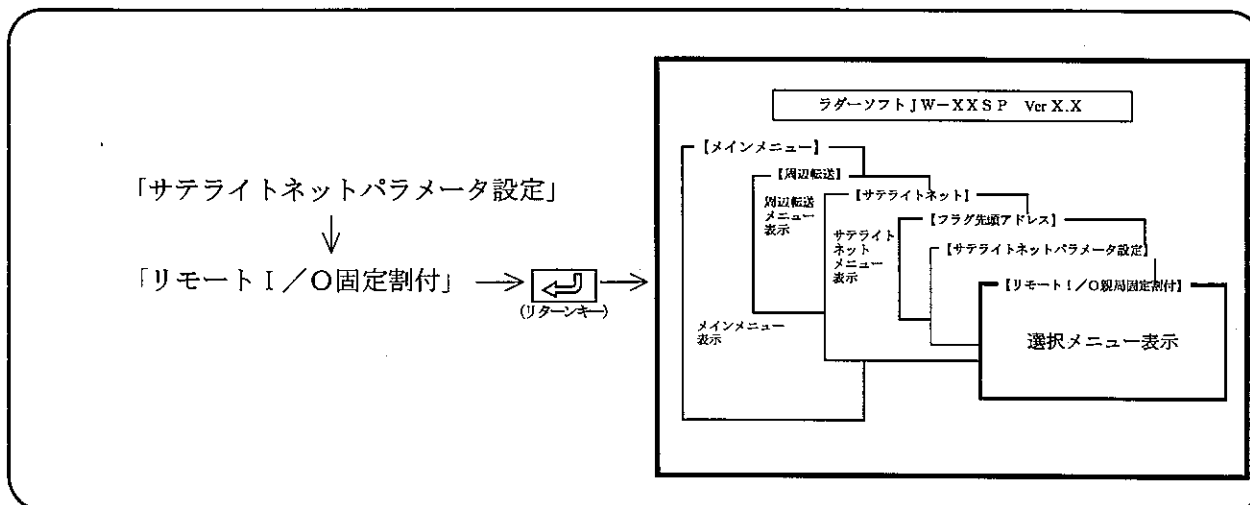
子局１台当りのＩ／Ｏ点数	接続子局数	合計　Ｉ／Ｏ　点数
６４	６３	４０３２点（５０４バイト）
１２８	３２	４０９６点（５１２バイト）

② リモートＩ／Ｏ任意割付

- リモートＩ／Ｏ子局用のＩ／Ｏ点数を子局１台当り、８点～１０２４点（８点単位）で任意に割り付けます。
- 合計Ｉ／Ｏ点数は４０９６点、接続子局数は最大６３台です。

第
10
章

操作手順３－１　（リモートＩ／Ｏ親局固定割付）

操作例

① 演算同期

・ＰＣの演算と同期するか、否かを選択します。

・数値キーまたは、カーソル移動キー（［←］［→］）で選択します。

② 異常時動作モード

・異常時の動作モードを選択します。

・ＰＣの演算と同期の場合：数値キーを押し、「１局でも異常時ＰＣ停止」「１局でも異常時リモートＩ／Ｏ停止」「正常な子局だけ通信続行」より選択します。

・ＰＣの演算と非同期の場合：数値キーを押し、「１局でも異常時ＰＣ停止」／「正常な子局だけ通信続行」を選択します。

設定モード	モード	親局ＰＣ動作状態
１局でも異常時ＰＣ停止	モード０	・パラメータ設定ミス、あるいは子局異常が１局でも発生した場合、リモートＩ／Ｏ動作を停止しＰＣを停止させます。
１局でも異常時リモートＩ／Ｏ停止	モード１	・子局異常が１局でも発生した場合、リモートＩ／Ｏ動作は停止しますがＰＣは停止しません。
正常な子局だけ通信続行	モード２	・子局異常が発生しても残りの正常な子局だけで通信を続行し、ＰＣも停止しません。

③ 子局台数

・接続子局数を１０進数で設定します。

［数値キーまたは、カーソル移動キーで子局台数欄へカーソル移動する］ → ［数値キーより入力（０１～６３）する］

④ 子局０１先頭アドレス

・リモートＩ／Ｏ先頭アドレスを設定します。

［数値キーまたは、カーソル移動キーでリモートＩ／Ｏ先頭アドレス欄へカーソル移動］ → ［数値キーより入力（8進数）する］

⑤ 子局Ｉ／Ｏ点数

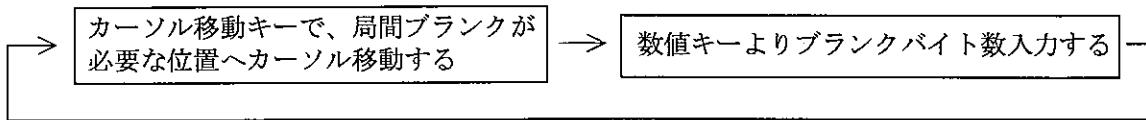
・接続子局数および、１局当りのバイト数を設定します。

・数値キーまたは、カーソル移動キー（［←］［→］）で「６４点」／「１２８点」を選択します。

第10章

操作手順３－２　（リモートＩ／Ｏ親局固定割付の局間ブランク設定）

操　作　例

・局間ブランクが必要な局間のみ、１０進数（０００～２２５）でブランクバイト数を設定してください。

操作手順３－３　（リモートＩ／Ｏ親局固定割付の各子局Ｉ／Ｏ種別設定）

操　作　例

・各子局のＩ／Ｏ種別を設定します。

・ＺＷ－Ｉ／Ｏのときは、「ＺＷ－Ｉ／Ｏ」キーを、ＪＷ－Ｉ／Ｏのときは「ＪＷ－Ｉ／Ｏ」キーを押し設定します。

第10章

操作手順３－４ （リモートＩ／Ｏ親局固定割付の特殊Ｉ／Ｏデータレジスタ設定）

特殊Ｉ／Ｏデータレジスタ設定

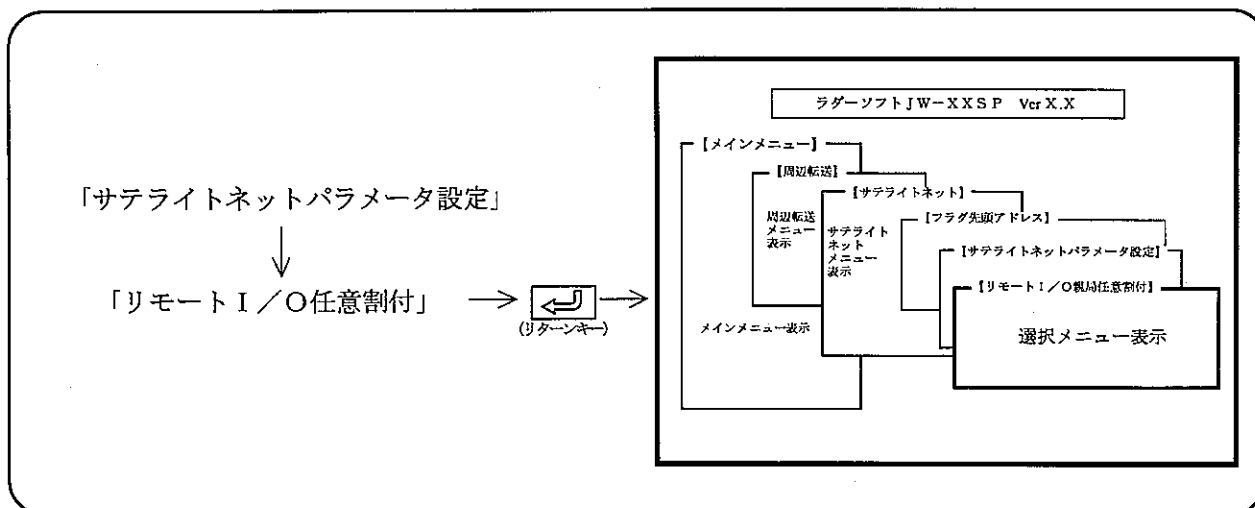
子局	ラック	スロット	データバイト	先頭アドレス	子局	ラック	スロット	データバイト	先頭アドレス
00	0	0	00	コ0000	00	0	0	00	コ0000
00	0	0	00	コ0000	00	0	0	00	コ0000
00	0	0	00	コ0000	00	0	0	00	コ0000
00	0	0	00	コ0000	00	0	0	00	コ0000
00	0	0	00	コ0000	00	0	0	00	コ0000
00	0	0	00	コ0000	00	0	0	00	コ0000
00	0	0	00	コ0000	00	0	0	00	コ0000
00	0	0	00	コ0000	00	0	0	00	コ0000
00	0	0	00	コ0000	00	0	0	00	コ0000
00	0	0	00	コ0000	00	0	0	00	コ0000
00	0	0	00	コ0000	00	0	0	00	コ0000
00	0	0	00	コ0000	00	0	0	00	コ0000
00	0	0	00	コ0000	00	0	0	00	コ0000
00	0	0	00	コ0000	00	0	0	00	コ0000
00	0	0	00	コ0000	00	0	0	00	コ0000
00	0	0	00	コ0000	00	0	0	00	コ0000

操　作　例

- 子局に実装された特殊Ｉ／Ｏのレジスタ領域を設定します。
- 子局番号、ラック番号、スロット番号、データバイト数、先頭アドレス（「コード」キーでコード設定）をそれぞれ設定後、[⏎]（リターンキー）を押します。

第10章

操作手順４－１ （リモートＩ／Ｏ親局任意割付）

操作例

① 演算同期

・ＰＣの演算と同期するか、否かを設定します。

・数値キーまたは、カーソル移動キー（［←］［→］）で「同期」／「非同期」を選択します。

② 異常時動作モード

・異常時の動作モードを設定します。

・ＰＣの演算と同期の場合：数値キーを押し「１局でも異常時ＰＣ停止」「１局でも異常時リモートＩ／Ｏ停止」「正常な子局だけ通信続行」より選択します。

・ＰＣの演算と非同期の場合：数値キーを押し、「１局でも異常時ＰＣ停止」／「正常な子局だけ通信続行」を選択します。

設定モード	モード	親局ＰＣ動作状態
１局でも異常時ＰＣ停止	モード０	・パラメータ設定ミス、あるいは子局異常が１局でも発生した場合、リモートＩ／Ｏ動作を停止しＰＣを停止させます。
１局でも異常時リモートＩ／Ｏ停止	モード１	・子局異常が１局でも発生した場合、リモートＩ／Ｏ動作は停止しますがＰＣは停止しません。
正常な子局だけ通信続行	モード２	・子局異常が発生しても残りの正常な子局だけで通信を続行し、ＰＣも停止しません。

③ 子局台数

接続子局数を１０進数で設定します。

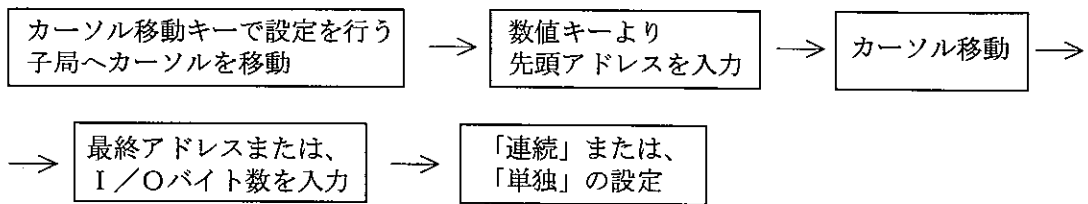
［数値キーまたは、カーソル移動キーで子局台数欄へカーソル移動する］ → ［数値キーより入力（０１～６３）する］

第10章

操作手順４－２　（リモートＩ／Ｏ親局任意割付の各子局先頭アドレス等の設定）

操　作　例

・子局０２～７７(8)のＩ／Ｏ先頭アドレス、最終アドレス、Ｉ／Ｏバイト数、連続／単独の設定を行います。
・先頭アドレスと最終アドレスを設定すると、Ｉ／Ｏバイト数は自動的に設定値を表示します。
　また、先頭アドレスとＩ／Ｏバイト数を設定すると最終アドレスは、自動的に設定値を表示します。
・先頭アドレスと最終アドレスは８進数で設定、Ｉ／Ｏバイト数（１～１２８バイト）は１０進数で設定してください。
・「連続」「単独」キーで、Ｉ／Ｏアドレス設定の「連続」／「単独」を切り替えられます。

第10章

操作手順４－３　（リモートＩ／Ｏ親局任意割付の各子局Ｉ／Ｏ種別設定）

操　作　例

・各子局のＩ／Ｏ種別を設定します。

・ＺＷ－Ｉ／Ｏのときは、「ＺＷ－Ｉ／Ｏ」キーを、ＪＷ－Ｉ／Ｏのときは、「ＪＷ－Ｉ／Ｏ」キーを押し設定します。

操作手順４－４　（リモートＩ／Ｏ親局任意割付の特殊Ｉ／Ｏデータレジスタ設定）

操　作　例

・子局に実装された特殊Ｉ／Ｏのレジスタ領域を設定します。

・子局番号、ラック番号、スロット番号、データバイト数、先頭アドレスをそれぞれ設定後、[⏎]（リターンキー）を押します。

（3） データリンク子局設定

ネットワークユニット（ZW－20CM、JW－20CM／22CM）、ME－NETユニット（ZW－20CM2、JW－20MN／21MN）をデータリンク子局として使用するときのパラメータを設定します。

操作概要

操作手順1

操　作　例

① エラーフラグ出力

・エラーフラグを出力するか、否かを選択します。

・数値キーまたは、カーソル移動キー（ ← → ）を押し、「する」／「しない」を選択します。

② ファイル番号

ファイル番号（0～7）を設定します。

第10章

③ フラグ先頭アドレス

フラグ先頭アドレスを８進数で設定します。

数値キーまたは、カーソル移動キーで フラグ先頭アドレス欄へカーソル移動する	→	数値キーより入力（８進数）する

④ 局番出力付加(JW-20CM／22CM(30H/30Hnマーク付き)、JW-20MN／21MN(30H/30Hnマーク付き))

・エラー発生時に、局番の情報を付加するか否かを選択します。

・カーソル移動キー（[←] [→]）を押し、「する」／「しない」を選択します。

⑤ SEND／RECEIVE命令の設定(ZW-20CM、JW-20CM、JW-22CM(30H/30Hnマーク付き)のとき)

・SEND／RECEIVEを使用するか否かを選択します。

・数値キーまたは、カーソル移動キー（[←] [→]）を押し、「する」／「しない」を選択します。

以上の①～⑤を設定して [⏎]（リターンキー）を押すと、「省メモリ機能設定」画面を表示します。JW-20CM／22CM（30H/30Hnマーク付き）、JW-20MN／21MN（30H/30Hnマーク付き）で省メモリ機能を使用する場合、リレーリンク受信／レジスタリンク受信のバイト数／ファイル番号／先頭アドレスを設定します。

・数値キーおよびカーソル移動キーを押して設定します。

操作手順２

SEND／RECEIVE命令のタイムアウト時間設定

	ﾀｲﾑｱｳﾄ	相手局ＰＣ	相手局ＣＭ		ﾀｲﾑｱｳﾄ	相手局ＰＣ	相手局ＣＭ
親　局	1.0 s	ZW－PC	ZW対応	子局20	1.0 s	---------	ZW対応
子局01	3.2 s	JW－PC	JW対応	子局21	1.0 s	---------	ZW対応
子局02	10.4 s	JW－PC	JW対応	子局22	1.0 s	---------	ZW対応
子局03	1.0 s	---------	ZW対応	子局23	1.0 s	---------	ZW対応
子局04	1.0 s	---------	ZW対応	子局24	1.0 s	---------	ZW対応
子局05	1.0 s	---------	ZW対応	子局25	1.0 s	---------	ZW対応
子局06	1.0 s	---------	ZW対応	子局26	1.0 s	---------	ZW対応
子局07	1.0 s	---------	ZW対応	子局27	1.0 s	---------	ZW対応
子局10	1.0 s	---------	ZW対応	子局30	1.0 s	---------	ZW対応
子局11	1.0 s	[illegible]	ZW対応	子局31	1.0 s	---------	ZW対応
子局12	1.0 s	---------	ZW対応	子局32	1.0 s	---------	ZW対応
子局13	1.0 s	---------	ZW対応	子局33	1.0 s	---------	ZW対応
子局14	1.0 s	---------	ZW対応	子局34	1.0 s	---------	ZW対応
子局15	1.0 s	---------	ZW対応	子局35	1.0 s	---------	ZW対応
子局16	1.0 s	---------	ZW対応	子局36	1.0 s	---------	ZW対応
子局17	1.0 s	---------	ZW対応	子局37	1.0 s	---------	ZW対応

[タイムアウト時間の監視を行う局だけ設定し、リターンキーを押して下さい。

機種：JW file #8
容量：　7.5Kw
残量：　7.5Kw

F1　F2　F3　F4　F5　F6　F7　F8　F9　F10

・タイムアウト時間は、0.1秒単位で0.1～25.5秒の範囲で設定します。

・相手局ＰＣは、「ZW－PC」「JW－PC」キーで選択してください。

・相手局ＣＭは、相手局の20CMの対応状態を「ZW対応」「JW対応」キーで選択してください。

・相手局ＰＣは、相手局ＣＭがZW対応版のとき－－－表示となります。

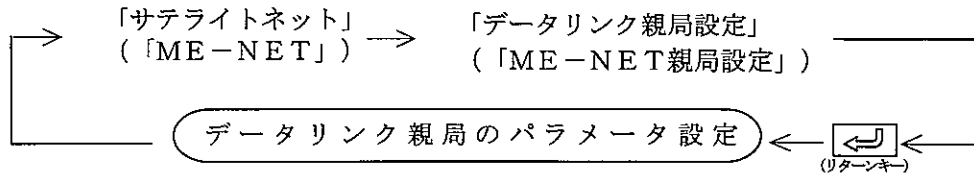
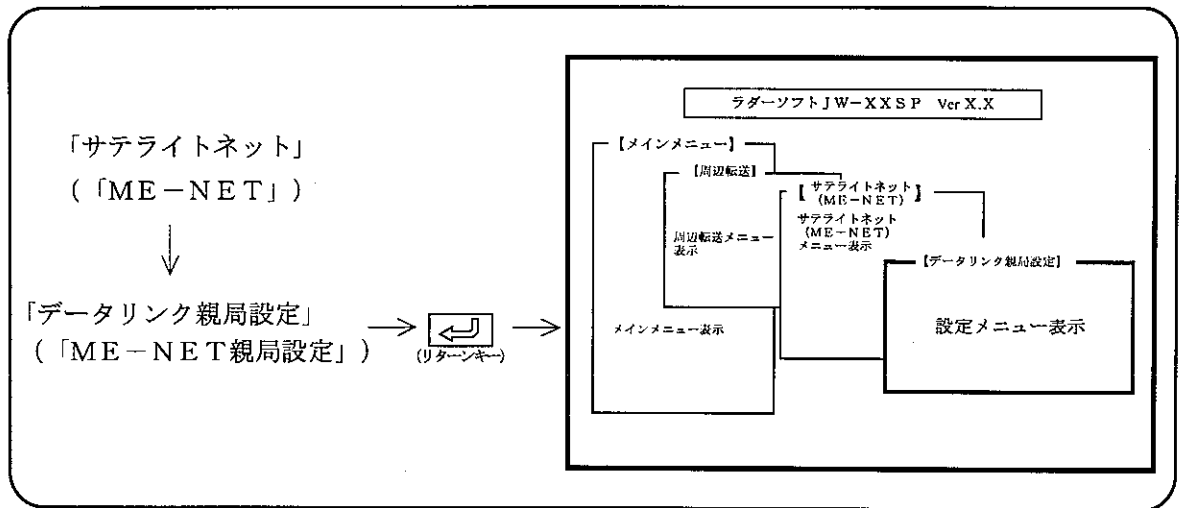
上記内容を設定後、[⏎]（リターンキー）を押すと、「各チャンネル方式選択」画面を表示します。

・カーソル移動キーを押して、各チャンネルの「命令方式」／「データメモリ起動方式」を選択します。「データメモリ起動方式」を選択時には、連結チャンネルを数字キーを押して設定します。

設定後、[⏎]（リターンキー）を押すと設定が完了します。

（4） データリンク親局設定

ネットワークユニット（ZW－20CM、JW－20CM／22CM）、ME－NETユニット（ZW－20CM2、JW－20MN／21MN）をデータリンク親局として使用するときのパラメータを設定します。

操作概要

操作手順1

操作例

① 接続局数

接続局数を10進数で設定します。

数値キーまたは、カーソル移動キーで接続局数欄へカーソルを移動する	→	数値キーで入力（2～64）する

② エラーフラグ出力

・エラーフラグを出力するか、否かを選択します。

・数値キーまたは、カーソル移動キー（←→）を押し、「する」／「しない」を選択します。

③ ファイル番号

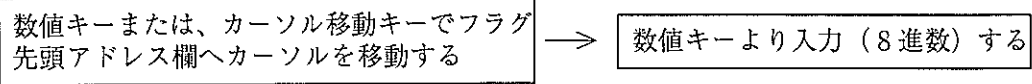
ファイル番号（0～7）を設定します。

数値キーまたは、カーソル移動キーでファイル番号欄へカーソルを移動する	→	数値キーより入力（0～7）する

第10章

④ フラグ先頭アドレス

・フラグ先頭アドレスを８進数で設定します。

数値キーまたは、カーソル移動キーでフラグ先頭アドレス欄へカーソルを移動する → 数値キーより入力（８進数）する

⑤ 局番出力付加（JW-20CM／22CM(30H/30Hnマーク付き)、JW-20MN／21MN(30H/30Hnマーク付き)）

・エラー発生時に、局番の情報を付加するか否かを選択します。

・カーソル移動キー（[←][→]）を押し、「する」／「しない」を選択します。

⑥ＳＥＮＤ／ＲＥＣＥＩＶＥ命令の設定（ZW-20CM、JW-20CM、JW-22CM(30H/30Hnマーク付き)のとき）

・ＳＥＮＤ／ＲＥＣＥＩＶＥを使用するか否かを選択します。

・数値キーまたは、カーソル移動キー（[←][→]）を押し、「する」／「しない」を選択します。

以上の①～⑥を設定後、[↵]キーを押すと「リレーリンクエリアの設定」画面になります。

操作手順２ （リレーリンクエリアの設定）

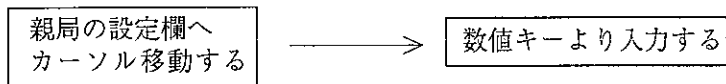
・[ROLL UP]（次画面）、[ROLL DOWN]（前画面）キーで、「子局４０～７７」表示と切り替えられます。

操 作 例

① 親局のリレーリンクエリアの先頭アドレスと、バイト数の設定

・先頭アドレスは８進数で設定、バイト数は１０進数で設定してください。

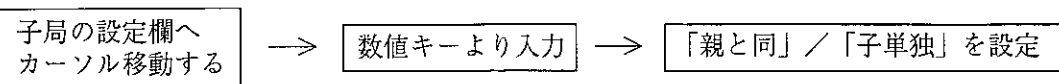
先頭アドレスはサテライトネットの場合には「コード」キーでコードを設定して相対アドレス（コ×××等）で、ＭＥ－ＮＥＴの場合には絶対アドレス（××××××）で設定してください。

親局の設定欄へカーソル移動する → 数値キーより入力する

② 子局のリレーリンクエリアの先頭アドレスと、バイト数の設定

・先頭アドレスは８進数で設定、バイト数は１０進数で設定してください。

先頭アドレスの設定内容は①と同じです。

・各子局の先頭アドレスを親局の先頭アドレスと合すときは、「親と同」キーで「親と同」に設定してください。また、各子局ごとに先頭アドレスを設定するときは「子単独」キーで「子単独」に設定してください。

第10章

・「送信一覧」／「局別一覧」キーで、各局の「リレーリンクエリア送信一覧」／「リレーリンクエリア局別一覧」の画面を表示します。この画面での設定はできません。

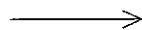
以上の①、②を設定して [⏎] キーを押すと、「レジスタリンクエリアの設定」画面になります。

操作手順3 （レジスタリンクエリアの設定）

・ [ROLL UP] （次画面）、 [ROLL DOWN] （前画面）キーで、「子局４０～７７」表示と切り替えられます。

操 作 例

① 親局のレジスタリンクエリアの先頭アドレスとバイト数の設定

・先頭アドレスは８進数で設定、バイト数は１０進数で設定してください。
　先頭アドレスの設定内容はリレーリンクエリアの設定と同様です。

親局の設定欄へカーソル移動する → 数値キーより入力する

② 子局のレジスタリンクエリアの先頭アドレスとバイト数の設定

・先頭アドレスは８進数で設定、バイト数は１０進数で設定してください。
　先頭アドレスの設定内容はリレーリンクエリアの設定と同様です。

・各子局の先頭アドレスを親局の先頭アドレスと合すときは、「親と同」キーで「親と同」に設定してください。また、各子局ごとに先頭アドレスを設定するときは、「子単独」キーで「子単独」に設定してください。

子局の設定欄へカーソル移動する → 数値キーより入力 → 「親と同」／「子単独」を設定

・「送信一覧」／「局別一覧」キーで、各局の「レジスタリンクエリア送信一覧」／「レジスタリンクエリア局別一覧」の画面を表示します。この画面での設定はできません。

以上の①～②を設定して [⏎] キーを押すと、データリンク（ME－NET）親局パラメータの設定が完了します。

第10章

操作手順4

操作手順１の「ＳＥＮＤ／ＲＥＣＥＩＶＥ命令の設定」にて「する」を選択した場合、操作手順３を設定して[⏎]キーを押すと、「ＳＥＮＤ／ＲＥＣＥＩＶＥ命令のタイムアウト時間設定」画面を表示します。（設定内容は 10・22ﾍﾟｰｼﾞと同様）

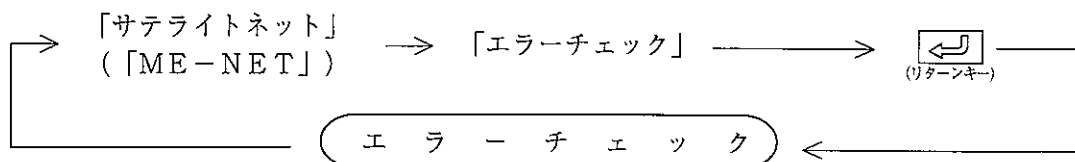
この設定後、[⏎]キーを押すと「各チャンネル方式選択」画面を表示します。（設定内容は10・22ﾍﾟｰｼﾞと同様）

以上を設定して[⏎]キーを押すと、設定が完了します。

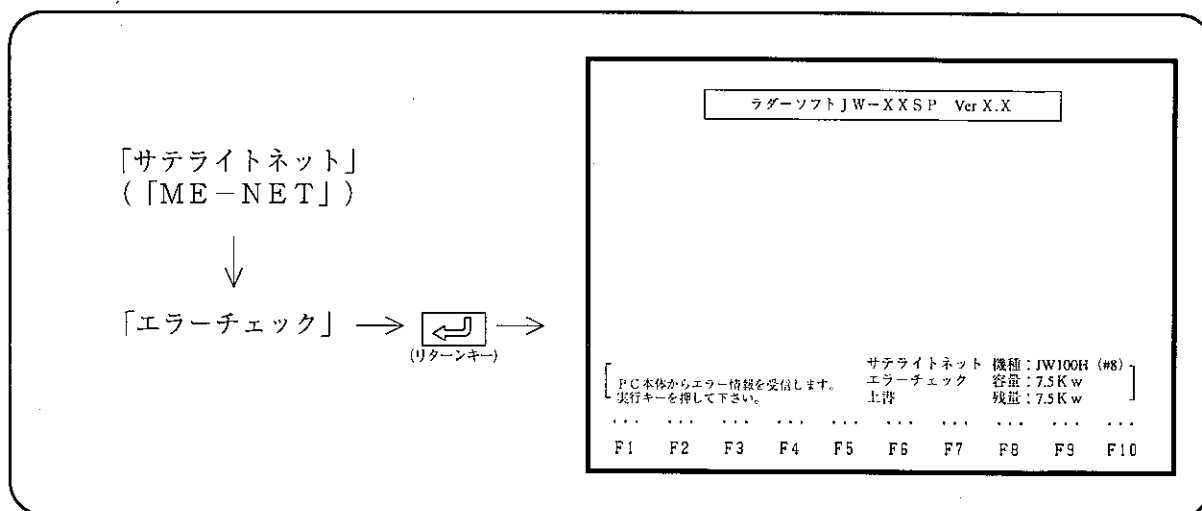
第10章

（5） エラーチェック

エラー情報をチェックします。

操作概要

操作手順1

パソコンとネットワークユニット、ME－NETユニットまたはリモートI／O子局ユニットを接続します。

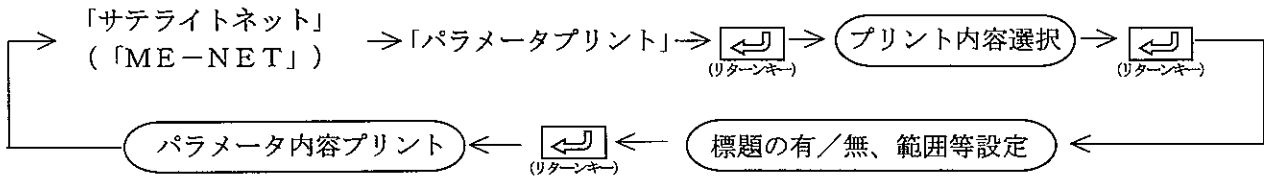
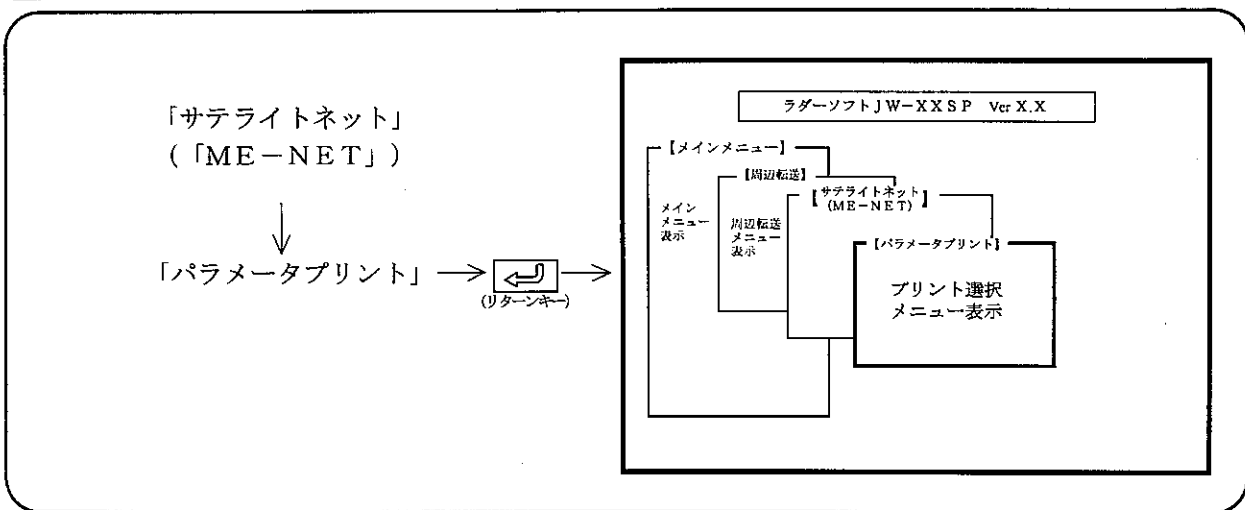
操作手順2

操作例

「実行」 ⏎ （リターンキー）のキー操作で、エラー情報を表示します。

第10章

（6） パラメータプリント

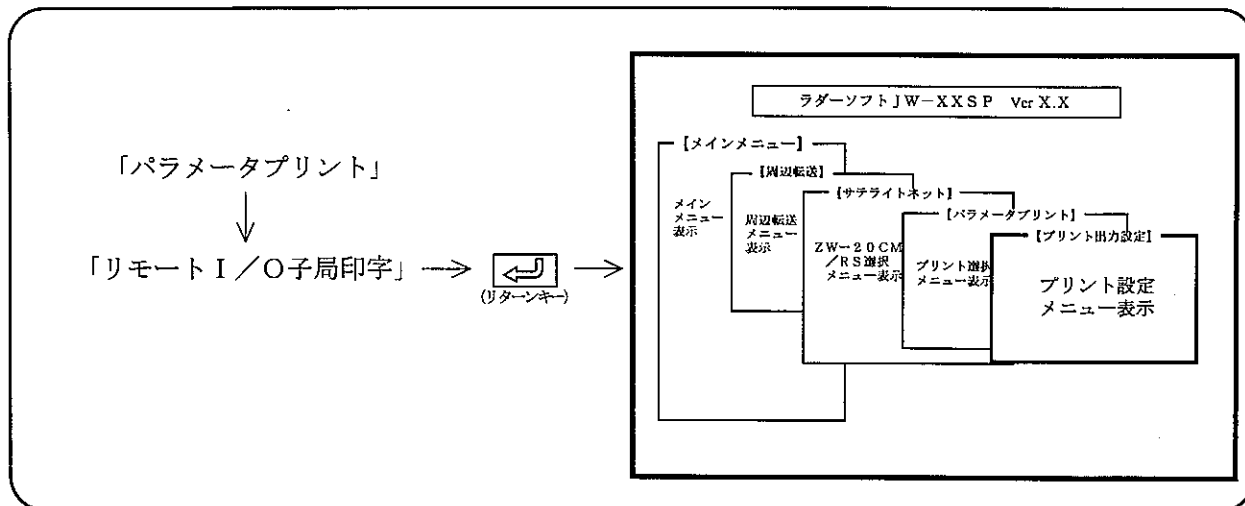
ネットワークユニット（ZW－20CM、JW－20CM／22CM）、ME－NETユニット（ZW－20CM2、JW－20MN／21MN）およびリモートI／O子局ユニット（ZW／JW－20RS）のパラメータ内容をプリントします。

操作概要

操作手順

留意点

・標題付きでプリントする場合は、9･19ページを参照して「標題設定」を行ってください。
・パラメータはPC－PR201H（日本電気製）、LIPSⅡ＋（キヤノン製）およびESC／P（エプソン製）と互換性のプリンタでプリントできます。

第10章

① リモートＩ／Ｏ子局パラメータプリント（「サテライトネット」のとき）

操作手順

操　作　例

（１）標　題

「付き」に設定すると、「標題設定」で入力した内容を各ページの右下に付けて印字します。
数値キーまたは、カーソル移動キー（ [←][→] ）を押し、「無し」／「付き」を選択します。

（２）モード

「高速」に設定すると、印字速度が速くなりますが、標題の縦線等が１～２ドット分、左右上下にずれる場合があります。
数値キーまたは、カーソル移動キー（ [←][→] ）を押し、「高速」／「高品位」を選択します。

全リストを印字する場合

・[⏎]（リターンキー）を押し、「実行メニュー」で「実行」キーを押すと、リモートＩ／Ｏ子局ユニットのパラメータをすべて印字します。
・印字終了すると、画面表示は「パラメータプリントメニュー」に戻ります。

印字範囲を指定する場合

（１）[↓][↑] キーで、カーソルを「開始番号」欄へ移動後、数値キーより開始アドレスを入力します。
（２）[↓] キーでカーソルを「終了番号」欄へ移動後、数値キーより終了アドレスを入力します。
（３）[⏎]（リターンキー）を押し、「実行メニュー」で「実行」キーを押すと開始アドレスより終了アドレスまで印字します。
（４）印字終了すると、画面表示は「パラメータプリントメニュー」に戻ります。

印字途中で停止（終了）する場合

（1）「停止」キーを押すと、表示中のアドレスを印字後、停止します。

（2）停止している時「終了」キーを押すと、「パラメータプリントメニュー」に戻ります。

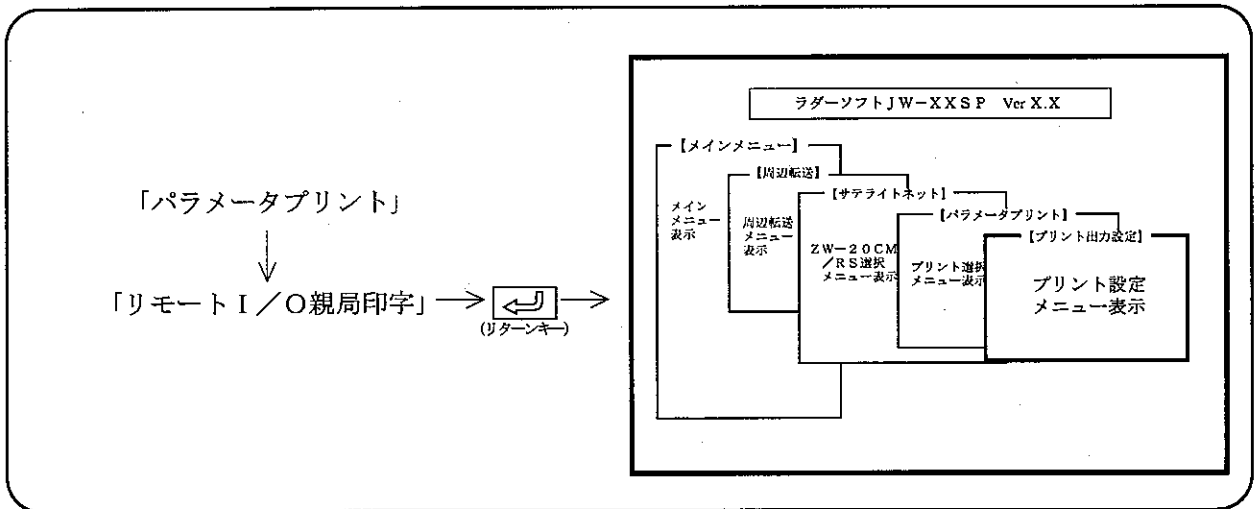
（3）停止している時「解除」キーを押すと、「パラメータ印字」を再開します。

プリント例

＜リモートＩ／Ｏ子局ユニットパラメーター一覧表＞

ｱﾄﾞﾚｽ	76543210	16進	10進	8進	内容
003750	01000101	45	069	105	Ｉ／Ｏバイト数チェックをする
003751	00000000	00	000	000	
003752	01111011	7B	123	173	Ｉ／Ｏユニットで使用するバイト数
003753	00000000	00	000	000	（１２３バイト）
003754	00000000	00	000	000	
003755	00000000	00	000	000	
003756	00000000	00	000	000	
003757	00000000	00	000	000	
003760	00000000	00	000	000	
003761	00000000	00	000	000	
003762	00000000	00	000	000	
003763	00000000	00	000	000	
003764	00000000	00	000	000	
003765	00000000	00	000	000	
003766	00000000	00	000	000	
003767	00000000	00	000	000	
003770	00000000	00	000	000	
003771	00000000	00	000	000	
003772	00000000	00	000	000	
003773	00000000	00	000	000	
003774	00000000	00	000	000	
003775	00000000	00	000	000	
003776	00000000	00	000	000	パラメータＢＣＣコード
003777	00000000	00	000	000	動作停止

第10章

② リモートＩ／Ｏ親局パラメータプリント（「サテライトネット」のとき）

操作手順

操作例

（１）標　題

「付き」に設定すると、「標題設定」で入力した内容を各ページの右下に付けて印字します。

数値キーまたは、カーソル移動キー（ ← → ）を押し、「無し」／「付き」を選択します。

（２）モード

「高速」に設定すると、印字速度が速くなりますが、標題の縦線等が１～２ドット分、左右上下にずれる場合があります。

数値キーまたは、カーソル移動キー（ ← → ）を押し、「高速」／「高品位」を選択します。

全リストを印字する場合

・ ⏎ （リターンキー）を押し、「実行メニュー」で「実行」キーを押すとリモートＩ／Ｏ親局ユニットのパラメータをすべて印字します。

・印字終了すると、画面表示は「パラメータプリントメニュー」に戻ります。

印字範囲を指定する場合

（１） ↑ ↓ キーで、カーソルを「開始番号」欄へ移動後、数値キーより開始アドレスを入力します。

（２） ↓ キーで、カーソルを「終了番号」欄へ移動後、数値キーより終了アドレスを入力します。

（３） ⏎ （リターンキー）を押し、「実行メニュー」で「実行」キーを押すと開始アドレスより終了アドレスまで印字します。

（４）印字終了すると、画面表示は「パラメータプリントメニュー」に戻ります。

印字途中で停止（終了）する場合

（1）「停止」キーを押すと、表示中のアドレスを印字後、停止します。

（2）停止している時「終了」キーを押すと、「パラメータプリントメニュー」に戻ります。

（3）停止している時「解除」キーを押すと、「パラメータ印字」を再開します。

プリント例

リモートＩ／Ｏ親局として使用しているＪＷ－２０ＣＭのパラメータプリント例（固定割付）

＜リモートＩ／Ｏ親局ユニットパラメーター覧表（固定割付け）＞

ｱﾄﾞﾚｽ	76543210	16進	10進	8進	内容
000000	00000100	04	004	004	固定割付・同期　・モード０
000001	00011110	1E	030	036	子局ユニット台数:30台
000002	01111111	7F	127	177	(下位) ﾘﾓｰﾄI/O先頭ｱﾄﾞﾚｽ
000003	00000011	03	003	003	(上位)]1577
000200	00000001	01	001	001	子局I/O点数:128点
000301	00000000	00	000	000	子局01～02局間ﾌﾞﾗﾝｸ 000ﾊﾞｲﾄ
000302	00000001	01	001	001	子局02～03局間ﾌﾞﾗﾝｸ 001ﾊﾞｲﾄ
000303	00000010	02	002	002	子局03～04局間ﾌﾞﾗﾝｸ 002ﾊﾞｲﾄ
000304	00000011	03	003	003	子局04～05局間ﾌﾞﾗﾝｸ 003ﾊﾞｲﾄ
000305	00000100	04	004	004	子局05～06局間ﾌﾞﾗﾝｸ 004ﾊﾞｲﾄ
000306	00000101	05	005	005	子局06～07局間ﾌﾞﾗﾝｸ 005ﾊﾞｲﾄ
000307	00000110	06	006	006	子局07～10局間ﾌﾞﾗﾝｸ 006ﾊﾞｲﾄ
000310	00000111	07	007	007	子局10～11局間ﾌﾞﾗﾝｸ 007ﾊﾞｲﾄ
000311	00001000	08	008	010	子局11～12局間ﾌﾞﾗﾝｸ 008ﾊﾞｲﾄ
000312	00001001	09	009	011	子局12～13局間ﾌﾞﾗﾝｸ 009ﾊﾞｲﾄ
000313	00001010	0A	010	012	子局13～14局間ﾌﾞﾗﾝｸ 010ﾊﾞｲﾄ
000314	00001011	0B	011	013	子局14～15局間ﾌﾞﾗﾝｸ 011ﾊﾞｲﾄ
000315	00001100	0C	012	014	子局15～16局間ﾌﾞﾗﾝｸ 012ﾊﾞｲﾄ
000316	00001101	0D	013	015	子局16～17局間ﾌﾞﾗﾝｸ 013ﾊﾞｲﾄ
000317	00001110	0E	014	016	子局17～20局間ﾌﾞﾗﾝｸ 014ﾊﾞｲﾄ
000320	00001111	0F	015	017	子局20～21局間ﾌﾞﾗﾝｸ 015ﾊﾞｲﾄ
000321	00010000	10	016	020	子局21～22局間ﾌﾞﾗﾝｸ 016ﾊﾞｲﾄ
000322	00010001	11	017	021	子局22～23局間ﾌﾞﾗﾝｸ 017ﾊﾞｲﾄ
000323	00010010	12	018	022	子局23～24局間ﾌﾞﾗﾝｸ 018ﾊﾞｲﾄ
000324	00010011	13	019	023	子局24～25局間ﾌﾞﾗﾝｸ 019ﾊﾞｲﾄ
000325	00010100	14	020	024	子局25～26局間ﾌﾞﾗﾝｸ 020ﾊﾞｲﾄ
000326	00010101	15	021	025	子局26～27局間ﾌﾞﾗﾝｸ 021ﾊﾞｲﾄ
000327	00010110	16	022	026	子局27～30局間ﾌﾞﾗﾝｸ 022ﾊﾞｲﾄ
000330	00010111	17	023	027	子局30～31局間ﾌﾞﾗﾝｸ 023ﾊﾞｲﾄ
000331	00011000	18	024	030	子局31～32局間ﾌﾞﾗﾝｸ 024ﾊﾞｲﾄ
000332	00011001	19	025	031	子局32～33局間ﾌﾞﾗﾝｸ 025ﾊﾞｲﾄ
000333	00011010	1A	026	032	子局33～34局間ﾌﾞﾗﾝｸ 026ﾊﾞｲﾄ
000334	00011011	1B	027	033	子局34～35局間ﾌﾞﾗﾝｸ 027ﾊﾞｲﾄ
000335	00011100	1C	028	034	子局35～36局間ﾌﾞﾗﾝｸ 028ﾊﾞｲﾄ
000336	00011101	1D	029	035	子局36～37局間ﾌﾞﾗﾝｸ 029ﾊﾞｲﾄ
000337	00011110	1E	030	036	子局37～40局間ﾌﾞﾗﾝｸ 030ﾊﾞｲﾄ
000340	00011111	1F	031	037	子局40～41局間ﾌﾞﾗﾝｸ 031ﾊﾞｲﾄ
000341	00100000	20	032	040	子局41～42局間ﾌﾞﾗﾝｸ 032ﾊﾞｲﾄ
000342	00100001	21	033	041	子局42～43局間ﾌﾞﾗﾝｸ 033ﾊﾞｲﾄ
000343	00100010	22	034	042	子局43～44局間ﾌﾞﾗﾝｸ 034ﾊﾞｲﾄ
000344	00100011	23	035	043	子局44～45局間ﾌﾞﾗﾝｸ 035ﾊﾞｲﾄ
000345	00100100	24	036	044	子局45～46局間ﾌﾞﾗﾝｸ 036ﾊﾞｲﾄ
000346	00100101	25	037	045	子局46～47局間ﾌﾞﾗﾝｸ 037ﾊﾞｲﾄ
000347	00100110	26	038	046	子局47～50局間ﾌﾞﾗﾝｸ 038ﾊﾞｲﾄ
000350	00100111	27	039	047	子局50～51局間ﾌﾞﾗﾝｸ 039ﾊﾞｲﾄ
000351	00101000	28	040	050	子局51～52局間ﾌﾞﾗﾝｸ 040ﾊﾞｲﾄ
000352	00101001	29	041	051	子局52～53局間ﾌﾞﾗﾝｸ 041ﾊﾞｲﾄ
000353	00101010	2A	042	052	子局53～54局間ﾌﾞﾗﾝｸ 042ﾊﾞｲﾄ
000354	00101011	2B	043	053	子局54～55局間ﾌﾞﾗﾝｸ 043ﾊﾞｲﾄ
000355	00101100	2C	044	054	子局55～56局間ﾌﾞﾗﾝｸ 044ﾊﾞｲﾄ
000356	00101101	2D	045	055	子局56～57局間ﾌﾞﾗﾝｸ 045ﾊﾞｲﾄ
000357	00101110	2E	046	056	子局57～60局間ﾌﾞﾗﾝｸ 046ﾊﾞｲﾄ
000360	00101111	2F	047	057	子局60～61局間ﾌﾞﾗﾝｸ 047ﾊﾞｲﾄ
000361	00110000	30	048	060	子局61～62局間ﾌﾞﾗﾝｸ 048ﾊﾞｲﾄ
000362	00110001	31	049	061	子局62～63局間ﾌﾞﾗﾝｸ 049ﾊﾞｲﾄ
000363	00110010	32	050	062	子局63～64局間ﾌﾞﾗﾝｸ 050ﾊﾞｲﾄ
000364	00110011	33	051	063	子局64～65局間ﾌﾞﾗﾝｸ 051ﾊﾞｲﾄ
000365	00110100	34	052	064	子局65～66局間ﾌﾞﾗﾝｸ 052ﾊﾞｲﾄ
000366	00110101	35	053	065	子局66～67局間ﾌﾞﾗﾝｸ 053ﾊﾞｲﾄ
000367	00110110	36	054	066	子局67～70局間ﾌﾞﾗﾝｸ 054ﾊﾞｲﾄ
000370	00110111	37	055	067	子局70～71局間ﾌﾞﾗﾝｸ 055ﾊﾞｲﾄ
000371	00111000	38	056	070	子局71～72局間ﾌﾞﾗﾝｸ 056ﾊﾞｲﾄ
000372	00111001	39	057	071	子局72～73局間ﾌﾞﾗﾝｸ 057ﾊﾞｲﾄ
000373	00111010	3A	058	072	子局73～74局間ﾌﾞﾗﾝｸ 058ﾊﾞｲﾄ
000374	00111011	3B	059	073	子局74～75局間ﾌﾞﾗﾝｸ 059ﾊﾞｲﾄ
000375	00111100	3C	060	074	子局75～76局間ﾌﾞﾗﾝｸ 060ﾊﾞｲﾄ
000376	11111111	FF	255	377	子局76～77局間ﾌﾞﾗﾝｸ 255ﾊﾞｲﾄ
003764	01111111	7F	127	177	(下位) フラグ先頭アドレス
003765	00000011	03	003	003	(上位)
003766	00000111	07	007	007	7-]1577
003767	10000000	80	128	200	エラーフラグ出力する
003770	00000000	00	000	000	
003771	00000000	00	000	000	
003772	00000000	00	000	000	
003773	00000000	00	000	000	
003774	00000000	00	000	000	
003775	00000000	00	000	000	
003776	00000000	00	000	000	パラメータＢＣＣコード
003777	00000000	00	000	000	動作停止

リモートI／O親局として使用しているJW－20CMのパラメータプリント例（任意割付、アドレス順）

＜リモートＩ／Ｏ親局ユニットパラメーター覧表（任意割付け）＞

アドレス	76543210	16進	10進	8進	内容
000000	00001001	09	009	011	任意割付・非同期・モード１
000001	00111111	3F	063	077	子局ユニット台数:63台
000002	01111111	7F	127	177	（下位）子局01I/O先頭アドレス
000003	00000011	03	003	003	（上位）11577
000004	00000010	02	002	002	（下位）子局02I/O先頭アドレス
000005	00000000	00	000	000	（上位）10002
000006	00000011	03	003	003	（下位）子局03I/O先頭アドレス
000007	00000000	00	000	000	（上位）10003
000010	00000100	04	004	004	（下位）子局04I/O先頭アドレス
000011	00000000	00	000	000	（上位）10004
000012	00000101	05	005	005	（下位）子局05I/O先頭アドレス
000013	00000000	00	000	000	（上位）10005
000014	00000110	06	006	006	（下位）子局06I/O先頭アドレス
000015	00000000	00	000	000	（上位）10006
000016	00000111	07	007	007	（下位）子局07I/O先頭アドレス
000017	00000000	00	000	000	（上位）10007
000020	00001000	08	008	010	（下位）子局10I/O先頭アドレス
000021	00000000	00	000	000	（上位）10010
000022	00001001	09	009	011	（下位）子局11I/O先頭アドレス
000023	00000000	00	000	000	（上位）10011
000024	00001010	0A	010	012	（下位）子局12I/O先頭アドレス
000025	00000000	00	000	000	（上位）10012
000026	00001011	0B	011	013	（下位）子局13I/O先頭アドレス
000027	00000000	00	000	000	（上位）10013
000030	00001100	0C	012	014	（下位）子局14I/O先頭アドレス
000031	00000000	00	000	000	（上位）10014
000032	00001101	0D	013	015	（下位）子局15I/O先頭アドレス
000033	00000000	00	000	000	（上位）10015
000034	00001110	0E	014	016	（下位）子局16I/O先頭アドレス
000035	00000000	00	000	000	（上位）10016
000036	00001111	0F	015	017	（下位）子局17I/O先頭アドレス
000037	00000000	00	000	000	（上位）10017
000040	00010000	10	016	020	（下位）子局20I/O先頭アドレス
000041	00000000	00	000	000	（上位）10020
000042	00010001	11	017	021	（下位）子局21I/O先頭アドレス
000043	00000000	00	000	000	（上位）10021
000044	00010010	12	018	022	（下位）子局22I/O先頭アドレス
000045	00000000	00	000	000	（上位）10022
000046	00010011	13	019	023	（下位）子局23I/O先頭アドレス
000047	00000000	00	000	000	（上位）10023
000050	00010100	14	020	024	（下位）子局24I/O先頭アドレス
000051	00000000	00	000	000	（上位）10024
000052	00010101	15	021	025	（下位）子局25I/O先頭アドレス
000053	00000000	00	000	000	（上位）10025
000054	00010110	16	022	026	（下位）子局26I/O先頭アドレス
000055	00000000	00	000	000	（上位）10026
000056	00010111	17	023	027	（下位）子局27I/O先頭アドレス
000057	00000000	00	000	000	（上位）10027
000060	00011000	18	024	030	（下位）子局30I/O先頭アドレス
000061	00000000	00	000	000	（上位）10030
000062	00011001	19	025	031	（下位）子局31I/O先頭アドレス
000063	00000000	00	000	000	（上位）10031
000064	00011010	1A	026	032	（下位）子局32I/O先頭アドレス
000065	00000000	00	000	000	（上位）10032
000066	00011011	1B	027	033	（下位）子局33I/O先頭アドレス
000067	00000000	00	000	000	（上位）10033
000070	00011100	1C	028	034	（下位）子局34I/O先頭アドレス
000071	00000000	00	000	000	（上位）10034
000072	00011101	1D	029	035	（下位）子局35I/O先頭アドレス
000073	00000000	00	000	000	（上位）10035
000074	00011110	1E	030	036	（下位）子局36I/O先頭アドレス
000075	00000000	00	000	000	（上位）10036
000076	00011111	1F	031	037	（下位）子局37I/O先頭アドレス
000077	00000000	00	000	000	（上位）10037
000100	00100000	20	032	040	（下位）子局40I/O先頭アドレス
000101	10000000	80	128	200	（上位）10040
000102	00100001	21	033	041	（下位）子局41I/O先頭アドレス
000103	10000000	80	128	200	（上位）10041
000104	00100010	22	034	042	（下位）子局42I/O先頭アドレス
000105	10000000	80	128	200	（上位）10042
000106	00100011	23	035	043	（下位）子局43I/O先頭アドレス
000107	10000000	80	128	200	（上位）10043
000110	00100100	24	036	044	（下位）子局44I/O先頭アドレス
000111	10000000	80	128	200	（上位）10044
000112	00100101	25	037	045	（下位）子局45I/O先頭アドレス
000113	10000000	80	128	200	（上位）10045
000114	00100110	26	038	046	（下位）子局46I/O先頭アドレス
000115	10000000	80	128	200	（上位）10046
000116	00100111	27	039	047	（下位）子局47I/O先頭アドレス
000117	10000000	80	128	200	（上位）10047
000120	00101000	28	040	050	（下位）子局50I/O先頭アドレス
000121	10000000	80	128	200	（上位）10050
000122	00101001	29	041	051	（下位）子局51I/O先頭アドレス
000123	10000000	80	128	200	（上位）10051
000124	00101010	2A	042	052	（下位）子局52I/O先頭アドレス
000125	10000000	80	128	200	（上位）10052
000126	00101011	2B	043	053	（下位）子局53I/O先頭アドレス
000127	10000000	80	128	200	（上位）10053
000130	00101100	2C	044	054	（下位）子局54I/O先頭アドレス
000131	10000000	80	128	200	（上位）10054
000132	00101101	2D	045	055	（下位）子局55I/O先頭アドレス
000133	10000000	80	128	200	（上位）10055
000134	00101110	2E	046	056	（下位）子局56I/O先頭アドレス
000135	10000000	80	128	200	（上位）10056
000136	00101111	2F	047	057	（下位）子局57I/O先頭アドレス
000137	10000000	80	128	200	（上位）10057
000140	00110000	30	048	060	（下位）子局60I/O先頭アドレス
000141	10000000	80	128	200	（上位）10060
000142	00110001	31	049	061	（下位）子局61I/O先頭アドレス
000143	10000000	80	128	200	（上位）10061
000144	00110010	32	050	062	（下位）子局62I/O先頭アドレス
000145	10000000	80	128	200	（上位）10062
000146	00110011	33	051	063	（下位）子局63I/O先頭アドレス
000147	10000000	80	128	200	（上位）10063
000150	00110100	34	052	064	（下位）子局64I/O先頭アドレス
000151	10000000	80	128	200	（上位）10064
000152	00110101	35	053	065	（下位）子局65I/O先頭アドレス
000153	10000000	80	128	200	（上位）10065
000154	00110110	36	054	066	（下位）子局66I/O先頭アドレス
000155	10000000	80	128	200	（上位）10066
000156	00110111	37	055	067	（下位）子局67I/O先頭アドレス
000157	10000000	80	128	200	（上位）10067

リモートI／O親局として使用しているJW－20CMのパラメータプリント例（任意割付、局番順）

＜リモートＩ／Ｏパラメータ＞　子局台数：６３　演算同期：非同期　異常時動作モード：モード１

局番	I/Oアドレス	バイト数
PC01	11577～11577	000
PC02	10002～10003	001
PC03	10003～10005	002
PC04	10004～10007	003
PC05	10005～10011	004
PC06	10006～10013	005
PC07	10007～10015	006
PC10	10010～10017	007
PC11	10011～10021	008
PC12	10012～10023	009
PC13	10013～10025	010
PC14	10014～10027	011
PC15	10015～10031	012
PC16	10016～10033	013
PC17	10017～10035	014
PC20	10020～10037	015
PC21	10021～10041	016
PC22	10022～10043	017
PC23	10023～10045	018
PC24	10024～10047	019
PC25	10025～10051	020
PC26	10026～10053	021
PC27	10027～10055	022
PC30	10030～10057	023
PC31	10031～10061	024
PC32	10032～10063	025
PC33	10033～10065	026
PC34	10034～10067	027
PC35	10035～10071	028
PC36	10036～10073	029
PC37	10037～10075	030
PC40	10040～10077	031
PC41	10041～10101	032
PC42	10042～10103	033
PC43	10043～10105	034
PC44	10044～10107	035
PC45	10045～10111	036
PC46	10046～10113	037
PC47	10047～10115	038
PC50	10050～10117	039
PC51	10051～10121	040
PC52	10052～10123	041
PC53	10053～10125	042
PC54	10054～10127	043
PC55	10055～10131	044
PC56	10056～10133	045
PC57	10057～10135	046
PC60	10060～10137	047
PC61	10061～10071	008
PC62	10062～10143	049
PC63	10063～10145	050
PC64	10064～10147	051
PC65	10065～10116	025
PC66	10066～10131	035
PC67	10067～10155	054
PC70	10070～10157	055
PC71	10071～10161	056
PC72	10072～10163	057
PC73	10073～10165	058
PC74	10074～10167	059
PC75	10075～10171	060
PC76	10076～10173	061
PC77	11577～11577	000

③ データリンク子局プリント（ＭＥ－ＮＥＴ子局プリント）

操作手順

操作例

（１）標　題

「付き」に設定すると、「標題設定」で入力した内容を各ページの右下に付けて印字します

数値キーまたは、カーソル移動キー（ ← → ）を押し、「無し」／「付き」を選択します。

（２）モード

「高速」に設定すると、印字速度が速くなりますが、標題の縦線等が１～２ドット分、左右上下にずれる場合があります。

数値キーまたは、カーソル移動キー（ ← → ）を押し、「高速」／「高品位」を選択します。

全リストを印字する場合

・ ⏎ （リターンキー）を押し、「実行メニュー」で「実行」キーを押すと、データリンク子局ユニットのパラメータをすべて印字します。

・印字終了すると、画面表示は「パラメータプリントメニュー」に戻ります。

印字範囲を指定する場合

（１） ↑ ↓ キーで、カーソルを「開始番号」欄へ移動後、数値キーより開始アドレスを入力します。

（２） ↓ キーで、カーソルを「終了番号」欄へ移動後、数値キーより終了アドレスを入力します。

（３） ⏎ （リターンキー）を押し、「実行メニュー」で「実行」キーを押すと開始アドレスより終了アドレスまで印字します。

（４）印字終了すると、画面表示は「パラメータプリントメニュー」に戻ります。

印字途中で停止（終了）する場合

（1）「停止」キーを押すと、表示中のアドレスを印字後、停止します。

（2）停止している時「終了」キーを押すと、「パラメータプリントメニュー」に戻ります。

（3）停止している時「解除」キーを押すと、「パラメータ印字」を再開します。

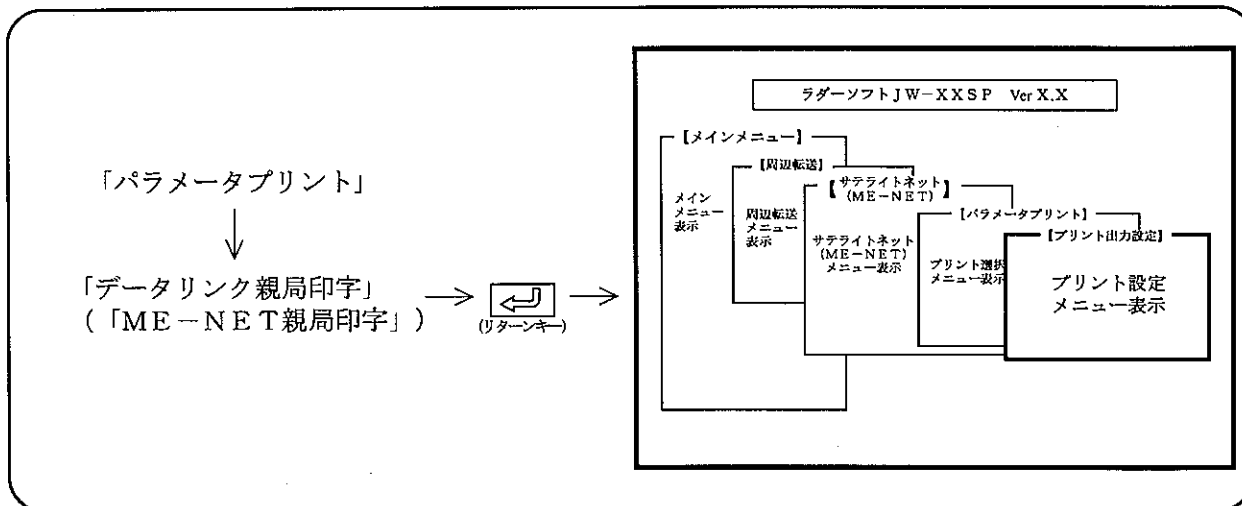
プリント例

＜データリンク子局ユニットパラメーター一覧表＞

ｱﾄﾞﾚｽ	76543210	16進	10進	8進	内　容
007760	00000000	00	000	000	
007761	00000000	00	000	000	
007762	00000000	00	000	000	
007763	00000000	00	000	000	
007764	01111111	7F	127	177	子局フラグ先頭アドレス
007765	00000011	03	003	003	ファイル番号：7
007766	00000111	07	007	007	ﾌｧｲﾙｱﾄﾞﾚｽ:001577
007767	10000000	80	128	200	フラグ出力：する
007770	00000000	00	000	000	
007771	00000000	00	000	000	
007772	00000000	00	000	000	
007773	00000000	00	000	000	
007774	00000000	00	000	000	
007775	00000000	00	000	000	
007776	00000000	00	000	000	パラメータＢＣＣコード
007777	00000000	00	000	000	動作停止

第10章

④ データリンク親局プリント（ＭＥ－ＮＥＴ親局プリント）

操作手順

「パラメータプリント」

↓

「データリンク親局印字」
（「ＭＥ－ＮＥＴ親局印字」）　→　⏎（リターンキー）　→

操　作　例

（1）標　題

「付き」に設定すると、「標題設定」で入力した内容を各ページの右下に付けて印字します。

数値キーまたは、カーソル移動キー（←→）を押し、「無し」／「付き」を選択します。

（2）モード

「高速」に設定すると、印字速度が速くなりますが、標題の縦線等が１～２ドット分、左右上下にずれる場合があります。

数値キーまたは、カーソル移動キー（←→）を押し、「高速」／「高品位」を選択します。

（3）順　番

「アドレス順」または、「局番順」を設定します。

数値キーまたは、カーソル移動キー（←→）を押し、「アドレス順」／「局番順」を選択します。

第10章

全リストを印字する場合

・⏎（リターンキー）を押し、「実行メニュー」で「実行」キーを押すと、データンク親局のパラメータをすべて印字します。

・印字終了すると、画面表示は「パラメータプリントメニュー」に戻ります。

印字範囲を指定する場合

（1）↑↓キーで、カーソルを「開始番号」欄へ移動後、数値キーより開始アドレスを入力します。

（2）↓キーで、カーソルを「終了番号」欄へ移動後、数値キーより終了アドレスを入力します。

（3）⏎（リターンキー）を押し、「実行メニュー」で「実行」キーを押すと開始アドレスより終了アドレスまで印字します。

（4）印字終了すると、画面表示は「パラメータプリントメニュー」に戻ります。

印字途中で停止（終了）する場合

（1）「停止」キーを押すと、表示中のアドレスを印字後、停止します。

（2）停止している時「終了」キーを押すと、「パラメータプリントメニュー」に戻ります。

（3）停止している時「解除」キーを押すと、「パラメータ印字」を再開します。

プリント例

アドレス順

<データリンク親局ユニットパラメータ一覧表>

ｱﾄﾞﾚｽ	76543210	16進	10進	8進	内容
004000	00000001	01	001	001	（下位）親局上でのﾘﾚｰﾘﾝｸｴﾘｱの
004001	00000000	00	000	000	（上位）先頭ｱﾄﾞﾚｽ 10001
004002	00000001	01	001	001	ﾘﾚｰﾘﾝｸとﾚｼﾞｽﾀﾘﾝｸ
004003	00001100	0C	012	014	接続局数：１２
004004	00000010	02	002	002	（下位）子局01でのﾘﾚｰﾘﾝｸｴﾘｱの
004005	00000000	00	000	000	（上位）先頭ｱﾄﾞﾚｽ 10002
004006	00000000	00	000	000	子局の設定値
004007	10000000	80	128	200	
004010	00000011	03	003	003	（下位）子局02でのﾘﾚｰﾘﾝｸｴﾘｱの
004011	00000000	00	000	000	（上位）先頭ｱﾄﾞﾚｽ 10003
004012	00000000	00	000	000	子局の設定値
004013	10000000	80	128	200	
004014	00000100	04	004	004	（下位）子局03でのﾘﾚｰﾘﾝｸｴﾘｱの
004015	00000000	00	000	000	（上位）先頭ｱﾄﾞﾚｽ 10004
004016	00000000	00	000	000	子局の設定値
004017	10000000	80	128	200	
004020	00000101	05	005	005	（下位）子局04でのﾘﾚｰﾘﾝｸｴﾘｱの
004021	00000000	00	000	000	（上位）先頭ｱﾄﾞﾚｽ 10005
004022	00000000	00	000	000	子局の設定値
004023	10000000	80	128	200	
004024	00000110	06	006	006	（下位）子局05でのﾘﾚｰﾘﾝｸｴﾘｱの
004025	00000000	00	000	000	（上位）先頭ｱﾄﾞﾚｽ 10006
004026	00000000	00	000	000	子局の設定値
004027	10000000	80	128	200	
004030	00000111	07	007	007	（下位）子局06でのﾘﾚｰﾘﾝｸｴﾘｱの
004031	00000000	00	000	000	（上位）先頭ｱﾄﾞﾚｽ 10007
004032	00000000	00	000	000	子局の設定値
004033	10000000	80	128	200	
004034	00001000	08	008	010	（下位）子局07でのﾘﾚｰﾘﾝｸｴﾘｱの
004035	00000000	00	000	000	（上位）先頭ｱﾄﾞﾚｽ 10010
004036	00000000	00	000	000	子局の設定値
004037	10000000	80	128	200	
004040	00001001	09	009	011	（下位）子局10でのﾘﾚｰﾘﾝｸｴﾘｱの
004041	00000000	00	000	000	（上位）先頭ｱﾄﾞﾚｽ 10011
004042	00000000	00	000	000	子局の設定値
004043	10000000	80	128	200	
004044	00001010	0A	010	012	（下位）子局11でのﾘﾚｰﾘﾝｸｴﾘｱの
004045	00000000	00	000	000	（上位）先頭ｱﾄﾞﾚｽ 10012
004046	00000000	00	000	000	子局の設定値
004047	10000000	80	128	200	
004050	00001011	0B	011	013	（下位）子局12でのﾘﾚｰﾘﾝｸｴﾘｱの
004051	00000000	00	000	000	（上位）先頭ｱﾄﾞﾚｽ 10013
004052	00000000	00	000	000	子局の設定値
004053	10000000	80	128	200	
004054	00001100	0C	012	014	（下位）子局13でのﾘﾚｰﾘﾝｸｴﾘｱの
004055	00000000	00	000	000	（上位）先頭ｱﾄﾞﾚｽ 10014
004056	00000000	00	000	000	子局の設定値
004057	10000000	80	128	200	
004060	00001101	0D	013	015	（下位）子局14でのﾘﾚｰﾘﾝｸｴﾘｱの
004061	00000000	00	000	000	（上位）先頭ｱﾄﾞﾚｽ 10015
004062	00000000	00	000	000	子局の設定値
004063	10000000	80	128	200	
004064	00001110	0E	014	016	（下位）子局15でのﾘﾚｰﾘﾝｸｴﾘｱの
004065	00000000	00	000	000	（上位）先頭ｱﾄﾞﾚｽ 10016
004066	00000000	00	000	000	子局の設定値
004067	10000000	80	128	200	

ｱﾄﾞﾚｽ	76543210	16進	10進	8進	内容
004070	00001111	0F	015	017	（下位）子局16でのﾘﾚｰﾘﾝｸｴﾘｱの
004071	00000000	00	000	000	（上位）先頭ｱﾄﾞﾚｽ 10017
004072	00000000	00	000	000	子局の設定値
004073	10000000	80	128	200	
004074	00010000	10	016	020	（下位）子局17でのﾘﾚｰﾘﾝｸｴﾘｱの
004075	00000000	00	000	000	（上位）先頭ｱﾄﾞﾚｽ 10020
004076	00000000	00	000	000	子局の設定値
004077	10000000	80	128	200	
004100	00010000	10	016	020	（下位）子局20でのﾘﾚｰﾘﾝｸｴﾘｱの
004101	00000000	00	000	000	（上位）先頭ｱﾄﾞﾚｽ 10020
004102	00000001	01	001	001	親局の設定値
004103	00000000	00	000	000	
004104	00010001	11	017	021	（下位）子局21でのﾘﾚｰﾘﾝｸｴﾘｱの
004105	00000000	00	000	000	（上位）先頭ｱﾄﾞﾚｽ 10021
004106	00000001	01	001	001	親局の設定値
004107	00000000	00	000	000	
004110	00010010	12	018	022	（下位）子局22でのﾘﾚｰﾘﾝｸｴﾘｱの
004111	00000000	00	000	000	（上位）先頭ｱﾄﾞﾚｽ 10022
004112	00000001	01	001	001	親局の設定値
004113	00000000	00	000	000	
004114	00010011	13	019	023	（下位）子局23でのﾘﾚｰﾘﾝｸｴﾘｱの
004115	00000000	00	000	000	（上位）先頭ｱﾄﾞﾚｽ 10023
004116	00000001	01	001	001	親局の設定値
004117	00000000	00	000	000	
004120	00010100	14	020	024	（下位）子局24でのﾘﾚｰﾘﾝｸｴﾘｱの
004121	00000000	00	000	000	（上位）先頭ｱﾄﾞﾚｽ 10024
004122	00000001	01	001	001	親局の設定値
004123	00000000	00	000	000	
004124	00010101	15	021	025	（下位）子局25でのﾘﾚｰﾘﾝｸｴﾘｱの
004125	00000000	00	000	000	（上位）先頭ｱﾄﾞﾚｽ 10025
004126	00000001	01	001	001	親局の設定値
004127	00000000	00	000	000	
004130	00010110	16	022	026	（下位）子局26でのﾘﾚｰﾘﾝｸｴﾘｱの
004131	00000000	00	000	000	（上位）先頭ｱﾄﾞﾚｽ 10026
004132	00000001	01	001	001	親局の設定値
004133	00000000	00	000	000	
004134	00010111	17	023	027	（下位）子局27でのﾘﾚｰﾘﾝｸｴﾘｱの
004135	00000000	00	000	000	（上位）先頭ｱﾄﾞﾚｽ 10027
004136	00000001	01	001	001	親局の設定値
004137	00000000	00	000	000	
004140	00011000	18	024	030	（下位）子局30でのﾘﾚｰﾘﾝｸｴﾘｱの
004141	00000000	00	000	000	（上位）先頭ｱﾄﾞﾚｽ 10030
004142	00000001	01	001	001	親局の設定値
004143	00000000	00	000	000	
004144	00011001	19	025	031	（下位）子局31でのﾘﾚｰﾘﾝｸｴﾘｱの
004145	00000000	00	000	000	（上位）先頭ｱﾄﾞﾚｽ 10031
004146	00000001	01	001	001	親局の設定値
004147	00000000	00	000	000	
004150	00011010	1A	026	032	（下位）子局32でのﾘﾚｰﾘﾝｸｴﾘｱの
004151	00000000	00	000	000	（上位）先頭ｱﾄﾞﾚｽ 10032
004152	00000001	01	001	001	親局の設定値
004153	00000000	00	000	000	
004154	00011011	1B	027	033	（下位）子局33でのﾘﾚｰﾘﾝｸｴﾘｱの
004155	00000000	00	000	000	（上位）先頭ｱﾄﾞﾚｽ 10033
004156	00000001	01	001	001	親局の設定値
004157	00000000	00	000	000	

局番順

データリンク親局　　　< 局番 P C 00 >

局番	リレーリンク	レジスタリンク	
PC00	10001～001ﾊﾞｲﾄ	09001～256ﾊﾞｲﾄ	送信
PC01	10002～002ﾊﾞｲﾄ	09002～002ﾊﾞｲﾄ	受信
PC02	10003～003ﾊﾞｲﾄ	09003～003ﾊﾞｲﾄ	受信
PC03	10004～004ﾊﾞｲﾄ	09004～004ﾊﾞｲﾄ	受信
PC04	10005～005ﾊﾞｲﾄ	09005～005ﾊﾞｲﾄ	受信
PC05	10006～006ﾊﾞｲﾄ	09006～006ﾊﾞｲﾄ	受信
PC06	10007～007ﾊﾞｲﾄ	09007～007ﾊﾞｲﾄ	受信
PC07	10010～008ﾊﾞｲﾄ	09010～001ﾊﾞｲﾄ	受信
PC10	10011～009ﾊﾞｲﾄ	09011～002ﾊﾞｲﾄ	受信
PC11	10012～010ﾊﾞｲﾄ	09012～003ﾊﾞｲﾄ	受信
PC12	10013～011ﾊﾞｲﾄ	09013～004ﾊﾞｲﾄ	受信
PC13	10014～012ﾊﾞｲﾄ	09014～005ﾊﾞｲﾄ	受信
PC14	10015～013ﾊﾞｲﾄ	09015～006ﾊﾞｲﾄ	受信
PC15	10016～014ﾊﾞｲﾄ	09016～007ﾊﾞｲﾄ	受信
PC16	10017～015ﾊﾞｲﾄ	09017～008ﾊﾞｲﾄ	受信
PC17	10020～016ﾊﾞｲﾄ	09020～009ﾊﾞｲﾄ	受信
PC20	10020～017ﾊﾞｲﾄ	09300～100ﾊﾞｲﾄ	受信
PC21	10021～018ﾊﾞｲﾄ	09301～101ﾊﾞｲﾄ	受信
PC22	10022～019ﾊﾞｲﾄ	09302～102ﾊﾞｲﾄ	受信
PC23	10023～020ﾊﾞｲﾄ	09303～103ﾊﾞｲﾄ	受信
PC24	10024～021ﾊﾞｲﾄ	09304～104ﾊﾞｲﾄ	受信
PC25	10025～022ﾊﾞｲﾄ	09305～105ﾊﾞｲﾄ	受信
PC26	10026～023ﾊﾞｲﾄ	09306～106ﾊﾞｲﾄ	受信
PC27	10027～024ﾊﾞｲﾄ	09307～107ﾊﾞｲﾄ	受信
PC30	10030～025ﾊﾞｲﾄ	09770～001ﾊﾞｲﾄ	受信
PC31	10031～026ﾊﾞｲﾄ	09771～002ﾊﾞｲﾄ	受信
PC32	10032～027ﾊﾞｲﾄ	09772～003ﾊﾞｲﾄ	受信
PC33	10033～028ﾊﾞｲﾄ	09773～004ﾊﾞｲﾄ	受信
PC34	10034～029ﾊﾞｲﾄ	09774～005ﾊﾞｲﾄ	受信
PC35	10035～030ﾊﾞｲﾄ	09775～006ﾊﾞｲﾄ	受信
PC36	10036～031ﾊﾞｲﾄ	09776～007ﾊﾞｲﾄ	受信
PC37	10037～032ﾊﾞｲﾄ	09777～256ﾊﾞｲﾄ	受信

局番	リレーリンク	レジスタリンク	
PC40	10040～096ﾊﾞｲﾄ	19001～256ﾊﾞｲﾄ	受信
PC41	10041～096ﾊﾞｲﾄ	19002～256ﾊﾞｲﾄ	受信
PC42	10042～096ﾊﾞｲﾄ	19003～256ﾊﾞｲﾄ	受信
PC43	10043～096ﾊﾞｲﾄ	19004～256ﾊﾞｲﾄ	受信
PC44	10044～096ﾊﾞｲﾄ	19005～256ﾊﾞｲﾄ	受信
PC45	10045～096ﾊﾞｲﾄ	19006～256ﾊﾞｲﾄ	受信
PC46	10046～096ﾊﾞｲﾄ	19007～256ﾊﾞｲﾄ	受信
PC47	10047～096ﾊﾞｲﾄ	19010～256ﾊﾞｲﾄ	受信
PC50	10050～096ﾊﾞｲﾄ	19011～256ﾊﾞｲﾄ	受信
PC51	10051～096ﾊﾞｲﾄ	19012～256ﾊﾞｲﾄ	受信
PC52	10052～096ﾊﾞｲﾄ	19013～256ﾊﾞｲﾄ	受信
PC53	10035～110ﾊﾞｲﾄ	19014～256ﾊﾞｲﾄ	受信
PC54	10054～096ﾊﾞｲﾄ	19015～256ﾊﾞｲﾄ	受信
PC55	10055～096ﾊﾞｲﾄ	19016～256ﾊﾞｲﾄ	受信
PC56	10056～096ﾊﾞｲﾄ	19017～256ﾊﾞｲﾄ	受信
PC57	10057～096ﾊﾞｲﾄ	19020～256ﾊﾞｲﾄ	受信
PC60	10060～256ﾊﾞｲﾄ	19777～000ﾊﾞｲﾄ	受信
PC61	10061～256ﾊﾞｲﾄ	19177～001ﾊﾞｲﾄ	受信
PC62	10062～256ﾊﾞｲﾄ	19200～002ﾊﾞｲﾄ	受信
PC63	10063～256ﾊﾞｲﾄ	19201～003ﾊﾞｲﾄ	受信
PC64	10064～256ﾊﾞｲﾄ	19202～004ﾊﾞｲﾄ	受信
PC65	10065～256ﾊﾞｲﾄ	19203～006ﾊﾞｲﾄ	受信
PC66	10066～256ﾊﾞｲﾄ	19204～007ﾊﾞｲﾄ	受信
PC67	10067～256ﾊﾞｲﾄ	19205～008ﾊﾞｲﾄ	受信
PC70	10070～256ﾊﾞｲﾄ	19206～009ﾊﾞｲﾄ	受信
PC71	10071～256ﾊﾞｲﾄ	19207～010ﾊﾞｲﾄ	受信
PC72	10072～256ﾊﾞｲﾄ	19210～011ﾊﾞｲﾄ	受信
PC73	10073～256ﾊﾞｲﾄ	19211～012ﾊﾞｲﾄ	受信
PC74	10074～256ﾊﾞｲﾄ	19300～013ﾊﾞｲﾄ	受信
PC75	10075～256ﾊﾞｲﾄ	19301～014ﾊﾞｲﾄ	受信
PC76	10076～256ﾊﾞｲﾄ	19302～015ﾊﾞｲﾄ	受信
PC77	10077～256ﾊﾞｲﾄ	19400～016ﾊﾞｲﾄ	受信

１０－４ ＳＵＭＩＮＥＴパラメータ設定・プリント

ネットワークユニットZW-30CMのパラメータ設定／プリントを行います。

キー操作

画面表示

機　能

名　称	機　能	参照ページ
パラメータ設定	ネットワークユニットZW-30CMのパラメータを設定	10·38
パラメータプリント	パラメータの内容をプリント	10·41

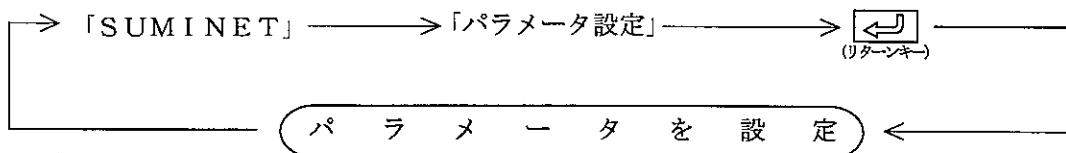
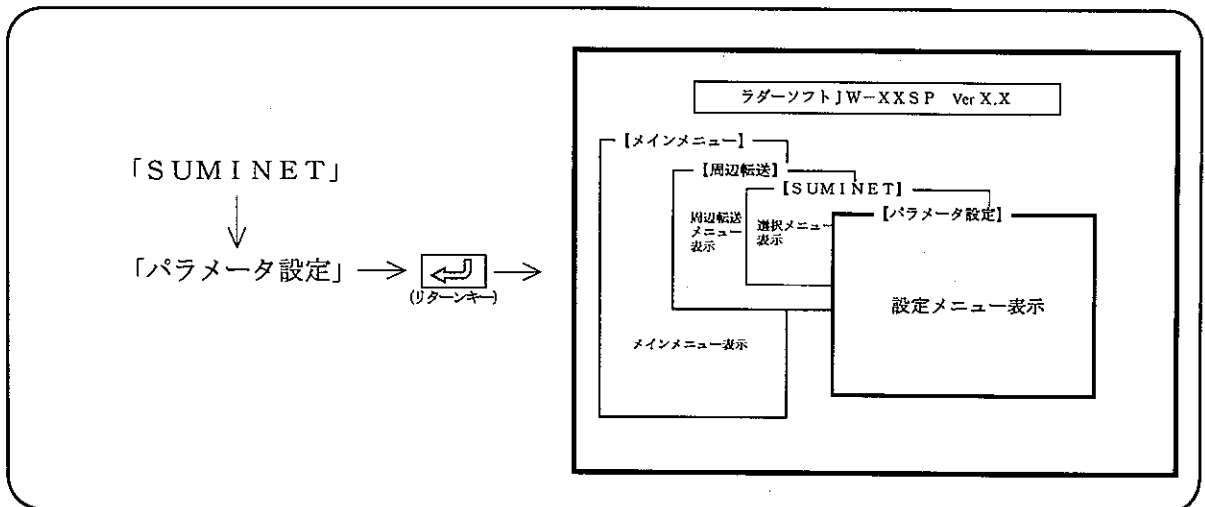
留意点

- システム構成を参照して、ネットワークユニットとパソコンを接続してください。
- 各メニューは、数値キーおよび、カーソル移動キーで選択できます。
- ESC キーを押すと、１つ前の画面表示に戻ります。

（１）ＳＵＭＩＮＥＴパラメータ設定

ネットワークユニット（ＺＷ－３０ＣＭ）の、リフレッシュエリア先頭ファイルＮｏ．／先頭アドレス等のパラメータを設定します。

第10章

操作概要

操作手順１

操作例

①リフレッシュエリア先頭ファイルNo.

・リフレッシュエリアの先頭ファイル番号（No．）を０～７で設定します。

数値キーまたは、カーソル移動キーでカーソルをファイルNo．欄へ移動	→	ファイルNo．入力

②リフレッシュエリア先頭アドレス

・リフレッシュエリアの先頭ファイルアドレスを８進数で設定します。

数値キーまたは、カーソル移動キーでカーソルを先頭アドレス欄へ移動	→	アドレス入力

③リフレッシュの実行

・リフレッシュを実行するか、否かを設定します。

数値キーまたは、カーソル移動キーでカーソルを実行欄へ移動	→	数値キーまたは、カーソル移動キー（← →）で「する」／「しない」を選択

④リフレッシュバイト数

・リフレッシュバイト数を１０進数（０～２５５）で設定します。

数値キーまたは、カーソル移動キーでカーソルをリフレッシュバイト数欄へ移動	→	バイト数入力

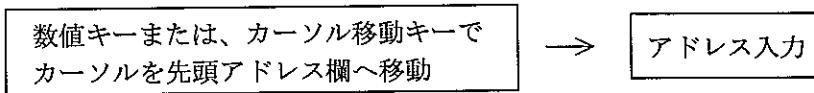
⑤読出完了フラグ先頭ファイル

・読み出し完了フラグの先頭ファイル番号（No．）を０～７で設定します。

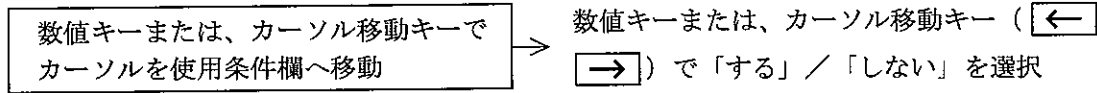
数値キーまたは、カーソル移動キーでカーソルを先頭ファイル欄へ移動	→	ファイルNo．入力

⑥ 読出完了フラグ先頭アドレス

・読み出し完了フラグの先頭ファイルアドレスを８進数で設定します。

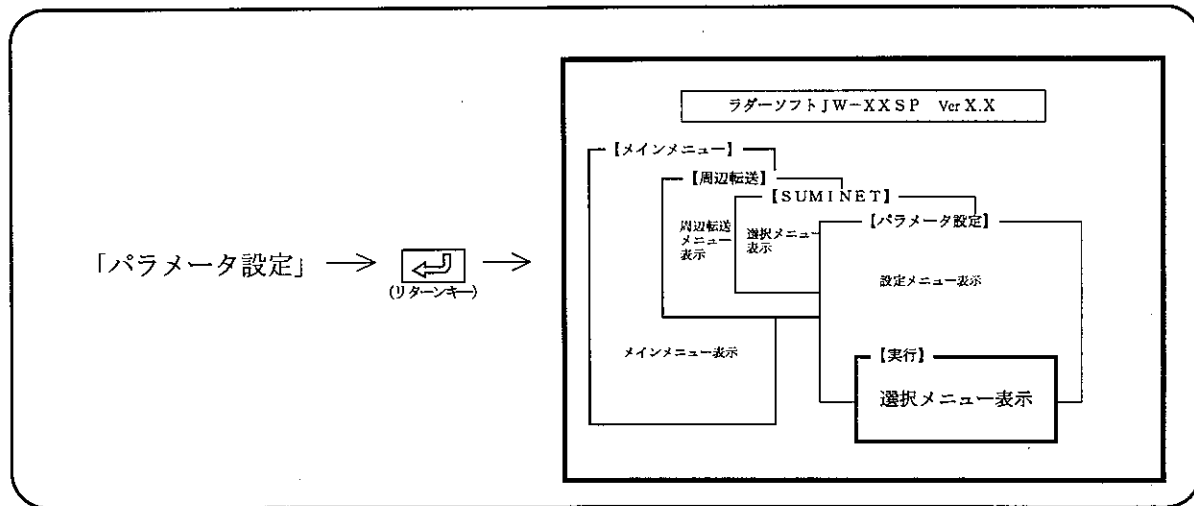
数値キーまたは、カーソル移動キーでカーソルを先頭アドレス欄へ移動	→	アドレス入力

⑦ 読出完了フラグＯＮの使用

・読み出し完了フラグＯＮを使用するか、否かを設定します。

数値キーまたは、カーソル移動キーでカーソルを使用条件欄へ移動	→	数値キーまたは、カーソル移動キー（[←] [→]）で「する」／「しない」を選択

⑧ ＳＥＮＤ／ＲＥＣＥＩＶＥ命令の設定

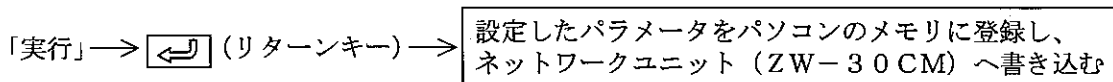
・ＳＥＮＤ／ＲＥＣＥＩＶＥを使用するか否かを選択します。
カーソル移動キー（[←] [→]）を押し、「しない」／「する」を選択します。

・「する」を選択した場合、[⏎]キーを押すと「ＳＥＮＤ／ＲＥＣＥＩＶＥ命令のタイムアウト時間設定」画面を表示します。タイムアウト時間の監視を行う局だけ設定し、[⏎]キーを押してください。

操作手順２

操 作 例

① 設定したパラメータを登録（書込）する場合

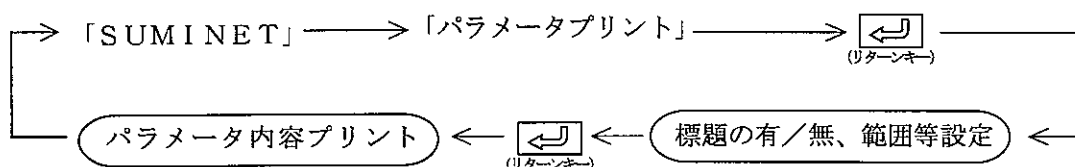
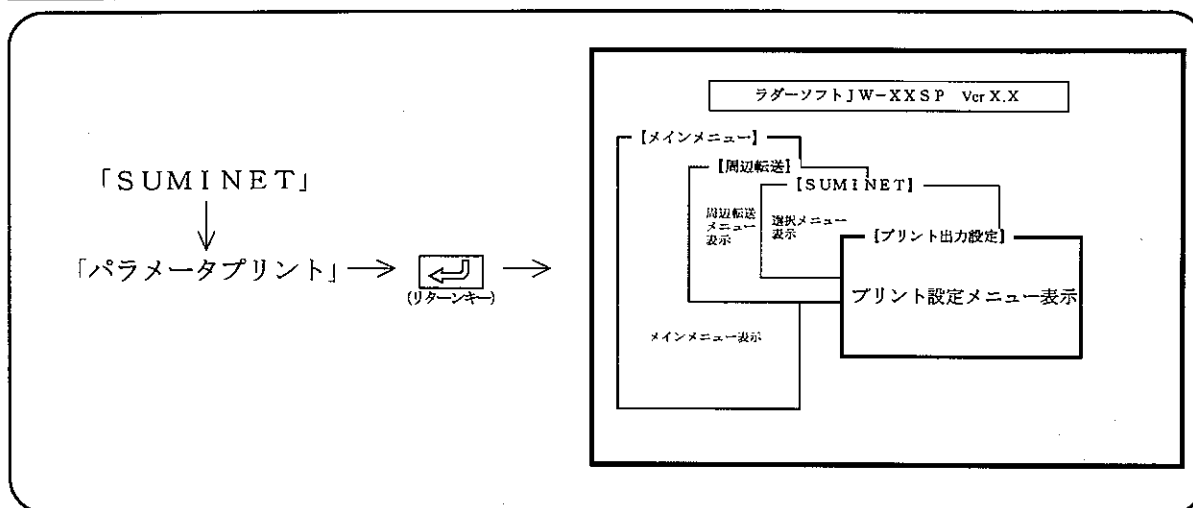
「実行」→ [⏎]（リターンキー）→

設定したパラメータをパソコンのメモリに登録し、ネットワークユニット（ＺＷ－３０ＣＭ）へ書き込む

② 設定したパラメータを登録（書込）しない場合

「中止」→ [⏎]（リターンキー）

（2）ＳＵＭＩＮＥＴパラメータプリント

ネットワークユニット（ＺＷ－３０ＣＭ）のパラメータ内容をプリントします。

操作概要

操作手順１

操　作　例

（１）標　題

「付き」に設定すると、「標題設定」で入力した内容を各ページの右下に付けて印字します。数値キーまたは、カーソル移動キー（［←］［→］）を押し、「無し」／「付き」を選択します。

（２）モード

「高速」に設定すると、印字速度が速くなりますが、標題の縦線等が１～２ドット分、左右上下にずれる場合があります。

数値キーまたは、カーソル移動キー（［←］［→］）を押し、「高速」／「高品位」を選択します。

全リストを印字する場合

・［↵］（リターンキー）を押し、「実行メニュー」で「実行」キーを押すと、ＺＷ－３０ＣＭのパラメータをすべて印字します。

・印字終了すると、画面表示は「ＺＷ－３０ＣＭ」メニューに戻ります。

第10章

印字範囲を指定する場合

（1） ↓ ↑ キーで、カーソルを「開始番号」欄へ移動後、数値キーより開始アドレスを入力します。

（2） ↓ キーで、カーソルを「終了番号」欄へ移動後、数値キーより終了アドレスを入力します。

（3） ⏎ （リターンキー）を押し、「実行メニュー」で「実行」キーを押すと開始アドレスより終了アドレスまで印字します。

（4） 印字終了すると、画面表示は「ＳＵＭＩＮＥＴ」メニューに戻ります。

印字途中で停止（終了）する場合

（1） 「停止」キーを押すと、表示中のアドレス印字後、停止します。

（2） 停止している時「終了」キーを押すと、「ＳＵＭＩＮＥＴ」メニューに戻ります。

（3） 停止している時「解除」キーを押すと、「パラメータ印字」を再開します。

留 意 点

・標題付きでプリントされる場合は、9･19ページを参照して「標題設定」を行ってください。

・パラメータはＰＣ－ＰＲ２０１Ｈ（日本電気製）、ＥＳＣ／Ｐ（エプソン製）およびＬＩＰＳⅡ＋（キヤノン製）と互換性のプリンタでプリントできます。

プリント例

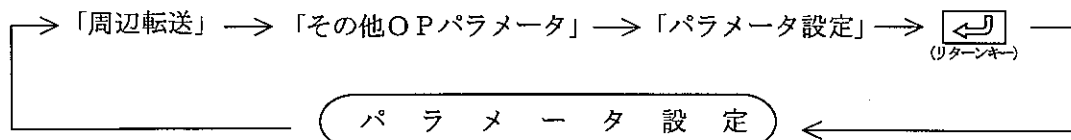
＜ＺＷ－３０ＣＭパラメーター覧表＞

アドレス	76543210	16進	10進	8進	内　　容
000000	00110100	34	052	064	（下位）リフレッシュエリアリレーリンクとレジスタリンク
000001	00010010	12	018	022	（上位）（１２３４）
000002	00000001	01	001	001	リフレッシュエリアファイル番号：１
000003	00000000	00	000	000	
000004	00000000	00	000	000	リフレッシュしない
000005	00000000	00	000	000	
000006	01101111	6F	111	157	リフレッシュバイト数：１１１
000007	00000000	00	000	000	
000010	11111111	FF	255	377	（下位）読出完了フラグ先頭アドレス
000011	11111111	FF	255	377	（上位）（ＦＦＦＦ）
000012	10000111	87	135	207	ファイル番号：７　フラグＯＮ使用する
000013	00000000	00	000	000	
000014	00000000	00	000	000	
000015	00000000	00	000	000	
000016	00000000	00	000	000	
000017	00000000	00	000	000	

アドレス	76543210	16進	10進	8進	内　　容
003770	00000000	00	000	000	
003771	00000000	00	000	000	
003772	00000000	00	000	000	
003773	00000000	00	000	000	
003774	00000000	00	000	000	
003775	00000000	00	000	000	
003776	00000000	00	000	000	パラメータＢＣＣコード
003777	00000001	01	001	001	動作スタート

１０－５ その他ＯＰパラメータ設定

パラメータアドレスを参照しながら設定する方法です。

操作概要

操作手順

・ROLL UP（次画面）、ROLL DOWN（前画面）キーで、表示内容を切り替えられます。

操作例

① 「アドレス」キーを押し、アドレスを入力します。

② [↵]（リターンキー）を押し、アドレスを確定します。

③ 設定値を入力します。（設定値は、「コード変換」キーで、ＨＥＸ→８進→１０進→２進→→ＪＩＳと切り替えられます。）

④ 設定値を入力後、「書込」キーでメモリに書き込みます。

第10章

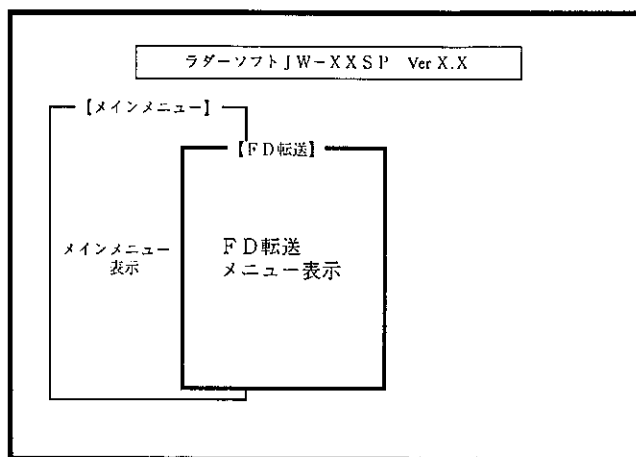
留意点

・「ワード」キーで、バイト→ワード→ダブルワードの切り替えができます。
・「書込」は、SHIFT ＋ [↵] キーでも可能です。
・「終了」キーを押すと、「周辺転送」メニューに戻ります。

第11章　ＦＤ転送

・ユーザーディスク（ＦＤ）へ、プログラム・システムメモリ等の書き込みおよび、読み出し・照合等を行うモードです。
・パソコンで作成したデータ（プログラム・システムメモリ等）は、必ずＦＤで保存してください。

キー操作

画面表示

※ＦＤ転送は、メインメニューおよびプログラム編集、モニタ、プリント、周辺転送、初期設定の各モードから選択できます。

機　能

名　称	機　能	参照ページ
書　込	・パソコンで作成したプログラム、システムメモリ等データをユーザーディスクに書き込む	11･3
読　出	・ユーザーディスク内に登録しているファイル（プログラム、システムメモリ等）を読み出す	11･5
照　合	・パソコン内のデータ（プログラム、システムメモリ等）と、ユーザーディスクに登録しているデータを照合	11･6
削　除	・ユーザーディスクに登録しているファイルをファイル名単位で削除	11･7
複　写	・ユーザーディスクに登録しているデータを別のユーザーディスクに複写	11･8
変　更	・ファイル名称を変更	11･10
初期化	・ユーザーディスクの初期化（フォーマット）	11･2

留意点

・ ESC キーを押すと、各モードのメニュー表示に戻ります
・各メニューは、数値キーまたはカーソル移動キーで選択できます。

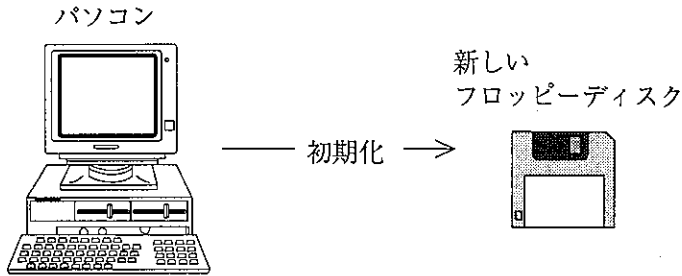
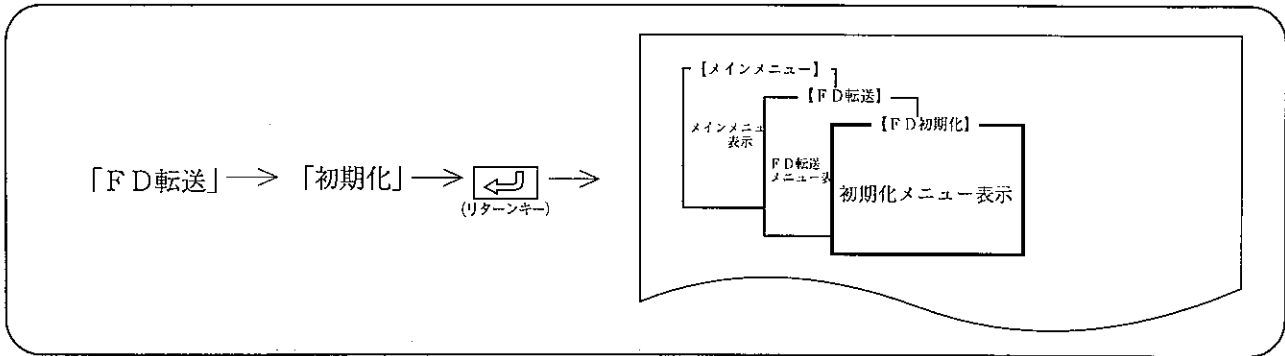
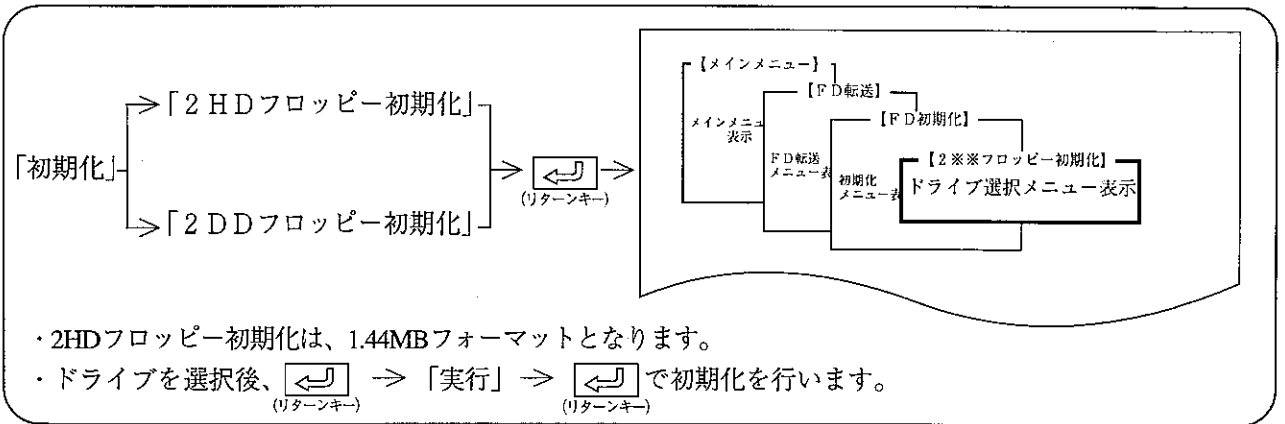
（1）初期化

ユーザーディスクとして使用できるフロッピーディスクは、下記操作で初期化したディスク、またはDOSフォーマットしたディスクです。

操作手順１

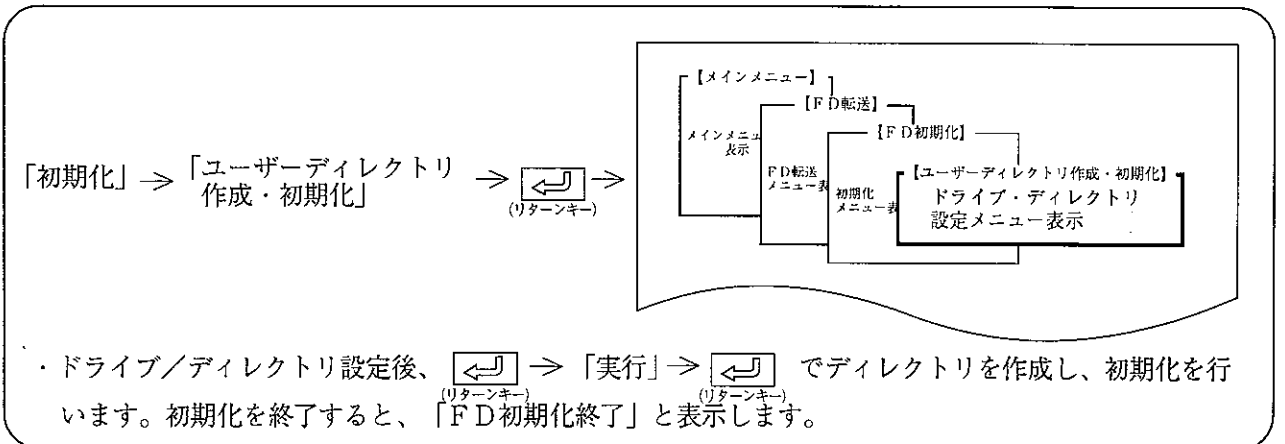
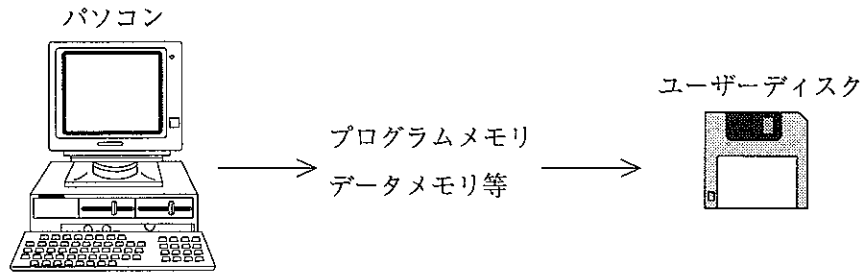
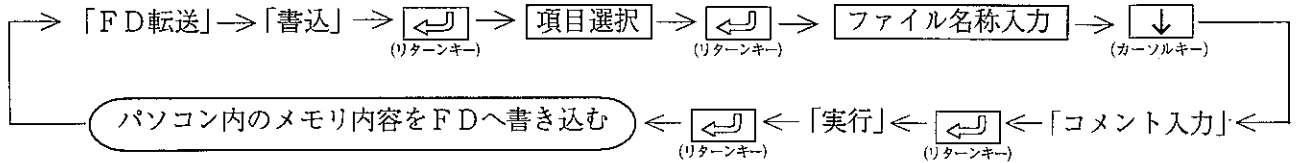
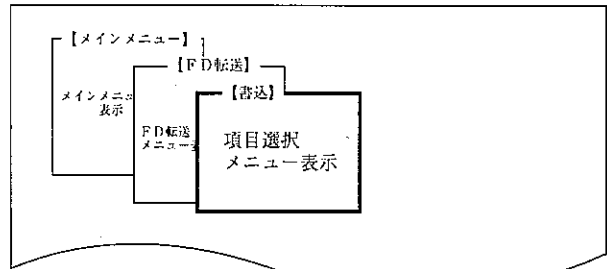
操作手順２

・2HDフロッピー初期化は、1.44MBフォーマットとなります。

・ドライブを選択後、(リターンキー) →「実行」→ (リターンキー) で初期化を行います。

操作手順３（初期化メニューで、「ユーザーディレクトリ作成・初期化」を選択した場合）

・ドライブ／ディレクトリ設定後、(リターンキー) →「実行」→ (リターンキー) でディレクトリを作成し、初期化を行います。初期化を終了すると、「ＦＤ初期化終了」と表示します。

第11章

（2）書　込

パソコンのメモリ内容（プログラム、データ等）をユーザーディスクに書き込みます。

操作概要

操作手順１

名　称	内　容
プログラムメモリ	プログラムメモリをユーザーディスクへ書き込む
システムメモリ	システムメモリをユーザーディスクへ書き込む
データメモリ	データメモリをユーザーディスクへ書き込む
コメントメモリ	コメントメモリをユーザーディスクへ書き込む
クロスリファレンス	クロスリファレンスをユーザーディスクへ書き込む
本体パラメータ	パラメータメモリをユーザーディスクへ書き込む
ファイルメモリ	ファイルメモリをユーザーディスクへ書き込む
表紙	プリント表紙の内容をユーザーディスクへ書き込む
標題	プリント標題の内容をユーザーディスクへ書き込む
リモート親局パラメータ	データリンク親局のパラメータをユーザーディスクへ書き込む
リモート子局パラメータ	データリンク子局のパラメータをユーザーディスクへ書き込む
データリンク親局パラメータ	データリンク親局のパラメータをユーザーディスクへ書き込む
データリンク子局パラメータ	データリンク子局のパラメータをユーザーディスクへ書き込む
ME-NET親局パラメータ	ME-NET親局のパラメータをユーザーディスクへ書き込む
ME-NET子局パラメータ	ME-NET子局のパラメータをユーザーディスクへ書き込む
SUMINETパラメータ	ネットワークユニットＺＷ－３０ＣＭのパラメータをユーザーディスクへ書き込む
その他パラメータ	その他パラメータをユーザーディスクに書き込む
コメント(Ver 4.0形式)	コメントメモリを本ソフトのVer 4.0以前の機種のフォーマットで書き込む
終了	ESCキーを押すと「ＦＤ転送」メニューに戻る

操作手順２

「書込」 ―→「項目選択」―→ [⏎] ―→
(リターンキー)

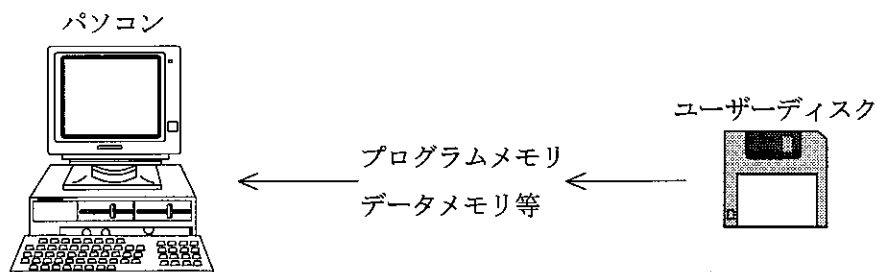
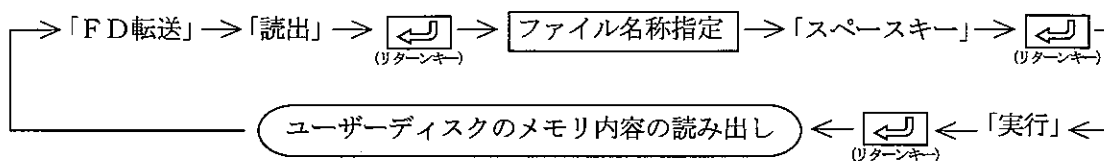
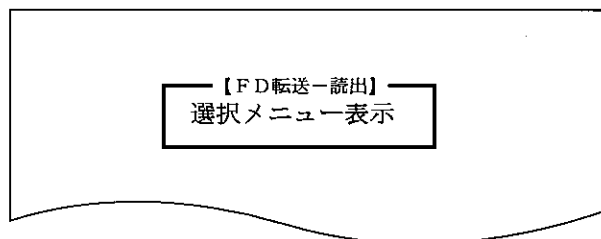
【ファイル名称指定】
ファイル名入力メニュー表示

・ＦＤに登録しているファイル名・内容等を表示します。更新登録するときは、カーソル移動キー（ [↓] [↑] ）とスペースキーで選択してください。
・ファイル名は、全角文字４文字（半角文字８文字）以内で入力してください。
・コメントは、全角文字１５文字（半角文字３０文字）以内で入力してください。
・ファイル名、コメント入力後それぞれ [⏎]（リターン）キーを押すと入力した内容となります。
・「実行」を選択後、 [⏎]（リターン）キーを押すと、ユーザーディスクへの書込を開始します。
・書込を終了すると、「書込終了」と表示します。
・ユーザーディスクのドライブ・ディレクトリを変更する場合はＦ１「ドライブ」キーにて変更してください。
・コメント（Ver 4.0形式）で書込すると、シンボルは半角６文字、コメントは半角２４文字となります。
・JW32H/H1、JW33H/H1、JW33H2/H3のとき、ファイルメモリの書込範囲を指定できます。
「先頭ファイル番号」及び「終了ファイル番号」を入力して行ってください。

留 意 点

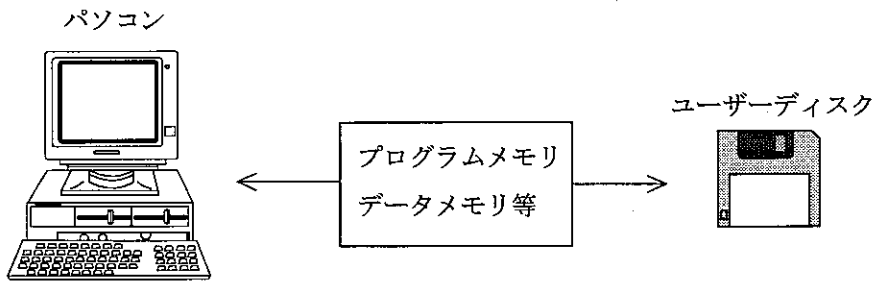
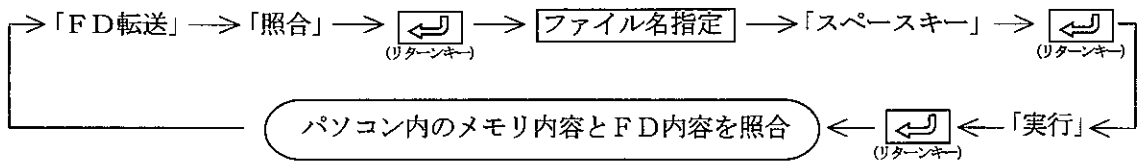
・プログラムメモリとパラメータメモリは必ずユーザーディスクへ書き込んで保存してください。

（3）読　出

ユーザーディスクに登録している内容（プログラムメモリ、システムメモリ等）をパソコンのメモリに読み出します。

操作概要

操作手順

・ＦＤに登録しているファイル名・内容等を表示します。カーソル移動キー（ ↓ ↑ ）とスペースキーで読み出すファイル名を選択してください。
・同じファイル名であれば、「プログラム」「データ」等複数の内容を同時に選択し、読み出せます。
・ファイル名を選択後、⏎「実行」⏎ のキー操作でパソコンのメモリに読み出します。
・読み出しを終了すると、「読出終了」と表示します。
・ユーザーディスクのドライブ・ディレクトリを変更する場合はＦ１「ドライブ」キーにて変更してください。

第11章

（4）照　合

パソコンのメモリ内容とユーザーディスクの登録内容を照合します。

操作概要

操作手順

・FDに登録しているファイル名・内容等を表示します。カーソル移動キー（ ↓ ↑ ）とスペースキーで照合するファイル名を選択してください。

・同じファイル名であれば、「プログラム」「データ」等複数の内容を同時に選択し、照合できます。

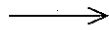
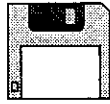
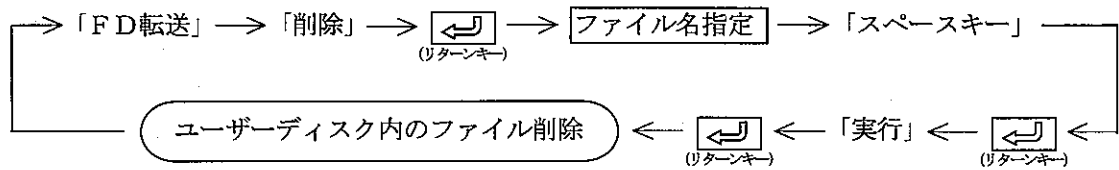
・ファイル名を選択後、 ⏎ 「実行」 ⏎ のキー操作でパソコンのメモリ内容と照合します。

・照合を終了すると、「照合終了」と表示します。

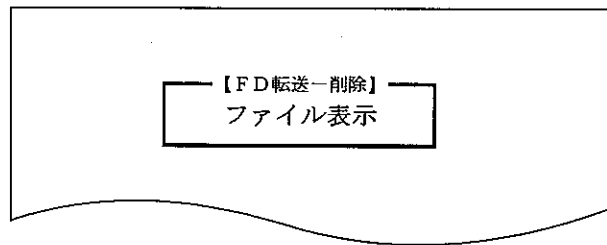
・ユーザーディスクのドライブ・ディレクトリを変更する場合はF１「ドライブ」キーにて変更してください。

第11章

（5）削　除

ユーザーディスクに登録（保存）しているファイルを削除します。

操作概要

操作手順

「FD転送」 → 「削除」 → [⏎](リターンキー) →

【FD転送－削除】
ファイル表示

・FDに登録しているファイル名・内容等を表示します。カーソル移動キー（ [↓] [↑] ）とスペースキーで削除するファイル名を選択してください。

・同じファイル名であれば、「プログラム」「データ」等複数の内容を同時に選択し、削除できます。

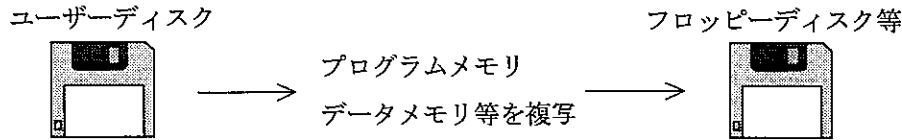
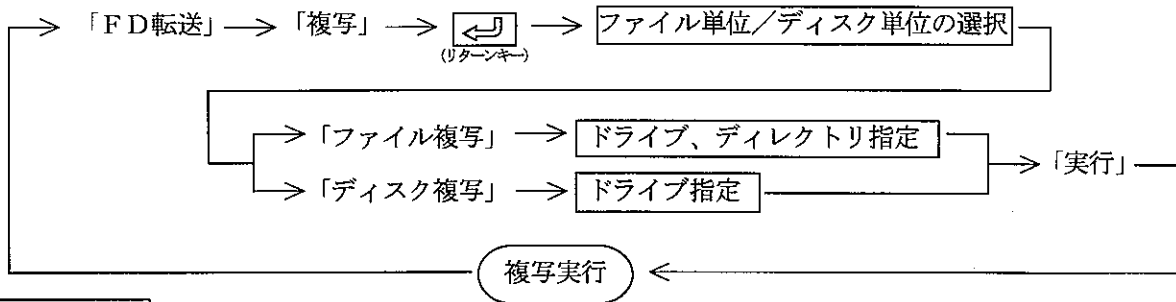
・ファイル名を選択後、[⏎] 「実行」 [⏎] のキー操作で選択したファイルを削除します。

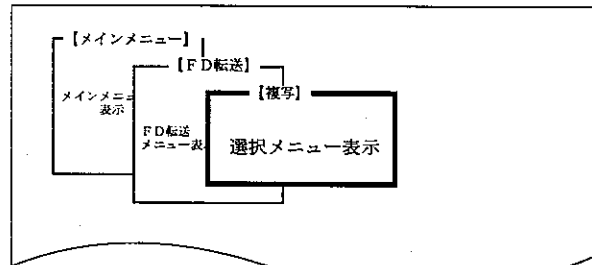
・削除を終了すると、「削除終了」と表示します。

・ユーザーディスクのドライブ・ディレクトリを変更する場合はF１「ドライブ」キーにて変更してください。

第11章

（6）複　写

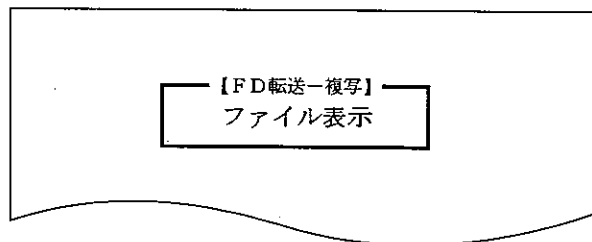
ユーザーディスクの内容を、ファイル単位または、ディスク単位で指定先のディレクトリに複写します。複写時自動照合します。

操作概要

操作手順1

「FD転送」→「複写」→ ⏎ (リターンキー) →

・「ファイル複写」または、「ディスク複写」を選択後、⏎（リターンキー）を押します。

操作手順2

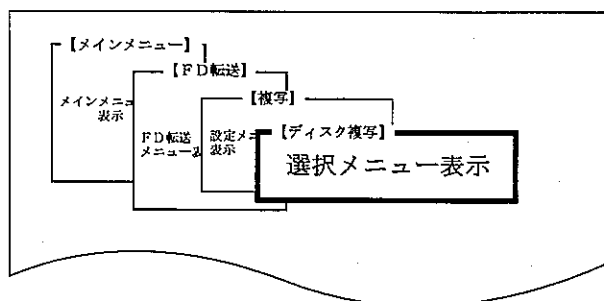
（ファイル複写の場合）

「複写」→「ファイル複写」→ ⏎ (リターンキー) →

【FD転送－複写】
ファイル表示

・登録しているファイル名・内容等を表示します。カーソル移動キー（ ↓ ↑ ）とスペースキーで複写するファイル名を選択してください。
・複数の内容を同時に選択し、複写できます。
・ファイル名を選択後、「複写先ドライブ」「複写先ディレクトリ」を指定し、⏎（リターンキー）を押し、「実行」⏎（リターンキー）のキー操作で複写を開始します。
・複写を終了すると、「複写終了」と表示します。
・ユーザーディスクのドライブ・ディレクトリを変更する場合はＦ１「ドライブ」キーにて変更してください。

第11章

操作手順３ （ディスク複写の場合）

「複写」→「ディスク複写」→ [⏎] →
（リターンキー）

・転送（複写）元のドライブ番号および転送（複写）先のドライブ番号をカーソル移動キー（[←] [→]）で選択します。

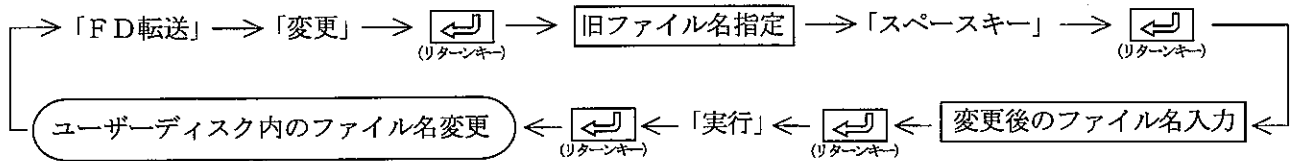
・転送（複写）元／先のドライブ番号選択後、[⏎]（リターンキー）を押し、「実行」[⏎]（リターンキー）のキー操作で複写を開始します。

・複写を終了すると、「複写終了」と表示します。

第11章

（7）ファイル名変更

ユーザーディスクに登録しているファイル名を変更します。

操作概要

操作手順

・ＦＤに登録しているファイル名・内容等を表示します。カーソル移動キー（ ↓ ↑ ）とスペースキーで変更するファイル名を選択してください。

・変更後ファイル名は、全角文字４文字（半角文字８文字）以内で入力してください。

・変更後のファイル名を入力後、 (リターンキー）を押し、「実行」 (リターンキー）のキー操作でファイル名を変更します。

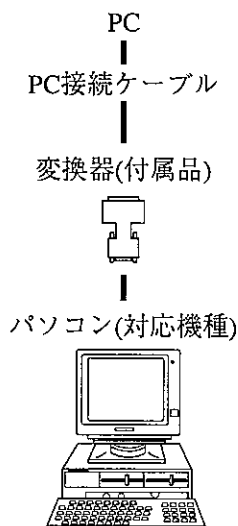
・変更を終了すると、「変更終了」と表示します。

・ユーザーディスクのドライブ・ディレクトリを変更する場合はＦ１「ドライブ」キーにて変更してください。

第11章

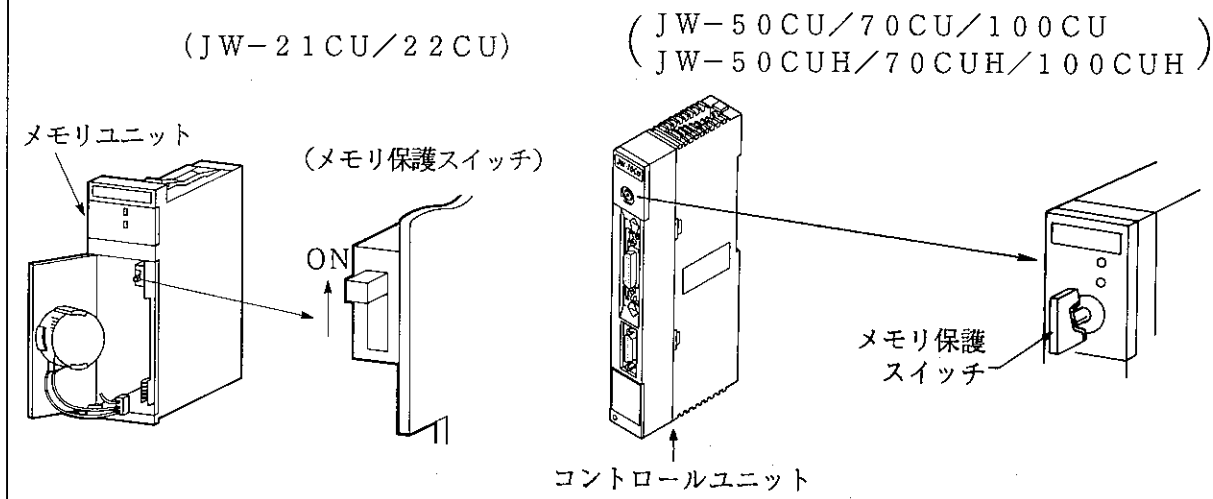
第１２章　ＰＣ転送

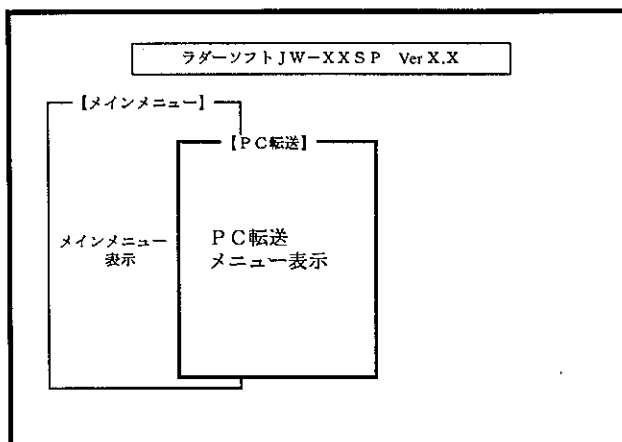
ＰＣとパソコン間でプログラム、データ等の転送および、ＰＣの運転／停止操作等を行うモードです。
ＰＣ転送を行う前に、ＰＣとパソコン間を接続してください。

接続方法

・変換器(付属品)をパソコンのRS-232CコネクタとＰＣ接続ケーブルに接続してください。(3・1ページ参照)

留意点

・ＰＣ電源がON状態でＰＣ接続ケーブルを着脱する場合は、メモリ保護スイッチをONにしてください。

第12章

キー操作

画面表示

※ ＰＣ転送は、メインメニューおよびプログラム編集、モニタ、プリント、周辺転送、初期設定の各モードから選択できます。

機　能

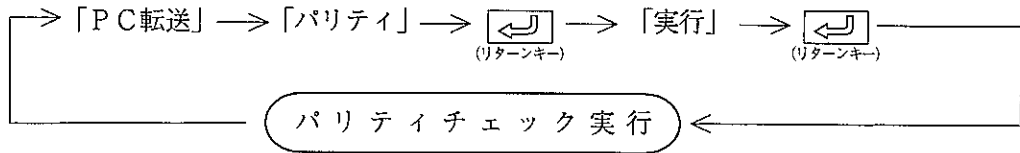
名　称	名　称	参照ページ
パリティ	・ＰＣ本体のパリティチェック	12･3
書　込	・パソコンで作成したプログラム、システムメモリ等のデータをＰＣに書き込む	12･5
読　出	・ＰＣのメモリ内容（プログラム、システムメモリ等）を読み出す	12･7
照　合	・パソコン内のデータ（プログラム、システムメモリ等）と、ＰＣのメモリ内容を照合	12･10
時刻表示	・ＰＣの設定時刻（年・月・日・曜日・時・分・秒）を表示	12･12
ＰＣ運転	・ＰＣ本体を運転状態に設定	12･14
ＰＣ停止	・ＰＣ本体を停止状態に設定	12･15
ＰＣ操作	・ＥＥＰＲＯＭの読み出し／書き込み等	12･16

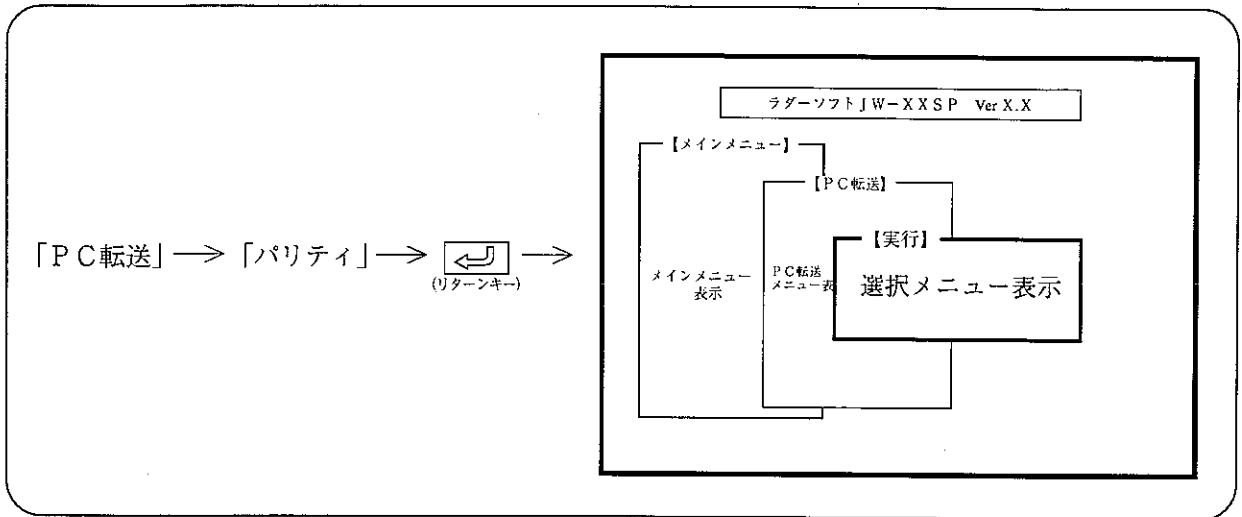
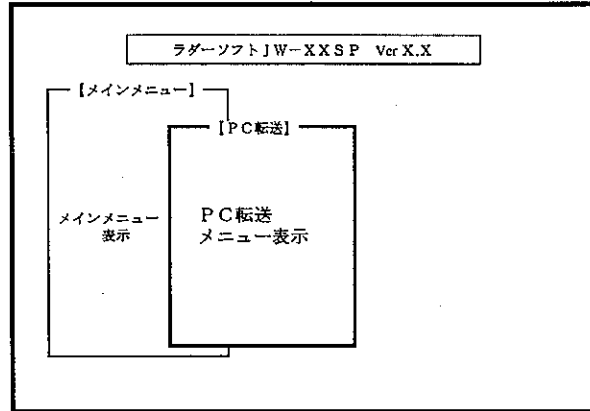
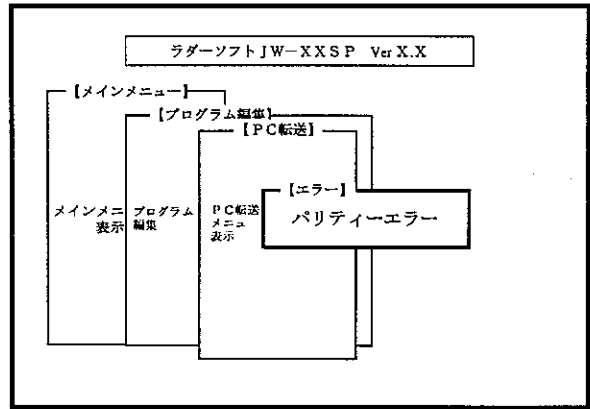
留意点

- ＰＣ操作の機能はＰＣ機種設定がWシリーズのとき操作できません。
- 「初期設定」の通信設定で設定したユニット（ＰＣ本体、ネットワークユニット等）と接続してください。
- ESC キーを押すと、各モードのメニュー表示に戻ります。
- 各メニューは、数値キーまたは、カーソル移動キーで選択できます。

（1）パリティ（W10、JW10、JW30Hを除く機種）

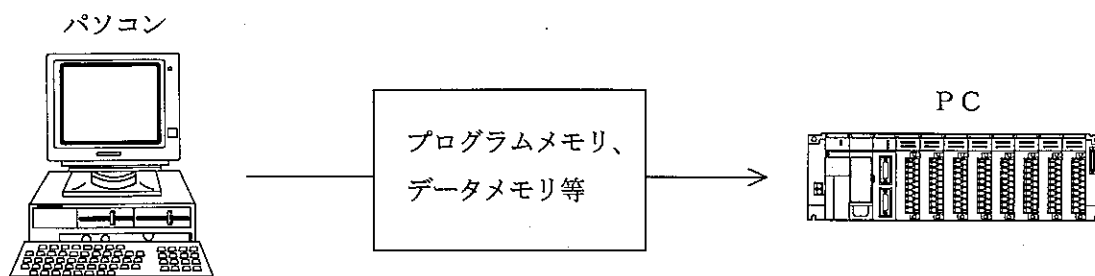
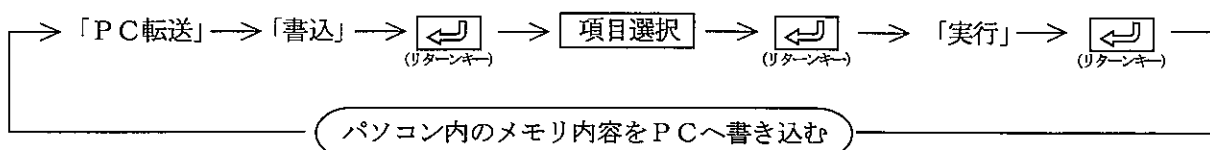
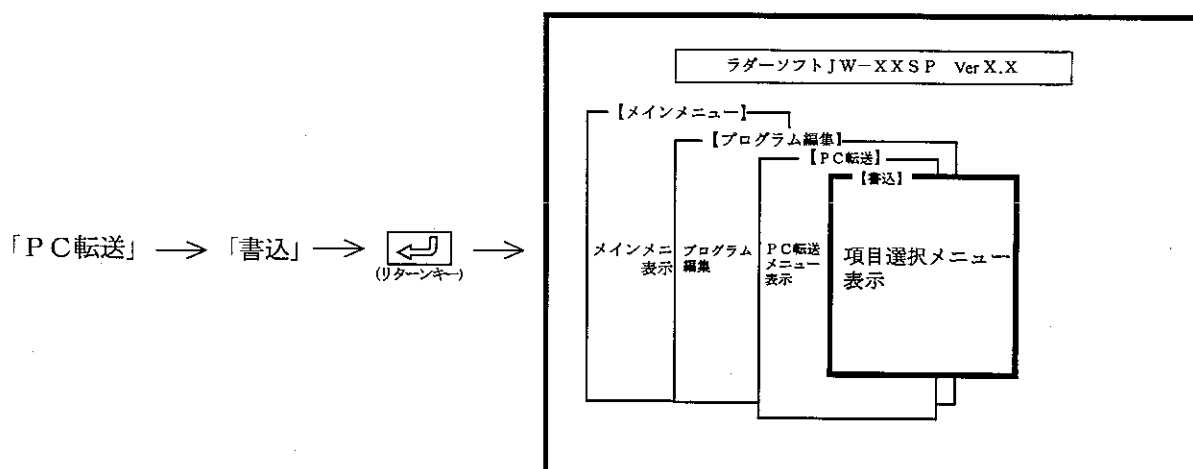
プログラムのパリティチェックを行います。

操作概要

操作手順1

第12章

操作手順2

・エラーがある場合は、「パリティエラー」と表示しますので、ESC キーでメニュー表示に戻り、「最終アドレスにＥＮＤ命令を書き込む」、「プログラムの再転送」等を行ってください。

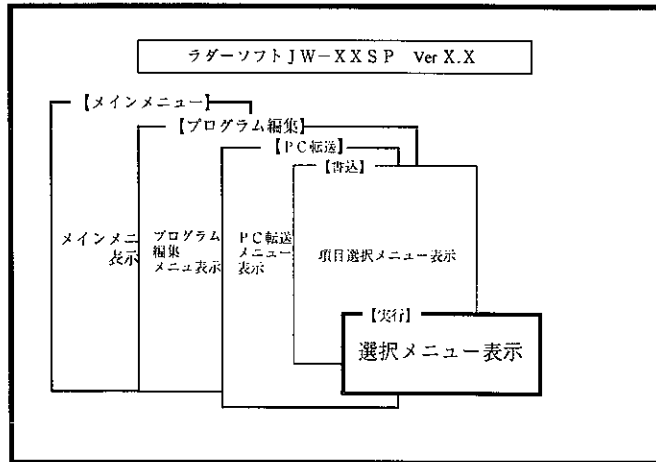
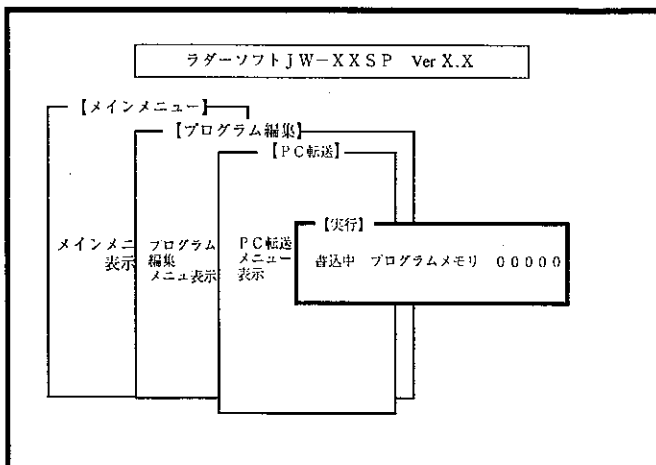
第12章

（2）書　込

パソコンのメモリ内容（プログラム、データ等）をＰＣのメモリに書き込みます。

操作概要

操作手順１

名　　称	内　　　　容
プログラムメモリ※	・パソコン内のプログラムメモリをＰＣのメモリに書き込む
システムメモリ	・パソコン内のシステムメモリをＰＣのメモリに書き込む
データメモリ	・パソコン内のデータメモリをＰＣのメモリに書き込む
コメントメモリ	・パソコン内のコメントメモリをＰＣのメモリに書き込む
パラメータメモリ	・パソコン内の本体パラメータメモリをＰＣのメモリに書き込む
ファイルメモリ	・パソコン内のファイルメモリをＰＣのメモリに書き込む

※　JW70H／100Hでシステムメモリ#0255＝11(H)のROM運転時には、プログラムの書込はできません。
（「ROM運転中」と表示）

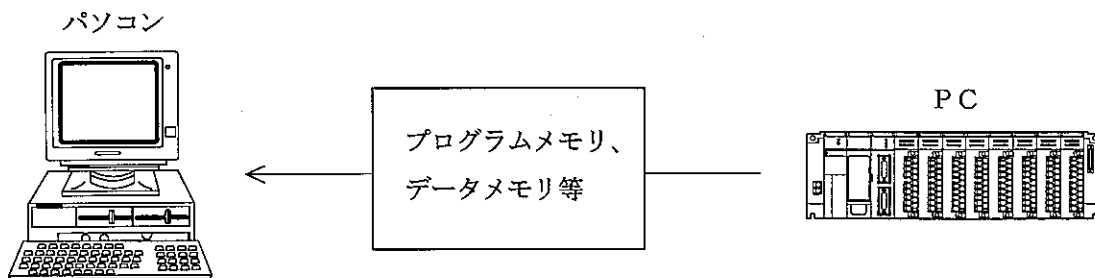
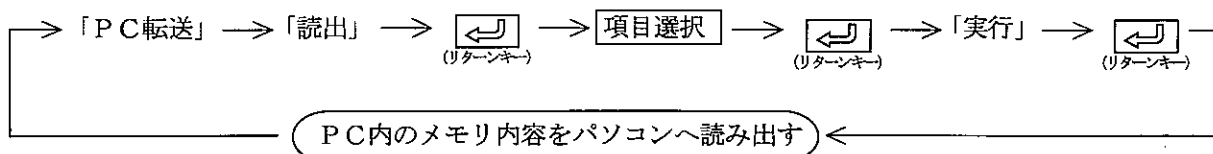
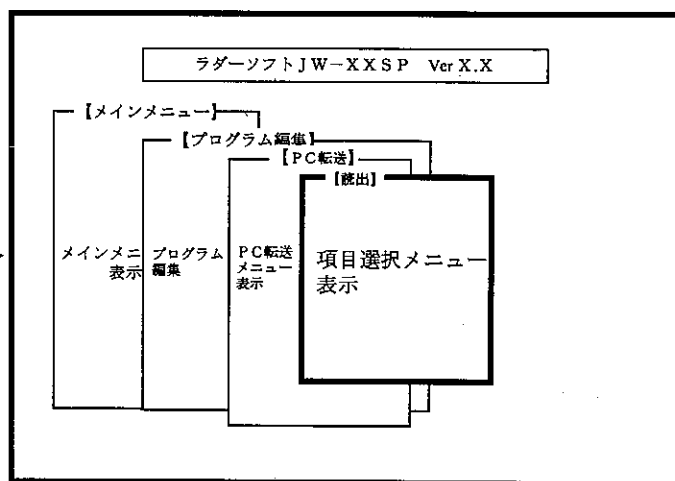
第12章

リモート親局パラメータ	・パソコン内のＺＷ／ＪＷ－２０ＣＭのパラメータ（リモート親局）をＰＣのメモリに書き込む
リモート子局パラメータ	・パソコン内のＺＷ／ＪＷ－２０ＣＭのパラメータ（リモート子局）をＰＣのメモリに書き込む
データリンク親局パラメータ	・パソコン内のＺＷ－２０ＣＭ、ＪＷ－２０ＣＭ／２２ＣＭのパラメータ（データリンク親局）をＰＣのメモリに書き込む
データリンク子局パラメータ	・パソコン内のＺＷ－２０ＣＭ、ＪＷ－２０ＣＭ／２２ＣＭのパラメータ（データリンク子局）をＰＣのメモリに書き込む
ＭＥ－ＮＥＴ親局パラメータ	・パソコン内のＺＷ－２０ＣＭ２、ＪＷ－２０ＭＮ／２１ＭＮのパラメータ（ＭＥ－ＮＥＴ親局）をＰＣのメモリに書き込む
ＭＥ－ＮＥＴ子局パラメータ	・パソコン内のＺＷ－２０ＣＭ２、ＪＷ－２０ＭＮ／２１ＭＮのパラメータ（ＭＥ－ＮＥＴ親局）をＰＣのメモリに書き込む
ＳＵＭＩＮＥＴパラメータ	・パソコン内のＺＷ－３０ＣＭのパラメータをＰＣのメモリに書き込む
その他パラメータ	・パソコン内の親局のパラメータをＰＣのメモリに書き込む

・書き込み中は、プログラムアドレス、シンボル・コメント数等を表示します。
・書き込み終了すると、「書込終了」と表示します。

留意点

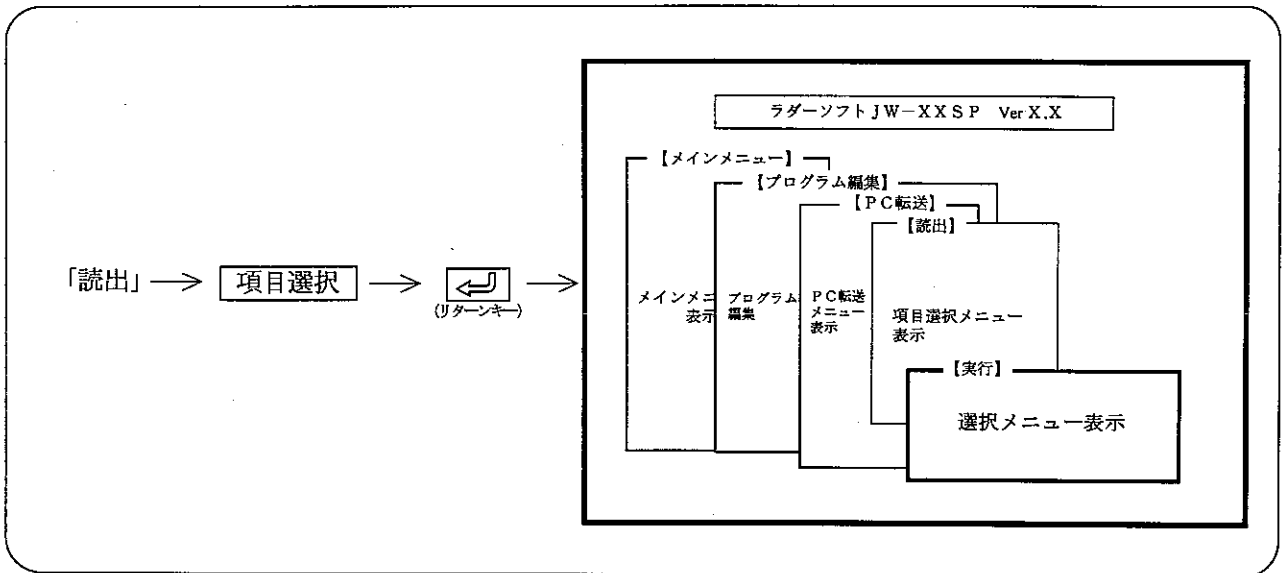
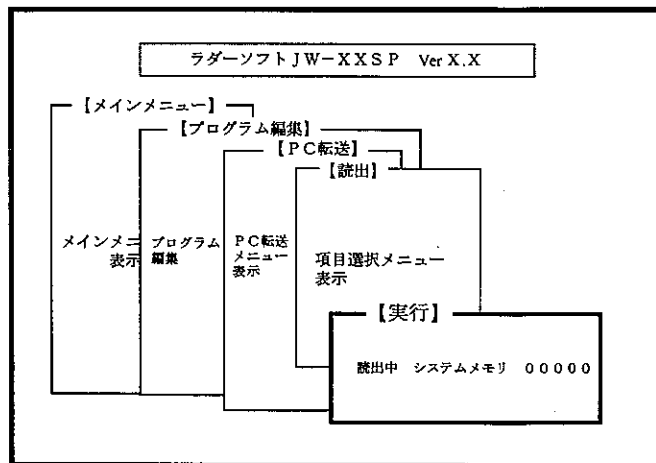
・ＰＣへの書き込みは、「ＰＣ停止」後、行ってください。
・ファイル番号「０」は、設定できません。

（3）読　出

ＰＣのメモリ内容（プログラム、データ等）をパソコンのメモリに読み出し（再生）ます。

操作概要

操作手順１

名　称	内　容
プログラムメモリ	・ＰＣのプログラムメモリをパソコンのメモリに読み出す
システムメモリ	・ＰＣのシステムメモリをパソコンのメモリに読み出す
データメモリ	・ＰＣのデータメモリをパソコンのメモリに読み出す
コメントメモリ	・ＰＣのコメントメモリをパソコンのメモリに読み出す
パラメータメモリ	・本体パラメータメモリをパソコンのメモリに読み出す
ファイルメモリ	・ＰＣのファイルメモリをパソコンのメモリに読み出す

リモート親局パラメータ	・リモート親局のパラメータをパソコンのメモリに読み出す
リモート子局パラメータ	・リモート子局のパラメータをパソコンのメモリに読み出す
データリンク親局パラメータ	・データリンク親局のパラメータをパソコンのメモリに読み出す
データリンク子局パラメータ	・データリンク子局のパラメータをパソコンのメモリに読み出す
ME－NET親局パラメータ	・ME－NET親局のパラメータをパソコンのメモリに読み出す
ME－NET子局パラメータ	・ME－NET子局のパラメータをパソコンのメモリに読み出す
SUMINETパラメータ	・ZW－30CMのパラメータをパソコンのメモリに読み出す
その他パラメータ	・親局ユニットのパラメータをパソコンのメモリに読み出す

操作手順2

第12章

操作手順３

・読み出し中は、プログラムアドレス、シンボル・コメント数等を表示します。

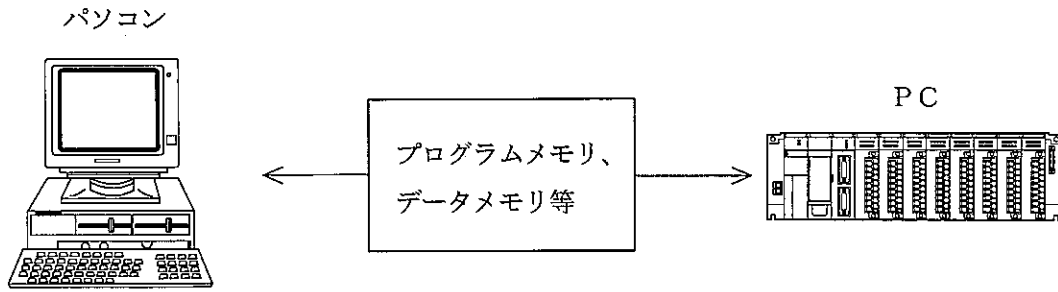
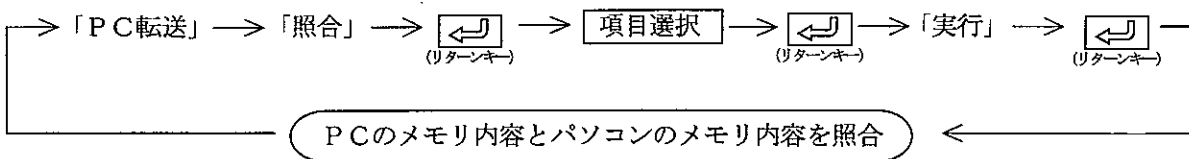
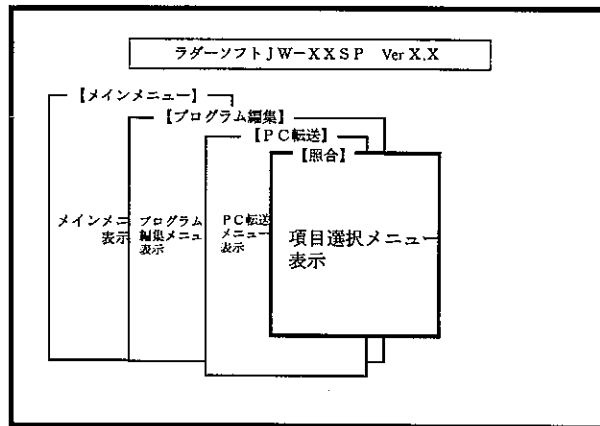
・読み出し終了すると、「読出終了」と表示します。

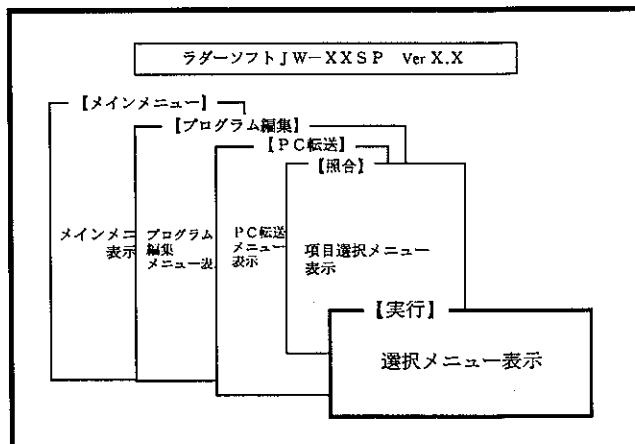
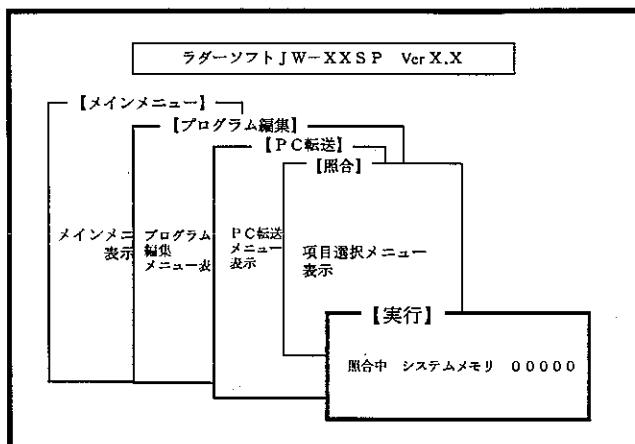
留　意　点

・ＰＣ転送で、読み出し操作を行う前にパソコン内のメモリ内容を「ＦＤ転送」（11・1ページ）で、ユーザーディスクに保存してください。（ＰＣ転送で「読出」を行うと、パソコンのメモリ内容は、読み出した内容に書き代ります。）

・ファイル番号「０」は設定できません。

（4）照　合

ＰＣのメモリ内容（プログラム、データ等）とパソコンのメモリ内容を照合します。

操作概要

操作手順１

名　　称	内　　　　容
プログラムメモリ	・ＰＣのプログラムメモリとパソコンのプログラムメモリを照合
システムメモリ	・ＰＣのシステムメモリとパソコンのシステムメモリを照合
データメモリ	・ＰＣのデータメモリとパソコンのデータメモリを照合
コメントメモリ	・ＰＣのコメントメモリとパソコンのコメントメモリを照合
パラメータメモリ	・本体パラメータメモリとパソコンのパラメータメモリを照合
ファイルメモリ	・ＰＣのファイルメモリとパソコンのファイルメモリを照合

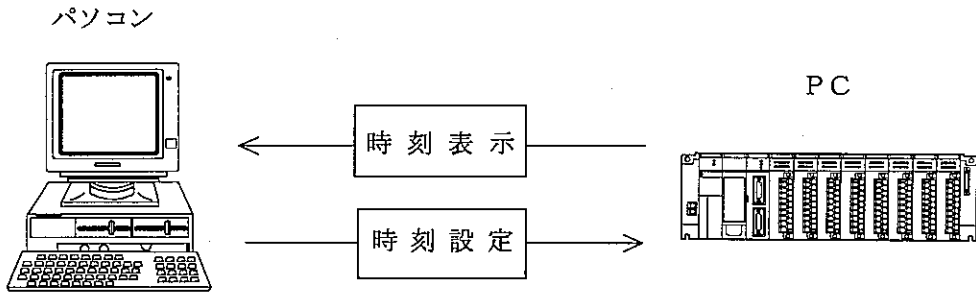
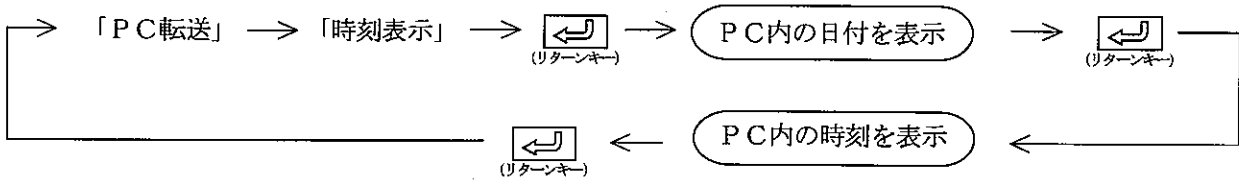
操作手順2

操作手順3

・照合中は、プログラムアドレス、シンボル・コメント数等を表示します。
・照合終了すると、「照合終了」と表示します。

留意点

・ファイル番号「0」は、設定できません。

第12章

（5）時刻表示（JW50/70/100、JW50H/70H/100H、JW10、JW22、JW32H/33H）

ＰＣに設定されている時刻を表示します。

操作概要

操作手順１

・ＰＣ本体に設定されている「時刻」を表示します。

①変更する場合

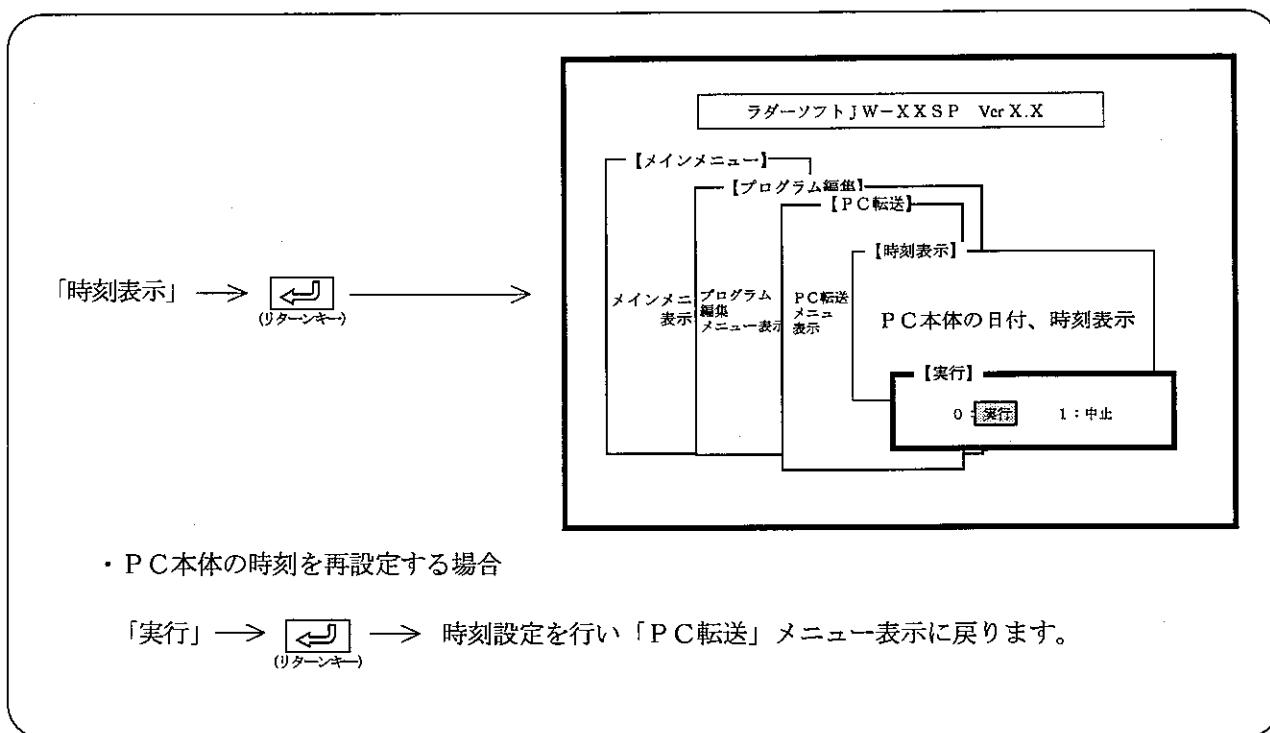
②変更しない場合

(リターンキー) (リターンキー)

第12章

操作手順２

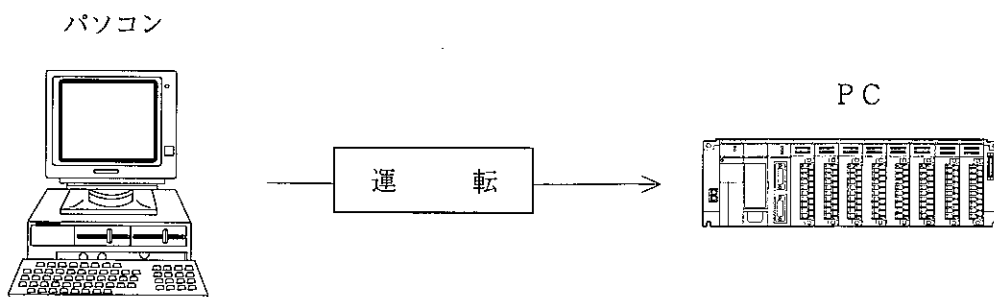
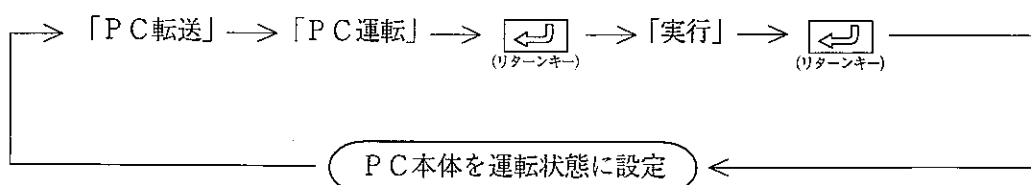
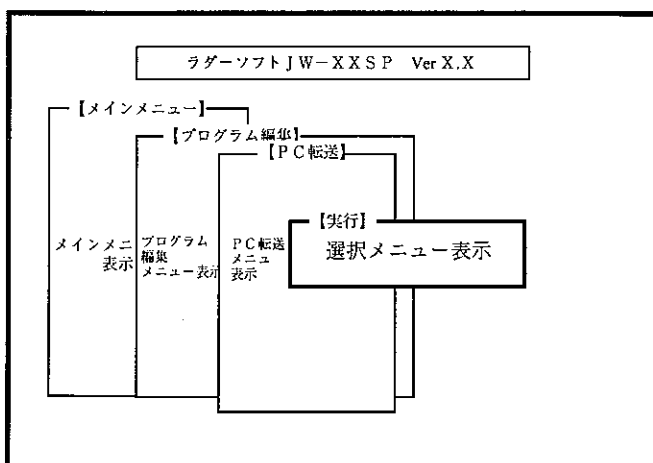
・ＰＣ本体の時刻を再設定する場合

「実行」 ──> [リターンキー] ──> 時刻設定を行い「ＰＣ転送」メニュー表示に戻ります。

留　意　点

・時計機能を持たないＰＣ機種の場合、設定できません。

第12章

（6）ＰＣ運転

ＰＣ本体を運転状態にします。

操作概要

操作手順

・「運転」する場合

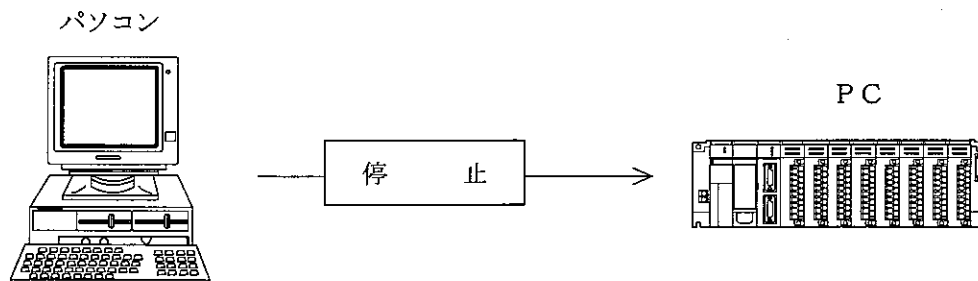
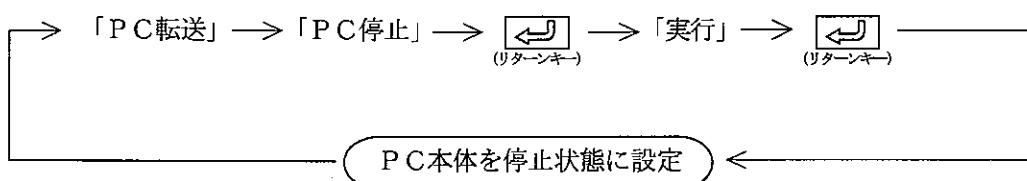
「実行」→ (リターンキー) →「ＰＣ運転」状態となり、「ＰＣ転送」メニューに戻ります。

第12章

留意点

・ＰＣ機種が「ＪＷ５０Ｈ／７０Ｈ／１００Ｈ」のとき、コントロールユニットのメモリ保護スイッチを「ＯＮ」にした状態では「ＣＵプロテクト状態」と表示し、ＰＣ本体の運転／停止状態を変えることはできません。

（7）ＰＣ停止

ＰＣ本体を停止状態にします。

操作概要

操作手順

・「停止」する場合

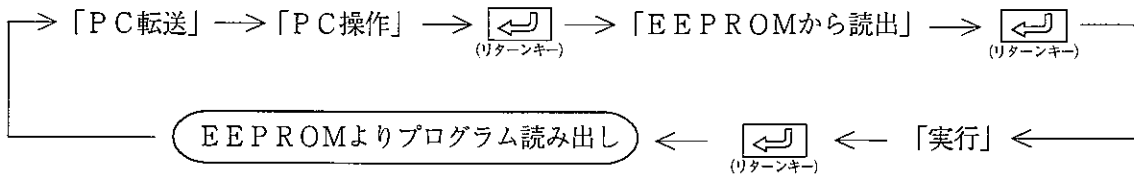
「実行」→（リターンキー）→「ＰＣ停止」状態となり、「ＰＣ転送」メニューに戻ります。

留意点

・ＰＣ機種が「ＪＷ５０Ｈ／７０Ｈ／１００Ｈ」のとき、コントロールユニットのメモリ保護スイッチを「ＯＮ」にした状態では「ＣＵプロテクト状態」と表示し、ＰＣ本体の運転／停止状態を変えることはできません。

（8）ＰＣ操作

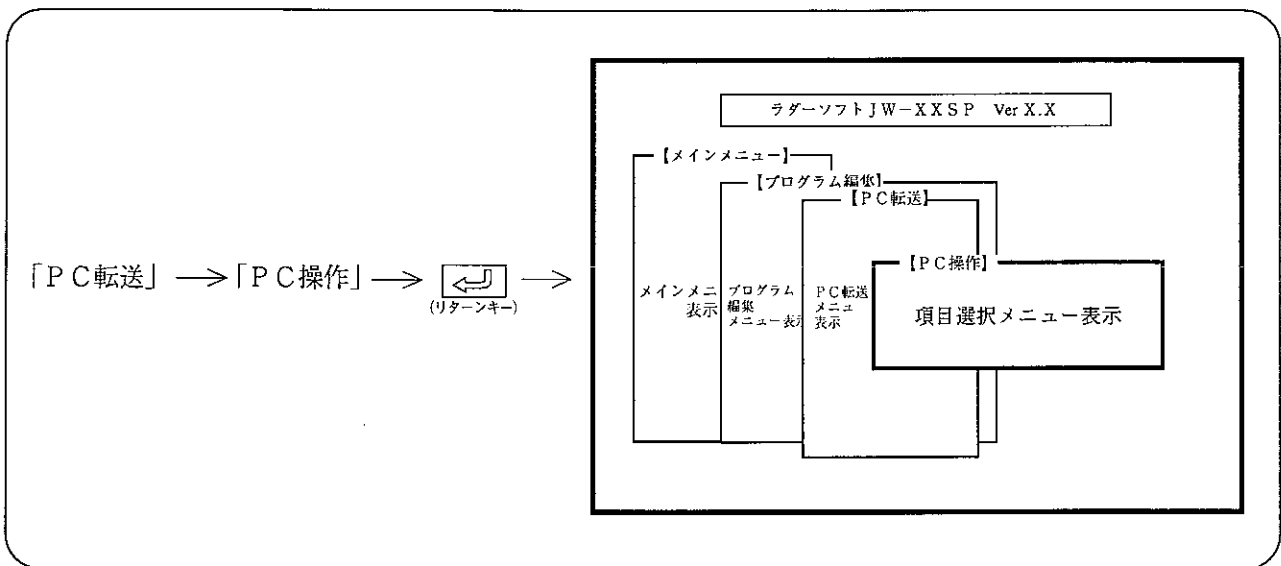
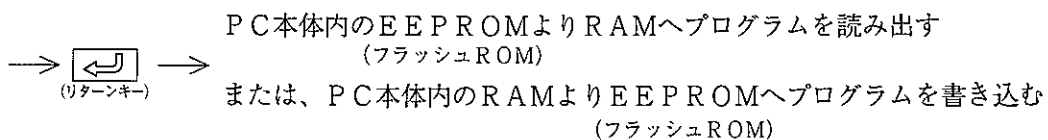
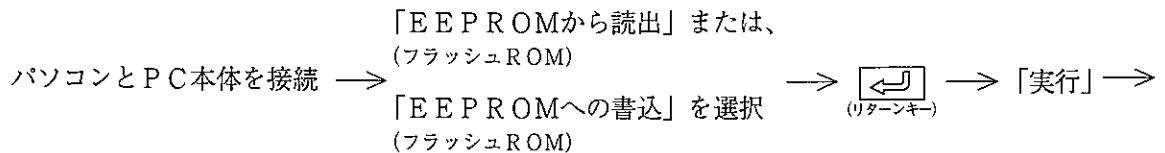
ＥＥＰＲＯＭの読み出し／書き込み、ＣＵのメモリクリア、Ｉ／Ｏテーブルの作成／読み出しを行うモードです。

操作概要

操作手順

操作例

① ＥＥＰＲＯＭ（フラッシュＲＯＭ）の読出／書込

パソコンとＰＣ本体を接続 → 「ＥＥＰＲＯＭから読出」または、（フラッシュＲＯＭ）「ＥＥＰＲＯＭへの書込」を選択（フラッシュＲＯＭ） → [リターンキー] → 「実行」 →

→ [リターンキー] → ＰＣ本体内のＥＥＰＲＯＭ（フラッシュＲＯＭ）よりＲＡＭへプログラムを読み出す
または、ＰＣ本体内のＲＡＭよりＥＥＰＲＯＭ（フラッシュＲＯＭ）へプログラムを書き込む

JW30HのときフラッシュＲＯＭとなります。

第12章

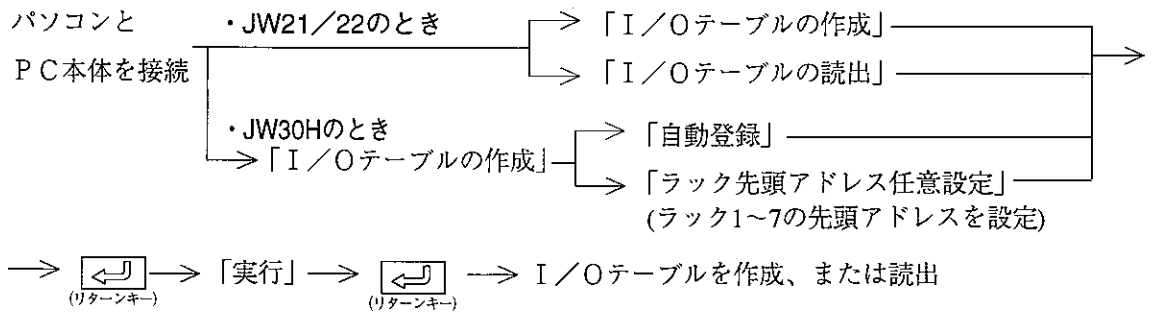
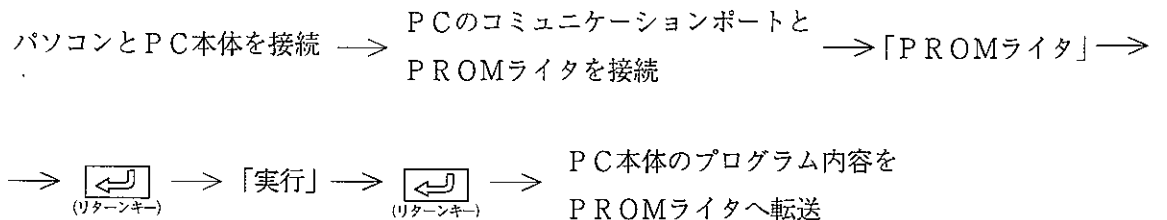
② ＣＵメモリクリア

パソコンとＰＣ本体を接続 ⟶ 「ＣＵメモリクリア」を選択 ⟶ [⏎](リターンキー) ⟶

③ Ｉ／Ｏテーブルの作成／読出 (JW21／22、JW30Hのみ)

④ ＰＣよりＰＲＯＭライタへの転送（ＪＷ２２のみ）

パソコンとＰＣ本体を接続 ⟶ ＰＣのコミュニケーションポートと ＰＲＯＭライタを接続 ⟶「ＰＲＯＭライタ」⟶

⟶ [⏎](リターンキー) ⟶「実行」⟶ [⏎](リターンキー) ⟶ ＰＣ本体のプログラム内容を ＰＲＯＭライタへ転送

・コミュニケーションポートとＰＲＯＭライタの接続方法は、各ＰＣの取扱説明書を参照してください。

⑤ シークレット (JW10、JW30Hのみ)

ＰＣ機種がJW10、JW30HのときＰＣ本体をシークレットすることができます。シークレットＯＮに設定すると、以後パスワードが入力されない限りＰＣの内容（プログラム、システムメモリ等）を見ることができません。
逆に、シークレットＯＦＦ（解除）を行うと、以後ＰＣの内容を見ることができます。

シークレットＯＦＦ後、ＰＣとの処理終了後は、再度シークレットＯＮしなければ、シークレットＯＦＦの状態のままとなりますのでご注意ください。
また、パスワードを忘れた場合にはＰＣのプログラムを参照できなくなりますので、必ずパスワードを控えておいてください。

1. パスワード登録

ＰＣ本体にパスワードを登録します。ＰＣにパスワードを登録後、ＰＣとの処理を行うにはシークレットＯＦＦの操作が必要となります。

パソコンとＰＣ本体を接続 → 「シークレット」 → リターンキー →
→ 「パスワード登録／変更」 → リターンキー → パスワード入力 → 「実行」 →
→ リターンキー → パスワード登録完了

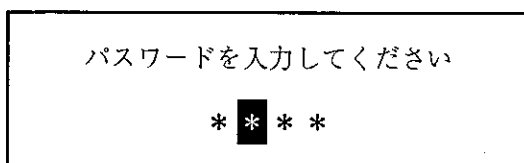
パスワードは４桁の英数字で登録できますが、ハンディプログラマ（JW-13PGなど）も使用する場合は０～９およびＡ～Ｆの範囲で登録してください。
パスワードの変更もこのモードで可能です。

2. シークレットＯＦＦ

ＰＣ本体がシークレットＯＮ状態のときＰＣ本体との処理を行うには、シークレットＯＦＦにしなければなりません。ＰＣとの通信開始前（ＰＣ転送／モニタなど選択時）にパスワードの入力を行ってください。なお、シークレットＯＦＦは、シークレットＯＮにする操作を行うまで有効となります。従って、ＰＣとの処理終了時には、シークレットＯＮの処理を必ず行ってください。

ＰＣとの処理を選択 → パスワード入力 → ＰＣとの処理開始
（ＰＣ転送／モニタなど）

パスワード入力画面

パスワードを入力してください
＊＊＊＊

パスワード入力画面で、「－」キー入力後Ｆ３「メモリクリア」を選択すると、ＰＣ本体のメモリをすべてクリアします。

3.シークレットＯＮ

一旦解除されたシークレットＯＦＦを再度ＯＮにします。

パソコンとＰＣ本体を接続 → 「シークレット」 → リターンキー →
→ 「シークレットＯＮ」 → リターンキー → 「ＯＮ」 → リターンキー →
→ シークレットＯＮ完了

シークレットＯＮにするとシークレットＯＦＦ（パスワード入力）されるまで、ＰＣとの処理はできなくなります。パスワードは、以前に設定されている内容のものとなります。

4. パスワードの消去

設定されているパスワードを消去します。

パソコンとＰＣ本体を接続 → 「シークレット」 → リターンキー →
→ 「パスワード消去」 → リターンキー → 「消去」 → リターンキー →
→ パスワード消去完了

パスワードの消去を行うにもシークレットＯＦＦにする必要があります。

付　録　　メッセージ一覧

〔あ〕

・新しいディスクをドライブ＊にセットし実行キーを押して下さい。

対策　初期化するユーザーディスクをドライブ＊にセットする。

・アドレス

状態　アドレス表示又は、アドレス設定中。

・アドレス順プリント実行中

状態　プリント実行中。

・同じファイル名があります。

原因　ユーザーディスク内にすでに同じファイル名で登録されている。

対策　ファイル名を変更して登録する。

〔か〕

・回路が大きすぎます。

原因　１行の要素が６３個以上である。

対策　補助リレーを使用し、１行の要素を６３個以下に分割する。

・回路が見あたりません。

原因　回路要素が全くない。

・回路が短絡しています。

原因　書き込もうとした回路が短絡している。

・回路が断線しています。接続して下さい。

原因　ＳＴＲ命令とＯＵＴ命令間が正しく接続されていない。

・カーソルを命令語位置に移して下さい。

原因　カーソルが命令語位置以外にあるため、アドレスが確定しない。

対策　カーソルを命令語位置へ移動する。

・機種が異なります。

原因　パソコンに設定しているＰＣと接続先のＰＣ機種が異なる。または、ユーザーディスクから読み出したファイルのＰＣ機種と異なる。

対策　パソコンの設定ＰＣ機種を合わす。

付録

・機種が異なります。＊＊＊に変更しますか？

原因　パソコンに設定しているＰＣと接続先のＰＣ機種が異なる。または、ユーザーディスクから読み出したファイルのＰＣ機種と異なる。

対策　ＰＣ機種を合わせる。

・行の開始部にリレーをセットして下さい。

原因　行の開始部にリレー接点（ＳＴＲ命令）がない。

・クロスリファレンスの書込みができません。

原因　ワークディスク（実行ディスク１等）の空容量が不足しています。

・クロスリファレンスファイル作成終了

状態　クロスリファレンスファイルの作成終了。

・クロスリファレンス作成を行って下さい。

原因　クロスリファレンスファイルが正しく作成されていない。または、別プログラムのファイルである。

対策　クロスリファレンス作成を実行する。

・コイルリスト作成中

状態　コイルリスト作成中

・コメント（入力領域を越えています。）

状態　データメモリのコメント入力中

原因　コメントを２４桁越えて入力した。

対策　入力領域内で再設定する。

・コメントメモリ容量が設定されていません。

原因　システムメモリ＃２２４、＃２２５が設定されていない。

対策　システムメモリ＃２２４、＃２２５でコメントメモリ使用領域を設定する。

・コメントメモリ容量が不足しています。

原因　システムメモリ＃２２４、＃２２５で設定したコメントメモリ容量が不足している。（ＰＣ転送時）

対策　システムメモリ＃２２４、＃２２５の設定値を変更する。（ＰＣ転送時）

原因　ＦＤからの読み出しを正常に行えない。（ＦＤ転送時）

対策　再度ＦＤより読み出しを行う。（ＦＤ転送時）

・構造化領域が多すぎます。

原因　構造化に使用している領域数が多すぎる。

対策　構造化領域を減らす。

〔さ〕

・作成中ＰＡＳＳ

状態　クロスリファレンスファイル作成中。

・削除する要素がありません。

状態　要素削除キーを押したが、削除する要素がない。

・削除するＯＲ線がありません。

状態　ＯＲ削除キーを押したが、削除するＯＲ線がない。

・終了作業中、しばらくお待ちください。

状態　終了作業中。

・出力命令の入力端子が短絡しています。

原因　ＣＮＴのセット／リセット間が短絡している。

・照合エラー

原因　ユーザーディスクと照合時および、ＰＣのメモリと照合時エラーが発生した。

対策　再度読み出し、書き込みを行う。

・時刻の設定が違います。

原因　時刻の設定方法が誤っている。

対策　時刻を正しく設定する。

・実行キーを押してください。ＰＣ運転（ＰＣ停止）

状態　ＰＣ運転または、ＰＣ停止の実行待ち中。

・システムに必要なプログラムがみつかりません。

原因　フロッピーディスクまたは、ハードディスクに必要なプログラムがない。

対策　マスターＦ.Ｄより再度コピーする。

・システムの読み込み中

状態　ＪＷ－５２ＳＰのシステム読み込み中。

・システム読み込み中　システムの読み込みを行っています。しばらくおまちください。

状態　ＪＷ－５２ＳＰのシステム読み込み中。

・システムエラー

原因　何らかの原因で、モニタ中ＰＣより「ＮＡＫ」が応答された。

付録

・シンボル・コメントの書込みができません。

原因 ワークディスク（実行ディスク１等）の空容量が不足しています。

・シンボル、コメントの設定ができません。

原因 カーソルがデータメモリ位置以外にある。

対策 カーソルをデータメモリ位置に移す。

・シンボル

状態 シンボル、コメント設定時のシンボル（コメント）入力中。

・シンボル（入力領域を越えています。）

原因 シンボルを６桁を越えて入力した。

対策 入力領域内で再設定する。

・接続機器が異なります。

原因 パソコンの設定機種（２０ＣＭ／２０ＲＳ／３０ＣＭ等）と接続機種が異なる。

対策 設定機種を接続機種に合わす。

・接続されている本体の種類が異なります。

原因 パソコンの設定機種と接続したＰＣ機種が異なる。

対策 設定機種を接続機種に合わす。

・接続エラー

原因 接続したＰＣ機種、通信方法が異なる。または、接続ケーブルが外れている。

対策 ＰＣ機種、通信方法、接続方法を確認する。

〔た〕

・立上がりトリガ

状態 トリガ条件「立上り」でのトリガモニタ中

・チェック中

状態 プログラムチェック中

・チェック中＝　　チェック完了　エラー個数＝　　個

状態 プログラムチェック結果表示中。

・チェック中＝　　リターンキーを押して下さい。

状態 エラー個数１６個以上のとき、エラー個所を１６個表示毎に表示。

・転送タイムアウト

状態 タイムアウトエラーにより、PCと通信できない。

原因 ・規定値設定（初期設定）のタイムアウト時間が００ｓになっている。
・PCと正しく接続されていない。
・パソコン側の設定でRS－232Cポートを「使用しない」の設定になっている。

・ディスク容量不足

原因 ユーザーディスクに登録するだけの残容量がない。

対策 他のユーザーディスクを使用して登録する。

・ディスクエラーです。ディスクを交換しどれかキーを押してください。

原因 何らかの原因により、セットしているフロッピーディスクが破壊している。

対策 JW－52SPのシステムディスクまたは、ユーザーディスクを交換する。

・データリスト作成中

状態 データリストの作成中。

・動作停止して下さい。

原因 ネットワーク動作中にパラメータの書き込みを行った。

対策 ネットワーク動作を停止して、パラメータの書き込みを行う。

・トリガ

状態 トリガ条件により表示保持中。

・ドライブの準備ができていません。〈読取り中〉〈ドライブ＊：〉中止〈A〉、もう一度〈R〉、無視〈I〉？

原因 ドライブ＊にFDがセットされていない。

対策 ドライブ＊に「JW－52SPシステムディスク」または、「ユーザーディスク」をセットする。

・ドライブ＊：にディスクを挿入してください。準備ができたらどれかキーを押して下さい。

対策 ドライブ＊にユーザーディスクをセットする。

〔な〕

・入力回路が不足しています。

原因 CNT、F－60命令等で入力回路が不足している。

・入力領域を越えています。

原因 ファイル名、シンボル、コメントの入力領域をオーバーした。

対策 入力領域内で再設定する。

付録

〔は〕

・範囲指定

[状態] 複写・移動・削除および、プリント範囲指定完了

・範囲指定が正しくありません。

[原因] 移動、複写、削除、メモリクリア、プリントの時範囲指定が誤っている。

・範囲指定中

[状態] 移動、複写、削除、プリントの範囲指定中。

・範囲設定が正しくありません。

[原因] プリント範囲設定時、開始番号より終了番号が小さい。

[対策] 終了番号を開始番号より大きくする。

・範囲設定後実行キーを押してください。

[状態] プリント範囲設定中。

・パリティーエラー

[状態] ＰＣ転送で、パリティエラー発生。

・日付の設定が違います。

[原因] 日付の設定方法が誤っている。

[対策] 日付を正しく設定する。

・ファイル（名）がみつかりません。

[原因] ユーザーディスクに指定したファイル名がない。

[対策] ファイル名、又はユーザーディスクを変更する。

・ファイル名を正しく入力して下さい。

[原因] ファイル名の入力が誤っている。

[対策] ファイル名を正しく入力する。

・ファイル容量がありません。

[対策] ファイル容量をシステムメモリ＃２０５で正しく設定する。

・ハードディスクの容量が不足しています。

[原因] ハードディスクの空容量が足りない。

[対策] 不要なファイル等をDOS上で削除する。

・ファイルＮｏ．＝０　ファイルＮｏ．設定後、実行キーを押して下さい。

対策　書込／読出／照合を行うＦＤのＮｏ．設定を行う。

・フォーマットエラー

原因　受信データのフォーマットエラー。

・フレーミングエラー

原因　受信データのフレーミングエラー。

・ブレーク

状態　ブレークモニタ実行中。

・ブロックの開始部にリレーをセットして下さい。

原因　ＯＲの開始部にリレー接点がない。

・プリント実行中

状態　ラダー図、命令語等をプリント実行中。

・プリント実行中　範囲指定

状態　プリント範囲指定中。

・プログラム順プリント実行中

状態　接点使用リストをプログラム順でプリント中。

・プログラム領域の空が有りません。

原因　変換した命令を書き込むための、プログラム領域の残量が足りない。

・本体運転中

状態　ＰＣ本体運転中。

・本体運転中　アドレス

状態　モニタモードでアドレス設定中。

・本体運転中　シンボル（又はコメント）

状態　モニタモードでシンボルまたは、コメント設定中。

・本体運転中　検索中＋（又は検索中－）

状態　モニタモードで検索中。

付録

・本体運転中　Ｆ－番号

状態　モニタモードで応用命令（Ｆ番号）設定中。

・本体書込禁止エラー

状態　ＰＣ本体が書き込み禁止状態になっている。

・本体停止中

状態　ＰＣ本体停止中。

〔ま〕

・命令語が検索できません。

原因　検索指定した命令語が存在しない。

・命令語が正しくありません。

原因　正しくない命令（応用命令で存在しない番号を設定等）を設定後、書込／挿入／検索を行った。

・命令語の削除ができません。

原因　削除したアドレスの命令が１語目以外にある。

対策　応用命令、タイマ・カウンタ等は、１語目へカーソル移動後行う。

・命令語の書込みができません。

原因　回路表示中、モニタ中に命令語を変更した。または、メモリ容量が不足している。

・命令語の挿入ができません。

原因　挿入したアドレスに他の命令の１Ｗ目以外がある。または、挿入できるだけのメモリ容量がない。

・メモリクリアが終了しました。

状態　部分メモリクリアの完了。

・モニタ登録

状態　任意ラダーモニタ登録中。

付録

〔や〕

・ユーザーディスクをドライブ＊にセットし、実行キーを押してください。

対策　ドライブ＊側にユーザーディスクを挿入する。

・用紙サイズ指定エラー

原因　プリント用紙サイズの設定時に用紙のインチ数が最小値から最大値の範囲にない。

対策　インチ数を設定可能範囲内に再設定する。

・読出中

状態　ＰＣ本体、ユーザーディスクよりプログラム、システムメモリ等の読み出し中。

〔ら〕

・ラダー図に変換中しばらくお待ち下さい。

状態　ラダー図に変換中。

〔A、B、C……〕

・ＡＮＤ－ＯＵＴ回路が正しくありません。

原因　ＡＮＤ命令とＯＵＴ命令間の接続が正しくない。

・ＭＳ－ＤＯＳでエラーが検出されました。同じファイル名があります。ファンクションキーを押して下さい。

対策　ファイル名を変更して登録する。

・ＭＳ－ＤＯＳでエラーが検出されました。書き込み禁止〔書込中〕＊　ファンクションキーを押して下さい。

対策　ドライブ＊のＦＤを書き込み可にする。

・ＭＳ－ＤＯＳでエラーが検出されました。機種が異なります。ファンクションキーを押して下さい。

対策　パソコンのＰＣ設定機種を読み出したＰＣ機種に合わす。

・ＭＳ－ＤＯＳでエラーが検出されました。入力領域を越えています。ファンクションキーを押して下さい。

対策　ファイル名／コメントを入力領域内で再設定する。

・ＭＳ－ＤＯＳでエラーが検出されました。ドライブを準備してください。ファンクションキーを押して下さい。

対策　ユーザーディスクを指定ドライブに挿入する。

・ＭＳ－ＤＯＳでエラーが検出されました。ドライブを準備してください。〔書込中〕ドライブ＊ファンクションキーを押して下さい。

対策 ドライブ＊に書き込み可のＦＤをセットする。

・ＭＳ－ＤＯＳでエラーが検出されました。ドライブを準備してください。〔読出中〕ドライブ＊ファンクションキーを押して下さい。

対策 ドライブ＊にユーザーディスクをセットする。

・ＭＳ－ＤＯＳでエラーが検出されました。ディスク容量不足。ファンクションキーを押して下さい。

対策 他のユーザーディスクを使用して登録する。

・ＭＳ－ＤＯＳでエラーが検出されました。ディスクエラー〔書込中〕ドライブ＊　ファンクションキーを押して下さい。

対策 ＭＳ－ＤＯＳ上で初期化したＦＤをドライブ＊に挿入する。

・ＭＳ－ＤＯＳでエラーが検出されました。ディスクエラー〔読出中〕ドライブ＊　ファンクションキーを押して下さい。

対策 ドライブ＊のＦＤを交換する。

・ＭＳ－ＤＯＳでエラーが検出されました。ファイル名がみつかりません。ファンクションキーを押して下さい。

対策 ファイル名または、ＦＤを変更する。

・ＭＳ－ＤＯＳでエラーが検出されました。ファイル名を正しく入力して下さい。ファンクションキーを押して下さい。

対策 ファイル名を正しく入力する。

・ＭＳ－ＤＯＳでエラーが検出されました。ＤＯＳディスクでない〔読出中〕ドライブ＊　ファンクションキーを押して下さい。

対策 ＭＳ－ＤＯＳ上で初期化したＦＤをドライブ＊にセットする。

・ＭＳ－ＤＯＳに戻ります。実行キーを押して下さい。

状態 実行キーでＭＳ－ＤＯＳ（Ａ>）に戻る。

・ＯＲ接続できません。

原因 ＯＲ接続できない。

・ＰＣ運転中です。停止して下さい。

原因 ＰＣ運転中に書き込みを行った。

対策 ＰＣを停止して書き込みを行う。

アフターサービスについて

保証について

（1）シャープＪＷ－５２ＳＰは取扱説明書の巻末に保証書が付いています。保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡ししますので、内容をよくご確認のうえ、大切に保存してください。

（2）保証期間はお買いあげの日から１年です。保証期間中でも有料になることがありますので保証規定をよくお読みください。

修理を依頼されるときは

（1）取扱説明書をお読みのうえ、もう一度お調べください。

（2）それでも異常があるときは、使用をやめてお買いあげの販売店に、この製品の品名・形名および具体的な故障状況をお知らせのうえ、修理をお申しつけください。お申し出により出張修理いたします。

（3）保証期間中の修理は、保証規定の記載内容により修理いたします。

（4）保証期間経過後の修理は、お買いあげの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。

お問い合わせは

アフターサービスについてわからないことは、お買いあげの販売店または、もよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

シャープお客様ご相談窓口は、裏表紙に記載しています。

保　証　規　定

巻末の保証書は、本項記載内容で無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
保証期間中に故障が発生した場合は、お買いあげの販売店または、もよりのシャープお客様ご相談窓口にご依頼ください。
お買上げ年月日・販売店名など記入もれがありますと無効となります。必ずご確認いただき、記入のない場合はお買いあげの販売店にお申し出ください。
保証書は、再発行いたしません。大切に保存してください。

＜無料保証規定＞

1. 取扱説明書・本体注意ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で、保証期間（1年間）内に故障した場合にはお買いあげの販売店、または当社サービス会社が無料修理いたします。ただし、離島およびこれに準ずる遠隔地への出張修理は、出張に要する実費をいただきます。
2. 保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。
   （イ）保証書のご提示がない場合。
   （ロ）保証書にお買いあげ年月日･お客様名･販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
   （ハ）使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷。
   （ニ）お買いあげ後の設置場所の移動、または落下などによる故障・損傷。
   （ホ）火災・公害・異常電圧および地震・雷・風水害その他天災地変など、外部に原因がある故障・損傷。
   （ヘ）転居などで電源周波数が変わることにより、部品交換や配線の変更が必要な場合。
   （ト）消耗品が消耗し、取り替えを要する場合。
3. 保証書は、日本国内においてのみ有効です。（THIS WARRANTY CARD IS ONLY VALID FOR SERVICE IN JAPAN.）

★ 保証書は本項に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがいまして保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましておわかりにならない場合はお買いあげの販売店、またはシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

修理メモ

シャープラダーソフト用変換器保証書

出張修理

品　名　DOS/Vパソコン用ラダーソフト

形　名　JW－52SP

保証期間　お買いあげ日より1年間

お買いあげ日　＿＿年＿＿月＿＿日

お客様	貴社名	TEL 内線		
	ご担当名	様	所属	工場 部　課
	ご住所	〒		
	設置場所			

取扱販売店名・住所・電話番号

印

シャープマニファクチャリングシステム株式会社

〒581　大阪府八尾市跡部本町4丁目1番33号

電話（0729）91－0681　番

改訂履歴

版、作成年月は表紙の右上に記載しております。

版	作成年月	改　訂　内　容
初　版	1995年11月	――――――
改訂１.１版	1996年７月	・バージョンアップ（→Ver 5.3）に伴う改訂 ［JW10対応］
改訂１.２版	1997年７月	・バージョンアップ（→Ver 5.5）に伴う改訂 ［JW30H (JW-31CUH1/32CUH1/33CUH1/33CUH2/33CUH3)対応］ ・バージョンアップ（→Ver 5.6）に伴う改訂 ［WindowsのDOSモードでの使用対応　4･4～5］
改訂１.３版	1998年５月	・裏表紙を変更

● 商品に関するお問い合わせ先

シャープマニファクチャリングシステム(株)

首都圏営業部	〒162-8408	東京都新宿区市谷八幡町8番地	☎(03)3235-7351
中部営業部	〒454-0011	名古屋市中川区山王3丁目5番5号	☎(052) 332-2691
豊田営業所	〒471-0833	豊田市山之手8丁目124番地	☎(0565) 29-0131
近畿営業部	〒545-0014	大阪市阿倍野区西田辺町1丁目19番20号	☎(06) 606-5459
広島営業所	〒731-0113	広島市安佐南区西原2丁目13番地4号	☎(082) 875-8611

● アフターサービスについてのお問い合わせ先

シャープシステムサービス(株)

札幌技術センター	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7丁目3番17号	☎(011) 641-0751
仙台技術センター	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3丁目1番27号	☎(022) 288-9161
宇都宮技術センター	〒320-0833	宇都宮市不動前4丁目2番41号	☎(028) 634-0256
前橋技術センター	〒371-0855	前橋市問屋町1丁目3番7号	☎(027) 252-7311
東京フィールドサポートセンター	〒114-0012	東京都北区田端新町2丁目2番12号	☎(03)3810-9962
横浜技術センター	〒235-0036	横浜市磯子区中原1丁目2番23号	☎(045) 753-9583
静岡技術センター	〒422-8006	静岡市曲金6丁目8番44号	☎(054) 283-9497
名古屋技術センター	〒454-0011	名古屋市中川区山王3丁目5番5号	☎(052) 332-2671
金沢技術センター	〒921-8801	石川県石川郡野々市町字御経塚町1096の1	☎(076) 249-9033
大阪フィールドサポートセンター	〒547-8510	大阪市平野区加美南3丁目7番19号	☎(06) 794-9721
岡山技術センター	〒701-0301	岡山県都窪郡早島町大字矢尾828	☎(086) 292-5830
広島技術センター	〒731-0113	広島市安佐南区西原2丁目13番4号	☎(082) 874-6100
高松技術センター	〒760-0065	高松市朝日町6丁目2番8号	☎(087) 823-4980
松山技術センター	〒791-8036	松山市高岡町178の1	☎(089) 973-0121
福岡技術センター	〒816-0081	福岡市博多区井相田2丁目12番1号	☎(092) 572-2617

※上記の所在地・電話番号などは変わることがあります。その節はご容赦願います。

シャープマニファクチャリングシステム株式会社

本　　　社　〒581-8581 大阪府八尾市跡部本町4丁目1番33号

お客様へ……お買いあげ日、販売店名を記入されますと、修理などの依頼のときに便利です。

お買いあげ日	年　　月　　日
販売店名	
	電話(　　)　　局　　番

0CEGUID52SP//
98E 0.3 A①
1998年5月作成